

大村西崖資料目録 I-A.伝記資料(初期資料)

(1) 少年期・雲峰時代資料

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	訳本芥子園画伝 卷之上		墨写本	1冊	「辛巳十二月 雲峯写」とあり。「松湖漁夫」ほかの印あり。
2	知命記 中林成昌著 全		天保丙申上梓本の墨写本	1冊	「雲峯写」「明治十五年五月端午」の年記あり。「雲峯」「塩澤藏書」ほかの印あり。
3	学範 中林成昌著述 全書		天保6年12月稿の墨写本	1冊	「蜩笑藏弄」「駿河国富士郡水戸島處士雲峯手写藏」「明治十五年五月端午 塩沢峯吉」とあり。「塩澤図書」「大邸蔵書」ほかの印あり。
4	昔昔春秋 中井履軒戯編		墨写本 雲峯写	1冊	「塩澤図書」「雲峯」「大邸蔵書」ほかの印あり。
5	画道手引草 沖澹著			1冊	「新聞」「静岡市東鷹匠町 新間政次郎」の印あり。
6	見聞漫録 三号 塩澤峯吉		墨書	1冊	明治16年「癸未六月十五日 雲峰」とあり。
7	婆心一片 大仏殿の事について 塩澤峰吉		罫紙に墨書	1枚	
8	芥子園画伝二集 蘭譜 下冊		木版本	1冊	
9	扶桑隱逸伝序 竹山沙門 不可思議撰		墨写本	1冊	「十月廿一日 蟬笑鶴写」とあり。

(2) 東京美術学校在学中の資料

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	臨画		木版画	14枚	東京美術学校普通科「臨画」手本(木版画)
2	美学		罫紙に墨書	1冊	冒頭に「美学 明治廿三年第一学期筆記 美術学校御雇 エルネスト・エフ・フェノロサ 講述 同校幹事 岡倉覚三 口訳 学生 塩澤峰吉 筆記」とあり。『岡倉天心全集』8.1981年、平凡社、に収録
3	日本漆工史	明治26年6月23日写畢 西崖写し	墨書	1冊	表紙に「東京美術学校教授文学博士黒川真頼先生口授 同校描金科生徒筆記」とあり。

(3) 美校復職後(初期)資料

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	論画詩		墨写本	1冊	「明治三十一年四月二日手写 西崖居士」とあり。
2	画家系図 全	年記なし	墨書	1冊	「就宮内省藏新井白石自筆本ハ写畢」とあり。
3	手〔印〕図口訣	年記なし	墨写本	1冊	年記なし。

大村西崖資料目録 I-B.伝記資料(公的資料)

(1) 履歴書草稿

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	自筆履歴書草稿		共立美術学館用箋・帝国博物館 鑑査課用箋に墨書き	1綴	明治35年10月22日教授任命時まで
2	自筆履歴書草稿		署紙にペン書き	1綴	明治35年10月22日より大正2年4月宗教大学教授嘱託まで

(2) 辞令

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	-	明治26年7月31日			任京都府京都市立美術学校教諭 京都府印
2	-	明治26年7月31日			月報25円給与
3	-	明治27年4月4日			京都市工芸品展覧会出品審査員嘱託 京都市参事会・京都府知事中井弘
4	-	明治27年5月18日			自今月俸30円給与 京都府
5	-	明治27年5月23日			本会常設委員嘱託 京都美術協会会頭中井弘
6	-	明治27年9月21日			平安通志編纂補助員を命ず 京都市参事会
7	-	明治28年4月25日			書記を命す 審査総務部勤務 第4回内国勧業博覧会事務局
8	-	明治28年4月30日			平安通志編纂事務勉励金給与 京都市参事会
9	-	明治28年4月30日			平安通志編纂嘱託を解く 京都市参事会
10	-	明治28年5月9日			審査第一部兼総務部并第三部勤務を命ず 第4回内国勧業博覧会事務局
11	-	明治28年5月			本会接待委員依嘱 帝国教育大会長渡辺千秋
12	-	明治28年6月25日			帝国教育大会諸事幹旋謝辞 帝国教育大会長渡辺千秋
13	-	明治28年9月2日			書記を免す 第4回内国勧業博覧会事務局
14	-	明治28年9月2日			事務格別勉励賞与 第4回内国勧業博覧会事務局
15	-	明治28年9月3日			引き続き写生を依頼 第4回内国勧業博覧会審査第3部
16	-	明治28年10月8日			依願免京都市立美術工芸学校教諭 京都府
16	-	明治28年11月2日			東京美術学校雇を命ず 東京美術学校
17	-	明治28年11月23日			日本美術協会通常会員たるを証す 総裁威仁親王
18	-	明治29年4月27日			任東京美術学校助教授 文部省印
19	-	明治29年4月27日			七級俸給与 文部省
20	-	明治29年4月30日			臨時全国宝物取調局臨時鑑査掛嘱託 臨時全国宝物取調委員長九鬼隆一
21	-	明治29年10月29日			古社寺保存計画ノ調査ヲ嘱託ス 内務省
22	-	明治29年10月29日			岩手県出張 内務省
23	-	明治29年12月12日			京都府・大阪府・奈良県・和歌山県出張 内務省
24	-	明治29年12月14日			職務勉励賞金給与 文部省
25	-	明治29年12月23日			古社寺保存計画調査嘱託慰労金給与 内務省
26	-	明治30年1月25日			庶務掛兼務を命ず 東京美術学校

27	-	明治30年1月28日		岩手県出張を命ず 内務省
28	-	明治30年1月		金員寄贈謝礼 京都美術協会会頭 山田信道
29	-	明治30年2月7日		修繕監督員依頼 中尊寺住職西山亮教
30	-	明治30年3月16日		古社寺保存計画調査慰労金給与 内務省
31	-	明治30年4月1日		和歌山県・奈良県出張 内務省
32	-	明治30年5月24日		岩手県出張 内務省
33	-	明治30年7月19日		京都府・大阪府・奈良県・滋賀県出張 内務省
34	-	明治30年9月20日		依願免本官 文部省
35	-	明治30年10月24日		正会員たるを証す 日本絵画協会会頭二條基弘
36	-	明治30年12月16日		岩手県出張 内務省
37	-	明治30年12月21日		古社寺保存計画調査嘱託慰労金給与 内務省
38	-	明治31年4月26日		教場掛主務兼庶務掛を命ず 東京美術学校
39	-	明治31年5月13日		庶務掛主務兼勤を命ず 東京美術学校
40	-	明治31年4月26日		彫刻科授業を嘱託 東京美術学校
41	-	明治31年6月16日		傭申付 帝国博物館
42	-	明治31年6月16日		宝物鑑査部勤務書記兼鑑査書記を命ず 帝国博物館
43	-	明治31年11月		第13回彫刻競技会審査書記依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚
44	-	明治31年12月27日		古社寺保存計画嘱託慰労金給与 内務省
45	-	明治32年2月27日		東京府・神奈川県出張 内務省
46	-	明治32年3月27日		沖縄県用読本調査手当支給 文部省
47	-	明治32年3月30日		古社寺保存計画調査嘱託手当金 内務省
48	-	明治32年4月21日		本館臨時鑑査掛を命ず 帝国博物館
49	-	明治32年5月12日		鑑査課彫刻主任を命ず 帝国博物館
50	-	明治32年6月10日		自今月俸20円支給 帝国博物館
51	-	明治32年7月20日		宝物取調の為京都府、奈良県下出張 帝国博物館
52	-	明治32年8月21日		臨時博覧会鑑査官被仰付 内閣
53	-	明治32年8月		第14回彫刻競技会審査書記長依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚
54	-	明治32年8月		第14回彫刻競技会審査協議員依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚
55	-	明治32年10月18日		西洋考古学兼任 東京美術学校
56	-	明治32年10月18日		手当として金75円給与 臨時博覧会事務局
57	-	明治32年12月27日		臨時博覧会鑑査官被免 内閣
58	-	明治33年1月9日		東洋美術史兼任 東京美術学校
59	-	明治33年3月		邦文帝国美術史編纂委員を命ず 帝国博物館
60	-	明治33年3月		帝国議会衆議院可決美術奨励建議案実行請願委員依嘱 東京彫工会会頭榎
61	-	明治33年5月12日		依願教務掛主務庶務掛主務兼任を免す 東京美術学校
62	-	明治33年5月12日		自今報酬1ヶ月25円 東京美術学校
63	-	明治33年6月30日		依願解雇 帝国博物館
64	-	明治33年7月17日		出品課事務嘱託手当給与 第5回内国勧業博覧会事務局
65	-	明治33年7月20日		宮内省官吏准官吏恩給例外勤仕者給与支給 宮内省
66	-	明治33年7月		功労調査委員嘱託 東京彫工会会頭榎本武揚
67	-	明治33年8月		第15回彫刻競技会審査協議員依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚

68	-	明治33年8月		庶務委員長依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚
69	-	明治33年8月		審査書記長依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚
70	-	明治34年3月11日		事務格別勉励慰労金給与 第5回内国勧業博覽会事務局
71	-	明治34年4月13日		美術史原稿57枚提出慰労金60円贈付 東京帝室博物館
72	-	明治34年4月22日		手当金給与 第5回内国勧業博覽会事務局
73	-	明治34年6月11日		大阪府へ出張を命ず 第5回内国勧業博覽会事務局
74	-	明治34年9月7日		西洋考古学及東洋美術史兼担 東京美術学校
75	-	明治34年9月12日		彫刻科授業嘱託を解き美学、東洋美術史、支那歴史授業を嘱託 東京美術学校
76	-	明治34年9月		第11回彫刻競技会審査協議員依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚
77	-	明治34年12月20日		手当金給与 第5回内国勧業博覽会事務局
78	-	明治35年3月10日		京都大阪二府及兵庫奈良二県へ出張 第5回内国勧業博覽会事務局
79	-	明治35年5月9日		京都大阪二府及香川県出張 第5回内国勧業博覽会事務局
80	-	明治35年6月20日		手当金給与 第5回内国勧業博覽会事務局
81	-	明治35年8月		第17回彫刻競技会審査協議員依嘱 東京彫工協議会会頭榎本武揚
82	-	明治35年10月8日		本局大阪出張所へ出張を命ず 第5回内国勧業博覽会事務局
83	-	明治35年10月22日		任東京美術学校教授 内閣総理大臣桂太郎
84	-	明治35年10月22日		年俸金百円下賜 文部省
85	-	明治35年10月28日		東洋美術資料取調ヲ命ス 教授大村西崖 東京美術学校
86	-	明治35年11月18日		第5回内国勧業博覽会事務官被仰付 内閣
87	-	明治35年12月18日		事務格別勉励金賞与 第5回内国勧業博覽会事務局
88	-	明治35年12月27日		叙正八位 宮内大臣田中光顕現
89	-	明治35年12月29日		京都市へ出張を命ず 第5回内国勧業博覽会事務局
90	-	明治35年12月31日		京都市へ出張を命ず 第5回内国勧業博覽会事務局
91	-	明治36年1月20日		東京府、京都府へ出張を命ず 第5回内国勧業博覽会事務局
92	-	明治36年2月19日		本会名誉会員に推薦 第5回内国勧業博覽会協賛会会长住友吉左衛門
93	-	明治36年8月17日		手当給与 第5回内国勧業博覽会事務局
94	-	明治36年10月5日		手当給与 第5回内国勧業博覽会事務局
95	-	明治36年10月12日		十二級俸下賜 文部省
96	-	明治36年12月17日		事務格別勉励金賞与 第5回内国勧業博覽会事務局
97	-	明治37年3月29日		手当金給与 第5回内国勧業博覽会事務局
98	-	明治37年4月15日		出品審査に関する事務を嘱託 臨時博覽会事務局
99	-	明治37年4月16日		御用有之米国へ被差遣 内閣
100	-	明治37年5月		輸出金属器に関する各国製品の状況及販路の調査を嘱託 東京輸出金属器同業組合組長中村喜助
101	-	明治37年8月30日		出品目録編纂手当給与 臨時博覽会事務局
102	-	明治37年9月30日		報告書編纂材料蒐集嘱託 臨時博覽会事務局
103	-	明治37年10月27日		嘱託を解く 臨時博覽会事務局
103	-	明治37年12月27日		陞叙高等官七等 内閣総理大臣桂太郎
105	-	明治38年2月20日		叙從七位 宮内大臣田中光顕
106	-	明治38年3月18日		予備科歴史担任を命ず 東京美術学校

107	-	明治38年4月1日		明治37、8年戦役恤兵寄附奇特に候 東京府知事千家尊福
108	-	明治38年4月12日		報告書編纂事務嘱託 臨時博覧会事務局
109	-	明治38年5月30日		審査嘱託大村西崖へ銀杯一個贈与 臨時博覧会事務局 (セントルイス万博)
110	-	明治38年5月31日		手当金百円給与 臨時博覧会事務局
111	-	明治38年6月1日		元臨時博覧会事務局残務取扱嘱託 農商務省
112	-	明治38年8月		第22回影刻競技会審査協議員依嘱 東京彫工会会頭榎本武揚
113	-	明治38年9月11日		学術実地指導奈良県、京都府出張 東京美術学校
114	-	明治38年12月22日		残務取扱手当給与 農商務省
115	-	明治39年3月20日		予備科歴史担任を命ず 東京美術学校
116	-	明治39年4月10日		予備科入試科目中国語、漢文、日本歴史、東洋歴史担任を命ず 東京美術学校
117	-	明治40年2月9日		東京勧業博覧会事務嘱託 東京府
118	-	明治40年3月5日		東京勧業博覧会審査官嘱託 農商務省
119	-	明治40年7月30日		除服出仕 東京美術学校
120	-	明治40年7月30日		東京勧業博覧会事務奨励金給与 東京府
121	-	明治40年7月		審査尽力謝金進呈 東京府知事千家尊福
122	-	明治40年8月19日		陞叙高等官六等 内閣総理大臣西園寺公望
123	-	明治40年10月30日		叙正七位 宮内大臣田中光顕
124	-	明治42年5月14日		美術及歴史に関する出品計画委員嘱託 日英博覧会事務局
125	-	明治42年7月10日		除服出仕 東京美術学校
126	-	明治42年12月24日		手当金給与 日英博覧会事務局
127	-	明治43年1月22日		川端画学校、慶應義塾大学美術史講義応嘱の件許可 文部大臣小松原英太郎
128	-	明治43年3月14日		陞叙高等官五等
129	-	明治43年3月22日		文官分限令により休職 文部省
130	-	明治43年12月28日		手当金給与 日英博覧会事務局
131	-	明治44年6月19日		元日英博覧会事務局嘱託員大村西崖へ銀杯一個贈与 農商務省
132	-	明治44年9月8日		復職を命ず 文部省
133	-	明治45年1月31日		叙從六位 宮内大臣渡辺千秋
134	-	大正2年6月12日		古社寺保存計画調査嘱託ヲ解ク 内務省
135	-	大正2年8月10日		本会事業翼賛金寄贈感謝状 済生会会长桂太郎
136	-	大正2年9月23日		陞叙高等官四等 内閣総理大臣山本権兵衛
137	-	大正2年11月21日		叙正六位 宮内大臣從二位勲一等伯爵渡辺千秋
138	-	大正3年2月26日		東京大正博覧会審査主事嘱託 同博覧会会长宗像政
139	-	大正3年3月31日		月手当140円給与 同博覧会会长宗像政
140	-	大正3年3月31日		職務奨励につき150円給与 同博覧会会长宗像政
141	-	大正3年4月6日		宗教大学講授嘱託 宗教大学校長大僧都已講望月信亨
142	-	大正3年7月9日		小野玄妙提出論文審査委員嘱託 宗教大学講授大村西崖氏 浄土宗宗教部長大僧都講師竹石耕善
143	-	大正3年9月10日		東京大正博覧会残務取扱員を命ず 東京府

144	-	大正4年12月27日		十級俸下賜 文部省
145	-	大正4年12月27日		補生徒監 文部省
146	-	大正5年1月17日		幹事を命ず 東京美術学校
147	-	大正5年1月21日		宗教大学芸術史講師応嘱の件許可 文部大臣高田早苗
148	-	大正5年6月23日		大正5年度師範学校、中学校、高等女学校教員等講習会講師嘱託 文部省
149	-	大正5年7月19日		陞叙高等官三等 内閣総理大臣大隈重信
150	-	大正5年8月21日		叙從五位 宮内大臣波多野敬直
151	-	大正6年3月31日		職務勉励賞金給与 東京美術学校
152	-	大正7年2月6日		除服出仕 東京美術学校
153	-	大正7年3月30日		職務勉励賞金給与 東京美術学校
154	-	大正7年5月10日		第31回展覧会出品係依嘱 東京彫工会会頭土方久元
155	-	大正7年5月10日		第31回展覧会審査員依嘱 東京彫工会会頭土方久元
156	-	大正7年5月14日		第31回展覧会審査協議員依嘱 東京彫塑工会会頭土方久元
157	-	大正7年12月26日		大正7年度師範学校、中学校、高等女学校教員等講習会講師手当給与 文部大臣官房秘書課長栗屋謙
158	-	大正8年3月31日		職務勉励賞金給与 東京美術学校
159	-	大正8年4月30日		美術史研究室主任兼務を命ず 東京美術学校
160	-	大正8年4月30日		七級俸下賜 文部省
161	-	大正8年5月3日		東京女子高等師範学校講師嘱託 同校
162	-	大正8年12月17日		職務勉励賞金給与 東京美術学校
163	-	大正8年7月4日		大正8年度師範学校、中学校、高等女学校教員講習会講師嘱託 文部省
164	-	大正8年12月25日		師範学校、中学校教員講習会手当 文部大臣官房秘書課長下村寿一
165	-	大正9年10月5日		七級俸下賜 文部省
166	-	大正9年12月24日		職務勉励賞金給与 東京美術学校
167	-	大正10年9月20日		勅任官を以て待遇せらる 内閣
168	-	大正10年9月28日		六級俸下賜 文部省
169	-	大正10年9月30日		叙正五位 宮内大臣牧野伸顕
170	-	大正10年10月20日		海外旅行願い許可 文部大臣中橋徳五郎
171	-	大正10年10月20日		生徒監を免す 文部省
172	-	大正10年10月20日		幹事を免す 東京美術学校
173	-	大正10年10月20日		文官分限令により休職 文部省
174	-	大正10年10月20日		支那旅行中東洋美術に関する調査を嘱託 東京美術学校
175	-	大正11年2月21日		復職命令 文部省
176	-	大正11年3月31日		職務勉励賞金給与 東京美術学校
177	-	昭和2年2月26日		叙從四位 宮内大臣一木喜徳郎
178	-	昭和2年3月8日		叙正四位 宮内省
179	-	昭和2年3月8日		職務勉励賞金給与 東京美術学校
180	-	昭和2年3月10日		増俸通知 遺族大村文夫 東京美術学校

(3) 会員証

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	京都美術協会	明治27年1月			会員証 京都美術協会総裁貞愛親王、会頭北垣国道
2	明治美術会	明治32年4月7日			賛助会員証 明治美術会会頭男爵花房義質
3	同方俱楽部				東京市下谷区上野桜木町十八番地 同方俱楽部 [朱印] 大村西崖君
4	富士山頂上奥之宮改築 協賛会				富士山頂上奥之宮改築協賛会通常会員之証 第二七一号 廬原郡富士川 [村] 大村西崖 官幣大社富士山本宮浅間神社々務所

(4) 証書

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	証書	明治26年5月25日			大村西崖と改名許可 廬原郡長
2	傭人請状	明治28年2月23日			岩淵斎藤くら
3	版権登録之証	明治31年12月12日			著作者大村西崖 内務省
4	版権登録之証	明治32年7月6日			著作者森林太郎・大村西崖 内務省
5	領収書	明治33年8月18日			富士山頂奥宮附属建物改築費 浅間神社宮司
6	外国旅行中保護要請	明治37年11月7日			紐育總領事内田定槌
7	契約証	明治39年2月5日			贊川直一郎・大村西崖 土地買戻し関連
8	領収書	明治39年3月11日			大村芳樹より西崖へ
9	領収書	明治40年7月24日			大村秀雄より西崖へ
10	領収書	明治41年2月2日			栗田きく、ちかより西崖へ
11	領収書	明治44年7月3日			大村芳樹より西崖へ
12	西崖戸籍抄本	明治40年10月12日			入籍、相続関連
13	印可	大正2年10月28日			知心居士 中天相承□□十八章建立口決 伝授大僧正戒心
14	借用金之証	大正2年			借主贊川直一郎
15	特許証	大正3年4月8日			大宮式金網 大村西崖、宮本二七郎
16	実用新案登録証	大正3年4月8日			大宮式金網 大村西崖、宮本二七郎
17	写真掲載許可	大正4年6月11日			支那美術史彫塑篇への写真掲載許可 帝博・大村西崖 2
18	裁判所決定	大正6年1月19日			塩澤博所有土地売却に関する裁判所決定
19	西崖戸籍謄本	大正8年5月31日			西崖・みほ、7男、3女
20	契約書				大村西崖・丙午出版社代表高島大円 仏像新集出版関係
21	辞令	昭和2年4月27日			みほ宛西崖在官中死亡に付年俸三分ノ一下賜 文部省
22	契約書	昭和5年6月7日			東洋美術史改版発行に関する田辺孝次と大村文夫の契約書
23	大村ミほ修業証書	明治24年3月31日			大阪府尋常師範学校附属小学校第2年級修業

(5) 名刺

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容
1	大村西崖				裏に審美書院(京橋区新肴町3番地)と自宅(旧殿50号)の住所、電話番号を印刷
2	大村西崖				東京美術学校教授 大村西崖 帰堂 東京牛込区矢来町三番地 電話 牛込二五四三番
3	吳昌碩				墨書添え書き「画竹一幀奉贈 西崖先生」
4	末松謙澄				恭賀新年 子爵 末松謙澄
5	渡辺千秋				従二位勲一等 渡辺千秋
6	田中光頤				恭賀新年 伯爵 田中光頤
7	平之亮禪				賀正 醍醐寺三宝院門跡 執行長 平之亮禪
8	福井繁太郎				賀正 福井繁太郎 東京市四谷区坂町九番地

(6) 賞状・褒状

番号	状名	授与年月日	授与者	点数	分類	内容
1	卒業証	明治26年7月11日	東京美術學校長正六位 岡倉覚三	1	証書	
2	褒状	明治27年5月26日	京都府知事従三位勲三等 中井弘	1	褒状	京都市工芸品展覧会への出品作《木彫巖置物》の二等賞入賞を祝して
3	第四回内国勧業博覧会褒状	明治28年7月11日(1895)	總裁大勲位 彰仁親王 他	1	褒状	出品作《木彫三摩耶獅子置物》に対して
4	第四回内国勧業博覧会賞証	明治29年3月2日	第四回内国勧業博覧会總裁 大勲位功二級 彰仁親王 他	1	証書	博覧会書記としての功労を称え、銀牌授与の証として
5	(博覧会会場写真)			1	写真	
6	日本帝国褒状之記	明治36年12月14日	賞勲局總裁正三位勲一等子爵 大給恒 他	1	褒状	同年の第五回内国勧業博覧会事務官としての功労を称えて

7	United States Of America UniVersal Exposition Saint Louis MDCCCCIV Commemorating the aquisition of the Louisiana Territory Commemorative Diploma	1904	President: David R. Francis, Secretary: Walter B. Stevens	1	証書	"Member International Group Jury of Awards In The Department of Manufactures"とあり
8	(叙勲の褒状)	大正4年5月29日	賞勲局總裁從二位勲三等伯爵 正親町實正 他	1	褒状	明治勲章の勲六等に叙す
9	(叙勲の褒状)	大正8年6月28日	賞勲局總裁正四位勲二等伯爵 兒玉秀雄 他	1	褒状	明治勲章の勲五等に叙す
10	(叙勲の褒状)	大正11年6月27日	賞勲局總裁正二位勲一等伯爵 正親町實正 他	1	褒状	明治勲章の勲四等に叙す
11	感謝状	大正14年2月13日	東京美術学校職員厚誼会長 正木直彦	1	褒状	教授としての勤続25年を感謝して

大村西崖資料目録 I-C.伝記資料(私の資料)

(1) 日記、手記、歌集

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容	備考
1	蜩笑消陰錄 自明治廿四年五月至明治廿六年十二月	明治24年～26年	單紙に墨書	1冊	東京美術学校在校中より京都市美術学校在職中まで。	吉田千鶴子著「西崖日記」(『近代画説』8、1999年)に紹介
2	甲午消陰錄 西崖手記 在京都御幸町丸太町南之寓居		京都市美術学校名入り單紙に墨書	1冊	京都市美術学校在職中。	吉田千鶴子著「西崖日記」(『近代画説』8、1999年)に紹介
3	かはづのなきこえ 大邨峰吉述		農科大学用箋に墨書	1冊	京都赴任時代の自作和歌集、「大邨藏書」印あり。「乞斧正」として文を記した3枚挟み込み。「南都漫吟 奈良にて 大村西崖」(歌6篇)と題する新聞記事切り抜き挟み込み。日時、紙名なし。歌の新聞投稿は新事実。	
4	奈良宝物目録	明治26年	京都市美術学校用箋に墨書	1冊	「明治廿六年八月十二日夜於南都客舍 西崖謄写」とあり。	
5	明治32年手記(原題なし)	明治32年	無單ノートに鉛筆でメモ	1冊	古美術図譜等列記(購入案か)「農商務省美術史仏文六百頁、翻訳久米桂一郎、建築伊東忠太、宗教大村西崖...」教育法改革3月8~14日詣箱根神社、鎌倉古美術視察その他。	
6	諸事メモ帖(原題なし)		5と同じノートに鉛筆でメモ		近代日本石版画、洋画の創始についてのメモあり。	
7	明治33,34年手記(原題なし)	明治33,34年	無單ノートに鉛筆、毛筆書	1冊	仙台昭忠標、浜松金鷗、北海道炭鉄社永山武四郎記念銅標等依嘱製作関連記事あり、33、34年の手記と思われる。古画備考について記事あり、「廿一年九月学校に売る」「卅二年八月廿七日登録」とあり。	
8	奈良古美術視察手記(原題なし)		手帖に鉛筆メモ 年記なし	1冊		
9	奈良古美術視察手記(原題なし)		手帖に鉛筆でメモ			
10	明治39年手記(原題なし)	明治39年	手帖にペン、鉛筆でメモ	1冊	東洋美術小史(明治39年4月刊)贈付先、久保田米僕没(明治39年5月19日)の記事等より39年の手記と判断。	
11	明治40年10月手記(原題なし)	明治40年	手帖に鉛筆、ペンでメモ	1冊		
12	明治40~大正元年金錢等貸借控え(原題なし)	明治40年～大正元年	手帖にペン書	1冊		

13	明治41年収支帖(原題なし)	明治41年	手帖にペンで記入。			
14	補忘録 無記菴主	明治41年～43年	手帖にペン書	1冊	表紙裏に標題あり。冒頭に早崎梗吉将来宝慶寺壁間仏像のメモあり。明治41年11月5日中尊寺金色堂、42年10月文麟翁遺墨展、43年下條氏邸撮影、43年4月7日田中伯爵邸撮影云々。	
15	明治43年手記(原題なし)	明治43年	手帖に鉛筆書	1冊	明治43年1月26日仙台名画探訪、5月18日正倉院～奈良博物館、知恩院、三井寺、8月15日於自宅撮影、8月18日於五日市土屋大次郎氏之家ほか。	
16	明治44年手記(原題なし)	明治44年	手帖に鉛筆書	1冊	明治44年11月11日～12月5日密教伝授受講記/古画・古彫刻メモ	
17	大正3,4年手記(原題なし)	大正3,4年	手帖にペン書	1冊	大正(3年)12月17日羅(振玉)氏宅所写如左云々 於寛永寺権田雷斧僧正曼荼羅講伝受講録(大正4年9月22日第1講～同年10月3日第12講)等。	
★18	大正4年～同8年手記	大正4年～8年	手帖にペン、鉛筆書	1冊	大正4年12月～同8年諸費支払覚え書き、大正8年負債整理予算(貸借残金24200円)、大正8年度著述印行收入予算(支那美術史彫塑篇、密教発達志、四本両部曼荼羅集、御宝版高雄曼荼羅、図像集古、帝室御物集、絶代至宝帖原稿料、仏像新集)計12590円) 大正5年8月2日～6日～京都日記(仁和寺、羅振玉、長尾雨山、内藤湖南、大正6年8月14日～関西日記(仁和寺、高野山(高野山大学で密教発達志を講演、曼荼羅講伝を受講、高楠博士との交流)、8月29日別府、30日大分、石仏調査、9月3日広島一泊、仏教図像集古関係メモ、古画メモ等。	
19	大正7～10年手記(原題なし)	大正7年～10年	手帖にペン、毛筆でメモ	1冊	図像集古、支那美術史再版出納関連記事あり。	
20	大正九年庚申暦(東京帝国大学編、神宮神部署発行)	大正9年	毛筆で書き込みあり			
21	大正十年略本暦(大正九年頒行神宮神部署)	大正10年	毛筆で書き込みあり		中国旅行日記は別にあり、帝国学士院賞授賞式場案内図印刷物(美校講堂)が挟み込まれている。	
22	大正十一年暦(帝国大学編、神宮神部署発行)	大正11年	毛筆で書き込みあり			
23	大正十二年暦(帝国大学編、神宮神部署発行)	大正12年	毛筆で書き込みあり			
24	小手帖		鉛筆書	1冊	古画、洋書、金錢等メモ。年記なし	
25	手帖		ペン書	1冊	古美術品メモ	
26	支那・日本文化史ノートペン、鉛筆書					
27	住所録			1冊	住所録帖	

(2) 美術評論

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容	備考
1	無記菴雜文 自明治三十年八月至同卅一年九月読売新聞所載			1冊	自分(無記菴)の論説の切り抜き帖	
2	無記菴雜文 明治三十二年二月十四日以降時事新報所載			1冊	自分(無記菴)の論説の切り抜き帖	

(3) 講義録・講演

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容	備考
1	二、形式美		自筆墨書	1括り	慶應義塾「美学」講義のうち「二、形式美」(明治32年6月26日第二講)より	
2	美学講録 明治三十四年九月於東京美術学校開講		東京美術学校名入り罫紙に墨書	1括り		
3	審美論史 ソクラテス、プラトオ、アリストオトル一		東京美術学校名入り罫紙に墨書	1冊	東京美術学校	
4	審美論史 新プラトオ派のプロチヌス及プロクルス二		東京美術学校名入り罫紙に墨書	1冊	東京美術学校	
5	美学史(原題なし)		小型無罫ノートに鉛筆書	1冊	「明治三十六年十月十五日始之」美学講義録	
6	審美論 大村西崖造		東京美術学校名入り罫紙に墨書	1冊	美学要目を漢文に直したもの	
7	先考西崖宛森林太郎博士書翰 明治卅二年—卅四年 十通	明治32年		10通	原稿用紙に文夫が書き写したもの1冊。原本の行方は不知。	

8	東洋美術論叢(一部分)		大学ノート 鉛筆書	1冊	このノートの表紙には別に「渡辺暉山先生伝記参考資料 昭和上章敦詳 默照禪室 大村西淵録」の題あり。上章敦章は庚牛（昭和5年。西崖歿後）の異称。はじめに暉山略伝、田原三宅氏略伝（国史大辞典抜書き）、向阿・元曉・義湘等についてのメモあり。次いで西崖の講演録と思われる「胎藏曼荼羅の研究」、「仏教美術に於ける印度と支那との関係（大正十四、十、十七、美術学校講堂に開講せし博物館講演会に於て 十五年七月発行博物館講演集第三登載）」あり。最後に渡辺家墓石のメモ、昭和23年の記事、東京の空襲、疎開のこと、軍需品製造工場勤務のこと、「私は浮世絵史を書き上げていよいよ出版する事になった。」情報局の命令で「近世風俗画史」と改めたこと。富士川中学校長宛欠席届けの書式等が記されている。よって西淵は大村文夫と思われる。	
---	-------------	--	-----------	----	--	--

(4) 中国旅行関係

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容	備考
1	中国旅行日記(原題なし)	大正10年10月～同11年1月25日、同13年5月4日～同年6月1日、同年12月18日～同14年1月26日	革表紙手帖に ペン書	1冊	大正10年10月～同11年1月25日、同13年5月4日～同年6月1日、同年12月18日～同14年1月26日の日記	
2	中国旅行日記(原題なし)	大正15年5月3日～同年同月11日	布表紙手帖に ペン書	1冊	大正15年5月3日～同年同月11日の日記	
3	落葉集 大正十年秋		墨画	1冊	写生・下絵帖	
4	写生帖	大正13年5月19日	鉛筆画	1冊	大正13年5月19日泰山写生より鉛筆画	
5	記念写真	大正14年1月13日	厚紙台紙貼	1枚 貼	裏に大正十四年一月十三日於北京中央公園とペン書	
6	記念写真(5の複写)	大正14年1月13日			11-5の複写 大正十四年一月十三日於北京中央公園	
7	記念写真(5の中の西崖のみ複写)	大正14年1月13日	厚紙台紙貼		11-5の写真中中国服姿の西崖のみをプリントしたもの	
8	「風俗史的研究与古美術品的關係」				『京報副刊』民国14年2月1日/西崖の北京大学における講演の要約	

9	「中国風俗史の研究と美術品との関係」(上)大村青崖[ママ]氏	大正14年1月20日			『日刊新支那』大正14年1月20日/同上(11-8)の講演の和文要約	
10	「中国風俗史の研究と美術品との関係」(下)大村青崖[ママ]氏	大正14年1月22日			『日刊新支那』大正14年1月22日/同上(11-8)の講演の和文要約	
11	「時の顔 胡適」		切り抜き	1枚	(「13・9・10東日」と鉛筆付のある切り抜き1枚)胡適は西崖の知人で	
12	校本 東洋美術小史		校本	1冊	末尾に「明治三十九年四月二十五日校了」と墨書	
13	中国美術史 大村西崖著 陳彬龢訳				(中華民国15年)台灣商務印書館発行(中華民国55年、人人文庫の1書として刊行	

(5) 中国人書簡 (→書簡の項を見よ)

(6) 西湖有美書画社関係

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容	備考
1	西湖有美書画社捐助費証券控え帖			3冊	中村口〔卯に段〕、竹内栖鳳、朝倉文夫、田辺孝次、宮崎穀造、山本春挙、池上秀畠らの捐助金二百円の証券控え(紹介大村西崖)あり。	
2	西湖有美書画社封筒			1	表に社名および○吳昌碩先生 王一亭先生 ○吳杏芬先生 ○呂選青先生 俞語霜先生 趙子雲先生 天台山農先生 ○汪逸仙先生 ○孫友三先生。 唐吉生先生と印刷。「孫友三先生画」の墨書あり。裏に「禹域名画写真 焼付」の墨書、「(65枚)昭和25-5-31現在」の鉛筆付あり。	

(7) 写真

番号	タイトル	年月	形態	数量	内容	備考
1	美校彫刻科教官記念写真			1	裏に「高村光雲、石川光明、西牧正八、竹内久一、後藤貞行、明治廿六年八月十日後藤入來訪贈之」と墨書	
2	高村光雲肖像写真			1	裏に「明治廿六年八月十日來游時被贈之」と墨書	
3	大村西崖肖像写真			1	裏に「贈 賢弟觀山君 明治廿六年十二月 西崖」と墨書	
4	白井雨山肖像写真			1	裏に「呈上 大村口兄 白井雨山」と墨書	
5	白井雨山肖像写真			1	裏に「明治三十二年六月 白井雨山醉像」と墨書	
6	島田友春肖像写真			1	裏に「明治廿六年七月十一日 東京市本郷区本郷森川丁一番地字仲通二百四十一号 島田友春」と墨書	
7	今泉雄作肖像写真			1	裏に「今泉雄作 明治三十年」と墨書	
8	小坂象堂肖像写真			1	裏に「洋画家 故人 小坂象堂」とペン書	
9	川之辺一朝肖像写真			1	裏に「川之辺一朝 明治三十四年」と墨書	
10	山名貫義肖像写真			1	裏に「山名貫義 明治三十四年」と墨書	
11	野口小蘋肖像写真			1	裏に「野口小蘋 明治三十四年」と墨書	

12	瀧和亭肖像写真			1	裏に「瀧和亭 明治三十四年」と墨書	
13	長沼守敬肖像写真			1	裏に「長沼守敬 明治三十四年」と墨書	
14	石川光明肖像写真			1	裏に「石川光明 明治三十四年」と墨書	
15	荒木寛畝肖像写真			1	裏に「荒木寛畝 明治三十四年」と墨書	
16	海野勝珉肖像写真			1	裏に「海野勝珉 明治三十四年」と墨書	
17	河辺御楯肖像写真			1	裏に「河辺御楯 花陵 明治三十四年」と墨書	
18	第5回内国勧業博覧会記念写真 (西崖・執行・織田)			1	裏に「明治三十五年十二月廿五日於大阪第五回内国勧業博覧会場内撮影」と墨書。また「施[執]行[シキヤウ]と傍注]氏 大村西崖 織田一」と鉛筆書	
19	織田一肖像写真			1	裏に「明治三十六年十二月 織田一 進呈 大村大兄」と墨書	
20	渡辺省亭肖像写真			1	裏に「渡辺省亭」とあり。年記なし。	
21	西崖講演記念写真			1	裏に「謹呈 大村先生 三越石垣会 大正十五年二月十四日夜三越七階ギャラリー於ケル本会主催「三越自由大学」ニ於テ御講演中ノ大村先生」と墨書。演題は「骨董の話」と写真中に見える。	
22	招宴記念写真			1	説明なし 小石川井口義雄謹写とあり、西崖は支那服姿だが他3名は和服、洋服。帰国歓迎会か何か。	
23	大礼服姿の西崖肖像写真			1	昭和参年八月 大村西崖先生銅像除幕紀念写真 全景、近景各1枚 封筒入り 銅像建設資金会計報告・寄附者芳名録(印刷物)同封 美校内での除幕式のとき配布したもの	

大村西崖資料目録 II-A.書簡(大村西崖宛)

(1)日本人

a. 有賀長雄『東亞美術史綱』編集関連・長原孝太郎フェノロサ碑レリーフ関連

※有賀長雄書簡は大村文夫が原稿用紙に書き起こしたもの。長原孝太郎書簡と共に一括封筒入り。

番号	枝番	差出人	形態	日付	住所	本文	備考
1	1	有賀長雄	封書	大正9年1月22日	東京牛込区矢来町3番地 大村西崖先生 栃木県塩原温泉郵便局前 有賀長雄		文夫書き起こし
	2	有賀長雄	封書	大正9年2月29日	東京牛込区矢来町3番地 大村西崖先生 栃木県塩原温泉郵便局前 有賀長雄		
	3	有賀長雄	封書	大正9年3月11日	東京牛込区矢来町3番地 大村西崖先生 栃木県塩原温泉 有賀長雄		
	4	有賀長雄	封書	大正9年5月25日	東京上野公園東京美術学校 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	5	有賀長雄	封書	大正9年6月26日	東京牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	6	有賀長雄	封書	大正9年6月29日	東京牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	7	有賀長雄	封書	大正9年8月15日	東京牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	8	有賀長雄	封書	大正9年8月28日	東京下谷区上野公園東京美術学校 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	9	有賀長雄	封書	大正9年9月26日	東京下谷区上野公園東京美術学校 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		
	10	有賀長雄	封書	大正9年10月27日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	11	有賀長雄	封書	大正9年11月2日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	12	有賀長雄	封書	大正9年11月6日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	13	有賀長雄	封書	大正9年11月6日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	14	有賀長雄	封書	大正9年11月6日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	15	有賀長雄	封書	大正9年12月2日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	16	有賀長雄	封書	大正9年12月5日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	17	有賀長雄	はがき	大正9年12月9日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	18	有賀長雄	封書	大正10年1月1日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		
	19	有賀長雄	封書	大正10年1月9日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
	20	有賀長雄	封書		清琴樓 大村西崖先生 有賀長雄	アセチル散云々	消印なし、文夫書き起こし
	21	有賀長雄	封書	大正10年4月17日	東京市牛込区矢来町旧殿12号 大村西崖先生 栃木県塩原温泉 有賀長雄		文夫書き起こし
2	1	長原孝太郎	はがき	大正9年7月26日	牛込区矢来町旧御殿12 大村西崖様 本郷動坂町327 長原孝太郎		文夫書き起こし
	2	長原孝太郎	はがき	大正9年8月5日	牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖様 長原孝太郎		文夫書き起こし

大村西崖資料目録 II-A.書簡(大村西崖宛)

(1)日本人

b. 森鷗外

※大村文夫が「先考西崖宛森林太郎博士書翰 十通 明治卅二——卅四年」と題して原稿用紙にペンで書き起したもの10通。原本所在不明。(鷗外記念本郷図書館、津和野の鷗外記念館にもない由)

番号	枝番	差出人	形態	日付	住所	本文	備考
1	1	森鷗外	[封書か]	[明治32年6月12日]	市内上野公園東京美術学校 大村西崖殿 親展 本郷千駄木町二十一 森林太郎	別席只今来候ニ付さし上候 久保田校長には特に小生より委頼いたし置申候 六月十二日 森 大村君 [別紙] 拝呈 陳者貴下後任ヲ大村西崖氏ニ嘱托致候事ニ決定仕候間御多忙中申上兼候得共貴下より可然御依頼被成下度奉願上候 右要用迄如此ニ御坐候 早々拝具 六月十二日 慶應義塾教務係 森林太郎様	慶應義塾から森鷗外宛に送られた書状は原本あり。II A1c-59番頁参照。
	2	森鷗外	[封書か]			再度ノ御書状拝見仕候 色々御不幸ノ趣御心労不少事ト奉存候 小生モ目下容易ニ帰京スル目アテ無之是非ナキ次第に候 併シ彼審美史ナトモ矢張東京にて御一ショニ致度ト今モ思居候 新シキ審美書ハイロ々々入手 皆規模小ナレドモ中ニハ珍説モ有之候 久米君ニ御逢ナラバ仏国より書ヲ送ラレシ礼御申被下度 又同君現住處御示被下度願上候 近頃ハ日報社ニ御出の由 田舎ニテハ心付カズ打過候 御托シノ文章ハ出来ルヤ否無覚束存候 二月夕 大村君	
	3	森鷗外	[封書か]	明治32年	東京上野公園美術学校 大村西崖殿 親展 小倉 森林太郎	拝謹 審美新論之件承候 故実叢書代価八円御払置之趣恐縮ニ御坐候 右八円ハ來二十五日返納シテ宜シキヤ 実ハ毎月二十五日ニハ金持ナレド其跡ハダメナリ 尤御都合次第奈何トモ可仕ニ付御申聞被下度候 諸神伝新年ヨリ出シテ丁度ヨロシキカト存候 梵独字書東京ニテ得ラルベキヤ 若シアラバ独逸文ノゼエマント共ニ買入度存候 亦例ノ二十五日ノ事也高楠君ノ教科書ハ差当リ不用ニ御坐候 久米君目下京都ニ在ル由 小倉通過ノ時は予メ電報セラルハヤウ申遣置候 当地今日アタリ暄晴春日ノ如シ イクラカ南ニ偏シ居ルタメニヤト存候 十二月五日 森 大村君 二白 解剖書ノ画ノ切りハメソロ々々着手可致候 ○梵独字書ハ南江堂ニアリヤ 代何程ナルカ葉書ニテ御一報願上候	

	4	森鷗外	[封書か]	[明治]32年?	美術学校 小倉 森林太郎	<p>拝呈 審美新論着仕候ニ付一読仕候処何分小生ニハ分ラヌ箇處不少困却仕候 原書ヲ借りテ合セテ見ル都合出来マジキヤ 又横文表題書肆ヲ写シテ御送被下候ハヽ買ヒニ遣シ（西洋へ）候テモ宜シク候 自分ノ腹ニ落チヌニ手ヲ下スハ不本意ユエ一応伺上候 ○故実叢書至極好著ト存申候 見本御送被下奉謝候 潤三郎ヨリ予約申込候様願候由 代金ハ何程何時何処へ送リテ好キカ伺上候 ○頃日「サンスクリット」独学仕候 他年帰京の時のお土産ニナル程進ムヤ否ヤ</p> <p style="text-align: right;">十一月十九日 森 大村君 梧下</p>	
	5	森鷗外	[封書か]	[明治]33年	美校 小倉 森林 太郎	<p>拝呈 御無沙汰ニノミ打過申候 ちとお稽古の方ニ実〔ミと傍注〕が入過ぎて手まはりかねめさまし草も一月には所詮だめと相成申候 神話の書も来居れどまだ明けて見ること出来ず漸塊〔慙愧か〕仕候 然しいづれ二月には出京することなれば御目にかかりて色々御相談可申上存居候 長沼君が逃くるは何分腕有一風たしかにある人故さきに橋本君か逃げしと同じく官校の為めには可惜事と存候 行きが通りといふものた 無是非ものにや 審美新説口この頃まで附録の校正を送来らざりしが何と思ったか本月半頃に送來りやっと皆校正ずミと相成候 併しいつまで寝せておくやら不明ニ御坐候 何事も出京御相談の上と存じ右有大略のミ申上候</p> <p style="text-align: right;">一月二十九日 森 大村君 二 白 石黒先生よりまだ銀牌か出来ぬと不平申来候</p>	
	6	森鷗外	[封書か]	[明治]33年	東京北豊嶋郡日暮 里村元金杉千十三 番地 小倉 森林 太郎	<p>拝呈 新年また早々御郷里より御祝詞字賜はり奉謝候 昨年ハ書籍代金長々拝借仕居慙愧仕候 只今ゼエマン諸神伝獨文原本入手候ニ付早速御稿閲讀補正仕候而目醒草ニ出し候様仕度存候 又梵語字書ハ御贈与被下候との事 難有不堪喜候 他日何か御答礼仕度者ト存候 匆々</p> <p style="text-align: right;">一月六日 林太郎 大村西崖殿</p>	
	7	森鷗外	[葉書か]		美校 小倉市 森 林太郎	<p>帰京之内命ありまた辞令書ニ接せず中腰之姿ニ御坐候 帰らは又御一処ニ著述も出来可申かと樂居候 久保田校長ニ好く御伝被下度候 匆々</p> <p style="text-align: right;">六月十三日 森林太郎 大村君 玉案下</p>	

	8	森鷗外	[封書か]			<p>拝呈 二十三日ノ御書状並ニサンタヤナ美学一巻只今着イタシ候 サンタヤナハ岩村君ニ返璧スベキ者ニ有之候ハド一見ノ上明年三月上京ノ時持往可申候 ○美術史ハ御来書ノ通近世迄御一ショニ書キ上ゲタル上ニテ出版スルヲ上策トス 併し初丁ヨリ手許ノ美術伝編ニ筆ヲ入レテ希臘ノ終マデ細校シ取纏メ不敢古代部丈出ストイフ事ナラバ中策ナガラ不同意ハ無之候 (書初メノ辺大イニ拙シト存居候) アノ儘ニテ出ス事ナラバ只目ヲネムツテ熬〔コラと傍注あり〕ヘルト云フノミニテ実ハ感服不仕候 出来ル事ナラバ右上中両策ノ中ニ御意見ニテ決定被下度希望仕候 ○小生在勤モ最早満三年ニ相成候事故余り遠カラヌ中ニ再ビ君ト戮〔戮か〕力述作スルト云フ宿望ヲ果スコト出来候ヤモ難斗ト存居候 ○大学大塚文学士ノ講説ニ就テハ先日白川鯉洋(九州日報主筆)ノ話ニ目下文科大学ニテ聴衆最多キ講説ナリト申事に候 併シドンナ説カハ不承候 ○唯識ノ勉強ヤツト五巻ノ半(第三能変)迄ハカドリ候 イヤハヤ読メバ読ム程面倒ナル書ニ候 ○審美極致論(リイブマン)ハ完結候故春陽堂ヨリ出版為致度ト存居候ヘドモ未ダ先方ニハ懸合不申候 十月十五日夜於小倉 林太郎 大村西崖君</p>	
	9	森鷗外	[封書か]	明治34年?	東京市下谷区根岸 笹ノ雪口町 大村 西崖殿 小倉市 〔京・原?〕町 森林太郎	<p>拝呈 御書札到来 御近況ヲ詳ニスルコトヲ得欣喜ニ不堪候 小生ハ仰之通一時帰京ノ内命モアリシカ消滅シ畢リ其後ハソンナ風評ノモ無之候 此頃ハ定期巡閲衛生隊演習ソレヨリ皇太子殿下御来遊ツヅイテ病気ノ為メアトニ残リシ本居豊穎氏ノ世話ニテ朝夕寸暇ナク暮居候 本居氏ハ明日アタリ全快出発ノ筈ニ候 又先頃巡回演習等ノ事アリシ折直方〔ナウカタと傍注あり〕ノ豪富貝嶋〔カヒシマと傍注あり〕太助氏宅ニテ書画ヲ看次ニ行橋ニテ柏木勘八郎氏宅ニテモ書画ヲ看候テ追々天狗ト可相成心地イタシ候 貝嶋ノ方ハ(是ハ秘密ノ由ナレド)藤田伝三郎ノ遺物ノ内ニ珍品有之候 柏木ニハ好イモノモ口キモノモ有之カト存候 仏蘭西語ハ初ノ同志五十人ナリシニ一人減リ二人減リコノゴロ小生一人ト相成リ終ニ同志会解散イタシ候 少シ遣レルヤウニナリシハ小生一人位ト存居候 サンスクリトハポツタタ一人稽古スルノミニ候 不敢御返事ノミ申上候 猶時ニ御通信被下度候 十月二十四日 森 大村君</p>	
	10	森鷗外	[葉書か]			<p>拝呈 在仏国久木村一郎君ヨリ送致之書籍転送被下御手数奉謝候 岩村氏ニモ可然御伝被下度願上候 余ハ不日上京拝晤之時ニ譲候 草々不一 二月七日夜 森林太郎 大村西崖殿</p>	

大村西崖資料目録 II-A.書簡(大村西崖宛)

(1)日本人

c. その他

番号	枝番	差出人名	形態	日付	住所	内容	備考
1		朝倉文夫	封書		龜の井 大村先生 佐久間君持參 日名子旅館 朝倉文夫 封筒に東京市下谷区谷中天王寺町廿番地と印刷あり	明日御旅程道中は県庁の河野氏御案内、竹田に於ける竹田の墓及古き寺々はこの書面を持参する竹田の南画家佐久間竹浦氏が案内する云々	消印なし
2		朝比奈知泉	封書	[明治33年] 5月14日	下谷区根岸元金杉1070番地 大村西崖様 朝比奈知泉	東宮殿下御慶事奉祝相撲と向島八百松楼における小宴の招待状	
3	1	東敬治	封書	大正9年10月30日	牛込区矢来町3番旧殿12号 大村西崖様 東京市牛込区市谷河田町12番地 陽明学会 東敬治	来翰拝見 澄如之事...悪徳...そのままにしておくと又玄会が破れる云々	
	2	東敬治	封書	?年10月24日	大村西崖老兄 敬治	滑川澄如[欺]菊池惶堂横領幾口之大金云々	消印なし
4	1	阿南竹塙	封書	[大正10年] 7月12日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 兵庫県灘住吉 阿南竹塙	阿部氏藏幅之義...京都小栗...阿部の藏幅の中八九は小栗の手よりおさめた云々	
	2	阿南竹塙	封書	[大正10年] 7月17日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 兵庫県武庫郡住吉村 阿南竹塙	申込書は配布した...文人画選発刊...阿部氏頗る同情...来月研究会へご来会くだされば好都合云々	
	3	阿南竹塙	封書	大正10年7月19日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 兵庫県武庫郡住吉村 阿南竹塙	挽近又玄社設立...論画百絶、文人画復興の意 拝読...文人画選は大益... 当所阿部房次郎氏ハ支那画之藏幅家ニ有之元明以来の明画幅珍藏の事は碧兄も承知の事ニ有之候 今回の文人画選の内ニ御撰入適當之ものあらん 何時も御紹介可仕候云々	
	4	阿南竹塙	封書	大正 [11] 年10月9 〔文中8〕日	東京牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 兵庫県住吉 阿南竹塙	今回支那絵者大叢書之刊行御企画之由...又玄社会員ニ御推挙被下候由御厚意恭奉存候...長尾雨山君赤壁会のこと氣の毒云々	
	5	阿南竹塙	封書	大正11年10月9日	東京牛込区矢来町三番地旧殿12号 大村西崖先生 兵庫県住吉 阿南竹塙	又玄画社、碧堂のこと...。河南は職業画家のため入会できなかった由	
	6	阿南竹塙	封書	大正11年10月13日	東京牛込区矢来町三番地旧殿13号 大村西崖先生 兵庫県住吉 阿南竹塙	過日は又玄社御推挙被下...來十一月にハ三越三才会御招請ニより御講話之為め御下阪之由云々	

5	1	有賀長文(有賀長雄はⅡにあり)	封書	大正11年4月25日	牛込区矢来町3旧殿12 大村西崖殿 東京市日本橋区駿河町 三井合名会社 有賀長文	フェノロサ記念会の件と金(紹城)氏の件について近日内談を得たい云々※有賀長雄は大正10年没。長文は財界人・三井本社	
	2	有賀長文(有賀長雄はⅡにあり)	封書	?年5月2日	牛込区矢来町3旧殿12 大村西崖殿 (住所なし) 有賀長文	拝啓新緑之候益御清穆之段奉賀候陳者此度金紹城氏北京より来朝ニ付雅談清話相交度旁粗餐差上度奉存候間来る十二日正午日本工業俱楽部へ御挂駕被成下候ハヽ本懐之至リニ奉存候 先ハ右御案内申上度如此御座候 五月二日 有賀長文 大村西崖殿	
6		池谷きえ	はがき	[明治38年] 11月19日	東京市本郷区本竹町二拾八番地 大村西崖様 横浜市南大田町2152番地 池谷きえ	転居通知	
7	1	池辺義象	封書	大正10年8月2日	牛込区矢来町三 大村西崖殿 東京市外下渋谷五一九 池辺義象	長男義敦美術学校志望、引見被下、渡辺画伯に御紹介くだされ云々	
	2	池辺義象	はがき	大正?年8月10日	牛込、矢来町三 大村西崖殿 池辺義象	文人画論拝見御同感云々	
8	1	井口省吾	封書	大正6年2月25日	牛込矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 東京府下淀橋町柏木160 井口省吾	大村夫妻へ娘の結婚式の招待状	
	2	井口省吾	封書	大正9年5月28日	牛込区矢来町三、旧殿第五〇号 大村西崖殿	学士院賞受賞お祝い、祝賀会に出席できぬ云々	
	3	井口省吾	封書	大正9年12月13日	牛込区矢来町三旧殿12号 大村西崖殿 市外柏木160 井口省吾	血統の良否、家庭の情況等ニ就キ一応池上氏ニ就キ御探査被下度云々	
9	1	池上秀畊	はがき		牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖殿	御無理相願候処早速御寄稿云々	
	2	池上秀畊	封書	大正10年2月11日	牛込区矢来町3旧殿50号 大村西崖殿 下谷 池上秀畊	来る十四日午後五時より木挽町来楽ニて晚餐差上申し度云々	
	3	池上秀畊	封書	大正10年2月18日	牛込区矢来町旧殿50号 大村西崖殿 下谷 池上秀畊	先夜ハ失礼仕候...文人画復興云々 (礼状)	
10		石川光明	封書		大村西崖殿 7月23日 石川光明	何かの返事	消印なし
11	1	石川照勤	封書	大正10年6月30日	東京府牛込区矢来町3旧殿 大邸西崖先生 千葉県成田町 石川照勤	文人画の復興の礼状	
	2	石川照勤	封書	大正14年9月7日	東京市牛込区矢来町3番地 大村西崖様 千葉県成田町 石川照勤	阿婆口抄の件拝承候 早速送らせ可申候云々	
	3	石川照勤	封書	?年12月24日	東京牛込区矢来町3 大村西崖様 千葉県成田町 石川照勤	密教発達流伝年表の礼状	
	4	石川照勤	封書	?年7月7日	東京牛込区矢来町3 大村西崖様 千葉県印旛郡成田町新勝寺住職 石川照勤	先般ハ久々にて拝光種々御高話拝聴難有御礼申上候...其後書面にて西金居士の件御講説被下...希代の珍宝物だが大金が出せないので遺憾ながらお断りしたい云々	

12	1	磯野惟秋	封書	大正9年12月7日	大阪南区下寺町二丁目西往寺 大村西崖様 大阪 土佐堀二丁目一番地 磯野惟秋	朝日新聞の整理課長原田棟一郎氏へ申通じお き候間云々	
	2	磯野惟秋	封書	大正10年2月13日	東京牛込区矢来町三 大村西崖様 大阪土佐堀二 丁目一番地 磯野惟秋	文人画の復興惠投御礼	
	3	磯野惟秋	封書	大正10年10月15日	東京牛込区矢来町三 大村西崖様 大阪土佐堀二 丁目一番地 磯野惟秋	渡支慶賀の挨拶	
	4	磯野惟秋	封書	大正11年1月23日	東京牛込区矢来町三 大村西崖様 大阪土佐堀二 丁目一番地 磯野惟秋	空前之大事業を果して御帰朝...慶賀云々	
	5	磯野惟秋	封書	大正11年8月7日	大阪東区南久宝寺町一丁目河本米次郎様方 大村 西崖様 大阪土佐堀二丁目一番地 磯野惟秋	河本君より明八日日華俱楽部ニ於て云々	
13		市村羽左衛門	はがき	大正〔15年〕	牛込矢来町三 大村西崖様 市村羽左衛門	肖像写真入りはがき 七月の歌舞伎座へ出勤 いたします云々	
14		井上勝之助	封書	大正7年4月19日	牛込区矢来町3番地字旧殿12号 大村西崖殿 麻 布区宮村町 侯爵井上勝之助	仏像摸本蒐集にご着手、正木校長のご紹介に より当家秘蔵戒壇院屏摸本、醍醐、高山寺等 伝來の仏像摸本を御覧になりたい由だが当家 には無い云々	
15		井上侯爵家執 事	封書	大正7年4月28日	牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖殿 麻布 区宮村町42 井上侯爵家執事	ご来邸の日程変更云々	
16	1	井上哲次郎	はがき	大正9年1月27日	牛込区矢来町三旧殿一二 大村西崖殿 東京小石 川区表町百九番地 井上哲次郎	密教發達志送付礼状	
	2	井上哲次郎	はがき	大正9年9月28日	牛込区矢来町三旧殿一二 大村西崖殿 東京小石 川区表町百九番地 井上哲次郎	フェノロサ碑写真5枚送付礼状	
	3	井上哲次郎	はがき	大正10年2月17日	牛込区矢来町三旧殿一二 大村西崖殿 東京小石 川区表町百九番地 井上哲次郎	文人画之復興送付礼状	
	4	井上哲次郎	はがき	大正10年10月14日	牛込区矢来町3旧殿12 大村西崖殿 東京小石川 区表町百九番地 井上哲次郎	禹域御壯遊奉欣賀候云々	
17	1	今泉雄作	封書		東京市牛込区矢来町三番旧殿50号 大村西崖様 大坂府南河内郡白木村高貴寺 今泉常真	拝復 次第紙誠ニ御手数恐縮之至也 表紙吹 工合殊ニ妙にて御座候云々	消印部分切り取り
	2	今泉雄作	はがき	大正11年1月22日	牛込区矢来町3番旧殿50号 大村西崖様 今泉雄 作	一昨日駕來の後ニ支那よりの端書相届申候 云々	
	3	今泉雄作	封書	大正12年9月19日	牛込区矢来町3番旧殿50号 大村西崖様 (印) 東京市下谷区中根岸町八番今泉雄作拝啓	震災による美術品消滅のこと	

	4	今泉雄作宛大村西崖書簡	封書	大正14年11月1日	下谷区仲根岸町8 今泉雄作様 大村西崖	『東洋美術史』を数部支那へ遣ったところその中に明の黄大成著髹飾錄が引用してあるのを見て、北京の鬱鐸、天津の朱啓辛らが支那に絶えて無い書なので鈔本（写本）を寄贈して欲しいと懇望するので美術学校所蔵本を鈔写しようとしたが痛みが激しい。先生は『国華』に書いておられるので（「髹漆錄箋解」1～16、明治32～36）、善本をお持ちだらうから暫時貸してほしいと	
18	1	今関寿麿(天彭)	封書	1921年1月14日	東京牛込矢来町旧殿 大村西崖様 北京東城 今関寿麿	大著一部恵投…御礼 二伸 小生知人金北楼氏（目下禹域に於て南吳（觀岱）北金の称ある屈指の画家）近々画本を東京に於て玻璃版に附したき希望あり…審美書院との関係を思い出し、大体の見積を願う云々	
	2	今関寿麿(天彭)	封書	1921年2月16日	東京牛込矢来町旧殿 大村西崖先生 北京東城 今関寿麿	金北楼に関する依頼についての礼状。密教發達史[志]当地にても一読した人あり、敬服していた。今秋入燕を画界の人々皆欣んでいる云々	
	3	今関寿麿(天彭)	封書	1921年3月11日	PEKING 東京牛込矢来町旧殿 大村西崖様 北京東城 今関寿麿	文人画の復興の礼状。密陀絵の事を初めて知った云々	
	4	今関寿麿(天彭)	封書	1921年3月23日	PEKING 東京牛込矢来町三旧殿 大村西崖先生	金紹城画集印刷の世話に対する礼状。原画送付につき検討中。二伸 又玄画存の礼状。小生の号は天彭。天彭山は牡丹名所也。小生故郷に牡丹園あり因て戯に号としたるにて	
	5	今関寿麿(天彭)	封書	1921年9月11日	PEKING 東京牛込矢来町旧殿 大村西崖先生 北京東城 今関寿麿	過般小室翠雲來燕相当の結果を収め候 来月上旬田辺碧堂柚木玉村來游の由…先生の御來游に就きては先生の学術著述経歴等を知人に物語り多少先容を為し置き候 又文人画の復興は知人に配附し置き候処陳衡恪（朽道人と号す 当地屈指の画人）最も感服し自ら訳出致すべしと申し居り候 尚北京大学に於ての講演は皆々望み居り申候云々。正倉院蟲千の節の拝観を取り計らってほしい。11月初旬に帰朝する云々	

	6	今関寿麿(天彭)	封書	1921年9月30日	PEKING 東京市牛込矢来町三 大村西崖先生 支那北京東城 今関寿麿	来月下旬愈御入燕の由...小生用事の為め来月上旬中帰朝する事に相成北京に於て尊駕を迎ふるを得ず遺憾に存候 然れども当地金紹城、陳衡恪に懇談致し置き候間格別御不自由無之事と存候 陳氏は東京高等師範の出身にて日語自由に候 是の人が北京大学方面(講演)は引受可申候 又京師に就きては小生帰朝の日、詳細可申上候 ○目下田辺碧堂、柚木玉村両氏來燕 日夕過従詩画談を試み居り候	
	7	今関寿麿(天彭)	封書	(1922年春酣) 1日	東京市牛込矢来町三旧殿 大村西崖様 北京東城 東裱褙胡同 今関寿麿	久々滞京中御教を蒙ったことの御礼...帰燕以来...金紹城、陳衡恪両氏、四月中旬当地出発、二十日前後貴地到着の事と存候 陳氏の事は心配なきが、金氏は土地不案内なる上に日支絵画展覧会の渡辺といふ人を信用し居り候間、御地画壇の諸氏に冷遇でも受けはせぬかと気遣ひせられ候 ○金氏は有賀長雄先生の親友に有之候間、三井の長雄博士にも同氏の事を申送り候。何か之れに就きて御相談ありし時は、宜しきやう御願ひ申上げ候...二伸昨日蔡元培氏來遊、先生の彫塑を一読し感心致し候...献上したと	
	8	今関寿麿(天彭)	封書	(1922年) 5月22日	PEKIN 東京市牛込矢来町三 大村西崖様 北京東城東裱褙胡同 今関寿麿	訪日した金、陳に対する厚遇について感謝、御礼...先月15日に上海、蘇杭に遊び、南通で張季直翁を訪い、奉直戦争で足止めを食い云々、日支の交游俱楽部の決行を促す。今画録あと二部欲しい。榎原鉄硯翁に上海で邂逅した。栗原君は東京にいるか云々。	
	9	今関寿麿(天彭)	封書	1922年6月16日	PEKING 東京牛込矢来町三 大村西崖様 北京 東城東裱褙胡同 今関寿麿	今画録落手、御礼。拱北、先日来訪、今度の行に就き日本人の好意を欣び居り候 拱北、多少豪氣を有し日本を小とする風なきにあらさりしが、何となく一変したる感有之候 何は兎あれ 先生の斡旋、茲に謹みて御礼申上げ候 桄道人にはまだ逢はず云々	

	10	今関寿麿(天彭)	封書	1922年7月31日	PEKING 東京牛込矢来町三旧殿 大村西崖先生 北京 今関寿麿	中国文人画之研究の礼状。陳君は将来の名士、この人の訳を獲たるは先生の為め不勝欣快候。二仲 鷗外博士意外にも仙界の人となる云々。三伸 景朴孫君は先生の手教を久しく望んでいるので一筆お寄せいただきたい。この人は先生の盛名を慕っている。写真のことによく云っているのでご一考願いたい云々	
19		岩村成 [允]・常盤 大定寄せ書き	はがき 南京貢 院写真 入りは がき	大正9年12月18日	東京牛込区矢来町3 大村西崖様	一昨十四日南京着 岩村領事の招宴に接し珍 藏古書画を拝見...常盤大定、小生近頃書画と 仏像若干入手致し帰朝後御覧を仰ぎ度と存居 候 金陵 岩村成 [允]	
20		岩村成允	封書	民国14年7月15日	東京牛込区矢来町3番地 大村西崖殿 北京 岩 村成允	東洋美術史恵投御礼、金梁氏に序文依頼 ★ 「沈兼士へ伝言の件ハ過般菊池氏より承り候 も折柄学生運動始まり候ニ付 暫時見合候方 可然旨相答置候次第ニ有之 尤も昨今該運動 も余程下火ニ相成候ニ付 遠からず機会を見 沈氏方へ持参し 御伝言転達可致候 但金梁 氏ニは右之次第沈兼士君へ伝達方依頼致置申 候 尚金氏等之話ニ此程之美術史ハ支那人も 購読希望者多数なるべきニ付 漢文ニ反訳し 支那にて出版せられてハ如何との勧有之 小 生も同感ニ存候ニ付 いつか支那人に翻訳せ しめらるゝ様希望致候乍序申添候」	
21		上村才六	はがき	大正10年?月?日	牛込区矢来町3 大村西崖先生 東京市本郷区上 富士前町13 上村才六	口絵の写真御撮影被成下候よし...難有...一昨 日碧堂氏來訪云々	
22		内田貢	封書	大正5年6月23日	牛込区矢来町3 大村西崖様 淀橋町柏木371 内 田貢	阿密哩多軍茶利法ご恵投御礼。 内田の結城 素明宛封書同封 (一昨日万朝報夕刊で鷗外が 西崖と謀って阿密利多軍茶利經頒布の記事を 見たが、欲しいので西崖に尋ねてくれという 内容)	
23		大村組東京出 張所	封書	1924年	大村西崖様 東京市深川区佐賀町二丁目 海陸貨物 取扱 大村組東京出張所	大正13年、書籍輸送に関する請求書、領収書一 式	消印なし

24		岡崎壯太郎	はがき	大正11年1月22日	牛込区矢来町3 大村西崖様 東京小石川指ヶ谷 町64 岡崎壯太郎	無事ご帰朝奉賀...	
25		置塩維祐	封書	大正9年11月20日	東京市牛込矢来町3丁目字旧殿1 大村西崖先生 □□県島田町 置塩 [村市]	論画百絶礼状ほか	
26		岡倉秋水	封書	大正6年8月13日	牛込区矢来町参 大村西崖様 神田淡路町1ノ1 岡倉秋水	芳翁遺作、遺墓大觀印刷中、11月5日芳崖翁建 碑式（谷中長安寺、浜尾の篆額、今泉の選 文）云々	
27	1	荻原雲來	封書	大正2年9月21日	市内牛込区矢来町三 大村西崖様 下谷区谷中初 音町四ノ十九 荻原雲來	高雄曼荼羅及び三本両部曼荼羅集御恵贈、礼 状	
	2	荻原雲來	はがき	大正9年1月元旦	市内牛込区矢来町三 大村西崖様		
28	1	織田一	封書	大正2年6月9日	牛込区矢来町3番地 大村西崖殿 (印) 農商務 省 織田一	昨夜ハ態々御出被下御訂正難有存候...神田氏 を訪い、貴兄と田島氏のことを話しておいた ので、電話で問い合わせてからお出かけ下さ い云々	
	2	織田一	封筒欠 損	?年4月5日		今朝大久保商務局長ニ支那美術工芸又ハ意匠 取調の嘱託ありたき旨依頼し貴兄が東洋美術史 家たることを吹聴したるに是非一度御面会したし との□ニ付左様御取計有之度候	
29	1	小野玄妙	封書	明治41年1月31日	京橋区南紺屋町8 大村西崖様 小石川区原町138 番地 宗教界編輯室 小野玄妙	恭賀新年...昨年中ハ終始御懇篤なる御慈教を 蒙り為に私一身に取り非常なる啓発を加えられ 候事一重に御慈訓の致す処と感佩罷在候... 「観音神話」の御稿御起草願いたい云々...別 封『新仏教』紙上渡辺ドクトルハ現存秘密經 典梵本の目録を紹介せらるると同時に密教研 究をも鼓吹致され候へ共兎も角も密教研は 今後の仏教學壇の好題目たるは勿論其中心問 題たる曼荼羅研究は尤も興味ある研究として 迎へらるるは必定に有之 而して其時に至れ は今の先生の御研究の如きは層一層の光彩を 添へらるべきを領知せられ候 何卒此上は猶 一年間も御継続の御心組にて充分御詳述の上 将来斯学の模範的の参考となる様後學の為御 書き綴り御恵与被下候様奉願上候...阿育王事 蹟を早く出版してほしい...その他依頼	
	2	小野玄妙	封書		大村先生 玄妙	阿闍世王築城の件その他の出典についての報告	消印なし

30		小場恒吉	はがき	大正10年1月2日	東京牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖様 京城 小門町82 小場恒吉	論画百絶の礼状。不肖慶州へ長期出張漸く暮 れの廿七日に帰城云々	
31		梶田半古	封書		大村先生 梶田半古	アジャンタ壁画[写真か]態々御貸与難有 云々	消印なし
32		勝呂平右衛門	封書	大正13年10月16日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖様 静岡市鷹匠町2ノ28 勝呂平右衛門	当組合の事業その他につき御高配深謝云々... 勝呂組代表者勝呂...	
33		加藤精〔紳〕	はがき	?年12月4日	下谷区上野公園東京美術学校 大村西崖先生様 加藤精〔紳〕	明十五日開講密教美術史、弊校学生中にも希 望者不尠、聴講させたい云々	
34	1	香取秀真	はがき	明治38年〔10月〕20 日	本郷区駒込西片町10ほの2 大村西涯〔ママ〕様 谷中日暮里花見寺前 香取秀真	『校友会月報』第4巻第1号「弁財天」および 既刊分の「帝釈天」への賛辞	
	2	香取秀真	はがき	明治39年10月21日	駒込局西片町10ほの2 大村西涯〔ママ〕様 谷 中日暮里花見寺前 香取秀真	返事。鎌石の事仰の通真鎌に候云々	
	3	香取秀真	はがき	大正10年1月8日	牛込矢来町3旧殿12号 大村西崖様 東京市外田 畠38 香取秀真	年賀状	
	4	香取秀真	はがき	〔明治41または大正 11年〕1月2日	牛込市ヶ谷薬王寺前1ノ80 大村西崖様 香取秀 真	年賀状。大みそかにクガネ十正に受取候云々	
	5	香取秀真	封書		牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖様 香取秀真 香炉二口添	今朝電話にて申上候香炉 使を以て御目にかけ 候。値段等	消印なし
35		金子堅太郎	封書	?年12月10日	下谷区上野公園内美術学校 大村西崖殿 東京市 麹町区一丁町廿番地 金子堅太郎	圭堂遺稿恵贈礼状、感想、フェノロサ氏記念 祭寄付金云々	
36		金子静枝	封書	明治〔32〕年10月9日	東京市下谷区元黒門町9番地 美術画報社にて 大村西崖さま 京都市祇園万里小路 金子静枝	京都美術協会へ美術評論御恵投御礼、10、16 号を送ってほしい云々	
37		鎌田栄吉	封書	明治42年1月21日	大村西崖様 塾長 鎌田栄吉	本塾創立五十年記念図書館新築工事昨年末着 手、図書購入準備につき美術に関する必要書籍選択委員を引受けさせていただきたい云々	消印なし
38	1	亀谷聖馨	封書	大正〔8〕年12月21日	牛込区矢来町三 大村西崖先生 麻布区広尾町二 亀谷聖馨	支那御歴遊之由...何れ巴調一首かき上云々	
	2	亀谷聖馨	はがき 同封	大正9年1月2日	牛込区矢来町三 大村西崖先生 麻布区広尾町二 亀谷聖馨 学校・東京市外富ヶ谷名教中学校	漢詩二首印刷	
	3	亀谷聖馨	封書	大正10年2月20日	牛込区矢来町三 大村西崖先生 麻布区広尾町二 亀谷聖馨	『文人画の復興』御恵贈難有云々	

39		川合玉堂	封書	?年1月11日	谷中素友氏持参 大村西崖先生 学校にて川合玉堂	両界曼荼羅の鑑定証をお願いする云々	消印なし
40		河口慧海	封書	大正9年5月15日	市内牛込区矢来町3 大村西崖居士 本郷区根津宮永町29 河口慧海	帝国学士院賞受賞のお祝いと激励、自分の近況。	
41	1	河瀬秀治	封書	大正2年5月30日	東京市牛込矢来旧殿50号 大村西崖様 荘原郡南品川妙華園 河瀬秀治	パルプ会社事件云々	
	2	河瀬秀治	封書		東京市牛込矢来町3旧殿50号 大村西崖様 東京市麹町区有楽町3丁目1番地 日本パルプ株式会社 河瀬秀治	日本パルプ株式会社のこと	
42		閑院宮附別当 長崎省吾	封書	大正3年2月27日	牛込区矢来町3字旧殿50号 大村西崖殿	東京大正博覧会に関して3月3日に新宿御苑で午餐の催しあり、案内状	
43		菊池[長四郎]	封書		牛込区矢来町34旧殿50 大村西崖先生 十二月十六日 菊池〔長四郎〕	先年ご用立てした聚雅斎画譜6冊を返却して頂きたい	消印欠損
44	1	川端画学校	封書	明治42年9月25日	牛込区薬王寺前町八十番地 大村西崖殿 東京市小石川区下富坂町拾九番地 私立川端画学校	今般本校開校につき美術の日本および外一部御寄贈...学科教授依嘱も御承諾...礼状	
	2	川端画学校	封書	明治42年9月28日	牛込区薬王寺前町八十 大村西崖殿 東京市小石川区下富坂町拾九番地 私立川端画学校	授業時間を変更して10月1日より毎週月曜日午前9時～11時とさせて頂きたい 印刷物「財団法人川端画学校規則」同封。日本画教授に山田敬中・福井江亭・結城素明・島崎柳塲・岡村葵園(主任)、西洋画教授に藤島武二・同主任に富永勝重の名、学校主幹に川端玉雪、副主幹に川端茂章の名あり。西崖は嘱託につき記載なし。	
45		北澤樂天	封書	?年6月30日	市内牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 芝白金三光町263 北澤樂天	先夜は御高話拝聴仕難有御礼申上候 今日御恵送被下候文人画選誠に結構に存し候 一輯御頒与願度別紙申込書同封仕候 尚原氏は勿論其他へも吹聴申上べく候 何れ其内拝趨申上べく候 万勝可申上候 早々頓首	
46		吉川靈華	はがき	大正10年1月1日	東京牛込区矢来町三 大村西崖様 在京都 吉川靈華	年賀状	
47		清浦奎吾	封書	大正10年2月17日	東京牛込矢来町三番地 大村西崖殿 大森八景阪上 清浦奎吾	文人画之復興寄贈礼状	
48		空巖	はがき	明治43年1月22日	東京市牛込区市ヶ谷薬王寺前町80番地 大村西崖様 阿闍梨位 拔日羅空巖	四菩薩に付元起を考ふ可く心当りある蔵書深更迄取調云々	

49		陸実	封筒のみ	消印なし	大村西崖殿　〔願用〕　東京市下谷区上根岸町86 番地　陸実		
50	1	九鬼隆一	封書	明治32年5月8日	府下北豊島郡日暮里村元金杉村二百六十三　大村 西崖殿　九鬼隆一	御苦心御申越甚御尤ニ奉存候　安村ヨリハ属 員差繰等ニテ度々申参候間云々	
	2	九鬼隆一	封書	明治33年6月12日	下谷根岸元金杉千七十三　大村西崖殿　九鬼隆一	今日御来車、不在中失礼、来十七日大会で演 説の件、近日旅行の準備で多忙、お断りする 云々	
	3	九鬼隆一	封筒欠損	?年?月10日	大村様	例の件不日確定スルノ模様ニ付先ハ御安心被 下度云々	
	4	九鬼隆一	封筒欠損	?年2月28日	大村[賢]兄　隆一拝	毎度之御書面拝承云々、疾病一時ニ襲来、少 快を得候ハヽ直ニ可申上候間云々	
	5	九鬼隆一	封書	?年6月10日	下谷根岸元金杉千七十三　大村西崖殿　九鬼隆一	委細拝承、今日福沢家招待ニ赴き云々、本月 中旬より出発而宿痾養生之為め暫時高野山辺 へ旅行仕候間云々	
51	1	久保田鼎	封書	大正10年4月22日	東京牛込矢来町三番地　大村西崖殿　奈良帝室博 物館　久保田鼎	雲泉画伯碑文摺本贈与礼状	
	2	久保田鼎	封書	?年4月10日	大村教授殿　久保田鼎	又玄画存惠投礼状、自作（理堂作）漢詩同封	消印なし
52	1	久保得二	はがき	大正9年元旦	牛込区矢来町3　大村西崖様　東京巢鴨町上駒込 13　久保得二	年賀状	
	2	久保得二	封書	大正9年10月19日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号　大村西崖様 京都下鴨客寓ニテ　久保得二	尊翰ニ接シ…尊稿御望ミナラバ対晤細々商量 可致…	
	3	久保得二	はがき	大正10年2月12日	牛込区矢来町3　大村西崖様　京都下鴨客寓ニテ 久保得二	文人画の復興の礼状	
	4	久保得二	はがき	?年3月3日	牛込区矢来町3旧殿12号　大村西崖様　京都下鴨 客寓ニテ　久保得二	芹沢氏を通じてご所望の貴作を載せた雑誌斯 文を別送する云々	
	5	久保得二	はがき	?年11月15日	牛込区矢来町3　大村西崖様　東京巢鴨町上駒込 13　久保得二	密教發達志の礼状	

53		久米桂一郎	封書 (内容から推して明治31年3月18日)	下谷根岸元金杉二六三 大村西崖様	拝啓 其後ハ奇聞も御探知無之哉 小生等に於ても別段施すべき妙計も無之 総長ハ充分改革に意あると雖 種々の情実に縛られ実行出来ざる模様なるは確なりと思はれ候 学校の方も存外堅固にて松岡派の運動の如きも左程にこたへぬ様なるが如何 扱又御申越の美術解剖之儀今回まで御猶予被下候度 頃日荊妻病勢殊之外あしく彼是混雜を極め居候次第にて執筆無覚束 何卒今回まで相休〔度〕次回にならば何とか方がつき可申存候 插図之版木中処々摩滅したる様な処あるは差支無之にや 少々繕ひたる方よければ小生加筆可致ニ付印刷処へ御問合被下度候 此段御返事□ 哉々不一 三月十八日 久米桂一郎 西崖老台 琥北 ★西崖が『美術評論』を編集していた時期のもの。久米の「芸用解剖学」は第5号(31年1月5日)から第8号(同年2月20日)まで4回連載、以後休稿。天心の帝博・美校辞職をめぐる反天心派の動きに触れている	消印欠損
54	1	日下寛	封書	大正10年3月30日 牛込矢来町3番地 大村西崖様	文人画の復興の礼状。漢詩二首添え	
	2	日下寛	はがき	大正11年2月16日 牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖様 東京府西巣鴨町池袋213番地 日下寛	支那よりご将来の古名画図展観通知礼状	
	3	日下寛	はがき	大正11年7月31日 牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖様 市外池袋日下寛	支那文人画之研究の礼状	
55		来馬琢道	はがき	1922年〔11〕月30日 ベネチア 牛込矢来町3 大村西崖様 東京浅草万隆寺 来馬琢道	インドに再遊、エロラ、マヅラ見物、エジプトのカイロ、パレステイン、アラビアを見てこれよりイタリアに向かう云々。 ※カイロのモスクの写真入り	
56	1	黒木安雄(欣堂)	封書	大正5年12月24日 市内牛込区矢来町旧殿 大村西崖様 黒木	西崖の漢詩の添削	
	2	黒木安雄(欣堂)	封書	大正5年12月24日 市内牛込区矢来町旧殿 大村西崖様 黒木	西崖の漢詩の添削	
	3	黒木安雄(欣堂)	はがき	大正8年12月?日 牛込区矢来ノ三 大村西崖様 黒木安雄	年賀状(漢詩)	
	4	黒木安雄(欣堂)	封書	大正10年3月14日 東京美術学校 大村西崖殿 東京市本郷区口口町165 黒木安雄	今朝尊來のところ巣鴨宗大へ出勤後で会えず...美校計費の関係上人員整理につき解嘱との校長の命をお伝え下さり承知したと	

	5	黒木安雄(欣堂)	封書		牛込、矢来、三、旧殿ノ十二 大村西崖先生 東京市本郷区駒込林町口六五 黒木安雄	山内松枝（号青琴。篆刻名家山内敬斎・号孝卿の妹。南画志望）紹介状	消印なし
	6	黒木安雄(欣堂)	封書		矢来3旧殿12号 大村西崖様 黒木安雄	仏画3巻を所持人へ返してくれ（使いの池田亀の名刺同封）。聖語藏にある経巻云々	消印なし
	7	黒木安雄(欣堂)	封書	2月11日	牛込矢来、3、字旧殿 大村西崖先生 画一葉相添 黒木安雄	又玄画社への出品	消印なし
57	1	桑名鉄城	封書	大正6年1月5日	東京市牛込区矢来町3旧殿12 大村西崖先生 京都柳馬場姉小路上 桑名鉄城	写真代28円受領…仁和寺車代の儀ハ拝承…	
	2	桑名鉄城	封書	大正10年10月19日	東京市牛込区矢来町3番地12 大村帰堂老先生 京都上京相国寺玉龍庵 桑名鉄城	今回支那御歴遊被成候趣…壯行の辞	
	3	桑名鉄城	封書	?年8月19日	東京牛込区矢来町3旧殿50 大村西崖先生 京都柳馬場姉小路上 桑名鉄城	拙稿御賞詞ヲ賜り赭顔之至…写真正ニ拝受…羅牧画幅云々	消印欠損
58		K.Uchiyama, Japanese Consulate General Shanghai	封筒欠 損	1922年1月10日		7個の木箱についての照会	
59		慶応義塾教務係(森鷗外宛)	封筒欠 損	(明治32年) 6月12日	森林太郎様	「拝呈 陳者貴下後任ヲ大村西崖氏ニ嘱托致候事ニ決定仕候間 御多忙中申上候得共貴下より可然御依頼被成度奉願上候 右要用迄如此ニ御座候 早々 拝呈 六月十二日 慶応義塾 教務係 森林太郎様」	
60		慶応義塾々長 鎌田栄吉	封筒欠 損	明治40年1月18日		慶応義塾維持会への釀金1口負担申込みの礼状と会員簿記入の通知	
61	1	下条正雄(桂谷)	はがき	明治44年6月7日	牛込区矢来町3字旧殿50号 大村西崖様 麴町元園町1ノ40 下条正雄	先刻は態々御来口奉謝候 其節申残ノ件… 学習院在学中時々他ノ学校ト柔術ノ試合有之云々	
	2	下条正雄(桂谷)	封書	明治44年6月8日	牛込区矢来町3字旧殿50号 大村西崖様 麴町元園町1ノ40 下条正雄	桂谷の伝記か何かの文の修正依頼	
62		高貴寺	封書	大正2年12月22日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿五拾号 大村西崖先生 大阪府南河内郡白木村大字平石 高貴寺伎人戒心	過般在京中ハ段々御懇情ニ預リ難有存奉候、□□[梵字]御投与、御礼、過日高楠先生云々	
63		後藤為次郎	封書	大正9年11月20日	牛込区矢来町3旧殿12 大村西崖先生 東京市小石川区大塚仲町36 後藤為次郎	論画百絶の礼状	

64	1	小林正盛	はがき	大正9年1月元旦	牛込矢来町三番地 大村西崖様 栃木県足利郡小俣村鶴足寺小住 東京市外戸塚町字諏訪二四三 小林正盛	年賀状(印刷物)	
	2	小林正盛	封書	?年11月16日	牛込区矢来町三番地字中里 大村西崖先生 市外戸塚町字諏訪二四三 小林正盛	密教發達志の札状	
65	1	小室翠雲	封書	大正10年3月25日	東京牛込区矢来町三 大村西崖先生 小室翠雲	先日不計邂逅	
	2	小室翠雲	封筒欠損	辛酉(大正10年) 晩秋	翠雲小室貞	漢詩「送青崖先生遊禹域」	
	3	小室翠雲	はがき	[大正12年] 5月29日	牛込区矢来町三旧殿五〇 大村西崖先生 鬼町区中六番町四〇 小室翠雲	支那漫遊出発の際御高作(詩)を忝くし奉深謝云々	
	4	小室翠雲	封書		大村西崖先生 十月十九日 中六番町四十一 小室翠雲	未タ拝芝を不得、門人橋田永芳、貴校の古画一覧願いたく御高配いただきたい	消印なし
	5	小室翠雲	はがき		東京牛込区矢来町三 大村西崖先生 小室翠雲	奉天小河沿の蓮池カラー写真はがき	消印不明
66		金剛峰寺	封書	大正7年1月9日	東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖先生殿 和歌山県高野山 総本山金剛峰寺 密門老口	恭賀新年...昨年夏期御登山ニ預リ一同多大之教益ニ浴し、云々	
67	1	権田雷斧	封書	大正3年6月29日	牛込区矢来町三番地旧殿第五十号 大村西崖殿 大日堂滯在 権田雷斧	仏書刊行会ヨリ未タ何タル義モ無之云々	
	2	権田雷斧	封書	大正7年4月21日	牛込区矢来町三番地旧殿第二十号 大村西崖先生	御寄附鳴謝 御仏藏之儀云々	
	3	権田雷斧	封書	大正 [8] 年2月27日	牛込区矢来町三番地旧殿第12号 大村西崖先生 越後三嶋郡西越村田中 権田雷斧	仏像新集ニ就テハ一方ならぬ御丹誠難有鳴謝候 託尊曼荼羅編纂ニ付テハ云々 ※別紙(仏像新集について不審の箇所を指摘) 同封	
	4	権田雷斧	封書	大正9年4月18日	牛込区矢来町三番地旧殿第12号 大村西崖老博士 閣下 新潟県三嶋郡西越村大字田中 権田雷斧	尺八之絹本カ又ハ絽本ニテ山水御揮毫相頤度云々	
	5	権田雷斧	はがき	大正10年?月?日	東京牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖先生	年賀状	
	6	権田雷斧	封書	昭和2年3月9日	東京牛込区矢来町三丁目 故大村西崖先生御家族 御中 新潟県三嶋郡西越村大字田中 権田雷斧	悔やみ状	弔辞同封
	7	権田雷斧	封書	昭和8年2月26日	東京市小石川区宮下町二十二 大村文夫先生殿 新潟県三嶋郡西越村大字田中 権田雷斧	色紙二枚故知心居士の靈に供へ云々	
	8	権田雷斧	封書	昭和8年9月16日	東京市小石川区宮下町廿二 大村文夫先生殿 新潟県三嶋郡西越村大字田中多聞院寓 権田雷斧	故西崖先生遺稿上梓、御惠贈被下難有受納云々	
	9	権田雷斧	封書	?年11月23日	牛込区矢来町三番地旧殿第廿号 大村西崖先生 権田雷斧	法帖御揮毫之上特ニ御送付被下口難有鳴謝罷在候 普光寺住職も満足可致と察候 仏像図集、心覚集刊行云々	

68	1	近藤廉平	封書	大正3年7月10日	牛込区矢来町3 大村西崖殿 近藤廉平	廉泉氏所蔵之書画展観之儀ニ付彼是御手数拝謝...売価ハ縁之物ニテ代価の如何ニ依り決定可仕...紛々之情真ニ氣の毒千万願クハ同氏切望ニ添ふ事ニ...	
	2	近藤廉平	封書		東京市牛込区矢来町3番地 大村西崖様 出張先 近藤廉平	于今甲駿の間を奔走...パルプ会社の件ニ付河瀬君より至急帰京致くれ候様御申越...□□社工事竣工愈々来月五日開業式云々	
	3	近藤廉平	封書		大村西崖様 近藤廉平	来月一日御高話拝聴旁晚餐差上申度...当日支那雅人廉泉氏ヲ案内致置候御服装ハ御随意ニ願上候	消印なし
69	1	佐伯定胤	封書	消印 大正9年4月19日	東京市下谷区上野東京美術学校にて 大村西崖殿侍史 奈良県法隆寺 佐伯定胤	肅啓 陳者去日は折角御光來、密教發達史[志]に対し学士院表彰云々	
	2	佐伯定胤	封書	大正10年7月15日	東京牛込矢来四 大村西崖殿侍史 □啓	年来多大のご懇情、慰労の清宴、光榮の至り、御礼	
70		桜岡三四郎	封書	明治40年7月21日	静岡県岩淵町 大村西崖様 侍史 東京美術学校 桜岡三四郎 七月廿日	ご尊父様ご逝去、悔やみ状	
71		佐々木清七	封筒欠損	4月		緑綬褒章下賜の披露・祝賀の宴会(祇園中村楼)への招待状	
72		執行弘道	封筒のみ	?年7月14日	静岡県下岩淵 大村西崖殿 執行弘道		
73		時事新報社文芸週報部	封書	明治42年6月24日	下谷区上野山内東京美術学校内 大村西崖殿	今日の人士の必読を要する和漢洋書籍20種以上の推举を願う印刷物	
74	1	島地大等	はがき	大正1年12月25日	牛込区矢来町三 大村西崖様 島地大等	密教發達流伝年表礼状	
	2	島地大等	封書	大正2年11月6日	市内牛込区矢来町三番地 仏書刊行会主事 大村西崖殿 小石川原町二十七 島地大等	領収証(出資金・配賦金計83円33銭)	
75		白井雨山	封書	昭和2年3月9日	東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖御令闈様 兵庫県武庫郡御影城の前一四四〇ノ一 白井雨山	悔やみ状。西崖逝去を新聞で知った。自分も昨夏以来大病。「西崖兄の逝去し玉ひけるについに逝く君を送らんすべもなし 家も遠くに病てしあれば」	
76		末次良三郎	封筒のみ	明治40年9月22日	東京市牛込区矢来町口番地字旧殿十二号 大村西崖先生 御親展 書留 久留米市莊島 末次良三郎		
77		末松謙澄		大正6年8月5日	牛込区矢来町三丁目旧殿五〇号 大村西崖殿 東京芝区西久保城山町四 末松謙澄	独山復写之粉本御惠贈、溝口氏に樵夫の幅を近日御覽に入れる、三聖図研究の一文を徳富氏に送り今朝新聞に登載云々	

78	1	杉溪言長(六橋)	封書	大正8年11月7日	牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖殿 東京麻布新龍土12 杉溪言長	別紙住所氏名書封入...十一日午後御集会及び匣書之事ハ拝承云々	
	2	杉溪言長(六橋)	はがき	大正9年1月元旦	牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖殿 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	年賀状	
	3	杉溪言長(六橋)	封書	大正9年3月31日	牛込矢来町三 旧殿十二号 大村西崖殿 東京麻布新龍土十二 杉溪言長	玄会[又玄画社]の分ハ十五日迄必ず御届可致云々	
	4	杉溪言長(六橋)	封書	大正9年9月20日	牛込矢来町4 [ママ] 旧殿 大村西崖殿 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	拙作ハ漸く出来云々 (又玄画社関連)	
	5	杉溪言長(六橋)	封書	大正11年5月9日	牛込矢来町3番地旧殿 大村西崖殿 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	先夜ハ結構なるご相伴...半切四君子樹石之草画なれハ偷暇出来可申かと存候云々	
	6	杉溪言長(六橋)	封書	[大正14年] 5月31日	牛込区矢来町三旧殿 大村西崖様 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	出雲崎より寺泊へ向ふ汽車 (時刻列記) 、画社の旅行の相談	
	7	杉溪言長(六橋)	封書	?年10月5日	牛込区矢来町三旧殿 大村西崖様 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	荊妻実母逝去云々、先日御約束の拙文...十分御添削相願度云々。 壁堂より別紙草稿を廻候間...	
	8	杉溪言長(六橋)	封書	?年?月22日	北京東单牌樓扶桑館 日本大使館氣付 大村西崖殿 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	御手書拝見 文部大臣を居据りに相成失望致候 碧堂とハかけ違ひ御面会無きよし残念... 碧堂帰朝別段奇談も無之...滑川又玄会ニ戻し度一つの道具と存し...頃日山茶花局村井室との艶聞ありと□□ダメニ相成こまつた事ニ相成候。 ...近々新しき種板も御出来の事と存候文人画選も結構ニ候へとも山水四君子等而已にて単調の嫌無きニ非す 一二幀ツ、道釈美人走獸の如きものほしく其為□□御滞在の御序ニ別紙のものを御とり置御帰朝の□頂戴致し度... ※別紙あり。 書の購入依頼か	
	9	杉溪言長(六橋)	封書		牛込矢来3旧殿8 [ママ] 大村西崖殿 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	華族連中ニ大分はなし候得とも未だ充分好果を得す云々	消印不明
	10	杉溪言長(六橋)	封書		大阪市東区南久宝寺町町〔内〕河本米次郎殿方 大村西崖殿 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	黒田子、九鬼子、牧野子、雨亭子云々、一覽之後火中願入候。 ...十鐘山房印譜予約致度云々	消印不明
	11	杉溪言長(六橋)	封書	?年?月26日	大村帰堂殿 託鈴木口園君 男爵杉溪言長 東京市麻布区新龍土町12番地	鈴木口園 (名伊十) が東洋の美学について執筆、南画の事に及びたい (紹介状)	消印なし

79		関野貞	封書	大正4年8月15日	牛込区矢来町3 大村西崖殿 本郷丸山新町23 関野貞	去月30日朝鮮より帰京、今回ハ主として新羅百濟の古墳発掘、先般御願申上候漢石写真ニ付...奈良から帰京したら拝謁、公私多忙、拙著出版相後れ、その前に貴著ご出版差し支えない。先般ご高著ご惠贈、御礼云々	
80	1	芹沢閑	封書	大正5年11月18日	牛込区矢来町3番地 大村西崖様 麻布区網代町1 番地 芹沢閑	別紙履歴書相認め呈覧致し候...小生半生ハ 瑣々たる一小俗吏ニ過ぎず且つ何等の学校経 歴も無之...詩だけハ福井学圃先生に隨ひ二十 年間親しく指導を蒙り...漢文だけハ無点本に ても大抵読破致すだけの自信ハ存し云々	
	2	芹沢閑	封書	大正10年1月6日	牛込区矢来町3番地 大村西崖様 麻布区網代町2 番地 芹沢閑	新年の挨拶。漢詩同封	
81		外狩頭章	封書	大正8年11月12日	市内上野公園東京美術学校 大村西崖先生 中外 商業新報社 外狩頭章	昨日は失礼...「又玄画社の初陣」の記事切り 抜き同封	
82		曾根荒助	封書	大正10年4月12日	東京博覧会審査部事務所 大村西崖殿 麻布桜田 町 そね荒助	別紙請求之通御取計ヒ下度候也	
83		菌田宗恵	封書	明治45年1月23日	東京市牛込区矢来町三番地 仏書刊行会 大村西 崖殿 京都仏教大学長菌田宗恵	通記出版、委曲了承、本願寺へ一応御交渉可 然云々	
84		第五回内国勧業博覧会京都 出品協会	封筒欠 損	明治35年2月2日	大村西崖殿	出品に関して御高説拝聴致度き以て明三日午後 当市當業者を京都商業會議所に招集致置候に付	
85		高島圓	封書	[大正9年]6月21日	牛込矢来町三 大村西崖殿 小石川原町六 高島圓	支那の仏教美術御著作の義・脱稿予定を知らせ て欲しい云々	
86	1	高島米峰	封書	大正7年1月7日	牛込区矢来町三旧殿 大村西崖殿 小石川原町六 高島米峰	一昨日は参上種々之御厚遇を...仏像新集出版 に関し別紙契約書相送仕候...今朝権田雷斧僧 正より来翰各宗之祖の像をも加へ候事如何や との事...その辺御高見に任せ度云々	
	2	高島米峰	封書	大正7年8月18日	牛込区矢来町三旧殿 大村西崖殿 小石川原町六 高島米峰	権田僧正序文御高覽の上貴序と共に御返却被 成下度候云々 (仏像新集の件)	

	3	高島米峰	封書	大正9年4月30日	牛込区矢来町三 大村西崖殿 小石川原町六 高島米峰	頃者松本文三郎博士の新著「印度の仏教美術」の出版を引受け目下印刷中に候がこの際老兄を煩はして「支那の仏教美術」の御著作を乞ひ彼と此と並び行はしめ度切望に不堪候(書画は余技として学者としての本領を發揮してほしいという忠告は翌年からの中国旅行、『東洋美術史』の執筆に何らかの影響を及ぼしたか)	
	4	高島米峰	封書	大正〔9〕年11月18日	牛込区矢来町三 大村西崖殿 東京市小石川区原町六番地 高島米峰	「論画百絶」礼状	
	5	高島米峰	封書	大正10年2月12日	牛込区矢来町三 大村西崖殿 東京市小石川区原町六番地 高島米峰	文人画の復興の礼状	
	6	高島米峰	封書	大正12年3月5日	牛込区矢来町三 大村西崖殿 東京市小石川区原町六番地 高島米峰	予て御願申上置候御高著「支那の仏教美術」是非々々頂戴仕度已に天下に予告も致し置候事とてまだかまだかと催促され云々	
87		高田忠周	封書	大正12年7月13日	牛込区矢来町3旧殿 大村西崖先生 東京下谷日暮里町字谷中本175 高田忠周	国学叢刊云々	
88		高橋口	封書	消印なし	大村西崖殿 伏見宮附宮内事務官高橋口	先日は御珍ら敷品々御献上相成…	
89		高橋光威	封書		大村西崖殿 高橋光威	折角の御来遊、歓迎、3日午後6時新潟錫茶屋へ御出を煩はし度…	消印なし
90		瀧精一	封筒欠損	?年2月28日		審美綱領課外講義云々の事、津中学教員の志望者はどうなったか云々	
91		武田豊四郎	封書	明治42年10月3日	牛込区市ヶ谷薬王寺前町八十番地 大村西崖様 講堂室にて 武田豊四郎 早稲田大学名入り封筒使用	小生も無異研究まかりあり云々、今回真言宗阿闍梨丸山貫長師上京、去月14日頃より小石川新長谷寺に於て両部曼荼羅相伝を始められ小生も参加、密教乃至美術神話等について資益得る事多く云々、島村抱月氏は何か印度美学といふ如きものを組織せば面白からんなど申し居られ云々	
92	1	田島志一	はがき	1917(大正6年)5月?日	東京牛込区矢来町3 大村西崖様 ポストンにて田島志一	11年前に同船して当地より渡欧したる事を思ひ出し云々	ボストン、パークアーバンハウス写真入りはがき
	2	田島志一	封書	大正9年10月24日	東京牛込区矢来町3 大村西崖様 鎌倉町 田島志一	病気見舞いお礼、近々論画百絶御上梓の由云々	
	3	田島志一	はがき	大正11年3月17日	東京京橋区紺屋町8 大村西崖様 於巖島 田島志一	巖島神社扁額写真入りはがき。文なし	

	4	田島志一	はがき	大正11年3月18日	東京京橋区紺屋町9 大村西崖様 於巖島 田島志一	巖島神社国宝経巻写真入りはがき。文なし	
	5	田島志一	はがき	大正12年9月14日	東京牛込区薬王寺前町80 大村西崖殿 大津ニテ 田島志一	近江三井寺全景写真入りはがき。竹洞、梅逸の名幅云々	
	6	田島志一	封書 封筒欠 損	?年10月17日		昨朝奈良着、正倉院撮影のこと先方の都合で成らず、大阪に来た。華巖縁起、歡喜光寺一遍上人縁起、原氏の僧俗群集、北野神社舞楽衝立、石山縁起、矢田寺縁起の銘文その他。片野氏、溝口氏云々。京都博物館ニ於テ認ム	
93		田所延治	封書		大村尊台 田所延治	過日御来訪欠礼仕候...画箱ご調製被成下難有 ...	消印なし
94		田中光顕	封書		大村西崖様 田中光顕 書物二函添	華巖略指事一巻及血脉集一巻為持差出候間一 応御取調見被下度...	消印なし
95	1	田辺碧堂(為三郎)	封書	?年4月26日	東京上野(下谷区) 東京美術学校 大村西崖先生 兵庫県武庫郡住吉村 阿部房次郎氏方 田辺為三郎	例の扇面之事勧説候処云々	
	2	田辺碧堂(為三郎)	封書	?年8月20日	東京牛込区矢来町3 大村西崖先生 備中玉島にて 田辺為三郎	これより美作、播州を廻って帰京、又玄社中諸君の詩を取りまとめ下さりたく云々	
	3	田辺碧堂(為三郎)	はがき	?年7月31日	牛込区矢来三 大村西崖先生 御内方様 田辺為三郎 四谷須賀町二	来ル五日(木曜日)近藤廉平男より又玄社諸君を招待云々	
	4	田辺碧堂(為三郎)	封筒欠 損			過夜ハ... (漢詩の) 集会云々	
96		智[全]	封書	大正2年4月1日	東京市牛込区矢来町3ばん地 仏書刊行会主任 大村殿 □□□太山寺 □□	御室版高雄曼荼羅印行についての忠告	
97	1	土宜法龍	はがき	大正10年元旦	東京牛込矢来町 大村西崖殿 高野山座主 法龍		
	2	土宜法龍	はがき	大正11年1月25日	東京牛込矢来町 大村西崖様 大坂浦江了徳院ニ テ 土宜生	ご帰朝のお祝い	
	3	土宜法龍	名刺			拝賀新年 真言宗御室派管長 大僧正 土宜法龍	
98		寺崎広業	はがき		東京本郷区西片町10ホ2号 大村西崖殿 東京神 田上白壁町5 寺崎広業	文面なし。剥がれ落ちたか	

99	1	土居通夫(第五回内国勧業博覧会協賛会会長)	封書	明治34年6月17日	大村西崖殿	御講話拝聴、懇親を結ぶため19日中之島大阪倶楽部にて晩餐会云々	消印なし
	2	土居通夫(第五回内国勧業博覧会協賛会会長)	封書	明治35年1月30日	大村西崖殿	博覧会設備に対する御高話拝聴仕度、本日午後五時東区平野町堺卯楼へお出で願う	消印なし
100		帝国図書館	はがき	大正元年12月24日	牛込区矢来町三番地 大村西崖殿	密教発達流伝年表の礼状	
101		唐招提寺	封書	大正3年2月22日	東京市上野公園美術学校 大村西崖殿 唐招提寺長老 北川智海	前長老大森覚明大和尚本日遷化云々	
102	1	常盤大定	封書	?年2月12日	牛込区矢来町三 大村西崖様 本郷駒込林町二〇九 常盤大定	「支那美術史」一部御譲与被下度云々	
	2	常盤大定	はがき			(岩村成允との寄せ書きは岩村の項に出)	
103		徳富蘇峰	はがき	大正2年11月28日	市内牛込区矢来町3 大村西崖大人 青山南町蘇峰生	マンタラ云々	
104		徳富猪一郎(蘇峰)	はがき	大正1年12月24日	東京市牛込矢来町3仏書刊行会氣付 大村先生 東京市赤坂区青山南町6丁目30番地 徳富猪一郎	密教御小著(密教発達流伝年表) 恵投の礼状	
105	1	富田敬純	封書	大正9年11月16日	牛込区矢来町3番地旧殿 大村西崖殿 東京府豊多摩郡中野町 宝仙寺 富田敬純	論画百絶礼状	
	2	富田敬純	封書	?年8月8日	牛込区矢来町3旧殿12 大村西崖様 東京府豊多摩郡中野町 宝仙寺 富田敬純	9月拝面の栄を得たい	
	3	富田敬純	封書	?年6月20日	牛込区矢来町3旧殿50 大村西崖殿 府下中野町宝仙寺住 富田敬純	大曼荼羅につきご指示、御礼・・・校友会月報送付、御礼	
106		内藤虎次郎(湖南)	はがき	明治44年1月29日	東京牛込矢来町3番地字旧殿 大村西崖様 内藤虎次郎	年賀状	
107	1	長尾楨太郎(甲、雨山)	封筒	大正4年9月3日	東京牛込区矢来町3番地 大村西崖様 京都室町出水上ル 長尾楨太郎	大覺寺門跡が心経殿再建について依頼があつたので御延接くださりたく、紹介する。三好龍彰(京都嵯峨大覺寺内)、芳田宗憲(大覺寺臨時事務局参事)の名刺同封	
	2	長尾楨太郎(甲、雨山)	はがき	?年2月5日	東京市牛込区矢来町3番地 大村西崖様 京都市室町通出水上 長尾甲	八大山人画冊ニ付御申越之義承知云々	

	3	長尾楨太郎 (甲、雨山)	封筒のみ	消印なし	東京美術学校 大村西崖様 京都 長尾甲		
108		中村是公	封筒のみ		京橋区新宿町審美書院 大村西崖殿 中村是公		
109	1	滑川達	封書	大正7年5月15日	牛込矢来町三番 大村西崖先生 東京日本橋区箱崎町四丁目二番地 滑川達	南湖便面、橋本氏一時六七万に評価云々	
	2	滑川達	封書	大正9年11月18日	牛込区矢来町二番地 大村西崖様 箱崎町四ノ二 滑川 達	先日ハ高論拝聴近來之快心事云々、大阪野邸氏云々	
	3	滑川達	封書	大正9年11月28日	牛込区矢来町二番地 大村西崖様 箱崎町四ノ二 滑川 達	金子検取云々、来月三日大阪行き同伴できぬ 云々	
	4	滑川達	封書	大正10年2月12日	牛込区矢来町二番地 大村西崖様 箱崎町四ノ二 滑川 達	漢文	
110		新納忠之介	封書	大正6年10月9日	東京市牛込区矢来町三 大村西崖殿 京都市三条北口亀屋方 新納忠之介	御書面拝読、先月十五日より高知、徳島、兵庫出張から帰り京都滞在中、大分石仏の件、大分県知事か内務部長が文部大臣あて願書を出すのがよい。尊台は文相とは同郷だから充分話し置き下され云々	
111		新聞静齋	はがき	大正9年1月1日	牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 東京麹町区隼町足達内 新聞静齋	年賀状	
112	1	仁和寺	封書	大正3年11月5日	東京市牛込区矢来町3番地 大村西崖殿 京都御室仁和寺門跡寺務所	大正3年11月5日付西崖宛仁和寺事務所文書。 秘密三十帖策子を貴会図写部で撮影印行の件 は落慶式の準備中のため本月中は協議できないと	
	2	仁和寺	封書	?年4月1日	東京市牛込矢来町 大村西崖様 京都御室仁和寺門跡寺務所	別尊雑記国宝修補ニ付云々...	
	3	仁和寺	封筒欠損			学士院賞御授与相成候旨於新聞紙上拝承候... 四月十六日...	
113	1	根津嘉一郎	封書	大正8年4月26日	牛込区矢来町3 大村西崖様 東京市赤坂区青山南町6丁目115番地 根津嘉一郎	旅行から帰ってからでないとお目にかかる ない云々	
	2	根津嘉一郎	封書	大正 [8] 年11月13日	牛込区矢来町3 大村西崖様 根津嘉一郎	近日正木其他之諸君ヲ誘引是非御来遊被下度 候云々	
114		芳賀矢一	封書	明治42年2月10日	牛込区市谷薬王寺前町80 大村西崖様 東京市小石川区口口町3ノ23 芳賀矢一	和漢朗詠集ニつき詳細なる御来示を辱うし千 万難有云々	
115		長谷部隆諦	封筒のみ	?年11月18日	東京市牛込区矢来町三、旧殿 大村西崖様 紀伊国高野山 長谷部隆諦		

116		畠仙齡	封書	?7月25日	東京市牛込区矢来町旧殿 大村西崖先生 伊豆伊 東温泉場 畠仙齡	病氣転地云々	
117		林博太郎	封書	大正11年5月1日	市内牛込区矢来町三、旧殿五〇 大村西崖殿 豊 多摩代々幡町幡ヶ谷三九九 林博太郎	論画百絶、文人画の復興の礼状	
118	1	原貫之助	封書	大正4年6月23日	東京市牛込区矢来町3番地仏書刊行会 大村西崖 様 広島高等師範校 原貫之助	著書ご寄贈御礼...目下東洋美術大観九冊ヨリ 十一冊終結迄座右を離さず日夕拝見致居り候 御蔭様ニテ支那絵画（殊ニ南画の近代的傾向 の一斑明ニ相成申候 吾々南画の智識を有せ ぬ事ニ付ては実ニ衷心汗顏此事ニ御座候 廉 泉の絵集（小万柳堂劇蹟）も拝見致居り候 之ハ同氏と交際ある（北京にて）教授奉職中 にて色々話も聞及び一層興味深ク感申候云々	
	2	原貫之助	封書	消印不明	東京牛込口王寺前町八拾番地 大村西崖様 広島大 手町八丁目 原貫之助	...歳末ニ相成り...其後は久敷御無沙汰...日英博 出品計画...御辛劳...先般高著絵画史御恵与...公 務の余暇...拝読...〔東洋〕美術大観の5冊目を頂 戴したが他の4冊も求めたい云々	
119	1	原田尾山	封書	大正6年11月23日	牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 小 石川大塚窪町38 原田尾山	過日ハ久々ニテ高風ヲ拝シ不堪欣喜...白井雨 山小島独山両氏へハ本日御訪問申上度...	
	2	原田尾山	絵はが き	[大正10年] 6月21日	日本東京市牛込区矢来町3旧殿12号 大村西崖先 生 6月16日上海 原田尾山	江南ノ勝游ヲ了シ更ニ泰山曲阜北京ニ游バン トスルニ蒞シテ	
	3	原田尾山	封筒欠 損			漢詩...奉送帰堂大村老師先生三遊禹域...晚生尾 山原田謹拝手艸	
120		巴里博覽会出 品組合事務所	封書	明治32年9月20日	下谷区根岸町元金杉千七十三番地 大村正[マ マ]崖殿	組合出品物出来、9月28日美術協会に陳列、御 高覽に供したく云々 委員長渋沢栄一・幹事 益田克徳	
121		肥下徳十郎	封筒の み	年次不明 消印 明 治31年10月1日	[東京美術]学校 大村西崖居士様 至急御親披 緘 大阪府堺市北旅籠町 肥下徳十郎 十月一日		
122	1	平子尚(鐸嶺)	はがき	消印 明治39年4月9 日	東京本郷西片町10番地 イセムラヨコ町 大村西 崖様 汽車中にて 平子尚	今吉野にゆかんとす 鐸嶺生 四月八日口 五 條駅にて	
	2	平子尚	封書	明治40年7月20日	静岡県富士川町岩淵 大村西崖様 東京帝室博物 館 平子尚	悔やみ状	
	3	平子尚	はがき	明治42年9月 [18] 日	東京市牛込区薬王寺前町 旧井上邸内 大村西崖様 口田津ニテ 平子尚	東洋美術大観徳川時代原稿云々	箱根簾の滝写真 入りはがき

123		福井江亭	封書	大正9年7月24日	牛込区矢来町三旧殿50号 大村西崖先生 府下巢鴨町駒込〔伝中〕95番地 福井江亭	暑中見舞い	
124		福沢一太郎	封筒欠損			福沢諭吉死亡・葬式通知	
125		藤間静枝	封書	?年2月22日	牛込区矢来町3番地 大村西崖様 京橋区惣十郎町9番地 藤間静枝	礼状	
126	1	法性宥鑊	封筒のみ	大正5年5月30日	東京市牛込区矢来町3 大村西崖先生 高野山遍照光院		
	2	法性宥鑊	封書	大正5年8月18日	東京市牛込区矢来町3 大村西崖先生 高野山遍照光院 法性宥鑊	三十帖策子、阿密哩多軍荼利法礼状、仁和寺所藏の五十巻抄をご覧になり殆んど原本に近く図画の妙驚嘆すべきものの由、他日五十巻抄刊行の際は仁和寺本を使ってほしい云々	
		星野錫	はがき	大正元年元旦	牛込区矢来町三旧殿〔廿九号〕大村西崖様 東京市日本橋区浜町二丁目十四番地 星野錫	年賀状	
128		牧野伸顕	封筒欠損	?年6月15日		釈教諸宗録寄贈礼状	
129	1	正木直彦	封書	明治40年7月19日	東海道岩淵駅 大村西崖様 正木直彦	義父の逝去のお悔やみ状。長沼守敬の悔やみ状同封	
	2	正木直彦	封筒欠損	明治43年2月3日	大村西崖様、桑原羊次郎様 日英博覧会事務局用箋	昨朝ハ態々御見送被下御高情奉拝謝候…日英博覧会古美術品目録についての指示	
	3	正木直彦	封書	大正7年1月31日	静岡県富士郡加島村水戸島塩澤様方 大村西崖殿 東京牛籠矢来町4 正木直彦	悔やみ状	
	4	正木直彦	封書	(文面から大正12年1月)	大村西崖先生 東京牛籠矢来町4 正木直彦	図本叢刊第一出版への賛辞。	消印なし
	5	正木直彦	封書		大村西崖様 正木直彦	からすみのおすそ分けの添え状	消印なし
130		増田慈良	はがき	1912年10月25日	東京市下谷上野公園美術学校教授室 大村西崖様 c/o E Kawaguchi,Central College,Benares 増田慈良	渡印に就ては一方ならざる御厚情を忝う誠に難有存候…去る十五日ベナレス着高楠博士今月上旬来印、目下玉舎城に向はれ…熱心に仏跡調査…	
131	1	股野琢	封書	消印なし 大正6年5月8日	大村西崖殿 帝室博物館長股野琢	特別展覧会に御珍藏画軸御出陳…礼と挨拶	
	2	股野琢	封書	大正10年3月9日	東京牛込区矢来町三 大村西崖殿 相州小田原風祭村 股野琢	文人画之復興礼状	

132		丸山貫長	封書	大正11年12月20日	市内牛込区矢来町 仏書刊行会 大村西崖先生様 四谷代番町七九都法[恩]阿闍梨舎 丸山貫長	東なる口の都も〔永〕すめは室生や高野の こゝちこそする 山中無曆日...魚籃觀音之像 吾未知其像及因由云々	
133		三浦秀之助	封書	1921年7月15日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 H.Miura Boro-bodour hotel. Moontilav, Java	ボロボドル到着、撮影準備中、4ヶ月ほど滞在 し専心撮影に従事のつもり。彫刻の様子。6, 7月頃オランダ政府の保護と援助により立派な 写真八百数十からなるボロボドルの本がジャ ワのバタビヤの書店から出るので申し込んだ	
134		三井源右衛門	封書	大正10年6月29日	牛込区矢来町三旧殿 大村西崖様 小石川区水道 町 三井源右衛門	文人画之復興礼状	
135		三越呉服店	封筒欠 損	?年6月24日	大村様	お買い上げ御礼、今後御引立て相願う云々 裏に西崖の書籍題名メモあり	
136		宮崎穀造	封書	大正9年11月20日	東京市牛込区矢来町三旧殿 大村西崖先生 熊本県 〔以下判読不能〕	論画百絶の礼状	
137		村松万三郎	封書	消印不明	駿河国庵原郡富士川町岩渕 大村西崖様 東京日本 橋区大伝馬町二丁目廿四番地 村松万三郎	書留(5円)の添え状	
138		本山豊実	封筒欠 損		東京市日本橋区矢ノ倉町一番地 幽篁堂 本山豊実	文人画口〔箋か〕第1号より11月号の全部を取り 集めて牛込区東五軒町48番地の長谷川赳夫殿 に送って欲しい云々	
139	1	村上専精	封書	大正9年1月8日	市内牛込矢来町3 大村西崖殿 東京小石川林町 31 村上専精	密教発達志一説を遂げ大に啓發する所有之... 疑問点3箇所回答願う云々	
	2	村上専精	封書	大正9年5月7日	市内牛込区矢来町3 大村西崖殿 東京小石川林 町31 村上専精	貴殿と深い関係のある人の氏名、住所を知ら せよと。5月30日の授賞式に招待すべき人の氏 名、住所を知らせよとの帝国学士院より文学 博士村上専精宛公式通知を同封	
	3	村上専精	封書		市内牛込矢来町 大村西崖殿 東京小石川林町31 村上専精	取次ぎ通知。5月30日に論文、著書、標本等で 陳列すべきものがあれば前日または当日午前8時 までに本院へ送るべしとの公式通知同封	消印不明
	4	村上専精	封書		市内牛込矢来町 大村西崖殿 東京小石川林町31 村上専精	学士院賞受賞関連	消印不明
	5	村上専精	封書	6月10日	大村西崖殿 東京小石川林町31 村上専精	何かの礼状	消印なし
140	1	本山彦一	はがき	大正10年2月16日	東京市牛込区矢来町3番地 大村西崖様 大阪毎 日新聞社 本山彦一	文人画の復興三部御恵送・・御礼	

	2	本山彦一	はがき	大正10年2月16日	東京牛込区矢来町3番地 大村西崖様 大阪毎日新聞社 本山彦一	文人画の復興の礼状	
	3	本山彦一	封書	大正10年5月31日	東京市牛込矢来町3旧殿12号 大村西崖先生 大阪毎日新聞社 本山彦一	ご高著、釧雲泉墓誌拓本、画集の御礼	
141	1	森慶造(国民新聞社)	封書	大正2年6月11日	市内牛込区矢来町3 大村西崖先生 東京市京橋区日吉町20番地国民新聞社 森慶造	先日御芳書御恵投	
	2	森慶造(国民新聞社)	封書	大正8年11月5日	市内牛込区矢来町3旧殿12 大村西崖先生閣下 国民新聞社 森慶造	士夫の画を御宣揚云々	
	3	森慶造(国民新聞社)	封書	大正9年11月18日	市内牛込区矢来町3 大村西崖先生閣下 東京芝区二本榎1丁目60番地 森慶造	論画百絶礼状	
142		矢澤弦月	封書	10月9日	大村先生 矢澤弦月	昨夜ハ遅く迄御邪魔仕り失礼いたし候...拝借金（作画の材料費）の内百円返上...昨夜ハ種々御懇話拝承少なからぬ感激を覚え帰宅仕り候 今後一層真摯熱誠なる研究と努力により一同先生を中心として丁度彼の五重塔が一本の親柱を基本として宏壯偉麗なる建築を現出する如く世に光輝を挙度と衷心より希念いたし居り候	消印なし
143		安村喜当	封書	明治33年4月19日	日本国東京市上野公園東京美術学校 大村西崖殿 清国上海 安村喜当	謹啓 益々御健勝奉大賀候 陳者小生発送ノ際ニハ非常ナル御尽力ニ預リ誠ニ難有深ク奉謝候 其後疾ク拝謝可申述ノ処途中彼是混雜ニ取紛レ延引ノ段御寃恕奉願候 扱小生儀過日來南方即杭州、紹興、甯波、普陀等ノ近傍ヲ巡回致し昨日一先上海ニ戻リ明日ヨリ蘇州、南京、漢口ヲ経テ西北ニ向ヒ可申ト存候 前記既ニ巡回セシ地方ニ於テハ純正美術品ハ比較的の少數ニ有之候得共 又全クナキニアラズ 歴史上有益品数点有之候 美術的以外ニ於テハ運河ノ便、土地ノ豊穣其他人情風俗等頗ル驚入タル事項多々有之 此行ハ日文滬報社ノ井上雅二外一名ヨリ同行ノ依頼有之同行セシニ 右井上氏より紀行ヲ日本の新紙ニ投スル由申口候条 委細ハ右ニ就キ御覽被下度 学校長久保田氏へ〔宜〕□御伝述奉願上候此頃承リ候得共 博物館長更迭相成候趣 驚入候 美術界ノ内情承リ度念望仕候 若シ御用ノ閑も候ハ北京公使館氣付生宛御一報奉煩度願上候 先ハ拝謝旁近情御報迄 早々謹言 十二日	
144		山崎朝雲	はがき	明治41年12月31日	京橋区南紺屋町 大村西崖殿 本郷区駒込千駄木林町142番地 山崎朝雲	年賀状	

145	1	山本悌二郎	封書	大正11年12月19日	牛込矢来三旧殿50 大村西崖様 山本悌二郎 東京府荏原郡目黒村大字目黒2658	御来示ニ依り金貳百拾六円五拾錢此処小切手 封申上仕候間御査収之上可然御取計願上候	
	2	山本悌二郎	封書		大村西崖先生 宝絵録一帙相添 山本悌二郎 東京府荏原郡目黒村大字目黒2658	宝絵録第十三巻子昂の怡楽堂巻のこと...此の書は偽物を作りて之を売らむか為め編纂せしものなりとの悪評も有之...御研究願上候云々	消印なし
	3	山本悌二郎	封書	大正13年2月16日	牛込区矢来町三旧殿12号 大村西崖様 同上	怡楽堂図巻改装出来上り御送付を蒙り正に落手仕候云々	
146		鎌田	封筒欠損	?年8月24日		25日に本照寺で祖父十三回忌法要を行なう云々	
147	1	結城素明	封書	明治40年7月20日	駿河国庵原郡富士川町岩淵 大村西崖様 七月十九日 府下千駄ヶ谷町八四一 結城素明	御尊父様御逝去云々、悔やみ状	
	2	結城素明	はがき		牛込区矢来町三旧殿十二号 大村西崖様 本郷西片町十 結城素明	第4回金鈴社展覧会出品自筆「夏草」写真入りはがき使用。今晚お招きに預かったが行けない云々	消印不明
148	1	柚木梶雄	封書	明治45年7月18日	東京牛込矢来町3 大村西崖先生 岡山県備中玉島町 柚木梶雄	小生頃日友人十数名の依頼で東洋画の宗派、用筆、用墨、気韻等について毎月1回口演...貴著日本・支那絵画小史を極約し略述...印刷して社中に頒布したい。貴著の版権を侵害しないと思うが念のため承諾頂きたい。小生の為人は三島中州翁、宗星石、杉溪六橋に聞いて頂きたい。東洋美術小史一部ご割愛願いたい云々	
	2	柚木梶雄	封書	明治45年7月24日	東京牛込区矢来町3 大村西崖先生 岡山県備中玉島町 柚木梶雄	王維の水墨山水についての質問	
	3	柚木梶雄	封書	大正11年5月24日	東京牛込区矢来町3番地 大村西崖先生 京都麁屋町錦上招福旅館 柚木梶雄	昨午後七時半此地七條停車場ニ金陳一行相迎申候 麁屋町澤文旅館ニ投宿ニテ四五日間滞在被致候様被申居候 御地ニテハ大もてにて大満足被致居候様被察候 京都ハ人ニ乏しく御地の様にハ盛ニ歓迎之事六ヶ敷遺憾ニ御座候 □湖南雨山二翁の在る有り同志八九名と一会催候事ニ致居候。...先日竹垞君と一夕此地ニテ遊申候云々	
	4	柚木梶雄	封書	4?年7月22日	東京牛込区矢来町3 大村西崖先生 岡山県備中玉島町 柚木梶雄	中国画家についての質問	
	5	柚木梶雄	封書	?年10月9日	東京牛込矢来町3番地旧殿12 大村西崖先生 岡山県浅口郡玉島町矢出町 柚木梶雄	又玄画社社員に加える通知に対する礼状、図本叢刊会入会、知人勧誘中云々	

149		龍谷□□	封書		大村西崖様 東京市麹町区有楽町1丁目1番地 南 満洲鉄道株式会社東京支社 龍谷□□	支那美術史彫塑篇...写真の大理石像ハ西安ニ て掘出し候ものにて原物ハ大連ニ有之候處 云々	消印なし
150		量平	封筒欠 損	?年6月19日	東京麹町区飯田町五丁目川岸二号ノ一 量平 大村 御主人様 虎皮下	何かの詫び状	
151	1	鷺尾順敬	封書	[明治30年] 12月2日	駿河富士郡加島村 塩澤方 大村西崖様 東京本 郷弥生町三、溯源窟 [澆]野哲海 鷺尾順敬	御令弟塩澤觀山君御遠逝之由云々、弔辭	
	2	鷺尾順敬	封書	明治44年3月22日	牛込区矢来町三番地字旧殿五十号 大邨西崖様 東京市本郷区駒込富士前町四十三番地 鷺尾順敬	月刊雑誌「仏教史学」発行致したく、第2ない し3号に寄稿願う云々 ※はがき同封 古画涅 槃図ニ蓮浦洪基盟手写時壬寅湯月也とある画 家の小伝を知りたい云々	
152		渡辺□□	封書	?2年10月15日	牛込区矢来町三 大村西崖様 江東□□□ 渡辺□□	小切手受領云々	
153		差出人不明	はがき	大正12年11月11日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖 先生	図本叢刊予約の件	
154		差出人不明	封筒のみ	大正11年6月6日	東京 美術学校教授 大村西崖先生 親展		

大村西崖資料目録 II-A書簡(大村西崖宛)

(2)中国人

a. 書簡（廉泉と小万柳堂鑑藏書画展覧会関係）

(注)『東京芸術大学百年史』東京美術学校篇第2巻P595, 596参照。小万柳堂鑑藏書画展覧会は大正3年6月6, 7日、美校文庫で開催。出品作より30点を選んで同年7月、審美書院より『小万柳堂劇蹟』を刊行。

番号	枝番	差出人名	形態	日付	住所	本文	備考
1	1	廉泉(南湖)	封書	大正3年5月31日	牛込区矢来町3番地旧殿第50号 大邸西崖殿 東京麹町平河町3丁目旅館金生館 廉泉之印	湖南四次來書約往游京都大阪...股野、今泉兩君...中州先生...	
	2	廉泉(南湖)	封書	大正3年7月6日	牛込区矢来町3番地旧殿第50号 大邸西崖殿 東京麹町平河町3丁目旅館金生館 廉泉之印	両部曼荼羅の礼...宮氏の遺嘱...近藤男爵...公与正木校長共同弁事...泉非當利之徒、与羅叔蘊李平書諸君同觀也...	
	3	廉泉(南湖)	封書	大正3年7月14日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号 大邸西崖殿 神戸市山手通3丁め5/4 廉南湖	漢訳支那絵画小史校勘記、漢詩添え	
	4	廉泉(南湖)	はがき	大正3年8月4日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿	上海曹家渡小万柳堂之帆影樓と南湖居士廉泉肖像の写真入り。昨辰到京都寓俵屋旅館、西村時彦君自大阪來会与湖南君宴談...今晚七時趣長崎	
	5	廉泉(南湖)	封書	大正4年3月6日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 上海曹家渡小万柳堂 廉南湖	明人吳彬の文殊像の写真を大著彫刻史資料として送る...中国彫刻の最古者は... ※新聞(か)所載漢文切り抜き同封	
	6	廉泉(南湖)	はがき	〔大正4年〕4月16日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号 大邸西崖[ママ]殿 東京神田今川小路2/1百城商会 (印)廉南湖	漢詩2首ほか	
	7	廉泉(南湖)	はがき	〔大正4年〕6月3日	東京市上野公園 美術学校 大村西崖[ママ]殿 於上海 廉泉(代筆か)	其後ハ御不容に打ち過ぎ申候 扱て私本月六日山代丸にて当地出立 神戸へ向け上陸致し京都へ参り候 余ハ拝目之上 先ハ御通知迄 六月三日 早々	消印不明
	8	廉泉(南湖)	はがき	大正4年6月9日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 神戸海岸通4丁目 西村旅館寄	6月9日神戸着、京都は嵐山本願寺別荘に寓す。湖南博士、正木校長、寒緑先生云々	
	9	廉泉(南湖)	はがき	大正4年6月11日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 神戸海岸通4丁目西村旅館 廉泉	博文堂主人昨赴京都、与内藤博士商定書画展覧之事云々	
	10	廉泉(南湖)	はがき	大正4年6月14日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 京都亀利旅館寓	新寓居の通知 烏丸通五条南 亀利旅館 廉	

	11	廉泉(南湖)	はがき	大正4年6月29日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	第著美術史彫塑篇拝賜驚嘆...貴校寄存書画今晨佐藤君将来、正木校長及北浦先生前皆乞、代達惊内藤富岡両君來展観展览扇面惲南田筆六十四枚之多無一枚不精、両君驚嘆...	
	12	廉泉(南湖)	封書	大正4年7月19日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	誰かの西崖宛手紙	
	13	廉泉(南湖)	はがき	大正4年7月20日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	江上瓊山君毎日必來展観百枚研究書画踊躍歡喜...	
	14	廉泉(南湖)	はがき	大正4年7月23日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	公与正木校長將入洛展観書画、僕甚歡迎日夜翹企以待 ...	
	15	廉泉(南湖)	はがき	大正4年8月2日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿50号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	阿部房次郎欲購扇面五十三枚 謂尚有一千枚於全部無傷云々 僕以扇面目錄既流伝于世一枚不得分割拒之 此報 大村先生執事 南湖	廉泉肖像写真入り はがき
	16	廉泉(南湖)	はがき	大正4年8月11日	東京市牛込区矢来町3番地50号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	扇面全部擬在京都編輯次第出版月刊二冊...	
	17	廉泉(南湖)	封書	大正4年8月21日	東京市牛込区矢来町3番地50号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	近日擬印刷扇面大觀、以公同好、只因小林製版、不及審美書院之精...拙荆來書、欲速了書画付託之事、其意極贊成 貴校之計画、謂能得十万金、扇面以外之劇蹟、如王建章全部、南唐澄清堂帖、明清之挂幅、董其昌小楷史記等、願捐贈於貴校、不另取価、扇面全部、必須作価十万金、其余送贈、一錢不受。拙荆之意如此、用特直陳、乞転商 正木校長、可否照允、賜示為幸 廉泉再拝	
	18	廉泉(南湖)	封書	大正4年8月23日	東京市牛込区矢来町3番地51号 大村西崖殿 京都烏丸通五条南 亀利寄 廉泉	廉泉、夫人か(「写東游草之藤田緑子」とあり)の肖像写真入り便箋使用...泉連日接家書、芝瑛因久病未癒、欲速了書画付託之事、助口美德北京女子大学之建築頗贊成...	
	19	廉泉(南湖)	はがき	大正5年8月24日	東京市牛込区矢来町3番地52号 大村西崖殿 有馬暫止之客	「南湖居士鼓瀧灌足図」(写真)入りはがき 漢詩(印刷、...)	
	20	廉泉(南湖)	封書	[大正7年] 5月6日	牛込区矢来町3番地字旧殿12号 大村西崖殿 東京小石川区宮下町65番地 美術扇面館 南湖	辱教欣感交集不知所以為詞先生為世外人之真知己於書画有真識与真好者所惟先生一人而已 扇面全部自落吾手 至今得全部寓目者所只先生与正木校長江上瓊山三人而已 至敝国中雖人人知為廉氏家宝得全部寓目者尚無一人 南北風雲慘淡 世變不可知 吾兒女皆無好古之思想 家宝万難世守政府又無可付託奈何、中村旅行未帰寺崎以病氣辭 青萍恬斎白岩諸賢皆到可一醉也 五月六日 南湖再拝 知心居士閣下 名刺「張繼滄州」1枚同封	消印切り取り

	21	廉泉(南湖)	封書	大正7年3月31日	牛込区矢来町3番地字旧殿12 大邨西崖殿 東京小石川区宮下町65番地 美術扇面館 廉泉	...泉來東養病忽々半歲一春が臥蓐今少々癒下月内又將西帰 拙荊寄到小横額奉贈一幅乞賜教正、凡同好諸賢皆分贈一枚為記念 此四字於先生為最宜、一笑 ※芝瑛の書「画禪詞味」同封	
	22	廉泉(南湖)	封書	大正7年4月23日	牛込区矢来町3番地字旧殿12号 大邨西崖殿 東京小石川区宮下町66番地 美術扇面館 廉泉	謹詹於四月廿四日午后五時潔尊候 光廉泉拝訂 席設中華第一樓	
	23	廉泉(南湖)	封書	大正7年5月2日	東京美術学校 大村西崖殿 東京小石川区宮下町66番地 美術扇面館 廉泉	漢詩、謹詹於五月六日午后六時餞春雅集潔候 光臨預賦四絕奉呈 累正是日携歷朝書画名跡數点娛我嘉賓伏乞審定諾否如何煩零口〔くさかんむりに間〕回答 知心居士執事 廉泉拝訂 是日席設麹町区三年町二番地王鴻年家是日座客為正木校長、近藤男、末松子、香国仙史、白岩子雲、山本二峯及章公使王鴻年秘書也 望先生転訳校長偕臨慶幸何似	
	24	廉泉(南湖)	封書	大正7年5月5日	牛込区矢来町3番地字旧殿12号 大邨西崖殿 東京小石川区宮下町66番地 美術扇面館 廉泉	翌日晚餐...末松、近藤、白岩諸賢皆必到、中邨、寺崎両画伯、正木校長云々 ※新聞(上海新聞)所載漢詩切り抜き同封	
	25	廉泉(南湖)	封書	大正7年7月1日	牛込区矢来町3番地字旧殿12号 大邨西崖殿 東京小石川区宮下町67番地 美術扇面館 廉泉	扇面大觀一部、宮崎君昨在敝館携去、...去月廿九日小室翠雲画伯約在香雪軒談宴、僕携扇帖數十葉去、相與欣賞、小室君驚嘆不措、林文昭君本日口送扇面全部往神戸、応小寺謙吉君之約、...	
	26	廉泉(南湖)	封書	大正7年7月23日	牛込区矢来町3番地字旧殿12号 大邨西崖殿 東京神田区南神保町7番地 廉南湖	※「春野女史仝子廉小湖」写真入りはがき封入。漢詩ほか	
	27	廉泉(南湖)	封書	大正10年	牛込区矢来町3番地字旧殿12号 大邨西崖殿 北京東師府胡同愛山寄廬 南湖水居士	※年賀状封入	
	28	廉泉(南湖)	封書	大正10年12月	本埠西華德路5号 豊陽館 大村西崖殿 梵王渡 180号 小万柳堂緘	十二月廿五日午餐候 教廉泉謹約席期委託汪亞塵君為小生代表到貴館歡迎	消印切り取り
	29	廉泉(南湖)	封書	大正10年〔12月〕	本埠西華德路5号 豊陽館 大村西崖殿 梵王渡 180号 小万柳堂	小生患寒疾兩月有余近且咯血頭昏眼花不堪顧口、拙荊亦經年臥病藁裏...唐吉生...吳昌碩、王一亭...	
	30	廉泉(南湖)	封書	大正10年12月29日		西湖志二口〔辞書にない字〕惜抱尺牘一□〔同前〕送呈西華德路五号 豊陽館 大村西崖殿 梵王渡小万柳堂 岬雲和南 十二月廿九日 未愈不能同游西冷尽東道之誼...今奉呈西湖志可入行篋為少文臥游之資 所刻 惜抱尺牘係道咸間書家高伯平先生写本字体渾穆...吳畫師...所索画幅及小伝云々	消印なし。手渡しか
	31	廉泉(南湖)	封書	大正11年1月	本埠西華德路5号 豊陽館 大村西崖殿 小万柳堂緘	年賀状。	消印なし

	32	廉泉(南湖)	封書	大正11年1月6日	本埠西華德路5号 豊陽館 大村西崖殿 梵王渡 小万柳堂 一月六日	…蔣孟蘋君處山人已通書曰先生歸自西冷將於七日或八日前往寫真 先生定於何日前往請用電話通知蔣宅可也…蔣宅電話(西、七四三)	
	33	廉泉(南湖)	封書			漢詩。…西崖居士東歸二首呈 教黯然之情不能自己 南湖病榻吟 ※西崖帰国時に贈ったもの。封表に「詩箇」とのみ記す	消印なし
	34	廉泉(南湖)	はがき	消印なし。封筒に入っていたものか。中華民国郵政明信片を使用。		(印刷文)謹啓者南湖芝瑛入山養病以憇塵勞即日全家離滬與諸親友告別從此通信機関一概斷絕凡我愛者幸忽以世事相聞臨別贈言伏祈亮察無任主臣 小万柳堂 廉南湖 吳芝瑛 同啓(墨書)敬啓者大病不死仍當來游山荊病未全愈尚在醫院 凡書畫古玩皆擬捨去弁公益事前存貴校之物有相當之賢主人 乞介紹售去該価由 先生酌定可也 寒綠先生前所請以此事託之求介紹售主此上 大村西崖先生執事 南湖 五月廿九日 再啓者僕候山荊能出醫院即携書畫扇面全部及書畫劇蹟數枚來游凡此身外之物皆可割愛 求先生為我奔走運動將所 藏全部售去擬以五分用費為酬勞之款 如售價一萬円 酬金五百円也 專此密約望盡力為幸 姚廣孝為徐中山王作山水卷 宋高宗御書徽宗文集序卷 倘幾子昂合書千字文卷 松雪楷書度人經冊 王石谷倣宋元山水小帖 此次行管中所堆此悉申之	

※書簡以外

番号	枝番	題名	形態	内容	備考
2		獲古会規約草案	單紙2枚に墨書	國立美術館の設立を希望し、その列品の基礎を作るため小万柳堂蔵品中の佳なるもの(目録あり)を選んで購買し、一旦東京美術学校に寄附し、國立美術館設立の上はそれに移管する。購買の資金として寄付金(一口千円)10万円を募集するという主旨。	
3		廉泉「東遊草」一~三	原稿用紙3枚に墨書	次韻奉酬中洲先生 廉泉——5月18日に中洲と門下生たちに会う 読十洲文稿即次見贈詩韻 題井々居士独抱樓詩文稿——井々居士=竹添進一郎 贈鳴鶴翁——日下部鳴鶴に5月25日に会う 得寒厓五月廿二書謂江南氣候近如初冬且問帰期以詩奉答二首 寄井々居士	
4		三島中洲詩稿	原稿用紙1枚に墨書	贈廉南湖先生 八十五翁三島毅 南湖先生齋來古名書見示賦此以謝 贈南湖先生次答孫寒厓韻	
5		廉泉と西崖の筆談の記録	原稿用紙4枚に墨書	廉泉蔵品売買について正木校長、進藤男爵との交渉のこと	

6	南湖四宝	印刷物1枚	墨書付記「四宝及清室此小品又清室扇面一冊三十二枚皆在行笈明日皆可展觀」	
7	乾隆御覽書画小品	印刷目録	墨書付記「此次東游行笈中所携有此廿四種足慰寂寥矣 擬即日来京寓神田今川小路二ノ一百城商會容當奉訪一傾積壠并携此小品乞公審定也 肅候 知心居士起居 南湖再拜 正木校長前乞致企頌 ・・・	
8	廉南湖与日本貴族院議員下條正雄書	新聞切抜き。同じものが3枚		
9	此篇係廉先生歴史及小万柳堂古画並珍玩之佳美 Notes on Art Collection of Lien Hui Ch'ing, known as the "Little Myriad Willow Hall" Collection. LUELLA MINER D.L.	印刷物1枚。同一のもの6通あり。		

大村西崖資料目録 II-A.書簡(大村西崖宛)

(2) 中国人、朝鮮人

b. その他

※中国人

番号	枝番	差出人名	形態	日付	住所	本文	備考
		岩村成允			「日本人」の項を見よ		補遺にて〔中国関連〕とあり
1	1	汪亞塵	封書	民国（10）年12月22日	虹口西華德路豊陽館 大村西崖殿 汪亞塵	南湖先生口地駕来上海喜出望外云々、唐吉生君云々。末尾に日本語で「私は美校西洋画卒業期学生です」とあり	上海美術専門学校名入り封筒使用
	2	汪亞塵	封書	民国11年1月7日	虹口西華德路五号豊陽館十五番室 大村西崖先生 汪亞塵	上海美術専門学校名入り封筒使用「校址 上海西門白雲觀左近」の朱印あり 1月6日付け汪亞塵宛廉南湖手紙同封	消印なし
	3	汪亞塵	封書	民国11年1月14日	日本東京牛込区矢来町三 大村西崖先生 汪亞塵	別後…西湖置地建築…先生代付学費云々	上海美術専門学校名入り封筒使用
	4	汪亞塵	封書	民国11年2月3日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖先生 汪亞塵	置地築書画俱楽部事…南湖先生…云々	
	5	汪亞塵	封書	民国11年2月20日	日本東京牛込区矢来町三 大村西崖先生 上海白雲觀美術学校 汪亞塵	近日石野弘哲氏在滬発起日支聯合美術展覧会	
	6	汪亞塵	封書	民国11年3月12日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖先生 汪亞塵 上海西門白雲觀 美術学校	上海郊外置地事…南湖先生極為同上徐家口一番地云々	
	7	汪亞塵	封書	民国11年3月29日	日本東京牛込区矢来町三 大村西崖先生 上海西門白雲觀美術学校 汪亞塵	金拱北君來上海、南方諸作家作品集得、四月初旬東渡、上海で中日絵画聯合展覧会を組織、周天初卒業制作評点云々、自画像を返してほしい云々	
	8	汪亞塵	封書	民国11年4月14日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖先生 上海西門美術学校 汪亞塵	中日聯合展覧会記事云々	天馬会名入り封筒使用
	9	汪亞塵	封書	民国11年4月21日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖先生 上海西門白雲觀 美術学校 汪亞塵	自画像を郵送、在学中の周天初が代理提出、卒業証書務請云々	天馬会名入り封筒使用
	10	汪亞塵	封書	民国11年4月21日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖先生 上海西門白雲觀 美術学校 汪亞塵	学校洋画部管理岡先生來書…自画像のこと、書画俱楽部事其進行如何云々	天馬会名入り封筒、用箋使用
	11	汪亞塵	封書	民国11年5月10日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖先生 上海西門白雲觀美術学校 汪亞塵	卒業証書送付と授業料代納の礼、先生画会組織、王一亭、唐吉生同意云々	天馬会名入り封筒と上海美術専門学校用箋使用

	12	汪亞塵	封書	民国11年5月15日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖先生 上海西門白雲 觀 美術学校 汪亞塵	卒業証書到着報告、礼状	天馬会名入り封筒、用箋使用
	13	汪亞塵	封書	民国11年5月25日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖先生	近日貴国画家山内多門來滬曾晤致於王一亭君 家、所有創弁書画俱樂部之議云々	
	14	汪亞塵	封書	消印判讀不可	虹口西華德路五号豊陽館 大村西崖先生 一月八日 汪亞塵	月曜午前9時に行く云々	上海美術専門学校 名入り用箋使用。 西崖の居所から民 国11年と思われ る。
	15	汪亞塵	封書	民国12年?月?日	日本東京牛込区矢来三 大村西崖先生 上海 汪		天馬会第6届絵画 展覧会開催 (1923.8.4~10) 案内印刷物
2		汪	封書		扶桑館 大村先生 汪		消印なし
3		王一亭	封筒 欠損	1926年		「恭賀新年 丙寅元旦 王一亭」	
4	1	王孝[蕉]	封書	消印 1925年9月28 日	日本東京牛込区矢来町3番地 大村西崖先生殿 北京 東四六条南板橋胡同甲8号 王孝[蕉]	書籍等購入関連	
	2	王孝[蕉]	封書	消印 TOKIO19.3.26	日本牛込区矢来町3番地 大村西崖先生殿 北京東四 六条南板橋胡同甲8号 王孝[蕉] 三月五日	書物価格云々 丙寅[1926]正月二十一日	
5	1	金拱北(紹 城)	封書	民国10年9月6日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖先 生台啓 為感文訪蘇寄託 北京 金拱北奉託	文人画之復興、中華墨宝精采云々	
	2	金拱北(紹 城)	封書	[民国11年] 7月3日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖君 殿 北京 錢糧胡同金緘	陳衡恪、金紹城、吳熙曾連名の東京滞在中の歓 待に対する礼状	
	3	金拱北(紹 城)	封書	甲子(大正13年)重 午	東京牛込区矢来町 大村西崖殿 肇伯拝託	門生方口[さんずいに名](字子易)紹介状	
	4	金拱北(紹 城)	封書	?年5月17日	牛込区矢来町三番地 大村西崖殿 東京神田駿河台南 甲賀街 旅館龍名館本店 金拱北		
	5	金拱北(紹 城)	封書	?年10月28日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖先生台啓 北 京錢糧胡同金緘	又玄画社展覧会云々	
	6	金拱北(紹 城)	封書	消印不明	一月廿一日 日本東京市牛込区矢来町三番地 大村 西崖先生 啓 北京錢糧胡同金緘		
	7	金拱北(紹 城)	封書	消印不明	東單扶桑館 大村先生 錢糧胡同金緘	四月十二日自宅にて招宴 金紹城の名刺同封	
6	1	陳師曾	封書	民国10年11月4日	東單牌樓扶桑館 大村西崖先生惠啓 庫資胡同 陳衡 恪	自宅へ招待云々	

	2	陳師曾	封書	民国10年（1922）11月27日	東單扶桑館 大村西崖先生 庫資胡同 陳寓	撮影紹介の件	
	3	陳師曾	封書	〔民国10年11月〕21日	東單牌樓扶桑館 大村西崖先生 庫資胡同 陳より	近代画家紹介云々	
	4	陳師曾	封書	〔民国10年11月末日頃〕	扶桑館 大村西崖先生 陳	周肇祥(養庵)宅訪問の件、30日付周の陳宛書簡同封	
	5	陳師曾	封書	民国11年1月26日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖先生 支那北京庫資胡同 陳師曾	文人画之復興訳稿、拙著文人画之価値、画のこと	
	6	陳師曾	封書	大正11年2月21日	日本東京牛込区矢来町三番 大村西崖殿 北京庫資胡同 陳	拙作二幅為又玄社展覧之用云々、「以詩呈又玄社諸君」同封あり	
	7	陳師曾	封書	大正11年4月18日		禹域今画録のこと、東京へ行く云々	
	8	陳師曾	封書	民国〔11〕年7月11日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖殿 支那北京西城庫資同三号 陳衡恪	来日帰国後の消息	
	9	陳師曾	封書	〔民国11年〕8月3日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖先生 支那北京庫資胡同 陳		
	10	陳師曾	封書	1922（民国11）年10月26日	日本東京牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖先生 支那北京西城報子街西庫胡同 陳衡恪	日本語文 湯、蕭、吳の画を郵送する云々	
	11	陳師曾	封書	民国12(1923、大正12)年3月24日	日本東京牛込区矢来町三番 大村西崖先生 支那北京庫資胡同 陳	片簡飛來…金君、今閑君……社小弟衡恪	
	12	陳師曾	封書	民国12年7月12日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖先生 中華民国 北京庫資胡同 陳	金と自分の作各30幅を送った云々	
7	陳彥和(隆恪)(衡恪の弟)			民国12年10月15日		日本語文 大震災見舞い、兄死去後の整理、今秋の展覧会用に兄が送った作品30枚は展覧会開催不可能だろうから送り返してほしい	
8	1	陳鐘凡	封書	消印不明 年次不明 1月7日	日本東京牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 中華江蘇南京 [封筒、便箋とも国立東南大学の用箋]	名刺「東南大学 陳鐘凡 韻玄江蘇鹽城」同封 名刺「廉泉 南湖住西北翠花街高義伯胡同九号」関賡麟を紹介する旨記入あり。この封書に紛れ込んだだけか	
	2	陳鐘凡	封書	消印 民国〔12〕年4月23日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村西崖先生 中華南京国立東南大学 陳韻玄穀	国学叢刊云々	
	3	陳鐘凡	封書	民国14年1月21日			
9	1	陳彬龢	はがき	消印不明 年賀状	日本東京牛込区矢来町3番地 大村西崖先生 陳彬龢 寄自天津南開大学		

	2	陳彬龢	封筒 欠損	年次不明 1月13日		東洋美術史惠賜御礼、招請日本文翻訳員、切り抜き(国立北京大学第三院研究所国学門発行、陳垣撰『二十史朔闇表』の予約広告)同封	
10	1	賀嗣章	封書	民国11年5月1日	東京美術学校教授 大村西崖[ママ]様親展 北京東單総布胡同三十号 賀嗣章	北京、三井物産株式会社用箋使用、大正十一年四月三十日賀嗣章とあり日本語文 禹域今画録の礼状、劉氏の同様礼状(「監督京師税務公署用箋」使用。よって劉驥業<大正10年12月8日初対面と判明。>	
	2	賀嗣章	封書	民国12年9月7日	東京市牛込区矢来町三、旧殿 大村西崖様 北京東翠西總布胡同三十号 賀嗣章	景樸孫の伝言云々	「北京、三井物産株式会社」名入り用箋使用、日本語文。
11		朱景賢	封書	(民国11年) 1月12日		「栗原康堂兄面呈 大村帰堂先生台啓」とあり。藏品の梁令瓊五星二十八宿図、盧鴻艸堂十志図、燕文貴溪山風雨図の件	消印なし
12		陶宝如	封書	(民国10または11年)	大村西崖先生 北京東華門外酒茲府街 陶	菊花図、小伝、潤筆料の送り状。小伝と潤筆料を記した印刷物のみ在中	消印、年記なし
13		徐養吾・宗浩・林行	はがき	民国10年12月7日	東單牌樓扶桑館 大村西崖先生 徐宗浩林行	会う約束	
14	1	劉驥業	封書	民国10年12月31日	上海西華德路重陽館 大村西崖先生 北京爛漫胡同劉	依頼された作画のこと	
	2	劉驥業	はがき	民国11年1月元旦	上海德華路豊陽館 大村帰堂先生 北京爛漫胡堂四十八号 劉驥業		
	3	劉驥業	封書	年記なし 11月23日	東單總布胡同三十号後門 賀大人 賦湖甫 台啓 德勝門 土城園西翼税務分局 劉	帰堂先生に自分の潤筆料を知らせ、画と小伝を送る云々。※「劉濟生書画潤格」(辛酉夏月訂、琉璃廠清秘閣青雲閣景行山館作成印刷物)3枚同封	
15	1	劉華瑞	封書	民国9年12月7日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖殿 支那上海長浜路愛仁里十七号 劉華瑞	賜寄密教史拝読云々	
	2	劉華瑞	封書	民国10年1月16日	日本東京市牛込矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖先生 Mr.H.S.Liu, No.17 Irene Lane, (Hart Rd.Junction)The Western Rd., SHANHAI 劉華瑞	高野山僧宥照云々	
	3	劉華瑞	封書	民国10年2月7日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖殿 支那上海長浜路愛仁里十七号 劉華瑞	日本の密教の近状について質問	
	4	劉華瑞	封書	民国10年3月7日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖殿 支那上海長浜路愛仁里十七号 劉華瑞	日本の密教の近状について質問	

	5	劉華瑞	封書	8月7日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖殿 支那上海長浜路愛仁里十七号 劉華瑞	賜贈大著一帙見者莫不驚云々	
16	1	羅君楚	封書	大正6年2月13日	東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖殿 京都淨土寺 町八、九 羅君楚	仏書について問い合わせ、家君命筆問安云々。 (羅君楚は羅振玉の息子。西崖の大正5年の日記に、8月2日、京都へ行き、東山学舎に羅振玉を訪問し、味付け海苔を贈り、芸苑大綜への賛成と藏品の撮影許可を請い、外にも物を贈り合ったこと、息子の福蔵が通訳にあたったことが記されている。)	
	2	羅君楚	封書	大正6年2月15日	東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖殿 京都淨土寺 町 羅君楚	謝辞、問い合わせ、家君命筆敬口云々	
17	1	羅福蔵	封書	大正4年5月24日	東京牛込区矢来町三番地 大村西崖殿 京都市淨土寺 馬場八番九番 羅口言 留守宅(羅福蔵)	家君返国、両星期後返京都云々(羅福蔵は羅振玉の息子)	
	2	羅福蔵	封書	大正6年2月12日	東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖殿 京都淨土寺口 羅君楚緘寄	…家君自両月以来胃疾…十数年前姉崎博士が著した印度古代宗教、印度宗教史(考)を入手したい …家君令筆向 安	
	3	羅福蔵	封書	大正7年12月7日	東京市牛込区矢来町 大村西崖殿 京都淨土寺町 羅 君楚	西夏文字を見たら拓本なり写真なりをほしい。 家君命筆道傍	
	4	羅福蔵	封書	大正7年5月3日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖殿 京都淨土寺馬場町八番九番 羅福蔵	密教發達志出刊云々、家君現適返国不日東帰 云々	
	5	羅福蔵	封書	大正7年5月22日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村西崖殿 京都淨土寺馬場町八番九番地 羅	家君前日返東、密教發達志云々	
	6	羅福蔵	封書	民国8年9月2日	日本東京牛込区矢来町三番地 大村西崖殿 上海山海 閔路積治里二五四号 羅	大日本佛教全書(明治45~大正11年刊行)中の一部を特別割譲してほしい。	
	7	羅福蔵	封書	民国8年9月2日	日本東京牛込矢来町三番地 大村西崖殿 支那上海山 海閔路積治里二五四号 羅福蔵和南	宿痾帰国、家君も帰国、古文書について問い合わせ、高楠先生云々	
	8	羅福蔵	封書	封筒欠損		仏書研究…訳語云々。	
	9	羅福蔵	封書	日付なし	大村先生惠啓	軍口利法[阿密哩軍荼利法(大正5年刊行)]云々 家君云々	
18		廉泉(南湖)			★別項目・廉泉と小万柳堂鑑藏書画展覧会関係にあり。		
19	1	唐熊・唐吉生	封書	民国11年5月12日	日本東京牛込矢来三 大村帰堂殿 上海自来火街 唐 吉生	先生開聯合展覧会、西湖書画会云々、西湖有美 書画社の建物の件	
	2	唐熊・唐吉生	封書	年記なし	日本東京牛込矢来町三 大村西崖殿 上海 唐吉生		

	3	唐熊・唐吉生	封書	年記なし 廿一日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖殿 上海法界貝[勒]路三七三〇 唐吉生寄	橋本(関雪か)先生、西湖画会、秋季有聯合画会在上海举行云々	
	4	唐熊・唐吉生	封筒欠	年記なし	唐熊		
	5	唐熊・唐吉生	封筒なし	年記なし	呂萬、唐熊連名	発起西湖有美書画社云々	
	6	唐熊・唐吉生	封筒のみ	民国11年3月1日	日本東京牛込矢来町三 大村西崖殿 上海法界自来大行東街仁昌里一三六号 唐吉生		
	7	唐熊・唐吉生	年賀はがき	1月7日	日本東京牛込大[ママ]来町三 大村西崖殿 唐熊		
20		沈立之	封書	民国11年1月2日	上海虹口西華德路豊陽館旅館 大村西崖様 蘇州護龍街德安里 沈立之	画と経歴の送り状	
21	1	宝華書店	封書	民国11年1月9日	日本東京市牛込区矢来町三番地交 東京美術学校教室呈 大村西崖先生 燕京琉璃廠宝華書店 十二月三十一号 蔣汝藻		
	2	宝華書店	封書	年記なし	豊陽館 大村先生 蔣	明晩会う旨。名刺「蔣汝藻 孟蘋」同封	
22		佟濟煦	封書	(民国10年) 12月16日	東单扶桑館 大村西崖殿 佟	清皇室所藏各種画、陳太保、保護版権云々。※同封名刺に「六等文虎章 陸軍三等軍需正 參謀本部科員 二等銀色獎章 佟濟煦 楷先住地安門火薬局門牌十四号」	
23		廖恩燾	封書	大正12年1月9日	東京美術学校 大村西崖殿	月ノ二十一日...席設麹町区永田町中華民国公使館...の通知	
24		国立東南大学図書部	封書	民国12年3月6日	日本東京市牛込区矢来町三番地旧殿十二号 大村帰堂先生		
25		中華江蘇国立東南大学陳鑑玄寄				密教發達志、支那美術史彫塑篇寄贈の礼状。陳鐘凡の礼状添え	
26		文宗淑	封書	大正12年10月20日	牛込区矢来町 大村西崖様 封筒裏には「麹町区三年町 中華民国公使館臨時弁事處 文より」「千葉県長生郡本納町 高沼盛方 川村たい」とあり。		中華民国駐日本公使館用箋使用。友人の顔世清の名刺を同封。
27		葉瀚	封書	(民国) 14年11月16日	東城孝順胡同林屋洋行内 大村先生 西单皮庫胡同27号 葉[浩吾]		消印なし
28	1	林文昭	封書	民国11年3月10日	日本東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖先生 広東市靖海新町十三号 林文昭	帰国後光孝寺々宝六祖貝葉梵文西藏真經を得たので鑑定を願う	
	2	林文昭	はがき	大正12年5月18日	牛込区矢来町三 大村西崖先生 神田区今川小路二ノ一 拝岳道人(林文昭・研王塗主人)	会う約束	

	3	林文昭	年賀 はが き	昭和1年1月9日	牛込区矢来町三番地 大村西崖先生 節盧林文昭		日下部鳴鶴筆「硯王斎」額字写真入り年賀はがき使用
29	1	林熊光	封書	5月25日	矢来町三番地 大村西崖先生 戸塚町諏訪 林熊光	消印なし	
	2	林熊光	封書	?年3月13日	牛込区矢来町三番地 大村西崖先生 市外戸塚町諏訪一九 林熊光	昨夜承冒雨光臨云々	
30		黃中慧	封書	中華民国[3]年2月16日	東京市牛込区矢来町三番地旧殿五十号 大村西崖先生啓 東京麹町区有楽町三丁目三番地帝国旅館前大松閣対門 琴帰室 黃中慧	明日の午餐の招待状	
31		陳宝琛	封書	消印なし	大村大人	十四日下午一時招宴	
32		景賢	封書	消印なし		…欲購王府園亭為別墅…名刺同封「啓廸 仲吉住 東安門北弓弦胡同内牛排子胡同門牌二号」	
33		呂萬・唐熊(吉生)	封書	消印なし 年次不明 1月16日	西湖有美書画社名入り封筒使用 大村帰堂先生台啓		
34	1	差出人未詳	封書	民国10年10月26日		帰堂先生惠存 辛酉十月廿六日 大村帰堂及栗原康堂助先生云々、元明清画リスト	
	2	差出人未詳	封書	封筒欠損 6月6日		禹域今画集の札状	

※朝鮮人

番号	枝番	差出人名	形態	日付	住所	本文	備考
1		李漢福	はが き	大正10年7月23日	東京都牛込区矢来町三 旧殿十二号 大村西崖先生 朝鮮京城貫鉄洞五十一 李漢福		仏国寺釈迦像写真 入りはがき

大村西崖資料目録 II-B.書簡(大村西崖差出)

(1) セントルイス万国博出張時の書簡

(注)これらの書簡の一部は既に吉田千鶴子著「大村西崖の渡欧日記」(『近代画説』第17号、2008年3月)において使用されている。

番号	枝番号	宛先	形態	日付	住所	本文抜粋宛名など	備考(参考文献、紹介文献など)
1		大村桂蔵	封書	明治36年6月1日	大日本帝国静岡県駿河国庵原郡岩淵 大村桂蔵殿 第一信	カナダ、バンクーバーより家族へ	
2	1	大村美保	封筒欠損	明治37年6月11日		第二信 美保へ	
2	2	大村美保	封書	明治37年6月16日		第三信 美保へ	
3	3	大村美保	封筒欠損	明治37年7月9日		お美保へ セントルイス市ルカス町3301番戸ミス、セキ方の二階の一室にて	
4	4	大村美保	封書	明治37年7月19日	大日本静岡県庵原郡富士川町岩渕 大村美保子殿 セントルイス 大村西崖		
5	5	大村美保	封書	明治37年7月20日	大日本静岡県庵原郡富士川町岩渕 大村美保殿 セントルイス 西崖		
6	6	大村美保	封書	明治37年8月11日	大日本静岡県庵原郡富士川町岩渕 大村美保殿 セントルイス 大村西崖		
7	7	大村美保	封書	明治37年9月17日		なつかしき美保どの 西崖より	
8	8	大村美保	封書	〔明治37年〕9月20日		恋しき美保どの 西崖より	消印なし
9	9	大村美保	封書	明治37年9月29日		かわいゝ美保へ 西崖より	
10	10	大村美保	封筒欠損	明治37年10月15日		美保どの セントルイス 西崖	
11	11	大村美保	封書	明治37年10月22日	大村美保殿		
12	12	大村美保	添状	明治37年10月30日		お美保どの セントルイス 西崖	河内雅溪に頼んで持ち帰ってもらったトランクの添え状
13	13	大村美保	封筒欠損	明治37年11月1日		美保どの 費府 西崖	
14	14	大村美保	消印欠損	明治37年11月20日		大村美保殿 リヴァプールのノルス、エスタアン、ホテルにて 西崖	ホテルの写真カード添え
15	15	大村美保	封書	明治37年11月26日		大村美保どの ロンドンにて 西崖	消印なし
16	16	大村美保	絵はがき	明治37年12月15日	大日本駿河庵原郡岩渕 大村美保殿 ベルリン 西崖		ティゲル公園内歴代帝王の像
17	17	大村美保	封筒欠損	明治37年12月23日		小手帖 美保どの フィレンツェにて 西崖	
3	-	-	封書	〔明治37年〕			消印なし
4	-	-	封筒のみ	明治37年		封筒のみ 4通	

大村西崖資料目録 II-B.書簡(大村西崖差出)

(2).家族宛

番号	枝番	宛先	形態	日付	住所	本文抜粋宛名など	備考
1	1	大村せつ子	はがき	明治41年1月6日	駿河岩渕 大村せつ子殿 西崖再拝	小作料...祖父の墓石...	
	2	大村せつ子	はがき	大正2年4月8日	駿河国岩渕 大村せつ子殿	圭四郎の病気...	
	3	大村せつ子	はがき	消印 大正2年4月22日	駿河岩渕 大村せつ子殿	松永へ祝儀御手数奉謝...圭四郎病気全快...	
	4	大村せつ子	はがき	大正3年4月28日	静岡県岩淵 大村せつ子様	本月は旅行ばかり致し居り漸く帰京仕候...又々御上京被下度奉待上候 秀雄 病氣之由其後如何に候哉云々	
	5	大村せつ子	はがき	消印 大正3年10月20日	駿河岩渕 大村せつ子殿	樽三個正に到着...	
	6	大村せつ子	はがき	大正6年4月16日	静岡県岩淵 大村せつ子さま	此間中は美保及子供等参上...昨日夕方無事帰京...	
	7	大村せつ子	はがき	大正9年5月9日	静岡県岩淵 大村せつ子様	粉、茶のお礼、5月30日の学士院の賞典授与式に母上のご列席を願いたい...	
	8	大村せつ子	はがき	大正13年4月29日	静岡県岩淵 大村せつ子様	私事十六七人を率ゐて五月四日朝の急行にて出発支那へ参り廿八九日頃帰朝可仕候...	
	9	大村せつ子	はがき	?年3月21日	駿河岩渕 大村せつ子様	第五はしか...肺炎併発...容態悪しく...	
	10	大村せつ子	はがき	?年4月24日	静岡県岩淵 大村せつ子様	海陸無事昨夕帰京...	
	11	大村せつ子	はがき	?年11月14日	静岡県岩淵 大村せつ子さま	甲府若松有氏浦塩へ赴任...荷物を国元で預かってくれと大阪から依頼されたので物置へ入れておいてくれ...	
	12	大村せつ子	封書			大村母上さま 子供大勢まわり御厄介おかげ候...入費相かさみ候間五十円だけ差上候...	
	13	大村せつ子	封書		母上さま 西崖より	子供、秀雄、叔父様...家中のこと 日付けなし	消印なし
	14	大村せつ子	はがき		駿河岩渕 大村せつ子殿	第五病氣...母上神経痛...	消印不明
2	1	大村桂蔵	封書	明治27年12月25日	駿河国岩渕 大村桂蔵様座下 京都□□丸太町下 廿四日夜 西崖拝	...今晚出発後三時無事着京...梅子も...途中よく眠り...	
	2	大村桂蔵	封書	明治28年9月20日	駿河国岩渕 大村桂蔵様 京都 十九日発 西崖拝白	...私方にても先比保梅子共々少々患ひしかども程なく全快...扱過般御話し申上候私東京へ転任之事以外に早く相運ひ愈来月三四日比迄には当地引払 東上可仕事ニ相決し候間美保等は途次暫く在郷為致度候ニ付...	

	3	大村桂蔵	封筒欠損	〔明治28年〕7月26日	秀雄修学の事、東京の兄の許へやりたいがどう思うか、★「余り幼少より専門の技芸に従事為致候ては後來處世上不得策たるのみならず、よし画を学ばするにも当地の学校は過日申上候様の次第故思はしくも無之、一そ東京へ遣して尚普通の学問を修めしめ、傍ら橋本雅邦をなりとも師匠として余暇絵画を学ひ候方宜しかるへくと存候」	文面から京都赴任中(明治28年博覧会のとき)のものと思われる。
	4	大村桂蔵	封筒欠損	〔明治28年〕9月5日	<p>★拝啓 残暑尚厳しく候処、御揃御無事之趣、奉賀候。私方にても打そろひ丈夫に暮し居候間、御安心被下度。虎列口病も目下最盛時の半数位ニ相成、最早此分にてはさして心配之事も無之く、先は御省口被下度候過日口出し候〔揃〕物到着相後れ候由、申訳無之く候。私事博覧会出仕之役も本月二日にて結了致し、近來少しひまに相成候へとも、東京読売新聞美術部門執筆の嘱を受け、文筆の方段々いそかしく相成候。東京転任の事※は後任の人適当の者無之為、来春比ならでは六ヶ敷く御座候。秀雄病気は如何ニ御座候や。学校へ通学致し候や。祖父様始め母上にも御かはりも無御座候や。伺上候。何方へも久しく御無沙汰仕り申訳無之く、本家始め閑様などへも宜しく御鳳声願上候。二三ヶ月前より経済少し相乱れ、入用のみ多く相成、御送金も不仕、来月よりは必ず出来申候と存候。不悪御思召被下度願上候。先は右申上度、書余後頓具陳可仕候。草々不〔悉〕</p> <p style="text-align: center;">九月五日 西崖拝白 父上様</p>	文面から京都赴任中(明治28年博覧会のとき)のものと思われる。 ※西崖は28年9月博覧会初期の任期切れとともに京都美術工芸学校を辞職、11月東京美術学校履。
	5	大村桂蔵	封筒欠損	〔明治28年〕?月?日	秀雄の出奔のこと	文面から京都赴任中(明治28年博覧会のとき)のものと思われる。
	6	大村桂蔵	封筒欠損	〔明治28年〕?月?日 土用に入りて云々	虎病の其精追々撲滅の有様、美保帰国は暫く見合せ、うめ子等一同至極丈夫、其後神馬彩色中いしかく紛れ居り、御無沙汰仕候、近々出来致し候ハゝ少しほひまに相成可申候。秀雄試験成績用器画のほか先は上出来にて席順も第三番ニ有之	文面から京都赴任中(明治28年博覧会のとき)のものと思われる。
	9	大村桂蔵	封筒欠損	〔明治36年〕3月15日	汽船のこと、来月初旬中ご滞在の見込みでご来阪くだされたく、	
	10	大村桂蔵	封筒欠損	〔明治36年〕9月8日	私共来ル十一日午後二時半天王寺発の汽車にて帰省、翌十二日前二時半岩渕着の事に相定め云々	
	11	大村桂蔵	封筒欠損	〔明治36年〕?月29日	博覧会も最早おしまひとなり今一月余にて帰京する	
	12	大村桂蔵	封書	明治38年6月30日	駿河国岩渕 大村桂蔵様 六月廿九日 大村西崖 義勇艦隊義捐之義二十円か廿五円位御差出し被下度...私事七月十二、三日より公用の編纂物のために二、三週間箱根か鎌倉へ行く...麦収穫、家屋建築、室野婦事迷信事件新聞に出で云々...金錢のことなど	

	13	大村桂蔵	封書	?年2月15日	駿河国岩渕 大村桂蔵様至急 二月十四日午後九時 西崖拝白	秀雄出奔のことを電報で知らせた。実は今日突然学校から保証人の自分へ無届欠席のはがきが来て、美保が問い合わせたところ家出。誠に心配。ご意見伺いたく.... はがき(本郷郁文館より本郷区雅[楽]町九二大村西崖宛。秀雄先月より無届欠席の通告)同封	
	14	大村桂蔵	はがき	消印 明治?年4月2日	駿河国庵原郡岩渕 大村桂蔵様 西崖拝白	御病状如何御座候哉、5月1日に帰省する云々	
	15	大村桂蔵	封筒欠損	?年5月8日		むかでや地所代金並に講金融通の事問合せ候処別紙の如き返事にて快く承知致くれ候間入金次第小生負債の返金に御廻し被下度願上候其節同時に御通知被下候はゝ私より直ちに証書をむかでや叔父へ差出可申候 債権の金の事は...是亦融通致くれ候由申添有之候に付矢張借入銀行への返金に充て置申度と存居候...父上様	
	16	大村桂蔵	封筒欠損	5月30日		博覧会見物の勧め、御拝顔の上御相談相頼度義も有之、	文面から京都赴任中(明治28年博覧会のとき)のものと思われる。
	17	大村桂蔵	封筒欠損	6月20日		当地は連日の梅雨、養蚕已に御片付之趣、廿四、五日ご上京之趣、此比は博覧会も余程しづかに相成、小生其後毎日午後は博覧会事務局へ出勤、午前は学校にて彫刻罫在、秀雄も無事学校の課業も思ひの外成績も宜しく、秀雄学校制服并袴は当方にて調製云々。	文面から京都赴任中(明治28年博覧会のとき)のものと思われる。
	18	大村桂蔵	封筒欠損			母上様過日御来京後云々	文面から京都赴任中(明治28年博覧会のとき)のものと思われる。
	19	大村桂蔵	封筒欠損			秀雄事去ル十四日学校へ参り候まゝ帰宅不仕候へども手紙にて至急帰國の由申参り候間...此度はよく々々本人御聞口被下...みほ病気...最早丈夫...	
	20	大村桂蔵	封筒欠損			秀雄事学館口業益々相後れ候のみニ付...上京させて欲しい云々	
3	1	大村みほ	はがき	明治38年9月15日	東京本郷区西片町10番地ほ/2号 大村美保殿	朝生徒等に所見の概説をはなし、県庁、極楽院、十輪院、福智院、新薬師寺、春日山、若宮の神楽、本社、生徒を解散…奈良にて西崖	春日神社写真入りはがき

	2	大村みほ	はがき	明治38年9月16日	東京本郷区西片町10番地ほ/2号 大村美保殿	昨夜は奈良に住める同窓松原、新納等相次いで訪問しぐれ十二時漸く寝く、今朝六時朝餐を喫し急き停車場に至り辛うして七時発の汽車に間に合ふ 三輪にて下り先づ長谷に向ふ 我一人車を駆り一行の弁当を預り長谷に先着して其来るを待つ。今日所見の大要は昨夜生徒に演述し置けり。本堂に詣でて内陣を拝し本坊に導かれて、宝物を見る。金璧の障壁頗る美なり。十二時は背を発し予は人車に乗り一行は馬車四台に乗りて櫻井に至り多武峰に向ふ。途に聖林寺に詣でて十一面観音（〔等身〕、乾漆）を拝し、山路を上る。暑甚しく疲るゝこと亦甚し 途に憩ふこと二三回、午後三時半漸く談山神社に着く。建築及宝物を観、五時半去りて別路を下り午後六時岡に至り薬屋に投す。今日の行程は今回の旅中最も苦しきものゝ一なり道遠く山高ければなり。巡覧予定を果すこと能はず。当麻寺、岡寺、橘寺等は明日にまはしつ 九月十六日 岡 薬屋にて 西崖	五重塔写真入り はがき、※9月 14~30日卒業期 生徒修学旅行。香 取秀真、屋代らと 引率。
	3	大村みほ	はがき	明治38年9月23日	同上 同上 京都三條小橋西入 秋田屋方	奈良、宇治鳳凰堂、黄檗山、法界寺、京都…昨夜は新納来り…京都の宿は家汚く室狭けれど食は稍奈良より善し…	金閣寺写真入り はがき「金閣寺を忘れはしたまはずや」と記入
	4	大村みほ	はがき	大正13年7月1日	静岡県岩淵上町 大村みほ様	正子今日はよろしく先刻起き候間御安心被成[度]	
4		大村秀雄	はがき	大正13年3月27日	静岡県岩淵 大村秀雄殿	御手紙拝見 好景氣之由 全く御尽力の賜ものに外ならず 色紙御急ぎの由に付只今小包郵便にて発送仕候 五日午後講演之儀正に拝承仕候…山水あと三幅も明日発送可仕候…	
5		大村文夫		明治40年10月14日	東京々橋区南紺屋町8 大村文夫殿 奈良にて父より		奈良猿沢の池写真はがき

大村西崖資料目録 II-B.書簡(大村西崖差出)

(3)その他雜

番号	枝番	宛先	形態	日付	住所	本文抜粋宛名など	備考
1		本山豊実	印刷はがき	大正11年2月14日	日本橋区矢ノ倉町1 本山豊実殿	<p>拝啓小生前月支那より将来の古名画照影数百図現代画家の筆蹟数十幅及画道に関する書籍少々有之微力の集むる所固よりさしたる物には無之候へども昨今整理漸く相済み東京美術学校会議室に陳列致し候間来る本月十八日午後一時より三時までの間に御寸暇有之候はゞ御立寄御一瞥の榮を賜はり度此段御案内申上候 敬具 大正十一年二月十四日 大村西崖頓首 [西崖墨書添え書き]尚々同夕又玄社小集相開き御報告及御相談申上度件有之旁粗餐差上度候間御覧済の上同校俱楽部へ御集会願上候</p>	消印不明
2		奥宮正治	印刷はがき		四谷区右京町29 奥宮正治殿	<p>拝啓小生前月支那より将来の古名画照影数百図現代画家の筆蹟数十幅及画道に関する書籍少々有之微力の集むる所固よりさしたる物には無之候へども昨今整理漸く相済み東京美術学校会議室に陳列致し候間来る本月十八日午後一時より三時までの間に御寸暇有之候はゞ御立寄御一瞥の榮を賜はり度此段御案内申上候 敬具 大正十一年二月十四日 大村西崖頓首 [西崖墨書添え書き]尚同夕粗餐差上旁又玄社小会相開候間御覧の上学校俱楽部へ御光来願上候</p>	消印不明
3	-		年賀状	大正2年		<p>諒闇中敢缺賀正。然忽賜清訊。寵光似茲。久拝違風采。玉曆回春。文候佳謐。忻慰曷極。冀雅情依舊。永蒙眷注。臨楮神馳左右。不莊。 大正癸丑歲 大村西崖頓首</p>	
4	-		年賀状	大正6年		<p>千門松竹見民殷九陌迎春曙色分万国衣冠麇紫闕百僚劍佩映初昕卒浜肅肅 帰文命瀛海洋洋隔戰氛天霽遠山橫瑞雪風和畿甸罩祥雲擊觴壽母仍遵禮繫綏叨恩愧策勲歲旦朝回何所作賦詩祇祝聖明君 丁巳元旦作勒以換拝年 大村西崖頓首 東京牛込矢来町三番地旧殿十二号 電話 番町二五四三番</p>	
5	-		年賀状	大正7年		<p>知命辱官還一年迎新送旧斗杓施蒼窮冬已舉銀婚式肇歲將刊密教篇淺學講論惟後進虛名鑑識愧遐伝椒花和酒童顏渥旭日映窗華髮鮮門外松筠祥色秀室中兒女笑容口[口へんに焉]昇平有象皇恩遍擬賦宸題捧九天 戊午新年書懷長律錄以換壽頌 大村西崖再拝 東京牛込矢来町三番地旧殿十二号 電話 番町二五四三番</p>	
6				大正10年10月		<p>拝啓秋涼之候益々御多祥奉賀候陳者小生儀支那古美術の研究を進め及日支芸苑の聯絡 親善を図り候為本月下旬初出發支那歷游仕候間暫く御無沙汰御海恕被下度 御暇乞旁此段奉得貴意候 大正十年十月 大村西崖</p>	

大村西崖資料目録 II-C.書簡(大村文夫宛)

番号	枝番	差出人名	形態	日付	住所	本文	備考
1		相原祐弥	封書	昭和8年11月6日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市渋谷常磐松27 相原祐弥	梨斎を経て無記盒韻存をご惠贈、礼状	
2	1	秋野孝 [玄]道	封書	昭和2年7月6日	庵原郡岩淵 大村文夫様 遠州可睡斎 秋野[玄]道	胸中邱壑の礼状	
	2	秋野孝 [玄]道	はがき	昭和4年8月13日	東京市牛込区矢来町79 大村文夫様 遠州可睡斎 秋野□□	暑中見舞い	
	3	秋野孝 [玄]道	はがき	-	市内小石川区宮下町22 大村文夫殿 総持寺 秋野孝 [玄]道	年賀状	
3	1	朝倉文夫	はがき	-	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市下谷区谷中天王寺町20番地 朝倉文夫	年賀状	
	2	朝倉文夫	はがき	昭和12年1月6日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京市下谷区谷中天王寺町20番地 朝倉文夫	年賀状	
4		愛鷹山晴旭 結社	はがき	昭和12年3月6日	庵原郡富士川町岩淵 大村文夫様 静岡県駿東郡長泉村元長窪1番地 愛鷹山晴旭結社	故父上の施本...礼状	
5	1	足達疇邦	はがき	昭和8年1月5日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京麹町隼町5番 足達疇邦	年賀状	
	2	足達疇邦	封書	?年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京麹町隼町5番 足達疇邦	先孝ご遺稿ご惠贈御礼	
6		足立芳五郎	封書	昭和12年3月6日	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 千葉県三里塚牧場 足立芳五郎	...祥月命日に当り上梓、ご惠贈、礼状	
7		阿南竹垞	封筒欠 損	昭和2年3月12日	-	弔辞。阿部房次郎氏から病状を聞いていた云々。	
8		阿部房次郎	封書	昭和8年9月19日	小石川区宮下町22 大村文夫様 兵庫県武庫郡住吉字反高林 阿部房次郎	無記盒韻存の礼状...尚々御在世中に支那名画之写真参考資料として多数御採り相成候其写真は未だ御手元に御保存被遊候哉 若し御座候ハ一度は意見致度と存居候	
9		有賀長文	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 麻布区飯倉片町3 有賀長文	先孝御遺稿ご惠贈御礼	
10	1	池上秀畊	はがき	昭和8年1月5日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京下谷区谷中清水町12 池上秀畊	年賀状	
	2	池上秀畊	はがき	昭和12年1月2日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京下谷区谷中清水町12 池上秀畊	年賀状	
11		石田[曉] 子	封書	昭和12年3月6日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 豊島区巣鴨3/30 石田[曉]子	寿量品の礼状	
12		石野香奉	封書	昭和8年9月18日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 西宮市大井手町14 石野香奉	無記盒韻存の礼状	

13	1	板谷波山	はがき	昭和8年1月7日	市内小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市瀧野川区田端町512番地 板谷波山	年賀状	
	2	板谷波山	はがき	昭和12年1月1日	杉並区井荻2/19 大村文夫様 東京市瀧野川区田端町512番地 板谷波山	年賀状	
	3	板谷波山	封書	昭和12年3月8日	市内杉並区上うぎ窪2/97 大村文夫様 瀧野川区田端町512 板谷波山	寿量品の礼状	
14		伊東舜年	封書	昭和12年3月7日	富士川町岩淵上町 大村文夫様 同町中之郷 伊東舜年	無量寿品の礼状	
15		伊東忠太	封書	昭和2年3月10日	牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村文夫様 本郷西片町10番地 伊東忠太	弔辞。昨日の告別式に出られなかつた...	
16	1	伊藤龍涯(繁延)	はがき	昭和12年1月1日	杉並区井荻町2/19 大村文夫様 杉並区和泉町443 伊藤龍涯	年賀状	
	2	伊藤龍涯(繁延)	封書	昭和12年3月9日	杉並区上荻窪2丁目97 大村文夫様 杉並区和泉町443 伊藤龍涯	寿量品の礼状。大村橘堂様とあり	
17		井上哲次郎	はがき	昭和8年10月9日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 東京小石川区表町109番地 井上哲次郎	西崖遺稿礼状	
18	1	今関寿麿(天彭)	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫先生 中野区本町通6丁目14番地 今関寿麿	西崖先生御遺稿の礼状	
	2	今関寿麿(天彭)	封書	昭和8年10月9日	小石川区宮下町22 大村文夫様 中野区本町通6丁目14番地 今関寿麿	御手紙拝見、西崖先生の御事思ひ出られ誠に懐しく...稻川の拙著...奉呈上候...	
	3	今関寿麿(天彭)	はがき	昭和12年1月1日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 中野区本町通6丁目14番地 今関寿麿	年賀状	
	4	今関寿麿(天彭)	封書	戌子（昭和23年）2月28日	静岡県富士川町岩淵544 大村文夫先生 東京中野区本町通6/14 今関寿麿	...生ハ御先孝を知つたるもの、此の頃御著作続々御上梓の模様...先孝の略歴を何かに載せてあつたら教えて欲しい云々	消印不明
19		[上]原重平	はがき	昭和12年3月5日	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫殿 伊東町[上]原重平	寿量品和讃の礼状	
20		上原專三	はがき	昭和12年3月3日	静岡県岩淵 大村文夫様 中野川添24 上原專三	寿量品の歌の礼状	
21		大倉喜七郎	封書	昭和8年9月19日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 麻布区下二番町30番地 大倉喜七郎	無記盒韻存の礼状	
22		王廷理	封書	昭和2年3月16日	日本東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村文夫様上海三井洋行内 王廷理	弔辞	消印不明
23		大村和	はがき	昭和12年3月	静岡県庵原郡富士川町岩淵 大村文夫様 東京市渋谷区神泉町13 大村和	寿量品の歌の礼状	
24		大矢梅太郎	はがき	昭和8年9月17日	東京市小石川区宮下町22番地 大村文夫様 名古屋西区児玉町 大矢梅太郎	西崖遺稿の礼状	
25		岡崎壯太郎	はがき	昭和8年9月18日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京小石川区指谷町64番地 岡崎壯太郎	西崖の遺稿のご惠贈御礼	
26		奥定口	はがき	昭和8年11月6日	小石川区宮下町22 大村文夫様 麻布広尾15 奥定口	御尊父様御遺稿の礼状	

27		奥宮正治	封書	昭和2年3月11日	牛込区矢来町旧殿12号 大村文夫様 四谷区右京町29 奥宮正治	弔辞 告別式に風邪で行けない。	
28		尾上八郎(柴舟)	はがき	昭和8年9月18日	小石川区宮下町22 大村文夫様 小石川区白山御殿町 127 尾上八郎	西崖先生御遺稿御恵贈御礼	
29		小場恒吉	封書	昭和12年8月16日	東京杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 中野区江古田 2/ 741 小場恒吉	西崖先生のご命日に際して寿量品をご恵贈御 礼	
30	1	加賀豊三郎	はがき	昭和8年9月14日	小石川区宮下町22番地 大村西崖様 麻町区下六番町 51番地 加賀豊三郎	無記盒韻存の礼状	
	2	加賀豊三郎	はがき	昭和12年3月5日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 麻町区下六番町51番 地 加賀豊三郎	寿量品の歌の礼状	
31	1	加藤玄智	はがき	昭和8年1月1日	市内小石川区大塚町68 大村文夫殿 東京市小石川区 丸山町11番地 加藤玄智	年賀状	
	2	加藤玄智	はがき	昭和8年9月20日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市小石川区丸山 町11番地 加藤玄智	無記盒韻存の礼状	
	3	加藤玄智	はがき	昭和12年3月4日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫殿 東京市小石川区丸山 町11番地 加藤玄智	追善のための無量寿品の礼状	
32		加藤虎之口	封書	昭和8年11月18日	小石川区宮下町22 大村文夫様 淀橋区西大久保1/ 422 加藤虎之口	御伯父様梨齋先生を経て無記盒韻存御恵贈... 御礼	
33		鎌田栄吉	はがき	?年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 目黒区下目黒555 鎌 田栄吉	無記盒韻存の礼状	
34		亀谷聖馨	封書	昭和2年3月2?日	市内牛込区矢来町3 大村文夫様 市外代々木1441 亀 谷聖馨	弔辞	
35		河口与兵衛	はがき	昭和12年3月4日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 豊島区西巣鴨2/2□ 69 河口与兵衛	法華経の歌の礼状	
36		川口口	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 [餘]差町11 川口 生	遺稿恵贈礼状	
37		川面義雄	はがき	昭和8年9月17日	小石川区宮下町22 大村文夫様 川面義雄	西崖遺稿礼状	
38		北村西望	はがき	昭和8年1月7日	小石川区宮下町22 大村文夫様 瀧野川区西ヶ原町71 北村西望	年賀状	
39	1	清浦圭吾	封書	昭和2年3月10日	東京牛込区矢来町3番旧殿12 大村文夫殿 東京府下 大森山王 清浦圭吾	弔辞。大村青崖殿と誤記している。	
	2	清浦圭吾	封書	昭和8年9月16日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫殿 東京府下大森 山王 清浦圭吾	無記盒韻存の礼状。述懐丙辰四月ノ作最結構ニ存 シ候...	
40	1	久保田鼎	封書	昭和8年9月20日	東京小石川区宮下町22番地 大村文夫殿 奈良市水門 町46 久保田鼎	無記盒韻存の礼状	
	2	久保田鼎	はがき	昭和12年3月6日	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫殿 奈良水門46 久 保田鼎	無量寿品歌礼状	
41		久保得二(天琬)	はがき	昭和8年9月25日	東京市小石川区宮下町22番地 大村文夫様 台北市昭 和町511番地 久保天琬	無記盒韻存の礼状	

42		国分高胤	はがき	昭和12年1月1日	杉並区井荻2/19 大村文夫様 渋谷区代々木山谷町 185番地 国分高胤	年賀状	
43		小林栄居	封書	昭和8年9月28日	日本東京市小石川区宮下町 大村文夫様 上海吳淞路 大興里899、900号(鴨綠路角)上海美術工芸製版社 総小林栄居	ご遺稿の札状 以下は問い合わせの返事か 南湖 廉泉氏は物故せられ候 上海法租界菜市路上海 美術専科学校 汪亞塵先生 上海南市小南門橋家 浜梓園 王一亭先生 上海法租界徐家口路 唐吉 生先生 ★先生御存命中御預りいたし候版木は昨 年上海事変の際他の品と同時に放火、焼失仕り誠 に残念申訳なき次第に有之候 其後続刊に有之候 や 御伺ひ申上候	
44		小林正盛	封書	昭和12年3月6日	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 奈良県初瀬町 總本山長谷寺 小林正盛	寿量品の札状	
45	1	小室翠雲	封書	昭和8年9月19日	東京小石川宮下町22 大村文夫殿 箱根湯本にて 小室 翠雲	ご遺稿ご惠贈御礼	
	2	小室翠雲	はがき	昭和12年1月4日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 小室翠雲	年賀状	
46		斎藤完蔵	はがき	昭和12年3月6日	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 鎌倉 斎藤完蔵	寿量品の歌の札状	
47		斎藤萋	封書	?年〔戦時中〕7月4 日	東京都荏原区西中延町2/905 大村文夫様 静岡県庵 原郡富士川町岩淵269 斎藤萋	岩淵の留守宅の借家人が空いている米庫も借り たいと再三願出でるので貸してくれとい う依頼。返書案同封。いつ強制疎開させられる かも知れず、その場合は岩淵に行くことになる ので、お断りすると。	
48		榊原浩逸	封書	昭和8年9月13日	小石川区宮下町22 大村文夫様 杉並区天沼2 375 榊 原浩逸	ご遺稿ご惠贈御礼	
49	1	佐藤吉太郎	はがき	昭和8年9月17日	東京市小石川区宮下町22番地 大村文夫先生 越後出 雲崎町 佐藤吉太郎	無記盒韻存の札状 先考には大正二年及十年の 二回茅屋に御宿泊下され...南画の先人釧雲泉 碑を出雲崎に御建立下され...深く感銘云々	
	2	佐藤吉太郎	はがき	昭和12年3月8日	東京市杉並区上荻窪2の97 大村文夫様 越後出雲崎 町 佐藤吉太郎	寿量品の歌の札状	
50	1	鹽澤健	はがき	昭和8年9月6日	静岡県庵原郡富士川町岩淵 大村文夫殿 東京市四谷 区本村町33番地 鹽澤健	盂蘭盆に際してご帰郷ご展墓...遺稿ご寄贈 云々	
	2	鹽澤健	はがき	昭和12年3月10日	静岡県富士川町岩淵 大村文夫殿 東京市四谷区本村 町33番地 鹽澤健	寿量品の歌、希望者多数...輪王寺福定無外老師 は10部所望...計25部ご惠贈願いたい云々	
	3	鹽澤健	はがき	昭和12年3月17日	静岡県富士川町岩淵 大村文夫殿 東京市四谷区本村 町33番地 鹽澤健	寿量品の歌	
	4	鹽澤健	はがき	昭和12年?月8日	静岡県富士川町岩淵 大村文夫殿 東京市四谷区本村 町33番地 鹽澤健	法華經寿量品の歌の札状	

51		塩沢日覚(西崖の実姉か)	封書	昭和8年9月11日	東京小石川区宮下町22番地 大村文夫殿 駿東郡愛鷹山御料地内 塩沢日覚	韻存の礼状...仏神の御前へ供へ朝夕謹んで読経致し居り候へば生前の賢弟ニ遇ひ物語り致す 心ちにて云々	
52		柴山昇	はがき	昭和12年3月5日	静岡県岩淵 大村文夫様 東京杉並区高円寺7/983 柴山昇	法華経の歌の礼状	
53	1	下田次郎	はがき	昭和8年9月17日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 下田次郎	遺稿ご恵贈御礼	
	2	下田次郎	はがき	昭和12年3月6日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 下田次郎	法華経寿量品の歌の礼状	
54	1	下村三四吉	封書	昭和8年9月18日	小石川区宮下町22番地 大村文夫様 本郷区西片町10、に/29 下村三四吉	韻存の礼状	
	2	下村三四吉	はがき	昭和12年1月	杉並区井荻2/19 大村文夫様 東京市本郷区西片町10に/29 下村三四吉	年賀状	
55		杉渓言長	封書	昭和2年3月15日	牛込区矢来旧殿12号 大村文夫殿 麻布新龍土12 杉渓言長	弔辞、図本叢刊ハ如何相成候哉...	
56		杉渓由〔言〕	はがき	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 麻布区新龍土町12難地 杉渓由〔言〕	西崖先生遺稿の礼状 父は四国旅行中云々	
57		関野貞	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 瀧野川区西ヶ原町108 関野貞	韻存の礼状	
58	1	芹沢閑	封書	昭和8年9月12日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 品川区西品川3/840 芹沢閑	無記庵韻損の礼状。漢詩2首添え。	
	2	芹沢閑	はがき	昭和12年3月6日	静岡県富士川町岩淵 大村文夫様 東京杉並区大宮前町4丁目482 芹沢閑	寿量品の歌の礼状	
59		総持寺侍局	はがき	昭和8年9月18日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 静岡県熱海町西山 清心庵内総持寺侍局	西崖遺稿の礼状	
60		平口男	封書	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫様 上の桜木町 平口男	ご遺稿ご恵贈御礼	
61		高楠順次郎	はがき	?年9月14日	小石川区宮下町22 大村文夫様 小石川・西江戸川・31 [以下抹消]現代仏教社	西崖大人の遺稿恵贈御礼。	
62		高島米峰	封書	昭和8年9月14日	小石川区宮下町22 大村文夫様 小石川原町6 高島米峰	無記盦韻存の礼状	
63	1	瀧川亀太郎	はがき	昭和8年正月	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 松江市小堀町 瀧川亀太郎	年賀状	
	2	瀧川亀太郎	封書	昭和8年9月22日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 松江市北堀町 瀧川亀太郎	韻存ご恵贈御礼。3月10日付け弔辞が同封されている。	
	3	瀧川亀太郎	はがき	昭和8年	東京市小石川区宮下町23 大村文夫様 松江市北堀町 瀧川亀太郎	消印不明	
	4	瀧川亀太郎	はがき	昭和12年正月	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京市淀橋区西落合1丁目294 瀧川亀太郎	年賀状	
64		竹内栖鳳	はがき	昭和8年9月25日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 京都市東山高台寺南門 竹内栖鳳	西崖先生遺稿の礼状	

65		武田五一	封書	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫様 京都市上京区小山上 総町4番地 武田五一	西崖先生遺墨の礼状	
66		田中光顕	はがき	昭和8年9月26日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 田中光顕		
67		田中秀穂	はがき	昭和12年3月10日	富士川町岩淵 大村文夫様 松野町 田中秀穂	寿量品の歌の礼状	
68		田中正宗	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 □区三田南寺町30 田 中正宗	韻存の礼状。★乍序目下寓所を表記=移り居候 間申添候也 戸部隆吉君の遺児今回慶應義塾普 通部に入学せし為め学校の近くに移り申候次 第。	
69		田辺孝次	はがき	昭和12年3月6日	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京市葛飾区 金町1074		
70		谷沢道〔顕〕	封書	昭和12年3月13日	静岡県庵原郡富士川町岩淵 大村文夫様 ジーエス蓄電 池 日本電池株式会社 谷沢道口	印施の礼状	
71		知恩院常侍 局	封書	昭和8年9月21日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫殿 京都市東山 知 恩院侍局	無記盒韻存の礼状 山下現有 代	
72		土屋久泰	はがき	?年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫様 荏原区小山町619 土 屋久泰内	西崖の遺稿のご惠贈御礼	
73	1	土井林吉(晩 翠)	はがき	昭和8年9月15日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 仙台市本荒町 21 土井林吉	ご遺稿ご惠贈御礼	
	2	土井林吉(晩 翠)	はがき	昭和12年	東京杉並上荻窪2/97 大村文夫様 仙台市本荒町21 土 井林吉	年賀状。「先般からツイをトイと改音いたしまし た」	
	3	土井林吉(晩 翠)	はがき	昭和12年3月5日	東京杉並上荻窪2/97 大村文夫様 仙台市本荒町 土井 林吉	結構な印刷もの...お礼	
74	1	坪谷善四郎	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市牛込区北山伏 町29 坪谷善四郎	韻存の礼状	
	2	坪谷善四郎	はがき	昭和12年1月2日	杉並区上荻窪2/19 大村文夫様 牛込区北山伏町29 坪 谷善四郎	年賀状 相替らず大橋と書館長、株式会社博文館 及日本書籍株式会社取締役、大日本印刷株式会 社監査役等に従事云々	
	3	坪谷善四郎	はがき	昭和12年3月4日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 牛込区北山伏町29 坪 谷善四郎	法華経寿量品の歌の礼状	
75		常盤大定	封書	昭和8年9月18日	小石川区宮下町22 大村文夫様 小石川区指ヶ谷 常盤 大定	無記盒韻存の礼状	
76	1	徳富猪一郎	はがき	昭和8年9月17日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市大森山王 徳富 猪一郎代	無記盒韻存礼状	
	2	徳富猪一郎	はがき	昭和12年3月4日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京市京橋区銀座西 8丁目9番地民友社 徳富猪一郎	西崖の菩提供養に作った「法華経寿量品の歌」 ご惠投御礼。	
	3	徳富猪一郎	はがき	昭和12年	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京大森山王1丁目 山王草堂 徳富猪一郎	年賀状	

77	1	富田敬純	封書	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 東京市中野区宮前町 宝仙寺住職 富田口[學に文]純	無記庵韻存の礼状	
	2	富田敬純	はがき	?年3月7日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 中野区宮前町50 富田 敬純代 純[望]	無量品の歌の礼状	
78	1	鳥谷幡山	はがき	昭和8年1月	牛込矢来町79 小石川白山御殿町107 鳥谷幡山	年賀状	
	2	鳥谷幡山	封書	昭和8年9月20日	小石川区宮下町22 大村文夫様 小石川区白山御殿町 107 鳥屋幡山	無記盦韻存の礼状	
	3	鳥谷幡山	はがき	昭和12年1月1日	杉並区井荻2/19 大村文夫様 小石川白山御殿町107 夏居十和田湖畔休屋 湖山荘 十湖隱士 鳥谷幡山	年賀状	
	4	鳥谷幡山	はがき	昭和12年3月5日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 小石川白山御殿町 107 鳥谷幡山	寿量品の詠歌の礼状	
	5	鳥谷幡山	はがき	昭和12年12月31日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 小石川白山御殿町 107 鳥谷幡山	年賀状 武運長久...君国聖戦...	
79		長尾甲(雨山)	はがき	昭和8年1月6日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 京都西洞院丸 太町上 長尾甲	年賀状	
80	1	長尾雨山留 守宅	はがき	昭和8年1月6日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 京都西洞院丸 太町上 長尾雨山留守宅	西崖先生遺稿の礼状	消印不明
	2	長尾雨山留 守宅	はがき	昭和12年	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 京都西洞院丸 太町上 長尾甲	年賀状	
81	1	根津嘉一郎	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 赤坂区青山南町 根津 嘉一郎	先代様御遺稿御恵贈...礼状	
	2	根津嘉一郎	はがき	昭和12年1月4日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京青山南町 根津嘉 一郎	年賀状	
	3	根津嘉一郎	封書	昭和13年9月23日	荏原区中延905 大村文夫様 青山 根津嘉一郎	御申越之品ハ結構のものと存候へ共小生方にて は希望無之候間不悪御了承被成下度候	
82		萩原雲外	はがき	昭和8年元旦	小石川区宮下町22 大村文夫様 萩原雲外	年賀状	
83		橋本辰二郎	はがき		小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市麹町区元園町 1の6 橋本別邸 橋本辰二郎	西崖先生遺稿の礼状	
84		早崎梗吉	封書	昭和8年10月10日	小石川区宮下町22番地 大村文夫殿 豊島区巣鴨5丁 目1061 早崎梗吉	韻存の礼状	
85	1	平尾[雄] 舜	はがき	昭和8年9月14日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 浅草区公園地5区1号 平尾[雄]舜	無記盦韻存礼状	
	2	平尾[雄] 舜	はがき	?年3月4日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫殿 浅草区馬道1/9 平尾 [雄]舜	寿量品/歌の礼状	
86		福井トメ	はがき		市内小石川区宮下町22 大村文夫様 世田谷区松原町 1/79 鶴田方 福井トメ	ご遺稿ご贈与御礼	
87	1	遍照光院法 性有鍼	封書	昭和2年3月16日	東京市牛込区矢来町3番地旧殿12号 大村文夫殿 紀 伊国高野山遍照光院 法性有鍼	弔辞 長々之御厚誼...	

	2	遍照光院執事	はがき	昭和8年9月22日	東京市小石川区宮下町22番地 大村文夫様 和歌山県高野山遍照光院執事	無記庵韻存の礼状 当院先代法性口鑽大僧正昭和四年十一月遷化...靈前に供え云々	
88		本庄熊次郎	封書	昭和8年9月19日	東京市小石川区宮下町22番地 大村文夫様 大阪市住吉区住吉町683 本庄熊次郎	韻存の礼状	
89		正木直彦	はがき	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫様 正木直彦	無記盦韻存の礼状	
90		松岡友吉	封書	昭和12年3月9日	庵原郡富士川町岩淵 大村文夫様 静岡市八千代町 松岡友吉	無量寿品の礼状	
91	1	三上參次	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市本郷区駒込林町169 三上參次	無記盦韻存の礼状	
	2	三上參次	はがき	昭和12年1月3日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京市本郷区駒込林町169 三上參次	年賀状	
92	1	溝口禎次郎	はがき	昭和8年1月6日	小石川区宮下町22 大村文夫様 溝口禎次郎	年賀状	
	2	溝口禎次郎	封書	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫様 牛込区喜久井町18 溝口禎次郎	西崖先生遺稿の礼状	
	3	溝口禎次郎	はがき	昭和12年1月1日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 牛込区喜久井町18番地 溝口禎次郎	年賀状	
	4	溝口禎次郎	封書	昭和12年3月12日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 牛込区喜久井町18番地 溝口禎次郎	寿量品の礼状	
93		宮崎穀造	封書	昭和8年9月10日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 熊本県天草郡鬼池村 宮崎穀造	韻存の礼状	
94	1	望月信亭	はがき	昭和8年1月元旦	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市小石川区林町26番地 望月信亭	年賀状	
	2	望月信亭	はがき	昭和8年9月15日	杉並区井荻2/19 大村文夫様 小石川林町26 望月信亭	無記盦韻存の礼状	
	3	望月信亭	はがき	昭和12年1月1日	杉並区井荻2/19 大村文夫様 東京市小石川区林町26 望月信亭	年賀状 仏教大辞典も去歳十月を以て全部完成云々	
95		森鳳声	はがき	昭和5年12月30日	牛込区矢来町79 大村文夫殿 東京市外田端47番地 森鳳声	昭和六年年賀状	
96		本山豊実	封書	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京市芝区芝公園5号地 本山豊実	西崖先生ご遺稿、惠贈礼状。	
97	1	安田鞆彦	はがき	昭和8年元旦	東京市牛込区矢来町79 大村文夫様 相州大磯町山手 安田鞆彦	年賀状	
	2	安田鞆彦	はがき	昭和12年1月1日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 神奈川県大磯町山手 安田鞆彦	年賀状	
98		矢部健太郎	はがき	昭和12年3月8日	杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 千葉県八街町 矢部健太郎	自我倡和訣御惠贈の礼状 西崖の計報に接したときの自作漢詩添え	
99		山口吉郎兵衛	封書	昭和2年3月11日	牛込区矢来町3番地 大村文夫様 大阪市天王寺区上本町7丁目 山口吉郎兵衛	弔辞、香典	為替書留
100	1	山崎朝雲	はがき	昭和8年元旦	小石川区宮下町22 大村文夫殿 山崎朝雲	年賀状	

	2	山崎朝雲	はがき	昭和8年9月15日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 本郷区駒込林町142 山崎朝雲	無記顔存札状	
101		山中定次郎	封書	昭和8年9月27日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 大阪市東区高麗橋1 丁目 株式会社山中商会 山中定次郎	先孝遺稿ご惠贈札状	
102		山本悌二郎	封書	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫殿 東京市目黒区上目黒 5丁目2658番地 山本悌二郎	無記顔存拝受	
103		山脇雄吉(暁 雲)	はがき	昭和8年9月16日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫殿 金沢市上龍間 町58 山脇雄吉	西崖先生遺稿の札状	
104		結城素明	はがき	昭和8年9月21日	小石川区宮下町22番地 大村文夫殿 結城素明	西崖の遺稿ご惠贈御札	鬼怒川温泉ホテル写真入りはがき
105	1	柚木梶雄	はがき	昭和6年1月1日	東京牛込区矢来町79 大村文夫様 岡山県玉島町 柚木 梶雄	年賀状	
	2	柚木梶雄	封書	昭和8年9月17日	東京市小石川区宮下町22 大村文夫様 岡山県浅口郡 玉島町 柚木梶雄	顔存の札状	
	3	柚木梶雄	はがき	昭和12年1月	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 岡山県浅口郡 玉島町 柚木梶雄 柚木方啓	年賀状	
106		横山大観	はがき	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22番地 下谷区□5/2/9 横山大観	御遺稿御惠贈御札	
107		林文昭	はがき	昭和8年9月16日	小石川区宮下町22 大村文夫様 東京府巢鴨□宮下153 林文昭	尊大人傑著札状	
108		鷺尾光遍	名刺に 記入		小林正盛僧正大和長谷寺にあらずや 当山には無之□ 御返送に及候 石山寺貫主 男爵 鷺尾光遍 九月廿六日		
109		和田重太郎	はがき	昭和12年3月8日	東京市杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 石川県[江] 沢郡山代温泉 和田重太郎	寿量品の歌の札状	
110	1	渡辺香涯(啓 三)	はがき	昭和8年1月7日	市内小石川区宮下町22 大村文夫殿 渡辺香涯	年賀状	
	2	渡辺香涯(啓 三)	封書	昭和8年9月15日	市内小石川区宮下町22 大村文夫殿 瀧の川区田端町 341 渡辺啓三	西崖遺稿ご惠贈、札状。訪古游草二十余首を拝 見仕候 之れは嘗て先生ニ従つて古都を順々せし ときの御作として殊に追憶の深きもの有之候 ...	
	3	渡辺香涯(啓 三)	封書	昭和12年3月5日	市内杉並区上荻窪2/97 大村文夫様 東京市瀧野川区 田端町341 渡辺啓三	寿量品の札状。大村橋堂様とあり。	

大村西崖資料目録 II-D.書簡(西崖家族関係)

(1)大村桂蔵宛

番号	枝番	差出人名	形態	日付	住所	本文	備考
1		新海竹太郎	封書	明治38年6月26日	静岡県駿河国岩渕 大村桂蔵様 親展 六月廿六日 本郷区弥生町三番地 新海竹太郎	戦役に召集されたが大本営附として自宅より通勤...(借金返済の)猶予の願い。利子16円25銭を送ると	
2		景岳老人	封書	消印なし ?年12月17日	岩渕 大村桂蔵様 岩本 景岳老人	□□□御買置有之候ハヽ一二把拝借仕度...	
3	1	武藤億右衛門	封書	明治37年12月1日	駿州庵原郡富士川町岩渕 大村桂蔵様 下総小見川町 武藤億右衛門	過日□が戦地へ出発の途次、岩渕通過の際迎送してくれた諸君への礼状を出した。そのリスト。	
	2	武藤億右衛門	封書	消印不明 ?年4月4日	駿河国庵原郡富士川町岩渕 大村桂蔵様 拝復 下総小見川町 武藤億右衛門	土地売却云々...大村兄上様	
4		井口馨	封書	明治39年1月17日	書留 庵原郡富士川町岩渕 大村桂蔵様 駿東郡大岡村 井口磐	昨日は贊川氏へ御光来...土地の件...大村御兄上様	
5		大村きく子	封書	?年1月20日	駿河国庵原郡富士川町岩渕 大村桂蔵様内同母上様 東京神田区駿河台 大村きく子	反物、袴仕立のこと...家事のこと	

(2)大村美保宛

番号	枝番	差出人名	形態	日付	住所	本文	備考
6		高田松男	封書	明治37年10月25日	駿河国庵原郡富士川町岩渕 大村美保殿 東京下谷区上野 東京美術学校 高田松男	西崖宛送金通知 10月分俸給49円50銭のうち校友会費75銭、公債払込額10円を差し引き38円75銭	

(3)その他資料

番号	題名	日付	内容	備考
7	受領証	大正3年9月28日	日本勸業銀行	
8	病気見舞いお菓子贈り状	昭和2年1月4日	東伏見宮	
9	年賀	不明	「志んねんお目出たうござります 一月二日 大村都 大村よしつな 大村さくや 大村なみ子 おぢさま おぢさま おばさま おきくさま」	
10	大村桂蔵・西崖金錢土地関係文書	1束		

大村西崖資料目録 III-A 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(1)漢籍

a. 中国刊行-四部叢刊

番号	書名	部門	著者	発行所	点数	備考
1	四部叢刊書録			上海涵芬樓	1	
2	陸士龍文集			上海涵芬樓	2	
3	増修詩話總龜		舒城阮一閱(編)/月窓道人(刊)/番陽程珖(校)	上海涵芬樓	9	1~3巻欠・4巻破損あり
4	嵇中散集	集部		上海涵芬樓	1	
5	松雪齋文集	集部		上海涵芬樓	3	
6	高太史大全集	集部		上海涵芬樓	6	
7	箋註陶淵明集	集部		上海涵芬樓	2	
8	伊川擊壤集	集部		上海涵芬樓	4	
9	庾子山集	集部		上海涵芬樓	3	
10	陳伯玉文集	集部		上海涵芬樓	3	
11	蔡中郎文集	集部		上海涵芬樓	2	
12	楚辭	集部		上海涵芬樓	5	3巻に自筆挟み込みあり
13	白氏長慶集	集部		上海涵芬樓	24	
14	王子安集	集部		上海涵芬樓	4	
15	花間集	集部		上海涵芬樓	3	
16	國朝文類	集部		上海涵芬樓	20	
17	唐詩紀事	集部		上海涵芬樓	16	
18	楊盈川集	集部	華陰楊炯(撰)	上海涵芬樓	2	
19	寒山子詩集	集部	閻丘胤(撰)	上海涵芬樓	1	
20	鮑氏集	集部	虞炎奉(撰)	上海涵芬樓	2	
21	梁昭明太子文集	集部	昭明太子(撰)	上海涵芬樓	1	
22	須溪先生校本唐王右丞集	集部	監王(維)	上海涵芬樓	1	
23	高常侍集	集部		上海涵芬樓	1	
24	駱賓王文集	集部		上海涵芬樓	1	
25	岑嘉州詩	集部		上海涵芬樓	1	
26	孟浩然集	集部	士源(集・解)	上海涵芬樓	1	
27	韋江州集	集部	郎華雲(集・解)	上海涵芬樓	2	
28	李文公集	集部		上海涵芬樓	2	
29	唐張司業詩集	集部	張泊(撰・編)	上海涵芬樓	1	
30	唐賈浪仙長江集	集部	賈島浪山	上海涵芬樓	1	
31	李賀歌詞編	集部		上海涵芬樓	1	

32	溫庭筠詩集	集部	隴西李賀長吉	上海涵芬樓	1	
33	樊川文集	集部	杜牧字牧之	上海涵芬樓	5	
34	南豐先生元豐類藁	集部		上海涵芬樓	10	
35	曝書亭集	集部	秀水朱彝尊錫鬯	上海涵芬樓	20	
36	南雷集	集部	姚江黃宗義	上海涵芬樓	8	
37	文心雕龍	集部	東莞劉勰(撰)	上海涵芬樓	1	
38	倪雲林先生詩集	集部	蹇暉朝陽(編集)	上海涵芬樓	3	
39	樂府雅詩	集部		上海涵芬樓	2	
40	唐元次山文集	集部	翰林編修湛若水・贈禮部侍郎元結(校) / 太保武定侯郭勛(編)	上海涵芬樓	2	
41	唐李義山詩集	集部	商隱義山	上海涵芬樓	2	
42	陸士衡文集	集部	機士衡	上海涵芬樓	1	
43	西崑酬唱集	集部		上海涵芬樓	1	
44	河汾諸老詩集	集部	橫汾隱者房祺(編)	上海涵芬樓	1	
45	茗柯文	集部	張惠言	上海涵芬樓	2	1巻に自筆挿み込みあり
46	唐丞相曲江張先生文集	集部		上海涵芬樓	4	
47	皇元風雅	集部	■説郷(采集) / 存吾如山(編類) / 集伯生(校選)	上海涵芬樓	2	
48	亭林余集	集部	崑山顧炎武寧人	上海涵芬樓	1	
49	述學	集部	江都汪中(撰)	上海涵芬樓	2	
50	遜志齋集	集部	范惟一(編集) / 唐堯臣(校訂) / 王可大(校刊)	上海涵芬樓	12	
51	經進東坡文集事略	集部	上進	上海涵芬樓	10	
52	毘陵集	集部	獨孤	上海涵芬樓	4	
53	徐孝穆集	集部	徐陵 屢隆(評)	上海涵芬樓	2	
54	方望溪先生全集	集部	鈞衡重(編・校)	上海涵芬樓	12	
55	六臣註文選	集部	昭明太子(撰) / 李善(註)	上海涵芬樓	30	
56	皇明文衡	集部	程敏政(選編) / 永康范震(校正) / 李文會(重校)	上海涵芬樓	20	
57	集註分類東坡先生詩	集部	蘇軾	上海涵芬樓	10	
58	樂府詩集	集部	郭茂倩(編次)	上海涵芬樓	16	
59	高太史鳧藻集	集部	後學周立(編集)	上海涵芬樓	2	
60	曹子建集	集部	曹植(撰)	上海涵芬樓	2	
61	玉臺新詠集	集部		上海涵芬樓	3	
62	增廣註釋音辯唐柳先生集	集部	劉禹錫(編) / 穆脩(叙) / 蘇軾(評論) / 沈晦(辯) / 童宗說(音註) / 張敦頤(音辯) / 汪藻(記) / 張唐英(論) / 潘緯(音義)	上海涵芬樓	8	
63	洪北江詩文集	集部	陽湖洪亮吉字	上海涵芬樓	20	
64	唐宋諸賢絕妙詞選	集部	花菴詞客(編集)	上海涵芬樓	2	2巻に自筆挿み込みあり
65	摯經室集	集部		上海涵芬樓	20	
66	定盦文集	集部	仁和龔自珍璵人(撰)	上海涵芬樓	3	
67	精選陸放翁詩集	集部	放翁陸游 務觀(撰) / 潤谷羅椅 子遠(選)	上海涵芬樓	2	
68	牧庵集	集部	元姚燧(撰)	上海涵芬樓	8	

69	朱文公校昌黎先生集	集部	丹陽洪(撰年譜辨証) / 東蜀樊(著公志及年譜注) / 眉山孫・臨邛韓・文渙 祝(全解) / 晦庵朱(撰考異) / 留畊王(著音釋)	上海涵芬樓	8	
70	臨川先生文集	集部		上海涵芬樓	20	
71	定盦文集補編	集部		上海涵芬樓	1	
72	河獄英靈集	集部	璠(集)	上海涵芬樓	1	
73	朝野新声太平樂府	集部	楊朝英(集)	上海涵芬樓	2	
74	分門集註杜工部詩	集部		上海涵芬樓	10	
75	元氏長慶集	集部		上海涵芬樓	4	
76	古文苑	集部		上海涵芬樓	4	
77	陽明先生集要	集部	邦曜(重編) / 桜(忝訂)	上海涵芬樓	12	
78	皎然集	集部	皎然	上海涵芬樓	2	
79	幽憂子集	集部	盧照隣昇之 煥紹和(纂)	上海涵芬樓	2	
80	增修箋註妙選草堂詩余	集部		上海涵芬樓	2	
81	唐文粹	集部	鉉(纂)	上海涵芬樓	16	11巻に写真[大唐興善寺大廣智不空三 藏碑]の挟み込みあり
82	宋学士文集	集部		上海涵芬樓	14	
83	震川先生集	集部	歸有光 莊(較勘) / 錢謙益(選定) / 玘(編集)	上海涵芬樓	12	
84	分類補註李太白詩	集部	齊賢(集註) / 士贊(補註) / 雲鵬(校刻)	上海涵芬樓	10	
85	惜抱軒詩文集	集部	桐城姚鼐姬(伝)	上海涵芬樓	5	
86	渭南文集	集部	山陰陸游(務觀)	上海涵芬樓	12	
87	孟東野詩集	集部	平昌孟(郊)	上海涵芬樓	2	
88	司空表聖文集	集部	司空圖 表聖	上海涵芬樓	2	
89	嘉祐集	集部	趙郡蘇洵	上海涵芬樓	2	
90	白石道人詩集	集部	夔堯章	上海涵芬樓	2	
91	翰苑英華中州集	集部		上海涵芬樓	4	
92	遺山先生文集	集部	顧齋張德輝(類次)	上海涵芬樓	12	
93	梁江文通文集	集部		上海涵芬樓	2	
94	皇朝文鑑	集部	呂祖謙	上海涵芬樓	40	
95	樊榭山房集	集部	厲鶚太鴻	上海涵芬樓	8	
96	中興間氣集	集部	高仲武(集)	上海涵芬樓	1	
97	亭林詩文集	集部	顧炎武寧人	上海涵芬樓	4	
98	石門文字禪	集部	洪覺範 覚慈(編錄) / 旌善堂(校)	上海涵芬樓	8	
99	漁洋山人精華錄	集部	林佶(編)	上海涵芬樓	4	
100	梅村家藏藁	集部		上海涵芬樓	8	
101	象山先生全集	集部	王宗沐(撰)	上海涵芬樓	10	
102	孫淵如詩文集	集部	孫星衍(撰)	上海涵芬樓	8	
103	豫章黃先生文集	集部	黃庭堅魯直	上海涵芬樓	8	
104	大雲山房文稿	集部	惲敬	上海涵芬樓	6	

105	中興以来絶妙詞選	集部	花庵詞客(編集)	上海涵芬樓	3	
106	司空表聖詩集	集部		上海涵芬樓	1	
107	鐵崖先生古樂府	集部	富春吳復(類編)	上海涵芬樓	2	
108	道園学古錄	集部	雍虞(集)	上海涵芬樓	12	
109	茗柯文補編外編	集部	武進張惠言	上海涵芬樓	1	
110	国秀集	集部		上海涵芬樓	1	
111	谷音	集部		上海涵芬樓	1	
112	堯峯文鈔	集部	林佶(編)	上海涵芬樓	8	
113	欒城集	集部		上海涵芬樓	20	11巻に自筆挟み込みあり
114	欒城応詔集	集部		上海涵芬樓	2	
115	温国文正司馬公文集	集部	司馬光	上海涵芬樓	16	13・14巻に自筆挟み込みあり
116	張説之文集	集部		上海涵芬樓	4	
117	謝宣城詩集	集部		上海涵芬樓	1	
118	才調集	集部	韋穀(集)	上海涵芬樓	3	
119	戴東原集	集部	戴震(譜)	上海涵芬樓	4	
120	潛研堂文集	集部	嘉定錢大昕 袁延壽(校字)	上海涵芬樓	16	
121	歐陽文忠公文集	集部	男發(編定)/孫謙益(校正)	上海涵芬樓	36	
122	王氏脈經	子部		上海涵芬樓	2	
123	徐幹中論	子部		上海涵芬樓	1	
124	淮南子	子部	許慎(記)	上海涵芬樓	4	1巻に借用書(飯塚保太郎記大村文夫宛)挟み込みあり
125	抱朴子	子部	晋丹陽葛洪稚川	上海涵芬樓	6	
126	墨子	子部		上海涵芬樓	4	
127	唐段小卿酉陽雜俎	子部	段成式(撰)/李雲鵠(校)	上海涵芬樓	4	
128	韓非子	子部		上海涵芬樓	3	
129	重廣補注黃帝内經素問	子部	啓玄子王冰(撰)	上海涵芬樓	5	
130	說苑	子部	南豐曾鞏	上海涵芬樓	6	
131	註解傷寒論	子部	張仲景 王叔和(撰)/成無巳(註)/汪濟川(校正)	上海涵芬樓	4	
132	風俗通義	子部	太山太守應(劭)	上海涵芬樓	2	
133	黃帝素問靈樞經	子部		上海涵芬樓	4	
134	申鑒	子部	黃省曾(注)	上海涵芬樓	1	
135	難經集註	子部	泰越人(撰)/呂廣・虞庶(註解)/王惟一(校正附音釋)	上海涵芬樓	2	
136	金匱要略	子部	張仲景(述)/王叔和(集)/徐鎔(校)	上海涵芬樓	2	
137	翻訳名義集	子部	敦義(述)/法雲(編)	上海涵芬樓	7	
138	白虎通德論	子部	固(纂集)	上海涵芬樓	2	
139	孔子家語	子部	王肅(注)	上海涵芬樓	3	
140	周髀算經	子部	君卿(注)/甄鸞(重述)/李淳風(注釋)/開美・毛晉(校)	上海涵芬樓	2	
141	荀子	子部	倞(注)	上海涵芬樓	6	1巻に自筆挟み込みあり

142	六韜 吳子 司馬法	子部		上海涵芬樓	1	
143	尹文子	子部	山陽仲長(撰定)	上海涵芬樓	1	
144	沖虛至德眞經	子部	張湛處度(注)	上海涵芬樓	1	
145	鬼谷子	子部	陶宏景(注)	上海涵芬樓	1	
146	鶻冠子	子部	陸佃(解)	上海涵芬樓	1	
147	劉向新序	子部		上海涵芬樓	2	
148	揚子法言	子部	李軌(注)	上海涵芬樓	1	
149	老子道德經	子部		上海涵芬樓	1	
150	穆天子伝	子部	郭璞(註) / 范欽(訂)	上海涵芬樓	1	
151	新語	子部	陸賈(撰)	上海涵芬樓	1	
152	意林	子部	馬總(撰)	上海涵芬樓	2	
153	重修政和証類本草	子部	曹孝忠(奉勅校勘)	上海涵芬樓	12	
154	論衡	子部	王充	上海涵芬樓	8	
155	群書治要	子部	魏徵(奉勅撰)	上海涵芬樓	16	
156	賈太伝新書	子部	太伝賈(譔撰)	上海涵芬樓	2	
157	山海經	子部	郭氏(伝)	上海涵芬樓	2	
158	潛夫論	子部	王符	上海涵芬樓	2	
159	鄧析子	子部	無厚(篇)	上海涵芬樓	1	
160	慎子	子部	慎到(撰) / 慎懋賞(校)	上海涵芬樓	1	
161	孔叢子	子部		上海涵芬樓	2	
162	鹽鐵論	子部	寬(撰)	上海涵芬樓	2	
163	商子	子部	范欽(訂)	上海涵芬樓	1	
164	世說新語	子部	汪義慶(撰) / 劉孝標(注)	上海涵芬樓	3	
165	西京雜記	子部	洪稚川(集)	上海涵芬樓	1	
166	人物志	子部	劉邵(撰) / 劉炳(注)	上海涵芬樓	1	
167	太玄經	子部	望叔明(解贊)	上海涵芬樓	3	
168	呂氏春秋	子部	高誘(訓解)	上海涵芬樓	5	
169	顏氏家訓	子部	顏之推(撰) / 冷宗元(校)	上海涵芬樓	1	
170	文中子中說	子部	阮逸(註)	上海涵芬樓	1	文夫筆挟み込みあり
171	管子	子部	玄齡(註)	上海涵芬樓	4	
172	南華真經	子部	郭象子玄(註) / 陸德明(音義)	上海涵芬樓	5	
173	焦氏易林	子部		上海涵芬樓	16	
174	孫氏集註	子部		上海涵芬樓	4	
175	周易	経部		上海涵芬樓	2	
176	孝經	経部		上海涵芬樓	1	
177	説文解字繫伝	経部		上海涵芬樓	8	1巻に自筆挟み込みあり
178	經典釋文	経部		上海涵芬樓	12	
179	春秋繁露	経部	董仲舒(撰)	上海涵芬樓	2	1巻に自筆挟み込みあり

180	毛詩	經部	鄭氏(箋)	上海涵芬樓	4	
181	向書大伝	經部	受業嘉應吳蘭修(校)	上海涵芬樓	2	
182	玉篇	經部		上海涵芬樓	3	
183	説文解字	經部	許慎(記)	上海涵芬樓	4	
184	論語	經部	何晏(集・解)	上海涵芬樓	2	
185	孟子	經部	趙氏(集・解)	上海涵芬樓	3	
186	尚書	經部	孔氏(撰・編)徳明(釋)	上海涵芬樓	2	
187	京氏易伝	經部	陸續(註)/范欽(訂)	上海涵芬樓	1	
188	爾雅	經部	郭璞(撰・注)	上海涵芬樓	1	
189	春秋穀梁伝	經部	范甯(集解)	上海涵芬樓	2	
190	纂圖互註礼紀	經部	鄭氏(註)	上海涵芬樓	5	
191	儀礼	經部	鄭氏(註)	上海涵芬樓	5	
192	廣韻	經部		上海涵芬樓	5	
193	春秋公羊經伝解詁	經部		上海涵芬樓	3	
194	韓詩外伝	經部	韓嬰	上海涵芬樓	2	
195	大戴礼記	經部	戴德(撰)	上海涵芬樓	2	
196	方言	經部	郭璞	上海涵芬樓	1	
197	釋名	經部	劉熙字成國(撰)	上海涵芬樓	1	
198	周礼	經部	鄭氏(註)	上海涵芬樓	6	6巻に自筆挟み込みあり
199	春秋經伝集解	經部		上海涵芬樓	6	
200	吳越春秋	史部		上海涵芬樓	2	
201	司馬温公稽古錄	史部		上海涵芬樓	3	2巻に自筆挟み込みあり
202	汲冢周書	史部	孔晁(註)/後學章縝(校)	上海涵芬樓	1	
203	大唐西域記	史部	玄奘(詔訳)/辯機(撰)	上海涵芬樓	4	
204	史通	史部	劉子玄知幾(撰)	上海涵芬樓	4	
205	華陽国志	史部		上海涵芬樓	3	
206	五朝名臣言行錄	史部		上海涵芬樓	6	
207	国語	史部	韋昭(解)	上海涵芬樓	4	1・3巻に自筆挟み込みあり
208	越絕書	史部		上海涵芬樓	2	
209	晏子春秋	史部		上海涵芬樓	2	
210	三朝名臣言行錄	史部		上海涵芬樓	8	
211	戦国策校注	史部	縉雲鮑彪(校注)/東陽吳師道(重校)	上海涵芬樓	8	1巻に自筆挟み込みあり
212	竹書紀年	史部	沈約(附註)/范欽(訂)	上海涵芬樓	1	
213	劉向古列女伝	史部		上海涵芬樓	3	
214	水経注	史部	酈道元(撰)	上海涵芬樓	12	
215	前漢紀	史部	荀悅	上海涵芬樓	6	
216	後漢紀	史部	袁宏	上海涵芬樓	6	
217	資治通鑑目録	史部	司馬光	上海涵芬樓	10	

218	資治通鑑	史部	司馬光(編集)	上海涵芬樓	80	
219	資治通鑑釋文	史部		上海涵芬樓	5	
220	資治通鑑考異	史部	司馬光(編集)	上海涵芬樓	6	
221	資治通鑑外紀	史部	劉怒(編集)	上海涵芬樓	5	
222	通鑑紀事本末	史部	袁樞(編)	上海涵芬樓	42	

大村西崖資料目録 III-A. 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(1)漢籍

b.中国刊行-その他

宋刊本 十三經注疏附校勘記 のうち

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
1	禮記	鄭氏(注)/孔穎達(疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	12	漢籍	
2	左伝	杜氏(注)/孔穎達(疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	16	漢籍	
3	公羊		錦章図書局	民国15年夏月(1926)	6	漢籍	
4	穀梁	范甯(集解)/楊士勛(疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	3	漢籍	
5	論語	何晏(集解)/邢昺(疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	2	漢籍	
6	孝經	邢昺(注・疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	1	漢籍	
7	爾雅	邢昺(校定)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	4	漢籍	
8	孟子	趙氏(注)/孫奭(疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	4	漢籍	
9	易經	王弼(注)/孔穎達(撰)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	2	漢籍	
10	書經		錦章図書局	民国15年夏月(1926)	4	漢籍	
11	詩經	鄭氏(箋)/孔穎達(疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	10	漢籍	
12	周礼	鄭氏(注)/賈公彥(疏)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	8	漢籍	
13	儀礼	賈公彥(撰)	錦章図書局	民国15年夏月(1926)	8	漢籍	

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
14	段氏説文解字注■六書音均表	金壇段玉裁(注)		光緒7年仲寒■(1881)	24	漢籍	
15	四書古註群義彙解十種	何晏(集解)/皇侃(義疏)	上海同文升記書局	光緒30年夏仲(1904)	18	漢籍	3~5巻破損状態
16	畫史彙伝	彭蘊璨郎峯(編)	埽葉山	光緒8年季冬月(1882)	24	漢籍	14巻に自筆挿み込みあり。/18巻破損状態
17	影印 經籍纂詰	武進臧礼堂和貴・武進臧鏞堂在東(總纂)	上海文瑞樓	嘉慶4年6月(1799)	12	漢籍	
18	説文易檢	武進史恩綿(編)	商務印書館	民国12年7月(1923)	10	漢籍	
19	段氏説文解字注	金壇段玉裁(注)	錦章図書局	光緒34年暮秋(1908)	8	漢籍	1巻背表紙裏に「北海道札幌市北二條西一丁目一官舎。塩澤健 静岡県安部郡長田村用宗九七八番地。大村芳樹」と記入あり。/7巻に自筆挿み込みあり

学津討原 のうち

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
20	第一集凡十二冊		上海涵芬樓	嘉慶11年(1806)	12	漢籍	
21	第二集凡十二冊		上海涵芬樓		12	漢籍	

22	第三集凡八冊		上海涵芬樓		8	漢籍	
23	第四集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	7巻に自筆挿み込みあり
24	第五集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	1巻に自筆挿み込みあり
25	第六集凡十二冊		上海涵芬樓		12	漢籍	
26	第七集凡八冊		上海涵芬樓		8	漢籍	
27	第八集凡八冊		上海涵芬樓		8	漢籍	
28	第九集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	5・6巻に自筆挿み込みあり
29	第十集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	
30	第十一集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	4巻に自筆書込みあり
31	第十二集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	
32	第十三集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	5巻・10巻に自筆挿み込みあり
33	第十四集凡八冊		上海涵芬樓		8	漢籍	
34	第十五集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	
35	第十六集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	1～3巻に自筆挿み込みあり
36	第十七集凡十二冊		上海涵芬樓		12	漢籍	
37	第十八集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	
38	第十九集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	
39	第二十集凡十冊		上海涵芬樓		10	漢籍	
40	歴代画家姓氏便覧	雲槎(編)/召棠(校梓)		道光6年(1826)	6	漢籍	
41	書目答問標注		上海自強書局	民国18年仲夏(1929)	1	漢籍	
42	虞初新志	張山來(編)			10	漢籍	裏表紙裏に「福井学園旧藏 大正八年一月帰 我無記庵 大村西崖」他記入あり
43	国朝画識	伯治堂(纂集)/晋進之(参訂)		道光11年(1831)	12	漢籍	
44	佩文斎書画譜	孫岳頤・王世繩 他	上海同文書局	光緒9年(1883)	16	漢籍	
45	簡牘檢署考	王国維			1	漢籍	
46	西陲石刻錄	羅振玉(集)		民国3年2月(1914)	1	漢籍	見開きに「大正甲寅12月17日羅君贈」と記入 あり
47	題画隅録	熙醜士			1	漢籍	見開きに(大邸藏書印)他捺印あり
48	普通書信範本 上・下	松江宋樹基(編)/嘉定夏日■(校補)	商務印書館	民国11年3月(1922)	2	漢籍	
49	新撰普通尺牘 上・下・詳解	商務印書館編訳所(編)	商務印書館	民国12年2月17日(1923)	3	漢籍	
50	画品四種	毛晋(訂)	汲古閣		1	漢籍	
51	中国書店書目		中国書店		1	漢籍	裏表紙に「昭和5年5月23日 ■金建値 ■信賣 上海一一〇両」と記入あり
52	盛京故宮書画記	梁息侯	大公報館	民国2年3月(1913)	1	漢籍	自序末に「大正乙丑元旦乃方撰者見贈」と記入 あり。自筆書込みあり
53	遊杭紀略	楊祚昌(編)	文元堂書莊	民国11年8月(1922)	1	漢籍	
54	辞源 上・下	陸爾奎 他	商務印書館	民国11年2月(1922)	2	漢籍	
55	蘇東坡宸奎閣碑				1	漢籍	自筆挿み込みあり

56	説文古籀補	朔丁仏言		?甲子9月	4	漢籍	帙底裏に「大村文夫藏書」と記入あり
57	甲骨文字研究	郭沫若	大東書局	民国20年5月(1931)	2	漢籍	自筆メモ・新聞切り抜き挟み込みあり
58	鉄雲藏龜	劉鉄雲		光緒29年9月(1903)	6	漢籍	
59	殷虛文字類編 待問編 殷虚書契孝釋	羅振玉(考釋) / 商承祚(類次)		?癸亥孟秋	5	漢籍	
60	欽定四庫全書簡明目錄 十四	卷			1	漢籍	本文の一部のみ
61	土礼居藏書題跋記	黃丕烈			1	漢籍	
62	西冷印社金石印譜法帖臧書		西冷印社		1	漢籍	
63	学庸集註	朱熹			1	漢籍	自筆書込みあり
64	歴代職官表 上・中・下	黃本驥(旧校) / 子芹甫(重校)	上海王氏	光緒8年3月(1882)	3	漢籍	
65	史記菁花錄		商務印書館	康熙60年(1721)	3	漢籍	全巻末項に「文一丙 大村遊帰男」と記入あり
66	文字学研究法	樸安			1	漢籍	
67	契文举例	孫詒讓			1	漢籍	自筆挟み込みあり。末項に「昭和申戌立秋後 ■日以鐵雲藏龜釋文一校了希堂学人」と記入あり
68	経学歴史	周予同(注釋) / 王雲五・朱經農(編)	商務印書館	民国18年3月(1929)	1	漢籍	自筆「経学歴史人名索引」表挟み込みあり
69	爾雅音図	郭璞(撰)	上海古香閣	光緒24年仲夏(1898)	1	漢籍	
70	慧超五天竺国伝箋釋				1	漢籍	自筆挟み込みあり。見開きに「敬呈 大村西崖兄 藤田堂八」と記入あり
71	書法擧隅		文明書局	民国25年2月(1936)	1	漢籍	
72	続藏経目録		商務印書館		1	漢籍	
73	蘇東坡書金剛経		上海西冷印社		1	漢籍	
74	芥子園画伝三集	吳世悟(書)		乾隆47年仲秋月(1782)	1	漢籍	
75	字義類例	陳獨秀(撰)			1	漢籍	
76	老子古義	長沙楊樹達(編)	上海中華書局	民国11年9月(1922)	1	漢籍	
77	黄自元臨九十二法		尚古山房		1	漢籍	
78	初拓張猛龍碑			光緒34年1月10日(1908)	1	漢籍	
79	音学辨微	婺源江慎修			1	漢籍	
80	説文解字段注考正	馮桂芬学		民国17年(1928)	8	漢籍	
81	契文举例 叙・月日第一				1	漢籍	印刷手製本
82	金石大字典 (希・堂)				1	漢籍	印刷資料
83	説文解字研究法	馬叙倫	商務印書館	民国18年5月(1929)	1	漢籍	
84	中国文字学	顧実	商務印書館	民国17年3月(1928)	1	漢籍	
85	方言	揚雄(記)郭璞(注)	思賢講舍	光緒17年夏(1891)	2	漢籍	
86	国学叢刊			宣統3年(1911)	1	漢籍	
87	重編石鼓文	溧陽強運開	黃倉学著	民国6年5月(1917)	1	漢籍	

88	中国絵画史	陳師曾(著)俞錕恭(校)	翰墨緣美術院	民国14年6月1日(1925)	1	漢籍	
89	殷虚蘊契考	陳邦福		?戊辰6月	1	漢籍	
90	殷契辨疑	陳邦福			1	漢籍	
91	二十四孝図説	迦陵羅詩		?丙辰6月	1	漢籍	
92	文始	章炳麟(著)高保康(署検)			1	漢籍	
93	明拓石鼓文		有正書局	民国13年3月(1924)	1	漢籍	自筆挾み込有り
94	中国文字之原始及其構造	蔣善國	商務印書館	民国19年6月(1930)	2	漢籍	
95	碑別字	食旧堂		光緒20年孟夏(1894)	2	漢籍	表紙に「羅叔言君所贈」、見開きに「大正甲寅臘月17日汎羅君於■■■好僑北得之(大邱西崖印)」と記入あり
96	碑別字補五卷	羅振玉(集)		光緒27年(1901)	1	漢籍	表紙に「羅叔言君所贈」と記入あり
97	簠室殷契徵文 上・下・考釋上・考釋下	王襄	天津博物院	民国14年9月(1925)	4	漢籍	
98	簠室殷契類纂 上・下	王襄(集)	天津博物院		2	漢籍	
99	六朝別字記	趙撝叔(手写)	商務印書館	民国15年12月(1926)	1	漢籍	見開きに「昭和三年拾月十一日滬江大學教授陳彬龢來訪所贈也 大村文夫藏」と記入あり
100	殷契拾遺	陳邦懷			1	漢籍	
101	魏齊造像二十品	趙撝叔(選定)	有正書局		1	漢籍	
102	明拓顏真卿多宝塔碑				1	漢籍	
103	增訂殷虛書契考釋 上・下	羅振玉	東方学会		2	漢籍	
104	棘端競巧	金東溪・金西厓	大東書局	?甲子4月24日	1	漢籍	
105	殷虛書契考釋	羅振玉			1	漢籍	
106	青蘿庵真賞第一集	倬章	上海經售所	?癸亥3月	1	漢籍	
107	說契 墬契枝譚	葉玉森	富晉書社	民国18年10月(1929)	1	漢籍	
108	金北樓摹董臨宋元緒家冊				1	漢籍	
109	中国名勝第八種 孔林	郁厚培・張元濟・孫育修・呂頤寿	商務印書館	民国10年4月(1921)	1	漢籍	
110	画冊二十四種				1	漢籍	
111	王石谷谿山霽雪図巻		有正書局		1	漢籍	
112	黃小松仿古山水		上海文明書局	民国4年7月(1915)	1	漢籍	

二十四史 のうち (いづれも同著者、発行所・発行年が異なる)

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
111	史記	司馬遷(著)裴駰(集解) 司馬貞(索隱) 張守節(正義)	上海中華書局	民国12年(1923)	8	漢籍	
112	前漢書	班固(著)顏師古(注)	上海中華書局	民国12年(1923)	8	漢籍	
113	後漢書	范曄(著)劉昭(補志)太子賢(注)	上海中華書局	民国12年(1923)	8	漢籍	
114	魏書	魏收	上海中華書局	民国12年(1923)	8	漢籍	
115	三国志	陳壽・裴松之	上海中華書局	民国12年(1923)	4	漢籍	

116	晋書	唐太宗文皇帝	上海中華書局	民国12年(1923)	8	漢籍	
117	宋書	沈約	上海中華書局	民国12年(1923)	6	漢籍	
118	南齊書	蕭子顥	上海中華書局	民国12年(1923)	2	漢籍	
119	梁書	姚思廉	上海中華書局	民国12年(1923)	2	漢籍	
120	北齊書	李百藥	上海中華書局	民国12年(1923)	2	漢籍	
121	陳書	姚思廉	上海中華書局	民国12年(1923)	1	漢籍	
122	南史	李延壽	上海中華書局	民国12年(1923)	6	漢籍	
123	北史	李延壽	上海中華書局	民国12年(1923)	8	漢籍	
124	隋書	魏徵	上海中華書局	民国12年(1923)	6	漢籍	
125	旧唐書	劉昫	上海中華書局	民国12年(1923)	16	漢籍	
126	新唐書	歐陽修	上海中華書局	民国12年(1923)	16	漢籍	
127	周書	德棻	上海中華書局	民国12年(1923)	2	漢籍	
128	旧五代史	薛居正	上海中華書局	民国12年(1923)	6	漢籍	
129	新五代史	歐陽修	上海中華書局	民国12年(1923)	2	漢籍	
130	宋史	脱脱	上海中華書局	民国12年(1923)	32	漢籍	
131	遼史	脱脱	上海中華書局	民国12年(1923)	3	漢籍	
132	金史	脱脱	上海中華書局	民国12年(1923)	8	漢籍	
133	元史	宋濂	上海中華書局	民国12年(1923)	14	漢籍	
134	明史	張廷玉(修)	上海中華書局	民国12年(1923)	24	漢籍	3巻に自筆挿み込みあり

木箱入シリーズもの

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
135	欽定佩文韻府	張玉書等(集閱) 蔡升元等(纂修・校勘) 孫致彌等(纂修) 汪士鋐等(校勘)	上海鴻寶齋	光緒18年仲秋月(1892)	180	漢籍	B-5木箱蓋裏に自筆記入有り。/61巻に名刺(畠保之)挿み込みあり
135	韻府拾遺	張廷玉等(校勘) 汪灝等(纂修)	上海鴻寶齋	光緒18年仲秋月 (1892)	20	漢籍	
136	淵鑑類函	張英・王士正・王掞・張榕端(總裁)	古香齋	康熙49年10月25日 (1710)	160	漢籍	木箱蓋裏に自筆記入あり (芸工芸 1~12冊のみ)

大村西崖資料目録 III-A 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(1)漢籍

c.日本刊行

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
1	古詩韻範 下	武元質景文			1	漢籍	破損状態
2	禪偈三仄疎	梵丁(編)			1	漢籍	
3	碧巖錄 卷3~10				4	漢籍	卷1・2欠。卷5・6に自筆挟み込みあり。(大邸蔵書)印捺印あり
4	玉篇 卷3~10				7	漢籍	卷1・2欠
5	八宗綱要	凝然大徳(述)/中野宗左衛門(開板)		承応2年春(1653)	1	漢籍	「觀澄之」の記名あり
6	劉向列女伝 3~5巻	劉向子政(撰)/胡文鑑煥徳(補校)		承応2年8月(1653)	3	漢籍	1・2巻欠。3巻最終項に「梅木居士 秋山一好 明治拾三年十月二十五日 秋山由次郎」と記入あり
7	類聚詩韻	安藤由越(纂集)		享保5年5月(1720)	1	漢籍	
8	唐詩選 卷1~6	李攀龍(編・撰)	書林嵩山房	寛政8年初春(1796)	3	漢籍	卷4・5見開きに書込みあり
9	頌古稱堤 乾・坤		貝葉書院	文政11年9月6日(1827)	2	漢籍	
10	劉向新序 自一至五 乾・坤	劉向(著)/程栄(校)/武井樗齋(註)	尚古堂	天保3年仲秋(1832)	2	漢籍	坤巻に自筆挟み込みあり
11	宏智禪師頌古 上・下	茂林寺梵丁和尚(註)	貝葉書院	天保5年7月(1834)	2	漢籍	
12	皇清經解一斑	煌亭・崗田欽三秀		天保7年夏5月(1836)	1	漢籍	
13	孝經鄭氏解	洪頤煊(補證)/東條弘(増考)	東京書店 嵩山房	嘉永4年11月(1851)	1	漢籍	背表紙裏に「明治四十四年五月文夫始讀書於二松學舎」と記入あり
14	孝經両造簡字	東條弘	東京書店 嵩山房	嘉永4年12月(1851)	1	漢籍	『孝經鄭氏解』付録
15	杜詩偶評	長洲沈德潛碭士(編纂)/後学潘承松森千(校閱)	官板書籍發行所	嘉永5年春月(1852)	3	漢籍	
16	開卷驚新作文用字明辨	岡三慶	堀口惣五郎	明治10年7月15日(1877)	1	漢籍	自筆書込み・挟み込みあり
17	纂評唐宋八大家文読本 巻2~16	井上揆(纂集)	丸家善七・ 太田勘右衛門	明治12年1月(1879)	15	漢籍	巻1欠。(青木蔵書)印捺印あり
18	普勸坐禪儀不能語	翼龍童(編)	樋口小左衛門	明治12年8月18日(1879)	1	漢籍	
19	東大寺献物帳			明治13年12月(1880)	2	和書	[博物館本]表紙に「帰堂学人大村西崖手澤本」と記入・自筆書込み・「大仏殿修繕工事二付キ発掘物位置見取図」挟み込みあり 芸工芸
20	拈評三百則 不能語 上・中・下	古田梵仙(編)	文光堂 梶田勘助	明治14年4月(1881)	3	漢籍	

21	參同契寶鏡三昧 不能語	林古芳(註解)/正辻顯高(校正)	東京書舗 森江佐七	明治17年1月(1883)	1	漢籍	自筆書込み・挟み込みあり
22	因明三十三過本作法科本	雲英晃耀	雲英晃耀	明治17年4月(1884)	1	漢籍	
23	冠導真言名目	浦上隆應(校閱)/廣安恭壽(註訳)	文政堂 藤井佐兵衛	明治22年12月13日(1888)	1	漢籍	
24	東西年表	井上頼団・大槻如電(撰)	吉川半七・ 林平次郎	明治31年2月25日(1898)	1	漢籍	表紙に「先考大村西崖翁手釋本 昭和参年■男文夫謹記」と記入あり
25	陶淵明集	陶潛淵明(著)/近藤元粹(評訂)	青木恒三郎	明治33年1月10日(1900)	1	漢籍	自筆挟み込み有り。新聞切り抜き挟み込みあり
26	支那疆域沿革略説	重野安繹・河田羆	富山房	明治40年6月10日(1907)	1	漢籍	
27	宇考正誤	森慶造(校訂)	民友社	明治45年6月18日(1912)	1	漢籍	
28	冠註臨濟慧照禪師語録	町元空空(編)	貝葉書院	明治45年9月5日(1912)	1	漢籍	
29	日本印人伝	也軒雄作(署検)		大正4年8月(1915)	1	漢籍	自筆挟み込みあり
30	南唐真本澄清堂帖	廉泉	扇面館	大正4年12月13日(1915)	1	漢籍	帙内側に「大正丁巳十二月六日廉南湖來訪持贈」と記入あり
31	三体千字文 上・下	日下部東作(書)	田中宋栄堂	大正15年5月10日(1926)	2	和書	
32	孝経五種	杉浦親之助(編)	杉浦親之助	大正14年9月25日(1925)	1	漢籍	
33	五経文字九経字様箋正	岡井慎吾	有七絶堂	大正15年1月25日(1926)	4	漢籍	帙底裏に「大村文夫藏書」と記入あり
34	王右軍書聖教序	藤原楚水(選釋)	三省堂	昭和14年12月25日(1939)	1	漢籍	
35	不求自得盦遺稿	塩沢健	塩沢準平	昭和17年5月15日(1942)	1	漢籍	見開きに「贈呈 塩沢準平」とあり。自筆原稿 「詠懷一百二十韻」挟み込みあり

大村西崖資料目録 III-A 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(2)和書

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
1	増補大広益会玉篇				2	漢籍	
2	萬積物の次第/周殷夏				1	和書	天明7年(1786年)8月15日中村鼎による写本。(大村氏蔵)印あり
3	古言梯標誰	楫取魚彦	青雲堂英文藏	明和2年4月(1765)	1	和書	
4	字音仮字用格	本居宣長		安永5年春(1776)	1	和書	自筆書き込みあり
5	女大学宝箱	貝原益軒	書林 須原■茂兵衛 柏原清右衛門	文政12年3月(1829)	1	和書	表紙に「大村きく」の記名あり
6	養徳錦顕文鈔		花廻家	嘉永6年9月(1852)	1	和書	
7	幼学綱要	元田永孚	宮内省	明治16年12月27日(1883)	7	和書	
8	鉄翁画談	倉野煌園(編)	鴻盟社	明治18年7月25日(1885)	1	和書	(因島文庫)印捺印あり
9	密門雜抄	傳燈比丘慧澄	天台宗大学林支校附属 中学林	明治23年8月10日(1890)	1	和書	表紙に「大正六年六月廿二日福田■顕師所贈」と記入あり
10	日本帝国美術略史稿	帝国博物館(編)	農商務省	明治34年7月24日(1901)	1	和書	
11	堺市案内記	第五回博覽会 堺市協賛会	第五回博覽会 堺市協 賛会	明治36年1月28日(1903)	1	和書	
12	(河口慧海師将来西藏品図 録)	東京美術学校 校友会	画報社	明治37年3月18日(1904)	1	和書	表紙欠落
13	佛教大辞典 第一卷	望月信亨・荻原雲来・加藤玄 智・鈴木暢幸(編)	武揚堂書店	明治42年3月23日(1909)	1	和書	
14	佛教大辞典 第二卷		武揚堂書店		1	和書	
15	佛教大辞典 第三卷	望月信亨	武揚堂書店	大正5年12月8日(1916)	1	和書	
16	国譯大藏經 第十一帙	国民文庫刊行会(編)	国民文庫刊行会	大正6年12月20日(1917)	1	和書	
17	陰驚文	塩沢健		大正9年1月7日(1920)	1	和書	
18	仏教学雑誌	小野玄妙(編)	文淵堂	大正11年5月10日(1922)	1	和書	
19	支那佛教史地図並索引	大塩毒山(編)	大雄閣書房	大正13年11月15日(1924)	1	和書	表紙に「高楠博士所贈」と記入あり
20	印度佛教史地図並索引	大塩毒山(編)	大雄閣書房		1	和書	索引欠
21	古本三国志通俗演義	田中慶太郎		大正15年9月(1926)	1	和書	
22	日本仏教美術之研究	戸部隆吉・堀口蘇山(編)	藝苑巡礼社	昭和4年7月1日(1929)	1	和書	
23	東京帝室博物館講演集 第4 冊	溝口禎次郎・高橋健自・関根 正直	帝室博物館	昭和5年3月24日(1930)	1	和書	挟み込みあり
24	漢字一元論稿抄録	青井貞次郎	六幽書院	昭和8年4月20日(1933)	1	和書	

大村西崖資料目録 III-A 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(3)洋書

a. 明治37年渡欧時収集刊本

英語刊本

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
1	Greek Sculpture	John Warrack		Hamilton Kent & CO. LTD., London		1	洋書(英)	新聞切り抜き(昭和39年)の挟み込みあり
2	Views of London					1	洋書(英)	「明治三十七年十一月廿八日 於ロンドン、オクスフォード街購之 無記庵主」と記入あり
3	An Illusted Guide and Descriptive Account of the Palace of Westminster			Warrington & Co., London		1	洋書(英)	
4	Sculptures of Ephesus, Cnidos, Cyrene and Salamis in the British Museum	A.H. Smith, M.A.		London	1900	1	洋書(英)	「明治三十七年十一月廿七日 於英國聚珍館購之 無記庵主」と記入あり
5	The Mausoleum and Sculuptures of Halicarnassos and Priene, in the British Museum	A.H. Smith, M.A.		London	1900	1	洋書(英)	「明治三十七年十一月廿七日 於英國聚珍館購之 無記庵主」と記入あり
6	An Abridged Catalogue of the Pictures in The National Gallery; Forein Schools	National Gallery		London	1901	1	洋書(英)	"Visited 23, 11, 1904"と記入あり(田島志一筆か)
7	Descriptive and Historical Catalogue of the Pictures in The National Gallery; British School	National Gallery		London	1901	1	洋書(英)	"Visited 23, 11, 1904"と記入あり(田島志一筆か)
8	Collection of Pictures illustrating The Life of Christ	James J. Tissot	The Brooklyn Institute of Arts and Sciences		Feb., 1901	1	洋書(英)	「明治三十七年十一月七日参観 大村西崖」と記入あり
9	Catalogue of the Royal Picture Gallery in Dresden	Karl Woermann (Author), B.S.Ward (Translation)		Dresden	1902	1	洋書(英)	「明治三十七年十二月十九日参観 無記庵主」と記入あり。(大邸蔵書)印捺印有り。破損状態
10	Guide to the Royal Collections of Dresden	Miss C.S. Fox (Translation)		Dresden	1902	1	洋書(英)	

11	A Guide to the Early Christian and Byzantine Antiquities	British Museum			1903	1	洋書 (英)	「明治三十七年十二月廿一日龍動到着の日購之無記庵主」と記入あり。(大邸蔵書)印捺印あり
12	The National Gallery [Trafalgar Square] Illustrated Catalogue		Authority of the Trustees	Cassell & Company, Limited., London	1903	1	洋書 (英)	「明治三十七年十一月廿三日 於■■■■■購之無記庵主」と記入あり
13	The National Gallery of British Art [Millbank] Illustrated Catalogue		Authority of the Trustees	Cassell & Company, Limited., London	1903	1	洋書 (英)	「明治三十七年十一月廿五日 共下村觀山■參觀大村西崖」と記入あり
14	Catalogue of the Paintings in the Metropolitan Museum of Art	Metropolitan Museum of Art	Metropolitan Museum of Art	New York	May, 1904	1	洋書 (英)	
15	Paintings and Sculpture Permanent Collections	Cincinnati Museum	Cincinnati Museum		1904	1	洋書 (英)	「明治三十七年十月卅一日參觀 ミーキン氏頗歓待」と記入あり
16	A Handbook to the Collection of Antiquities and Other Objects exhibited in the Fitzwilliam Museum			The University Press, Cambridge	1904	1	洋書 (英)	"Visited Feb. 4, 1905. S.Tajima"と記入あり
17	A Guide to the Exhibition Galleries of the British Museum (Bloombury)	British Museum		London	1904	1	洋書 (英)	「明治三十七年十一月廿一日龍動到着の日購之無記庵主」と記入あり。(大邸蔵書)印捺印あり
18	Later Greek and Graeco-Roman Statues and Busts, in the British Museum	A.H. Smith, M.A.		London	1904	1	洋書 (英)	「明治三十七年十一月廿一日 於英國聚珍館購之無記庵主」と記入あり

独語刊本

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
19	Beschreibung der Sculpturen Aus Pergamon I.Gigantomachie			Berlin	1902	1	洋書 (独)	「明治三十六年十二月十七日參觀 無記庵主」と記入あり
20	Ein Hundert Tafeln nach den bildwerken der Kgl. Glyptothek zu Munchen			Munchen	1903	1	洋書 (独)	「明治三十七年十二月二十日參觀 無記庵主(以下略)」と記入あり。(大邸蔵書)印捺印有り
21	Führer durch das Bayerische National Museum			Munchen	1904	1	洋書 (独)	

和書刊本

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
22	Asoka Inscriptions					1	和書	巻頭に「阿育王事蹟付録 阿育王の法誥等の原文」とあり

大村西崖資料目録 III-A. 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(3)洋書

b.その他

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
1	Kunsthistorische Bilderbogen [Handausgabe Erster Cyklus] [Zweiter Cyklus] [Die Kunst des XIX. Jahrhunderts]	Anton Springer	Verlag von E.A.Seemann, Leipzig	1888	3	洋書	全書とも見開きに"R.Shiosawa Berlin, fen 18. Mai 1898."の記入あり。 (大邸蔵書印) 捺印あり
2	Bulletin of the Museum of Fine Arts		Museum of Fine Arts, Boston	April, 1926	1	洋書	

大村西崖資料目録 III-A. 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(4) 雜

a. 雜誌

番号	書名	著者	発行所	発行年	点数	分類	備考
1	明倫雑誌 第85号	三森幹雄(編)	明倫社	明治21年5月25日(1888)	1	和書	
2	しがらみ草紙 第33~40号、 53・54号	脇田茂一郎(編)	新声社/[53号 以降]しがらみ 社	明治25年6月25日(1892)~明治27 年3月25日(1894)	11	和書	40号デュープ 1冊あり。(大邸蔵書)印捺印あり
3	錦巷雜綴 第1~7巻	宮原龍見(編集・ 発行)	東京美術学校校 友会	明治27年4月5日(1894)~明治29年 3月30日(1896)	7	和書	1:中林成昌翁画幅展観短評、2:古作薬師像記、3:誹文小品 (西崖戯稿)、5:雅俗辨、6:大仏造立勧進文、7:三衣略考(蜩 笑子)・広隆寺弥勒菩薩像記・壬生寺地蔵像記は西崖の寄 稿。
4	日本美術画報 初篇卷2~六篇 卷6	星野錫(編)	画報社	明治27年6月(1894)~明治32年12 月6日(1899)	30	和書	[初篇卷1,3~5,7,9~12][二編2,4,5,7~9,11,12][三篇 1~6,8~11][四篇1,3,4,6,7,9,11][五篇7,9,12][六篇 2,3,7~12]欠。うち画報社見本あり(芸図書全てあり。芸工 芸は1(8), 2(10), 3(7), 4(2,5,8), 5(1,5,6,10)欠。)
5	日本美術協会報告 第93~99 号,107~109号, 153号	坪井晋(編)	日本美術協会	明治28年10月28日(1895)~明治34 年9月10日(1901)	10	和書	97号欠
6	めざまし草/[38号以降]目 不醉草 第2~54号	星野謳治郎(編)/ [45号以降]石 田鈴治(編)	盛春堂/[26号 以降]めざまし 社	明治29年2月25日(1896)~明治34 年10月25日(1901)	27	和書	1,3~5,7~25,37,46~48,51,52号欠
7	白百合 第1・2号	本條香苗(編)	盛文堂	明治29年5月1日,同6月7日(1896)	2	和書	
8	美術評論 第1~10号	松崎正文(編集・ 発行)	画報社	明治30年11月14日(1897)~明31年 4月20日(1898)	9	和書	1~10:西洋美術史(無名氏)・無扉門(岳南)、3・5~9:雑感(無 記庵)は西崖の寄稿。2号欠。1号デュープあり。9号以外は校 本
9	Hansei Zasshi (Reflection) No.7, No.10	篠原英喜(編)	反省雑誌社	明治31年7月,同10月26日(1898)	2	洋書	日本にて発行の本
10	日本美術評論 第1号	須藤定穀	大日本美術評論 社	明治33年12月5日(1900)	1	和書	
11	日本美術 第29~32号	高木源四郎(編)	日本美術院	明治34年6月25日~同9月25日 (1901)	3	和書	31号欠

12	宗教界 第2巻第6・7・11号、第3巻第3・9号、第4巻第1・5号、第5巻第9~12号、第6巻第6~12号、第7巻第2号、第9巻第12号	大谷愍成(編)	宗教界発行所	明治39年6月1日(1906)~大正2年12月1日(1913)	7	和書	2-6:夜摩天と阿弥陀仏・昨今の宗教画(無名氏)、2-7:軌形式の観音像、2-11:吉祥天、3-3:マハバリブラの浮彫・観音の神話、3-9:法然上人行状絵図、4-1・5:観音の神話、5-9~12:羅漢図像考、6-6・7:{[7]奈良}正倉院志・希臘羅馬緒神伝(無名氏)、6-8~12・7-2:{[9・12]南都、}正倉院志、9-12:古陽洞元魏造像銘は西崖の寄稿。第3巻第9号デュープ ¹ 冊あり
13	層雲 第1巻第2号	荻原藤吉(編)	層雲社	明治44年6月5日(1911)	1	和書	破損状態
14	校友会月報 第2巻第8号(付録のみ)、第19巻第3号、第23巻第8号	田辺孝次(編集・発行)	東京美術学校校友会	大正9年6月20日(1920)~大正14年3月3日(1925)	3	和書	2-8:諸国年表、19-3:七言廿韻以叙懷兼言謝・漢詩、23-8:若いお方に は西崖の寄稿。23-8挿み込みあり(芸図書全てあり。芸工芸は10~16のみあり。)
15	東亜の光 第21巻第7号	神代峻通(編)	東亜協会	大正15年7月1日(1926)	1	和書	「六角鎮保聖寺の塑壁」大村西崖記名にて寄稿あり
16	梧蔭 第1~3号		清水義雄/[3号]森安節雄	昭和11年7月(1936)~昭和13年10月12日(1938)	3	和書	

大村西崖資料目録 III-A. 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(4) 雜

b. 展覧目録及び博物館案内

番号	書名	著者	発行所・発行人	刊行年	点数	分類	備考
1	西洋美術名作展図録		国立博物館		1	和書	
2	第四回内国勧業博覽会場案内	第四回内国勧業博覽会事務局記録課		明治28年5月11日(1895)	1	和書	(大村印)捺印あり
3	无声会かたろぐ 第1・3号	福井江亭(著作・発行)	画報社	[1号]明治33年11月22日(1900)	2	和書	両号とも「无声会かたろぐ序」(無記庵主西崖)寄稿あり
	大正六年特別展覧会陳列品目録	東京帝室博物館		大正6年4月1日(1917)	1	和書	
4	創立記念展覧会 選釋集古版本 陳列目録	宗教大学図書館		大正10年5月(1921)	1	和書	
5	古代支那美術展観			大正12年5月(1923)	1	和書	
6	本館所蔵古画模本特別展覧会 陳列品説明書	東京帝室博物館		大正13年10月(1924)	1	和書	
7	東京帝室博物館案内	東京帝室博物館		大正13年12月28日(1924)	1	和書	
8	東京帝室博物館案内 絵画部	東京帝室博物館		大正14年2月19日(1925)	1	和書	
9	正倉院宝物古裂類 臨時陳列目録	奈良帝室博物館		大正14年4月(1925)	1	和書	
10	仏教関係国宝絵画特別展覧会 陳列品解説	東京帝室博物館	東京帝室博物館	大正14年10月16日(1925)	1	和書	
11	展覧画幅目録	浅野長武		大正14年11月(1925)	1	和書	
12	御大典記念徳川時代各派名作 浮世絵展覧会目録	報知新聞社		昭和3年6月(1928)	1	和書	自筆書き込みあり
13	周漢文化展覧会目録	帝室博物館		昭和7年4月30日(1932)	1	和書	写真挟み込みあり
14	東京帝室博物館 復興開館陳列案内	帝室博物館	帝室博物館	昭和13年11月9日(1938)	1	和書	
15	正倉院御物特別展観目録	帝室博物館		昭和15年11月5日(1940)	1	和書	
16	正倉院御物特別展観目録	帝室博物館		昭和15年11月5日(1940)	1	和書	

大村西崖資料目録 III-A. 旧蔵図書(図書・雑誌類)

(4) 雜

c. 小冊子・印刷資料など

番号	書名	著者	発行所	発行年	点数	分類	備考
1	年号表				1	和書	印刷資料
2	龍安寺	松倉紹英(監修)/出雲路敬和(解説)	美巧社		1	和書	
3	古今御絵師狩野家系図入	欣亮		文化元年3月(1804)	1	和書	
4	哲学一夕話	井上円了	哲学書院	明治20年7月(1887)	1	和書	
5	(小包郵便法に関する小冊子)			明治25年(1892)	1	和書	
6	美術応用天造物ノ話	山本復一	山本復一	明治29年7月1日(1896)	1	和書	表紙に「呈 美術学校ニテ 大村 西崖拝」と記入あり
7	鎌倉大仏略記	転法輪戒珠(編集・発行)		明治29年8月31日(1896)	1	和書	
	大日本古文書例言	東京帝国大学文科大学 史料編纂掛	東京帝国大学	明治34年12月13日(1901)	1	和書	
8	一座行法印契標示義釋	加持世界社(編)	加持世界社	明治43年3月15日(1910)	1	和書	
9	大須觀世音略縁起	大須北野山真福寺宝生院	大須北野山真福寺 宝生院	明治43年3月吉辰(1910)	1	和書	自筆書き込みあり
10	御靈跡略縁起	水村日鴻	伊東市 仏現寺	昭和28年5月12日(1953)	1	和書	
11	岸駒先生建碑画会趣意及規則		岸駒先生 建碑画会 事務所	大正4年2月(1915)	1	和書	自筆書き込みあり。「特別贊助御芳名」に西崖の名あり
12	支那の硯に就て	速水一孔(述)/磯部栄一(編)	東亜研究会	昭和元年12月31日(1926)	1	和書	
13	王右軍書聖教序	藤原喜一	三省堂	昭和14年12月25日(1939)	1	和書	末項に(大邑■■)印捺印あり
14	大本山總持寺要覽	江川太禪(編)	大本山總持寺	昭和33年4月15日(1958)	1	和書	
15	拓本入門	高橋昌博	綜芸社	昭和41年9月1日(1966)	1	和書	

大村西崖資料目録 III-B.旧蔵図書(著作図書)

a. 漢籍(中国刊行)

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
1	文人画之復興	大村西崖(述)/陳衡恪(訳)				1	漢籍	見開きに「大正十一年七月十九日廉南湖侯上海送来二十本之一」と自筆記入あり
2	絵画小史	大村西崖(著)/張一鈞(訳)		上海聚珍倣 宋印局		1	漢籍	自筆書込みあり

大村西崖資料目録 III-B.旧蔵図書(著作図書)

b. 漢籍(日本刊行)

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
1	阿密哩多軍荼利法	大村西崖(編集)	大村西崖	仏書刊行会 図像部	大正5年5月25日(1916)	1	漢籍	新聞切抜貼り付けあり
2	密教發達志 卷1~5	大村西崖	大村西崖[東京市牛込区矢来町三番地]	仏書刊行会 図像部	大正7年11月15日(1918)	5	漢籍	いずれも校本/自筆挿み込み・書込みあり
3	圭堂遺稿鈔	大村西崖			大正8年立夏前三日(1919)	1	漢籍	
4	圭堂遺稿	福井■(撰)/ 正木直彦(草)/ 岡崎壯(拝稿)/ 芹澤閑(拝)/ 大村西崖(敬識)			大正8年(1919)	1	漢籍	
5	論画百絶	大村西崖	大村西崖[牛込区矢来町三番地]	巧芸社	大正9年11月15日(1920)	14	漢籍	デュープ 13冊あり
6	龜賢画法冊	大村西崖(跋)		丹青社	大正11年(1922)	1	漢籍	「龜賢画法冊解説」(大村西崖訳説)4部挿み込みあり
7	蘿軒変古箋譜	大村西崖(校集)/ 前田賢太郎(刻工)/ 本橋貞次郎(印工)	岡本叢刊会(代表:大村文夫)	岡本叢刊会	大正12年1月15日(1923)	2	漢籍	
8	胸中邱壑	大村西崖		文玩莊	大正15年孟冬(1926)	1	漢籍	
9	無記庵韻存	大村西崖(著)/ 大村文夫(編集)	大村文夫	文玩莊	昭和8年5月30日(1933)	1	漢籍	

※卅帖策子 のうち(第十帖欠)

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
10	新華嚴經 第一帙十巻					1	仏典	卅帖策子第一帖
11	新華嚴經 卷二帙					1	仏典	卅帖策子第二帖
12	新華嚴經 第三帙十巻					1	仏典	卅帖策子第三帖
13	新華嚴經 第四帙十巻					2	仏典	卅帖策子第四帖/デュープ 1冊あり
14	頂輪王念誦儀一巻/蓮華部念誦法一巻/蓮華大曼荼羅品一巻/仁王般若陀羅尼釋一巻/金剛峯瑜祇經一巻/頂輪王瑜伽經一巻/					1	仏典	卅帖策子第五帖/デュープ 2冊あり
15	觀自在授記經一巻/觀自在明王經一巻/奇特仏頂經三巻/仁王經二巻/尊勝儀軌一巻/阿闍念誦法一巻/一髻尊經一巻/					1	仏典	卅帖策子第六帖/デュープ 1冊あり

16	波羅密經一部 十卷					1	仏典	卅帖策子第七帖/テューブ° 1冊あり
17	守護國經一部 十卷					1	仏典	卅帖策子第八帖
18	大聖欽喜天經/菩提傷一字頂輪王經一部 五卷	大村西崖(編)	大村西崖	佛書刊行會 圖像部	大正5年10月10日(1916)	1	仏典	卅帖策子第九帖
19	金剛真実大教王經	大村西崖(編)	大村西崖	佛書刊行會 圖像部	大正4年12月25日(1915)	1	仏典	卅帖策子第十一帖/自筆書込みあり
20	新譯密嚴經一部 三卷					1	仏典	卅帖策子第十二帖
21	新十一面經一部 三卷					1	仏典	卅帖策子第十三帖/テューブ° 2冊あり
22	金剛頂略出經一部 四卷					1	仏典	卅帖策子第十四帖/テューブ° 1冊あり
23	孔雀經下卷/理趣釋經/雨寶陁羅尼經/					1	仏典	卅帖策子第十五帖
24	訶哩底母經/葉衣觀自在經/末利支華■經/觀音說普賢真言/王法政論經/普賢薩埵儀軌/輸伽文殊法品/					1	仏典	卅帖策子第十六帖
25	造塔延命功德經/瑜伽念誦經/三十五仏名禮懺文/木棟經/金剛頂觀自在如來修行法/金輪王仏頂略念誦法/大毘盧舍那經略示七支念誦法/毘沙門天王經/					1	仏典	卅帖策子第十七帖
26	文殊五字頌/寶篋經/菩提陁羅尼/法華儀軌/					1	仏典	卅帖策子第十八帖/テューブ° 1冊あり
27	金剛寿命法/理趣會普賢儀軌/大藥叉女并愛子法/大灌頂光真言/發菩提心論/大樂金剛薩埵儀軌/					1	仏典	卅帖策子第十九帖
28	菩提心義/陁羅尼諸部目/三十七尊禮懺/十八會指歸/授發菩提心戒/十七尊釋/文殊讚法身礼/百八尊法身契/					1	仏典	卅帖策子第廿帖/自筆書込みあり
29	仁王經念誦法/金剛頂瑜伽金剛菩薩五秘密修行念誦儀軌/不動尊使者秘密法/金剛頂經瑜伽修習毘盧遮那三摩地法					1	仏典	卅帖策子第廿一帖

30	文殊師利大教王金翅鳥王品/摩訶吠室羅末那尼儀軌/華嚴經心陀羅尼/					1	仏典	冊帖策子第廿二帖/テューフ° 1冊あり
31	立印儀軌/注尊勝陀羅尼					1	仏典	冊帖策子第廿三帖/テューフ° 1冊あり
32	義訣					1	仏典	冊帖策子第廿四帖
33	聖迦拏忿怒金剛童子 菩薩成就儀軌經					1	仏典	冊帖策子第廿五帖/テューフ° 1冊あり
34	伽馱金剛真言/施諸餓鬼飲食及水儀軌/文殊滅姪欲我慢陀羅尼/八曼茶羅經梵本/金翅鳥王經/闍曼德迦念誦法/大威德忿怒王根本真言/華嚴和尚講前廻向發願文					1	仏典	冊帖策子第廿六帖/テューフ° 1冊あり
35	如意輪菩薩觀門義注秘訣/大曼茶羅十七尊釋/金剛頂瑜伽經十八會指歸/最上乘秘密三摩地禮讐文					1	仏典	冊帖策子第廿七帖
36	阿唎多羅陀羅尼阿嚕力品					1	仏典	冊帖策子第廿八帖
37	梵字真言					1	仏典	冊帖策子第廿九帖
38	金剛頂瑜伽文殊師利菩薩法品/前缺末文纔存/普賢金剛薩埵瑜伽念誦儀軌 全					1	仏典	冊帖策子第卅帖/テューフ° 1冊あり

*図本叢刊 のうち

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
38	蘿軒変古箋譜	大村西崖(校集)/ 本橋貞次郎(印工)/ 前田賢太郎(刻工)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正12年 1月10日(1923)	1	漢籍	(花田印)捺印あり
39	熱河三十六景詩図	大村西崖(校集)/ 本橋貞次郎(印工)/ 伊藤忠次郎(刻工)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正12年 2月(1923)	1	漢籍	(花田印)捺印あり
40	芥子園画伝 卷1	大村西崖(校集)		図本叢刊会	大正12年3月(1923)	1	漢籍	書名欠落
41	芥子園画伝 卷1~2・3~4	大村西崖(校集)		図本叢刊会	[卷1~2] 大正12年3月(1923), [卷3~4] 同年5月	2	漢籍	2冊とも(花田印)捺印あり
42	程氏墨苑 卷1・2	大村西崖(校集)		図本叢刊会	[卷1] 大正12年4月(1923), [卷2] 同年6月	4	漢籍	卷1・2とも(花田印)捺印のテューフ°あり

43	列傳酒牌	大村西崖(校集) /上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正12年6月(1923)	2	漢籍	デュープ [°] 1冊あり
44	列女伝 卷2~12	大村西崖(校集) /上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正12年9月(1923)~大正15年3月(1926)	13	漢籍	[卷8]デュープ [°] 1冊有り/[2・8]書名欠落/[3~5・7・8]破損状態/[4・5・7~10](花田印)捺印あり
45	素園石譜 卷1~4	大村西崖(校集) /上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	[卷1] 大正12年12月(1923), [卷2] 大正13年 1月(1924), [卷3] 大正13年 2月, [卷4] 大正13年 3月	8	漢籍	全冊破損状態/各巻デュープ [°] 1冊ずつあり/各巻の1冊ずつに(花田印)捺印あり
46	方氏墨譜	大村西崖(校集) /上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正13年5月(1924)	4	漢籍	デュープ [°] 2冊あり/同題異内容のもの1冊あり
47	集雅叁画譜 木本花鳥	大村西崖(校集) /本橋貞次郎(印刷工) /伊藤忠次郎(彫刻工)		図本叢刊会	大正14年1月(1925)	1	漢籍	(花田印)捺印あり
48	集雅叁画譜 草本詩譜	大村西崖(校集) /本橋貞次郎(印刷工) /伊藤忠次郎(彫刻工)		図本叢刊会	大正14年2月(1925)	3	漢籍	デュープ [°] 2冊あり/うち1冊(花田印)捺印有り
49	集雅叁画譜 唐詩五言	大村西崖(校集) /本橋貞次郎(印刷工) /伊藤忠次郎(彫刻工)		図本叢刊会	大正14年5月(1925)	3	漢籍	デュープ [°] 2冊あり
50	蕭尺木離騷図	大村西崖(校集) /本橋貞次郎(印刷工) /[大15年版]伊藤忠次郎(彫刻工)		図本叢刊会	大正14年12月(1925)版, 大正15年1月(1926)版	8	漢籍	デュープ [°] を含めて計8冊あり/2冊破損状態/うち2冊自筆書込みあり
51	(集雅叁画譜 梅竹蘭菊)?					1	漢籍	表・裏表紙とも欠落

大村西崖資料目録 III-B.旧蔵図書(著作図書)

c.和書

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
1	釋教諸宗錄	塩沢勝五郎・大村西崖 (撰)	塩沢勝五郎	弘法窟	明治29年5月30日(1898)	1	和書	
2	道元禪師伝	仏教施本会[代表:塩沢 勝五郎](編)		弘法窟	明治30年5月15日(1897)	6	和書	序文を寄稿/ゲーユープ [°] 5冊あり
3	釋教百偈集	塩沢勝五郎	塩沢勝五郎	弘法窟	明治30年6月4日(1897)	7	和書	はしがきを寄稿/ゲーユープ [°] 6冊あり
4	洋画手引草	森林太郎・岩村透・久米桂 一郎・大村西崖(同選)/大 村西崖(編)	大村西崖 [東京府北 豊島郡日暮里村千七 十三番地]	画報社	明治31年12月4日(1898)	1	和書	
5	審美綱領 上・下	大村西崖・森林太郎(同 編)	和田むめ	春陽堂	明治32年6月29日(1899)	2	和書	「△△生」記の「美術通信」他、新聞切抜・ 自筆 付 の挟み込みあり
6	象堂遺芳	大村西崖(編)	大村西崖 [東京府北 豊島郡日暮里村千七 拾三番地]	画報社	明治32年7月22日(1899)	1	和書	
7	丹青新作 第2号	大村西崖			明治33年11月(1900)	1	和書	
8	東京彫工会 第十五回競 技会 受賞品図録	北原濤三郎	北原濤三郎	画報社	明治33年11月12日(1900)	1	和書	彫工会理事として序文を寄稿
9	東洋芸術小史	大村西崖			明治38年6月30日(1905)	1	和書	自筆書込みあり
10	東洋美術小史	大村西崖	審美書院(代表: 大 村秀雄)	審美書院	明治39年4月30日(1906)	1	和書	自筆書込みあり
11	羅漢図像考	大村西崖				1	和書	校本/明治43年雑誌『宗教界』及び『禅 宗』掲載
12	正倉院志	大村西崖 [東京市牛込 区矢来三番地]	田島志一	審美書院	明治43年6月15日(1910)	1	和書	自筆書込み・挟み込み・新聞切り抜き貼 り付けあり
13	日本絵画小史	大村西崖 [東京市牛込 区矢来三番地]	田島志一	審美書院	明治43年7月30日(1910)	1	和書	見開きに"Tokyo, den6. April 1920, Fumio Omura"と記入あり
14	支那絵画小史	大村西崖 [東京市牛込 区矢来三番地]		審美書院	明治43年7月30日(1910)	1	和書	見開きに"Tokyo, den6. April 1920, Fumio Omura"と記入あり
15	希臘羅馬諸神伝 卷1 ~4	大村西崖 [東京市牛込 区矢来三番地] (著)/森林 太郎・高橋順次郎(閲)/久 米桂一郎・大村西崖(纂)	和田幹男	審美書院	明治45年4月12日(1912)	4	和書	

16	三本両部曼荼羅集	大村西崖	大村西崖 [東京市牛込区矢来町三番地]	仏書刊行会	大正2年5月25日(1913)	1	和書	校本/自筆書き込みあり
17	支那美術史彫塑篇	大村西崖	大村西崖 [東京市牛込区矢来町三番地]	仏書刊行会 図像部	大正4年6月22日(1915)	1	和書	校本/自筆書き込み・挟み込みあり 〈芸図書・芸日東〉
18	支那美術史 彫塑篇付図上・下	大村西崖	大村西崖 [東京市牛込区矢来町三番地]	仏書刊行会 図像部	大正9年6月	2	和書	自筆書き込みあり 〈芸図書・芸日東〉
19	文人画の復興	大村西崖	大村西崖 [東京市牛込区矢来町三番地]	巧芸社	大正10年1月31日(1921)	20	和書	校本1冊 ^{ページ} 18冊あり
20	文人画選 第一集第一冊,同第三冊, 同七冊	大村西崖[東京市牛込区矢来三番地旧殿八号](鑑集・編)	水上斎	丹青社	[第1冊] 大正10年7月26日(1921), [第3冊] 同10月9日, [第7冊] 大正11年1月9日(1922)	3	和書	
21	支那絵画史大系	大村西崖(校集)		東京美術学校 校友会	大正14年孟春(1925)	1	和書	校本/自筆書き込みあり
22	東洋美術史	大村西崖	大村西崖	図本叢刊会	大正14年5月28日(1925)	1	和書	
23	支那の書画骨董	大村西崖(述) /磯部東丘(編集)	磯部東丘	東亞研究会	大正15年4月7日(1925)	1	和書	校本
24	宋王将明 宣和博古図総説	王黼将明(撰) /清福会(編纂) /大村西崖(訳・註)		東京美術学校内 清福会	大正15年4月12日(1926)	1	和書	
25	東京帝室博物館 講演集第三冊			帝室博物館	大正15年7月27日(1926)	1	和書	校本/(西崖講演)「仏教美術に於ける印度と支那との関係」掲載/自筆挟み込みあり
26	吳郡奇蹟 塑壁残影	大村西崖	大村西崖	文玩莊	大正15年8月15日(1926)	1	和書	校本 〈芸日東〉
27	東洋美術史 上・下	大村西崖・大村文夫(編)	下中彌三郎	平凡社	[上]昭和5年5月5日(1930), [下]昭和8年1月25日(1933)	2	和書	「吳越王宝塔」写真挟み込みあり
28	近世風俗画史	大村西崖(稿) /大村文夫(編)	小池又一郎	宝雲舎	昭和18年5月20日(1943)	1	和書	新聞切抜・文夫筆の復写原稿「浮世絵史の後に書す」挟み込みあり
29	広日本絵画史 上	大村西崖(稿) /大村文夫(編)	小池又一郎	宝雲舎	昭和23年3月25日(1948)	2	和書	挟み込みあり ^{ページ} 1冊あり
30	古代日本絵画史	大村西崖				1	和書	校本/自筆書き込み・挟み込みあり/背表紙見開きに「明治四十一年十一月廿日起首 四十二年一月十日編述了、二月十七日印刷成」と記入あり
31	浮世絵史	大村西崖				1	和書	校本/自筆書き込みあり

32	広日本絵画史 近代 上・中・下	大村西崖				3	和書	校本ハ「 <u>いずれも自筆書込み・挟み込みあり</u> 」 [上巻]背表紙見開きに「第五編第四章以下第六編終迄明治四十二年四月廿二日起首五月廿三日編了同廿四日印刷成 無記庵主識」・[中巻]同「明治四十二年七月八日起手至同八月廿日間被妨于事不執筆吾都卅九日而脱稿了九月三日印刷成 無記庵主識」・[下巻]同「明治四十二年十一月十二日起筆、同十二月十三日稿了、(中略)無記庵主西崖識」と記入あり
33	中国名画集 1~8巻	大村西崖(撮影) /大村文夫(編)				8	和書	
34	三本両部曼荼羅集・ 御室版高雄曼荼羅	大村西崖(編集)	佐藤今朝夫	国書刊行会	昭和48年11月15日(1973)/復刻 原本・大正2年	1	和書	〈芸日東〉

大村西崖資料目録 III-C.旧蔵図書(その他)

a.刊行物関連資料(原稿含む)

番号	題	掲載図書・雑誌等	執筆年	書籍刊行年	点数	備考(内容品)
1	観音の神話と図像	宗教界			5	観音神話資料/観音神話全(印刷書き込み本)/観音神話稿(自筆原稿)/観音の神話と図像(上)・同(下)
2	浮世絵史稿	浮世絵史			5	浮世絵史稿(自筆原稿)第1~5冊/メモ
3	第八章 岸派	広日本絵画史 近代 下			1	自筆原稿
4	三十帖冊子	三十帖冊子			2	関連資料
5	底羅迦	密教			1	自筆原稿
6	印度審美説	目不醉草 卷の4		明治29年4月(1896)掲載	1	自筆原稿
7	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て	読売新聞		明治30年8月30日~9月30日(1897)連載	1	自筆原稿
8	東洋神話 摩利支天	日本美術 第82号~	明治38年8月(1905)		2	自筆原稿/本の切り抜き
9	講話集	東京美術学校 校友会月報 第4巻第1号	明治38年9月(1905)		1	自筆原稿
10	軌前式の観音像	宗教界 2 - 7		明治39年(1906)	1	自筆原稿
11	三本両部曼荼羅集	三本両部曼荼羅集	大正2年(1913)		7	資料類、両部曼荼羅諸尊索引/新刻両部曼荼羅附言/校本2点/外金剛部院(図版)/高雄転写之図(図版)/刷本
12	仏教図像集古	仏教図像集古		大正7年(1918)	1	関連資料
13	論画百絶	論画百絶		大正9年11月(1920)	2	自筆原稿/増補資料
14	五部心觀	仏教学雑誌 第3巻第8号		大正11年9月(1922)	1	自筆原稿
15	図本叢刊 関係書類	図本叢刊		大正12~15年(1923~1926)	4	メモ4枚
16	素園石譜	素園石譜(図本叢刊のうち)		大正12年12月(1923)~13年3月(1924)	4	自筆原稿
17	若いお方に	東京美術学校 校友会月報 第23巻第8号		大正14年3月(1925)	1	自筆原稿
18	東洋美術史	東洋美術史		大正14年5月(1925)	3	自筆原稿/東洋美術史附図目録
19	文人画の復興	文人画の復興	大正15年1月(1926)		2	文人画の復興(自筆原稿)/文人画の復興(印刷校本)
20	塑壁残影	塑壁残影		大正15年8月(1926)	1	自筆原稿/写真焼付
21	支那の書画骨董	東亞研究講座 第八集 支那の書画骨董	大正15年(1926)		2	自筆原稿/筆写原稿
22	宋王将明宣和博古図総説	文玩叢譜3 宋王将明宣和博古図総説	大正15年(1916)		1	自筆原稿

23	髹飾録に関する尺牘	髹飾録		昭和3年1月(1928)	18	髹飾録刊行事情（大村文夫まとめ）/髹飾録に関する尺牘 (闕鑄筆西崖宛書簡1通入り)/書簡（朱緘筆西崖宛2通、今泉雄作筆西崖宛1通・闕鑄筆西崖宛1通・古城貞吉筆西崖宛1通・朱緘筆大村文夫・嘉彦宛1通・古城幸太郎筆文夫宛1通）/論語三歸説/髹飾録のことども/メモ6枚/髹飾録2冊
24	無記庵韻存	無記庵韻存		昭和8年5月(1933)	1	自筆原稿
25	(無題)	近世風俗画史		昭和18年5月(1943)	1	自筆原稿
26	素園石譜	素園石譜	昭和39年(1964)		4	素園石譜（文夫氏筆原稿）卷1～4 いづれも林有麟仁甫集、大村文夫訳注

大村西崖資料目録 III-C.旧蔵図書(その他)

b. 直筆資料(講義ノートを含む)

番号	題	執筆年	備考 (内容品)
1	日本絵画史 増補資料		自筆資料
2	先考自筆 曼荼羅座位 十一図		自筆図面11枚/自筆資料
3	法隆寺をはじめとして南都諸寺 仏像■調査メモ		自筆資料
4	(原稿端集)		自筆原稿の端(部分)集 ※東洋美術史(漢文)/印度仏教美術史/鑑賞懺悔/曼荼羅講義 二/歴代名画記卷一(譯註)/支那絵画史大系/金剛智伝と不空伝との金剛界教法の相違
5	歴史資料抜書		自筆資料
6	画道述語稿(工程稿)		自筆資料
7	佛教諸宗の教義と美術/薬師如来		自筆原稿
8	「古社寺保存卑見」草稿	明治30年頃(1897)	清書 ※提出本は日本美術院の岡倉天心資料中にあり、その書き起こしは「西崖評論」ファイル1にあり
9	佛教中の審美所見	明治32年(1899)	自筆原稿/「明治三十二年十一月九日 三田文学史会大会に於いて」と記入あり
10	審美小史 未刊稿本	[独逸(上)] 明治32年6月/[同(下)]同年7月(1899)	第四章 希臘美論進歩の文献/審美小史 羅甸及中世/審美小史 独逸の上/審美小史 独逸の下
11	東洋美術史講稿		明治33年2月2日開講,第1~3・4~17講分(支那之部)
12	支那史講稿		明治34年9月開講/於東京美術学校
13	日本美術史 彫塑古代の部・絵画古代の部	明治34年 〈彫塑〉 4・〈絵画〉 5月(1901)	
14	印度緒神伝	明治36年12月31日(1903)	
15	印度神話		印度神話小事集/印度神話資料/印度神話「地天附天父」原稿(明治38年8月)/神話説明仏教美術史考
16	西洋神話		自筆原稿/明治40年頃筆か
17	印度美術史料	明治42年(1909)	
18	渡辺華山先生伝		自筆資料/筆写「游相日記」(明治43年7月29日西崖写)
19	歸堂文字塵	大正5~15年(1916~26)	
20	納富介堂像銘	大正11年(1922)	草稿
21	西崖筆 観世音菩薩図像稿		観世音菩薩図像/百八觀音名相出拠(大正12年10月21日考定)/觀音尊容集異
22	掛軸説	大正14年5月(1925)	自筆原稿/「大正十四年五月二十九日放送局講稿」と記入あり

大村西崖資料目録 III-C.旧蔵図書(その他)

c. 筆写資料

番号	題	原本	筆写年	点数	備考(内容品)
1	古写一乘仏性究竟論跋			1	
2	四阿含研究餘録			1	
3	灌頂經神名考			1	
4	別尊雑記	[雑記]豊山勸学院蔵本[図像表]仁和寺心蓮院原本,小野隨心院本,■寺■■院三密蔵本,仁和寺心蓮院刷本,長谷寺本		2	別尊雑記/別尊雑記図像表/別尊雑記図像(刷本)
5	大分県管内志 卷之五			1	
6	洛陽県志卷五十九			1	
7	明高深甫燕間清賞牋			1	
8	杏雨先生略年譜	(児不肖進撰)		1	
9	毘紐神話	Fausbollの印度神話		3	
10	濕婆神話	Fausbollの印度神話		1	
11	Isvara-gita(イシワラ・ギタ)	Kurma Purana		1	
12	ジャランダーラの古話			1	
13	四庫全書収載書籍 部数卷数調	欽定四庫全書総目提要		1	
14	仮面雑録	下村觀■子蔵零本	明治23年3月(1890)	1	
15	狩野系図校本	川崎茶六氏手写本	明治31年5月30日(1898)	1	筆写校補本
16	西方陥蘿尼藏中金剛族阿密哩多軍荼利法	田中光顯伯爵所蔵 海雲自筆原本	大正元年8月12日(1912)	1	
17	骨董十三説	骨董十三説 (董其昌撰)	大正14年(1925)	1	
18	洞天清禄集		大正14年(1925)	1	
19	硯史, 懇州硯譜, 端溪硯譜	学津討原	大正15年2月19日(1926)	1	

大村西崖資料目録 III-C.旧蔵図書(その他)

d. 副本

番号	書名	点数(枚)	分類	備考
1	五星廿八宿副本	多数	図版	図版の図柄は8通りあり
2	画冊副本	多数	図版	図版の図柄は28通りあり
3	李公麟 五馬図巻	13	図版	うち5枚は装丁版
4	顧凱之 女史箴図	10	図版	
5	美術写真(副本)	多数	図版	自筆書き込みりの国華関係の図版、東大寺戒壇四天王像図版などを含む
6	美術写真(印画紙)	多数	写真	写真背面に自筆書き込みあり(多数) /メモ1枚入り (自筆か)
7	仏教関係 (石彫) 美術写真	7	写真	1枚は「大分県北部郡臼杵町 五十川写真館」の印字及び、「第四龕 第五龕」の自筆記入あり。他は国外のものか
8	昆明・寺院写真	2	写真	ともに自筆書き込みあり
9	大村西崖肖像写真	1	写真	「中外新聞社写真部 東京駿河台南甲賀町一八」とあり
10	正倉院宝物庫写真	1	写真	西崖、正木直彦ら人物6人が映る、「Akasaka Mitsuke T.Shibata」の写真店印入り
11	羅漢図掛軸写真	15	写真	
12	西崖筆 光榮寺本堂天井雲竜図写真他	4	写真	雲竜図は大正15年(1926)西崖筆
13	明劉原起山水軸	12	写真	自筆書き込みあり

e. その他

番号	題	点数(分量)	分類	備考
1	三本両部曼荼羅集 版木	1	版木	
2	御室版高雄曼荼羅・三本両部曼荼羅集 版木	1	版木	
3	図本叢刊 列傳酒牌 版木	1	版木	
4	龔賢画法冊解説 紙型	5頁分	紙型	「大11年4月21日鉛版部」と記載あり
5	塑壁残影・本文 紙型	14頁分	紙型	
6	東洋美術史 凸版	8面	凸版	
7	無記庵蔵書目録	1	資料	文夫氏所蔵、手書きの蔵書目録及び学校所用/「図書刊行会 仁田克彦 無記庵蔵書目録とともに送来 書面」と記入あり

大村西崖資料目録 III-D.旧蔵図書(重複本)

(a) 西崖著作 漢籍

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
1	論画百絶	大村西崖	大村西崖 [牛込区矢来町三番地]	巧芸社	大正9年11月15日 (1920)	13	漢籍	
2	新華巖經 第四帙十巻					1	仏典	卅帖策子第四帖
3	頂輪王念誦儀一巻/蓮華部念誦法一巻/蓮華大曼荼羅品一巻/仁王般若陀羅尼釋一巻/金剛峯瑜祇經一巻/頂輪王瑜伽經一巻					2	仏典	卅帖策子第五帖
4	觀自在授記經一巻/觀自在明王經一巻/奇特仏頂經三巻/仁王經二巻/尊勝儀軌一巻/阿閦念誦法一巻/一髻尊經一巻					1	仏典	卅帖策子第六帖
5	波羅密經一部 十巻					1	仏典	卅帖策子第七帖
6	新十一面經一部 三巻					2	仏典	卅帖策子第十三帖
7	金剛頂略出經一部 四巻					1	仏典	卅帖策子第十四帖
8	文殊五字頌/寶篋經/菩提陀羅尼/法華儀軌					1	仏典	卅帖策子第十八帖
9	文殊師利大教王金翅鳥王品/摩訶吠室羅末那尼儀軌/華嚴經心陀羅尼					1	仏典	卅帖策子第廿二帖
10	立印儀軌/注尊勝陀羅尼					1	仏典	卅帖策子第廿三帖
11	聖迦毘眷怒金剛童子菩薩成就儀軌經					1	仏典	卅帖策子第廿五帖
12	伽馱金剛真言/施諸餓鬼飲食及水儀軌/文殊滅姪欲我慢陀羅尼/八曼茶羅經梵本/金翅鳥王經/闍曼德迦念誦法/大威德忿怒王根本真言/華嚴和尚講前廻向發願文					1	仏典	卅帖策子第廿六帖
13	金剛頂瑜伽文殊師利菩薩法品 前缺末文纔存/普賢金剛薩埵瑜伽念誦儀軌 全					1	仏典	卅帖策子第卅帖
14	程氏墨苑 卷1・2	大村西崖(校集)		図本叢刊会	[卷1]大正12年4月 (1923)/[卷2]同年6月	2	漢籍	卷1・2とも(花田)印捺印あり
15	列儻酒牌	大村西崖(校集)/上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正12年6月 (1923)	1	漢籍	
16	列女伝 卷8	大村西崖(校集)/上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正12年9月 (1923)~大正15年3月(1926)	1	漢籍	破損状態/(花田)印捺印あり

17	素園石譜 卷1~4	大村西崖(校集) / 上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正12年12月 (1923)~大正13年3月 (1924)	4	漢籍	全冊破損状態、全卷に(花田)印捺印あり
18	方氏墨譜	大村西崖(校集) / 上海美術工芸製版社(刻印)	図本叢刊会[代表:大村文夫]	図本叢刊会	大正13年5月 (1924)	2	漢籍	
19	集雅叁画譜 草本詩譜	大村西崖(校集) / 本橋貞次郎(印刷工) / 伊藤忠次郎(彫刻工)		図本叢刊会	大正14年2月 (1925)	2	漢籍	うち1冊(花田)印捺印あり
20	集雅叁画譜 唐詩五言	大村西崖(校集) / 本橋貞次郎(印刷工) / 伊藤忠次郎(彫刻工)		図本叢刊会	大正14年5月 (1925)	2	漢籍	
21	蕭尺木離騷図	大村西崖(校集) / 本橋貞次郎(印刷工)[大15年版] / 伊藤忠次郎(彫刻工)		図本叢刊会	大正14年12月 (1925)版、大正15年1月(1926)版	6	漢籍	

(b) 西崖著作 和書

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
22	道元禪師伝	仏教施本会[代表:塩沢勝五郎](編)		弘法窟	明治30年5月15日 (1897)	5	和書	序文を寄稿
23	釋教百偈集	塩沢勝五郎	塩沢勝五郎	弘法窟	明治30年6月4日 (1897)	6	和書	はしがきを寄稿
24	文人画の復興	大村西崖	大村西崖 [東京市牛込区矢来町三番地]	巧芸社	大正10年1月31日 (1921)	19	和書	
25	広日本絵画史 上	大村西崖(稿) / 大村文夫(編)	小池又一郎	宝雲舎	昭和23年3月25日 (1948)	1	和書	

(c) 旧蔵図書 雑誌

番号	書名	著者	発行者	発行所	刊行年	点数	分類	備考
26	しがらみ草紙 第40号	脇田茂一郎(編)		新声社 / 〔53号 ～〕 しがらみ社	明治25年6月25日 (1892)~明治27年3月25日(1894)	1	和書	(大邸蔵書)印捺印あり
27	美術評論 第1号	松崎正文(編集・発行)		画報社	明治30年11月14日 (1897)~ 明治31年4月20日(1898)	1	和書	「西洋美術史」(無名氏)・「無扉門」(岳南)の寄稿あり

28	宗教界 第3巻第9号	大谷愍成(編)		宗教界発行所	明治39年6月1日 (1906)~ 大正2年 12月1日(1913)	7	和書	「法然上人行状絵 図」(大村西崖)の寄 稿あり
----	------------	---------	--	--------	--	---	----	-------------------------------

大村西崖資料目録 IV.ガラス乾板、画軸等

a. ガラス乾板

番号	分類	名称	数量	備考
I	中国古美術	画像石	11	(拓本も含まれているかもしれない)
		壺	1	乾板は割れている
		図(本の1頁?)	1	「右左右生題名碑額無字...」
		図(本の1頁?)	1	「水靈鎮守 燐惑潛消」、文様など
		図(金銅仏)	1	金銅仏(如来坐像、菩薩立像 各1を1枚に)
		図(虎龍鎧)	1	
		図(鐘)	1	「邪鐘一」「=鐘三」
		図(青銅器の文様?)	1	青銅器の蓋(?)3種
		図(牛)	1	
		石造仏立像	1	
		石造如来坐像	1	右手施無畏印(?)、左手は左上に載せた右足の上に伏せて置いている
		石造仏像/如来坐像及び二従者	表裏各 1(計2)	(表・一は傘蓋を持ち、一は頭上に壺を持つ、像の下に獅子)(裏・「供佛 大唐開元二年午未辛丑九月十六日佛弟子馮天成為母有病造佛像一區供養大將軍李永祥供養知府李萬年一心供養」)
		石造如来立像	表裏各 1(計2)	(表)如来立像・(裏)「大唐善業泥■得真如妙色身」
		石造如来半身	1	
I	中国古美術	一光五尊像	1	「新出土石造像 高二尺許 繊刻極精 袁豹岑君影寄」
		金銅仏	1	如来立像 火焰光背 台座に銘文有
		金銅製如来立像	1	
		白玉半跏菩薩像	1	新出土「陳永定二年柳紹唐石造像 高二尺許石質白若玉塗金已磨滅」(白玉半跏思惟像 双樹など)
		石造地蔵菩薩坐像又は僧侶像	1	右手に持物
		仏頭	1	
		石造道教像	1	三尊立像(中央像、右手施無畏印、左手与願印であるが)、両脇侍像は胸前で持物
		石造神獸像	1	羊に羽が生えたような像
		石造動物像(牛)	1	
		漢代玉(?)又は青銅器(?)	1	カエルのような形に古代の文様
		石碑像	1	交龍の中央に仏三尊像
I	中国古美術	供養塔	2	
		塼	1	如来倚像
		塼(?)	1	仏坐像および二脇侍像(頭頂部山形の長方形)
		塼(?)楕円形	1	仏立像および二脇侍像(浮彫もしくは塼のようなもの?)
		銅製龍首・壺	1	
		丸瓦(?)	1	8本脚の鳥(文様)

	丸瓦(?)	1	龍の文様
	丸瓦(?)	1	獅子文様
	丸瓦(?)	1	玄武の文様
	漢代文様(描き起こし?)	1	4枚を1枚に撮影
II	中国古美術	石に文様が線刻されているもの	1
	青銅器の一部(?)	1	柄の部分に動物(未?)と虎又は獅子
	石造獅子像	1	
	青銅鏡	1	四獅子文様 縁に銘文あり「一片木影■〔雨〕■〔道or辺〕人王〔or 玉〕 ■〔重〕聆者鏡輕〔?〕■暫拭虛〔?〕光如」
	動物置物	1	
II	中国古美術	図 龍の文様	1
III	殷契	「殷契写真原板」の包	1 殷契の原版 6(原稿用紙に包まれている)
IV	西崖肖像・其他	紅い箱入り 表に「ガラス 写真原板 ○西崖小照 ○北京公園にての大学教授連と ○新豊■大観音フィルム式枚〔別に保存〕 ○周鶴尊」と手書き、さらに「昭和四九・二・二四改」	
	西崖小照	1	「昭和3年9月14日」焼き付けカ
	於・北京公園 大学教授連と共に	1	「昭和3年10月10日」焼き付けカ
	図「周鶴尊一」	1	
V	西崖肖像・觀音図	大村西崖(和服正装)肖像	1
	図(觀音又は菩薩の図)	1	
VI	絵画・その他	伯耆大山の図	1
	耶馬渓/図	1	
	口上	1	「三月十日 船田」より「月報十部」依頼
	図「松風○水 三酉(?) 秋子 = = 岳義」	1	
	文字「又玄畫存」	1	
	肖像(遺影?)/「積徳殷船岳行雲居士」	1	
	図「天保九如/図」	1	
VII	経巻	経巻	6 全て 最初の部分のみ撮影(内訳)①新十一面経一部 = = 卷1枚、②新華厳経3枚、③守護国経一部1枚、④第六帙(觀自在授記経一巻、觀自在明王経一巻、=特佛頂経三巻、仁王経二巻、尊勝儀軌一巻、阿閦念誦法一巻、一髻尊経一巻)1枚
VIII	大判 写真種板	絵画(中国絵画?)	22
IX	紙焼		5 芸大の封筒に入(鳳凰堂天蓋2、唐招提寺金堂千手觀音光背一部2、室生寺本尊光背一部1)

大村西崖資料目録 IV.ガラス乾板、画軸等

b. 画軸等

番号	軸名	分類	点数	備考
1	天皇家肖像写真	図面	1	
2	圭堂画稿 他	図面	1	
3	文政年間 詩佛老人書画	軸	1	「詩佛老人詩 ■大村氏宅 采真舎藏」とあり
4	安政三年 家屋図面	図面	1	
5	仏教	図面	1	
6	仏教图像・年表	図面	1	
7	日本美術史年表	図面	1	文夫氏蔵か

大村西崖資料目録 V.雑

番号	書名	著者/発行者	発行年	分類	点数	備考
1	甲骨文索引			資料	1	文夫氏蔵か/自筆カード
2	天文暦・気象			資料	1	文夫氏蔵/新聞切り抜き
3	瓊瓢山人墨鈔			図集	1	
4	三井家蔵 蘇東坡陳大觀園中竹一首			図集	1	
5	大清帝国分省精図	依田雄甫(撰修)/富山房(発行)	明治40年5月17日(1907)	地図	1	
6	支那疆域沿革図	重野安繹・河田黒(編)/富山房(発行)	明治39年7月(1906)	地図	1	「大本營に御親臨の大元帥陛下」写真挟み込みあり
7	支那美術史彫塑篇附図 刷本			刷本	多数	
8	箋紙版木			版木	3	①20×20マスで、中央の行上方に“無記庵稟本”とあるもの /②16行でマス無し、印字のないもの/③20×20マスで、中央の行下方に「無記庵稿本」とあるもの
9	廿四史 帚			雑	多数	
10	唐宋元			図版	多数	写真図版
11	明代諸家			図版	多数	写真図版
12	清朝諸家			図版	多数	写真図版
13	支那画 写真図版			図版	多数	写真図版
14	王羲之 聖教序			資料	1	印刷資料
15	故宮図説 第1~3編	清室善後委員会再版		冊子・漢籍	3	
16	君台観左右帳記	親交研究会発行		漢籍	2	1冊の最終頁に「大正十四年四月 東京美術俱楽部印施」と記入あり
17	掛物裏書写真			写真	1	
18	(Preface)		Feb.,1878	洋書	1	表紙欠/書き込みあり/(工部大学校図書)印捺印有り
19	存疑			資料	1	
20	古代名画複製目録	株式会社審美書院	昭和4年8月(1929)	冊子・和書	1	文夫氏蔵か/表紙に「辛未十月廿一日 ■審美書院■桑原氏手授」と記入あり
21	研究資料			資料		文夫氏蔵品
22	日本諸家人物生没年表 資料			資料	1	文夫氏蔵品/新聞切り抜き・メモ
23	陰陽五行説の研究			資料	1	文夫氏蔵品//トメモ
24	法華經伝訳考異			資料	1	文夫氏蔵品//トメ
25	辛酉革命説の研究			資料	1	メモ
26	衙日			資料	1	文夫氏蔵品/原稿及び下書き

27	七夕考「たなばた」の史料			資料	1	文夫氏蔵品/「たなばた」原稿及び資料
28	司馬温公伝記資料			資料	1	文夫氏蔵品//ノート
29	論語新講			資料	1	文夫氏蔵品/原稿及びメモ
30	支那六十甲子年号表			資料	1	文夫氏蔵品
31	十三経流伝略説 二十四史・藝文志			資料	1	文夫氏蔵品/メモ
32	日本文法綱要(I)-支那古韻の研究-			資料	1	文夫氏蔵品//ノート・メモ・新聞切り抜き他
33	支那挿話資料			資料	1	文夫氏蔵品/原稿及びメモ
34	春秋左氏伝の研究			資料	1	文夫氏蔵品//ノート
35	論語三歸考			資料	1	文夫氏蔵品/原稿及び資料/「昭和二八・九・二五訂正」と記入あり
36	唐・王維 伏生授經図巻の研究			資料	1	筆写及びメモ
37	本朝 尺度沿革			資料	1	メモ
38	避諱考			資料	1	メモ
39	經傳諸家系譜			資料	1	メモ
40	道学 宋史・巻四二七			資料	1	筆写
41	支那の史書に見ゆる古代日本 -倭人伝の研究-			資料	1	メモ
42	尚書諸本対照表			資料	1	文夫氏蔵か/メモ
43	史記・漢書 更賦			資料	1	文夫氏蔵か/メモ
44	藤原〈忠平・師輔・伊尹・兼道・兼家〉系図			資料	1	メモ
45	漢〈孝元・孝成・孝哀・孝平〉帝皇后〈超昭儀・班婕妤〉系図			資料	1	メモ
46	三正/孔子生卒年月考/支那・日本時代一覧表			資料	1	メモ・新聞切り抜き・筆写
47	麹町区 下谷区	岡田栄助・小和田順之助・河村隆實・宇津水信夫・川勝鐸太郎	明治29年4月1日(1896)	資料	1	地図
48	寸■集			資料	1	文夫氏蔵品/メモ
49	支那名文集譯			資料	1	文夫氏蔵品/手製本
50	法苑珠林引諸書索引			資料	1	文夫氏蔵品//ノート/「1963-5-4」と記入あり
51	土佐家系図資料			資料	1	メモ
52	欽明~聖武 系図			資料	1	メモ
53	江戸時代の音曲			資料	1	メモ
54	仏伝の研究/仏教概論			資料	1	文夫氏蔵品/メモ・自筆本「釈迦牟尼物語 第一編」(大邱希望堂編)...「昭和十五年十二月八日稿了」と記入あり

55	中国の史学 (梁啓超述・大村希堂訳)			資料	1	文夫氏蔵品/自筆本・翻訳様式見本・ノート
56	簡策考 -古代の書物-			資料	1	メモ
57	支那古小説の研究 -祓神記-			資料	1	文夫氏蔵品/ノート・新聞切り抜き・メモ・原稿
58	無記庵藏書目録			資料	1	手製本
59	■官志抜粋			資料	1	メモ
60	印度仏教美術年表			資料	1	メモ
61	支那宝絵目録/広日本絵画史附図目録 (大村西崖著・大村文夫編)			資料	1	メモ
62	日本蚕桑史略	須長球(著・発行) /英風社 (発行)	明治23年2月7日(1890)	和書	1	
63	日米会話手帳	科学教材社	昭和20年10月3日(1945)	和書	1	
64	A Guide To Colloquial English 英語会話の栢	富山房	昭和20年11月10日(1945)	和書	1	
65	ラジオ・パンフレット 実用英語会話 第1集	高山書院	昭和20年10月25日(1945)	和書	1	
66	ラジオ・パンフレット 実用英語会話 第2集	高山書院	昭和20年11月15日(1945)	和書	1	
67	ラジオ・パンフレット 実用英語会話 第3集	高山書院	昭和20年12月5日(1945)	和書	1	
68	富士川渡船郷秘史-岩淵・新旧二つの一里塚-	大村文夫(著) /図書刊行会 (発行)	昭和49年8月15日(1974)	和書	1	
69	如蘭会会報 第20号	都立日比谷高校内 如蘭会	昭和35年6月10日(1960)	和書	1	
70	丹緑 第3年第9号	上村益郎(編・発行) /高見澤 木版社(発行)	昭和16年9月10日(1941)	和書	1	大村文夫「岩佐又兵衛」寄稿あり
71	「太閤記」筆写一部			筆写	1	
72	希古堂雑纂			和書	1	文夫氏蔵品/自筆原稿多数・メモ
73	六蘭会関係			資料	1	文夫氏蔵品/名簿・会報・書簡
74	「素園石譜」の研究/“中国の愛石”初稿			資料	1	文夫氏蔵品/自筆原稿・メモ
75	史記講釈 1・2			資料	1	文夫氏蔵品/新聞切り抜き
76	法隆寺関係文献			資料	1	文夫氏蔵品/書籍・筆写本・地図・新聞切り抜き・写真
77	中国宝絵研究/画人伝索引			資料	1	文夫氏蔵品/メモ・ノート
78	明治元年~昭和十三年 物故学者・書画家リスト			資料	1	文夫氏蔵品/文夫氏作成
79	絵画鑑賞の形式			資料	1	文夫氏蔵品/自筆原稿
80	支那歴朝一覧表/東洋史に現れたる諸種族の研究			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿・メモ
81	我が郷土の先賢			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿
82	乱臣十人			資料	1	文夫氏蔵/メモ

83	論語姓氏考/孔子弟子伝考異			資料	1	文夫氏蔵//ノート・メモ
84	歳次己丑ということ			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿・メモ
85	文字学研究			資料	1	文夫氏蔵/メモ・自筆原稿・新聞切り抜き
86	論神秀惠能/卯歳に因んで/七夕/搜神記の逸文/陳洪緩筆・紅梅図			資料	1	文夫氏蔵品/自筆原稿・『日新ニュース』
87	惠能伝の研究			資料	1	文夫氏蔵/メモ・自筆原稿
88	浮世絵史 序言・正誤校正			資料	1	文夫氏蔵/校正資料
89	中国文人・小伝			資料	1	文夫氏蔵/メモ
90	列女伝索引・列女伝の研究			資料	1	文夫氏蔵//ノート
91	支那文学名作索引/唐名詩選			資料	1	文夫氏蔵/メモ
92	支那文学者生卒年資料			資料	1	文夫氏蔵/メモ
93	孔子生卒年月考			資料	1	文夫氏蔵/メモ
94	二酉閣鈔(一)			資料	1	文夫氏蔵//ノート・メモ
95	井田・田賦・兵車の研究			資料	1	文夫氏蔵/メモ
96	支那古小説選 支那古小説索引			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿・ノート・メモ
97	印度寓話選			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿
98	日蓮宗御詳曆	関川慧真(編)/正法堂(発行)	昭和35年8月20日(1960)	資料	1	文夫氏蔵品
99	愛石春秋 7	増村外喜雄(編)/徳間書店(発行)	昭和39年10月1日(1964)	和書	1	文夫氏蔵/大村希堂「中国の名石」寄稿あり
100	愛石春秋 8	増村外喜雄(編)/徳間書店(発行)	昭和39年11月1日(1964)	和書	1	文夫氏蔵/大村希堂「中国の名石(二)」寄稿あり
101	富士川渡船郷秘史-岩淵・新旧二つの一里塚-	大村文夫(著)/図書刊行会(発行)	昭和49年8月15日(1974)	和書	1	文夫氏蔵
102	日本歴史 第133号	日本歴史学会(編)/吉川弘文館(発行)	昭和34年7月1日(1959)	和書	1	文夫氏蔵/大村希堂「富士川の船橋」寄稿あり
103	樹石 第3巻第4号	樹石社	昭和41年2月15日(1966)	和書	1	文夫氏蔵/大村希堂「中国の愛石」寄稿あり
104	茶わん 第19巻第9号	宝雲舎	昭和24年10月1日(1949)	和書	1	文夫氏蔵
105	古美術 第12巻第6~9号	宝雲舎	昭和17年6月1日~9月1日(1942)	和書	1	文夫氏蔵/大村文夫「浮世絵史(一)~(四)」寄稿あり
106	精進	福田良太郎(編集・発行)	昭和3年7月15日(1928)	和書	1	文夫氏蔵/自筆資料
107	日本人の座り方に就いて	入澤達吉(著)/克誠堂書店(発行)	大正14年4月5日(1925)	和書	1	文夫氏蔵//ノート・メモ
108	周易 コピ^ー			資料	1	文夫氏蔵/印刷資料
109	百寿字 コピ^ー			資料	1	文夫氏蔵/印刷資料

110	西崖自叙伝			資料	1	文夫氏蔵/書籍のコピ^-
111	写真及びハガキ			資料	多数	文夫氏蔵
112	地方史略年表			資料	1	文夫氏蔵/自筆資料
113	日本諸家人物生没年表			資料	1	文夫氏蔵/自筆資料
114	■湖翁書			資料	1	文夫氏蔵
115	東洋美術史 正誤・補脱			資料	1	文夫氏蔵/メモ
116	(色紙)			資料	1	文夫氏蔵/文夫氏筆
117	法華経寿量品の歌			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿
118	大村西崖と仏書刊行会			資料	1	文夫氏蔵//一ト
119	文夫氏宛書簡			書簡	1	文夫氏蔵/斎藤高次郎筆
120	(新聞他 雜)			資料	1	文夫氏蔵/新聞・手ぬぐい他、雑
121	米庫改築の件			図面	1	文夫氏蔵
122	中国の南画			資料	1	文夫氏蔵/メモ
123	中国愛石小史			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿及びメモ
124	同訓異字 平仄			和書	1	文夫氏蔵
125	平仄新辞典	高田集藏(編著) / 厚生閣(発行)	昭和13年12月15日(1938)	和書	1	文夫氏蔵か
126	中国古小説選			資料	1	文夫氏蔵/自筆原稿
127	岩佐又兵衛作 山中常盤双紙			和書	1	文夫氏蔵か
128	古代日本絵画史 増訂資料要録・備考索引			資料	1	文夫氏蔵/自筆ノート「昭和50年9月再 ■■整備、表紙を加う」と記入あり
129	古代日本絵画史挿図			写真	1	文夫氏蔵
130	詩語碎金	東條文左衛門(著) / 山崎屋清七(発行)	弘化5年戊申春	和書	1	
131	文夫氏 不明資料			資料	8	文夫氏蔵/メモ・写真他
132	文夫氏 自筆及び印刷・不明資料			資料	1	文夫氏蔵//一ト・メモ・印刷資料・新聞切り抜き
133	大村桂蔵宛書簡(うち・大村芳樹筆18点・大村耕造筆7点・塩澤觀山筆1点・その他/書き手不明55点)			書簡	81	
134	大村桂蔵筆書簡			書簡	5	
135	大村みほ筆書簡(母上宛2)			書簡	2	
136	書き手・宛先不明書簡			書簡	12	
137	大村桂蔵印鑑			資料	1	
138	大村桂蔵関連 不明書類			資料	多数	岩淵村関連書類を含む
139	十九百四年開設聖路易万国博覧会設計図			図面	1	

140	富士山表口真面之図			図面	1	
141	庵原郡岩淵村ヨリ同郡中之郷村停車場ニ至ル連接道路実測図			図面	1	
142	画稿(墨書き)			図版	2	
143	建築装飾図(墨書き)			資料	15	
144	工芸品図版(銅版画か)	英風社		図版	8	
145	経典関連資料			資料	多数	
146	書			資料	1	
147	朱肉			雑	1	
148	ガラス板ケース及び印画紙			雑	2	
149	版木			雑	1	
150	人民中国 6月号	人民中国編集委員会(編)/東方書店(発行)	昭和48年6月5日(1973)	雑誌	1	
151	肖像写真(大村西崖か?)			写真	2	
152	鉄雲藏龜索引			資料	1	文夫氏蔵か/写真・メモ
153				資料	1	
154				資料	1	
155				資料	1	
156				資料	1	
157				資料	1	
158				資料	1	
159	大村西崖筆書簡(・大村桂蔵宛11点・大村せつ子宛6点)			書簡	17	大村桂蔵関係の箱(雑-3)より見つかる。
160	大村西崖宛書簡			書簡	11	大村桂蔵関係の箱(雑-3)より見つかる。
161	大村西崖関連書類			資料	7	大村桂蔵関係の箱(雑-3)より見つかる。
162	大村西崖宛書簡(法隆寺関係)			資料	3	文夫氏蔵品の箱「法隆寺関係」より見つかる。
163						
164	大村西崖著作目録			書簡	1	著作を記したメモ/文夫氏蔵品の箱より見つかる。

大村西崖資料目録 VI.付録-美術評論

※吉田千鶴子蒐集・書き起こし・プリントファイル(F.Dあり)

※各巻、年月日順に整列

a. 初期 明治26年10月28日～明治29年3月10日

番号	出典誌名	号数	年月日	ペンネーム	タイトル	備考
1	京都美術協会雑誌	17	明治26年10月28日	蜩笑子	彫塑ノ美術界ニ於ケル地位	
2	京都美術協会雑誌	26	明治27年7月28日	大村西崖稿	支那ノ審美論	
3	京都美術協会雑誌	27	明治27年9月28日	西崖述	狩野一信伝	
4	京都美術協会雑誌	28	明治27年9月28日	大村西崖述	美術トハ何ゾヤ	
5	京都美術協会雑誌	29	明治27年10月28日	大村西崖稿	彫塑論	
6	京都美術協会雑誌	30	明治27年11月28日	大村西崖述	雅俗弁	錦巻雜綴第五巻(明治28.6.28)に転載。句読点の位置これとやや異なる。
7	京都美術協会雑誌	31	明治27年12月28日	金子静枝・大村西崖	広隆寺ノ弥勒像附什宝	錦巻雜綴第七巻(明治29.3)所載の西崖著「広隆寺弥勒菩薩像記」はこれを添削したもの。
8	京都美術協会雑誌	34	明治28年3月28日	大村西崖偶拈	芸苑叢話 美術よしなし言百則	
9	京都美術協会雑誌	35	明治28年4月28日	西崖偶拈	美術よしなし言(承前)	
10	京都美術協会雑誌	36	明治28年5月28日	無記庵主人	美術よしなし言(承前)	
11	京都美術協会雑誌	39	明治28年8月28日	大村西崖述	意匠論	
12	京都美術協会雑誌	40	明治28年9月28日	無記庵主人	美術よしなし言(承前)	
13	京都美術協会雑誌	52	明治29年9月28日	大村西崖述	芸術社会	
14	京都美術協会雑誌	53	明治29年10月28日	大村西崖述	造形芸術ノ彙類(未定稿)	
15	京都美術協会雑誌	54	明治29年11月29日	大村西崖述	写実論	
16	錦巻雜綴	1	明治27年4月5日	大村西崖	中林成昌翁画幅展觀短評	
17	錦巻雜綴	2	明治27年6月15日	大村西崖	古作薬師像記	
18	錦巻雜綴	2	明治27年6月15日	大村西崖	鶯の贊	
19	錦巻雜綴	3	明治27年10月31日	西崖戯稿	誹文小品	
20	錦巻雜綴	6	明治28年10月30日	優婆塞 大村西崖稿	大仏造立勸進文	
21	錦巻雜綴	7	明治29年3月10日	蜩笑子	三衣略考	なお前号に天心の「懸賞仏画募集廣告」が掲載された
22	錦巻雜綴	7	明治29年3月10日	大村西崖	広隆寺弥勒菩薩像記	京都美術協会雑誌第三十一号(二十七年十二月)所載論文の前文、後文(金子静枝著)を削除し、文を追加し、語句に僅かな変更を加えたもの。
23	錦巻雜綴	7	明治29年3月10日	大村西崖	壬生寺地蔵像記	
24	—	—	—	—	古社寺保存卑見	自筆建言書。東京美術学校墨紙に毛筆使用。日本美術院蔵。明治三十年六月五日古社寺保存法制定前後の執筆と考えられる。

b. 明治30.3.15～明治31.1.2

番号	出典誌名	号数	年月日	ペンネーム	タイトル	備考
25	読売新聞	—	明治30年3月15日	大村西崖	好古巡礼(一)	
26	読売新聞	—	明治30年3月22日	大村西崖	好古巡礼(二)	「大仏殿」
27	読売新聞	—	明治30年3月29日	大村西崖	好古巡礼(三)	「大梵鐘」
28	読売新聞	—	明治30年4月5日	大村西崖	好古巡礼(四)	「三月堂」
29	読売新聞	—	明治30年4月12日	大村西崖	好古巡礼(五)	「法華堂之本尊」
30	読売新聞	—	明治30年4月19日	大村西崖	好古巡礼(六)	「法華堂本尊の脇侍」「法華堂の秘尊」
31	読売新聞	—	明治30年4月24日	大村西崖	好古巡礼(七)	「戒壇堂」
32	読売新聞	—	明治30年4月26日	大村西崖	好古巡礼(八)	「戒壇堂の本尊」「四天王の塑像」
33	読売新聞	—	明治30年5月24日	大村西崖	好古巡礼(九)	「正倉院」
34	読売新聞	—	明治30年6月1日	大村西崖	好古巡礼(十)	「東南院」
35	読売新聞	—	明治30年6月7日	大村西崖	好古巡礼(十一)	「東大寺の宝庫」
36	読売新聞	—	明治30年6月21日	大村西崖	好古巡礼(十二)	「興福寺」
37	読売新聞	—	明治30年6月23日	大村西崖	好古巡礼(十三)	「興福寺」
38	読売新聞	—	明治30年6月24日	大村西崖	好古巡礼(十四)	「興福寺」「金堂」
39	読売新聞	—	明治30年6月26日	大村西崖	好古巡礼(十五)	「興福寺(つづき)」「金堂」
40	読売新聞	—	明治30年3月15日	無記菴	ひとり言	
41	読売新聞	—	明治30年3月22日	無記菴	ひとり言	
42	読売新聞	—	明治30年3月29日	無記菴	ひとり言	
43	読売新聞	—	明治30年6月28日	無記菴	彫刻の話	
44	読売新聞	—	明治30年8月30日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(一)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
45	読売新聞	—	明治30年8月31日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(二)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
46	読売新聞	—	明治30年9月1日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(三)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
47	読売新聞	—	明治30年9月2日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(四)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
48	読売新聞	—	明治30年9月3日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(五)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
49	読売新聞	—	明治30年9月5日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(六)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
50	読売新聞	—	明治30年9月6日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(七)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
51	読売新聞	—	明治30年9月16日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(八)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
52	読売新聞	—	明治30年9月18日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(九)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
53	読売新聞	—	明治30年9月19日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(十)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
54	読売新聞	—	明治30年9月20日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(十一)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
55	読売新聞	—	明治30年9月21日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(十二)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
56	読売新聞	—	明治30年9月30日	無記菴主人	小泉八雲氏の「日本絵画論」に就て(十三)	「太陽」第三巻第十五号参照、「無記菴雑文」収載
57	読売新聞か?	—	不明	無署名	献納の衝立(本日の挿画)	「無記菴雑文」収載
58	読売新聞	—	明治30年10月17日	局外生	美術展覧会評判(一)	「無記菴雑文」収載
59	読売新聞	—	明治30年10月18日	局外生	美術展覧会評判(二)	「無記菴雑文」収載
60	読売新聞	—	明治30年10月19日	局外生	美術展覧会評判(三)	「無記菴雑文」収載
61	読売新聞	—	明治30年10月20日	局外生	美術展覧会評判(四)	「無記菴雑文」収載
62	読売新聞	—	明治30年10月21日	局外生	美術展覧会評判(五)	「無記菴雑文」収載
63	読売新聞	—	明治30年10月22日	局外生	美術展覧会評判(六)	「無記菴雑文」収載
64	読売新聞	—	明治30年10月23日	局外生	美術展覧会評判(七)	「無記菴雑文」収載

65	読壳新聞	—	明治30年10月24日	局外生	美術展覧会評判(八)	「無記菴雑文」収載
66	読壳新聞	—	明治30年10月25日	局外生	美術展覧会評判(九)	「無記菴雑文」収載
67	読壳新聞	—	明治30年10月26日	局外生	美術展覧会評判(十)	「無記菴雑文」収載
68	読壳新聞	—	明治30年10月27日	局外生	美術展覧会評判(十一)	「無記菴雑文」収載
69	読壳新聞	—	明治30年10月28日	局外生	美術展覧会評判(十二)	「無記菴雑文」収載
70	読壳新聞	—	明治30年10月29日	局外生	美術展覧会評判(十三)	「無記菴雑文」収載
71	読壳新聞	—	明治30年10月30日	局外生	美術展覧会評判(十四)	「無記菴雑文」収載
72	読壳新聞	—	明治30年10月31日	局外生	美術展覧会評判(十五)	「無記菴雑文」収載
73	読壳新聞	—	明治30年11月1日	局外生	美術展覧会評判(十六)	「無記菴雑文」収載
74	読壳新聞	—	明治30年11月2日	局外生	美術展覧会評判(十七)	「無記菴雑文」収載
75	読壳新聞	—	明治30年11月3日	局外生	美術展覧会評判(十八)	「無記菴雑文」収載
76	読壳新聞	—	明治30年11月4日	局外生	美術展覧会評判(十九)	「無記菴雑文」収載
77	読壳新聞	—	明治30年11月5日	局外生	美術展覧会評判(二十)	「無記菴雑文」収載
78	読壳新聞	—	明治30年11月6日	局外生	美術展覧会評判(二十一)	「無記菴雑文」収載
79	読壳新聞	—	明治30年11月16日	局外生	絵画共進会評判(一)	「大作七八幅」、「無記菴雑文」収載
80	読壳新聞	—	明治30年11月17日	局外生	絵画共進会評判(二)	「横山大觀筆『聰法』」、「無記菴雑文」収載
81	読壳新聞	—	明治30年11月19日	局外生	絵画共進会評判(三)	「西郷孤月筆『春暖』」、「無記菴雑文」収載
82	読壳新聞	—	明治30年11月20日	局外生	絵画共進会評判(四)	「菱田春草筆『水鏡』」、「無記菴雑文」収載
83	読壳新聞	—	明治30年11月21日	局外生	絵画共進会評判(五)	「川合玉堂筆『家鴨』」、「無記菴雑文」収載
84	読壳新聞	—	明治30年11月23日	無礙菴〔今泉雄作〕(寄)	局外生殿に伺ひ申し候	「無記菴雑文」収載
85	読壳新聞	—	明治30年11月23日	局外生	無礙菴殿に答へ申し候	「無記菴雑文」収載
86	読壳新聞	—	明治30年11月26日	鉄牛生〔関如来〕	はがき便り(第五信)十一月二十四日発	【参考資料】、「無記菴雑文」収載
87	読壳新聞	—	明治30年11月26日	案外生	局外生殿に御申上候	「無記菴雑文」収載
88	読壳新聞	—	明治30年11月26日	案内生	局外君に問ふ	「無記菴雑文」収載
89	読壳新聞	—	明治30年11月26日	—	—	「無記菴雑文」収載
90	読壳新聞	—	明治30年11月27日	局外生	絵画共進会評判(六)	「下村觀山筆『繼信最期』」、「無記菴雑文」収載
91	読壳新聞	—	明治30年11月28日	局外生	絵画共進会評判(七)	「小坂象堂筆『小春』『惱魔断滅』」、「無記菴雑文」収載
92	読壳新聞	—	明治30年11月28日	局外生	案外生殿に御答申上候	「無記菴雑文」収載
93	読壳新聞	—	明治30年11月28日	局外生	案内君に答ふ	「無記菴雑文」収載
94	読壳新聞	—	明治30年11月29日	大村西崖	与関巖二郎〔如来〕書	「無記菴雑文」収載
95	読壳新聞	—	明治30年11月29日	局外生	絵画共進会評判(八)	「山中敬中筆『平和』『反魂香』本多天城筆『羅浮の仙女』」、「無記菴雑文」収載
96	読壳新聞	—	明治30年12月14日	局外生	絵画共進会後日評判(一)	「無記菴雑文」収載
97	読壳新聞	—	明治30年12月15日	局外生	絵画共進会後日評判(二)	「無記菴雑文」収載
98	読壳新聞	—	明治30年12月16日	局外生	絵画共進会後日評判(三)	「無記菴雑文」収載
99	読壳新聞	—	明治30年12月17日	局外生	絵画共進会後日評判(四)	「無記菴雑文」収載
100	読壳新聞	—	明治30年12月17日	局外生	絵画共進会後日評判(五)	「無記菴雑文」収載
101	読壳新聞	—	明治30年12月19日	局外生	絵画共進会後日評判(六)	「無記菴雑文」収載
102	読壳新聞	—	明治30年12月20日	局外生	絵画共進会後日評判(七)	「無記菴雑文」収載

103	読売新聞	—	明治31年1月1日	局外生	明治三十年の美術界	「無記菴雑文」収載
104	読売新聞	—	明治31年1月2日	局外生	明治三十年の美術界(承前)	「無記菴雑文」収載

c. 明治31.2.7～明治32.8.11

番号	出典誌名	号数	年月日	ペンネーム	タイトル	備考
105	読売新聞	—	明治31年2月7日	無記庵	芸苑饒舌(一)	「無記菴雑文」収載
106	読売新聞	—	明治31年2月10日	無記庵	芸苑饒舌(二)	「無記菴雑文」には欠落
107	読売新聞	—	明治31年2月13日	顛頽子	敢て無記庵君に問ふ	※確証は無いが西崖の執筆と考えられる、「無記菴雑文」収載
108	読売新聞	—	明治31年2月13日	顛頽子	来書一則	
109	読売新聞	—	明治31年2月14日	顛頽子	敢て無記庵君に問ふ(承前)	「無記菴雑文」収載
110	読売新聞	—	明治31年2月15日	無記庵	芸苑饒舌(三)	「無記菴雑文」収載
111	読売新聞	—	明治31年2月16日	無記庵	芸苑饒舌(四)	「無記菴雑文」収載
112	読売新聞	—	明治31年2月21日	無記庵	芸苑饒舌(五)	「無記菴雑文」収載
113	読売新聞	—	明治31年2月23日	無記庵	芸苑饒舌(六)	「無記菴雑文」収載
114	読売新聞	—	明治31年2月26日	無記庵	芸苑饒舌(七)	「無記菴雑文」収載
115	読売新聞	—	明治31年2月27日	無記庵	芸苑饒舌(八)	「無記菴雑文」収載
116	読売新聞	—	明治31年2月27日	無記菴	「万朝報」記者に寄す	「無記菴雑文」収載
117	読売新聞	—	明治31年2月28日	無記菴	芸苑饒舌(九)	「無記菴雑文」収載
118	読売新聞	—	明治31年2月28日	無記菴	芸苑饒舌(十)	「無記菴雑文」収載
119	読売新聞	—	明治31年2月21日	鳥有生	美術漫言(一)	「無記菴雑文」にはないが、鳥有生は西崖の筆名と考えられる。
120	読売新聞	—	明治31年2月28日	鳥有生	美術漫言(二)	「無記菴雑文」にはないが、鳥有生は西崖の筆名と考えられる。
121	読売新聞	—	明治31年3月30日	無記菴	芸苑饒舌(十一)	「無記菴雑文」収載
122	読売新聞	—	明治31年4月25日	局外生,鳥有生	絵画共進会評判(一)	「小坂象堂筆養鶴」「河合玉堂筆花見」、「無記菴雑文」収載
123	読売新聞	—	明治31年4月27日	局外生,鳥有生	絵画共進会評判(二)	「小林呉曉筆春晴、五月雨、孔雀」「結城素明筆明末の乱」、「無記菴雑文」収載
124	読売新聞	—	明治31年4月29日	局外生,鳥有生	絵画共進会評判(三)	「尾形月耕筆日本橋」「木村信太郎筆秋夕、春雨」、「無記菴雑文」収載
125	読売新聞	—	明治31年4月30日	局外生,鳥有生	絵画共進会評判(四)	「渡辺啓三筆秋致」「橋本雅邦筆蘇軾、水墨山水」「小堀鞆音筆うちのゝ雪」「寺崎広業筆歳の市」、「無記菴雑文」収載
126	読売新聞	—	明治31年5月1日	局外生,鳥有生	絵画共進会評判(五)	「菱田春草筆觀画」「下村觀山筆小町」「西郷孤月筆虎」「村田丹陵筆舞子浜」「横山大觀筆鳩」、「無記菴雑文」収載
127	読売新聞	—	明治31年5月2日	局外生,鳥有生	明治美術会評判(一)	「浅井忠筆冬枯」「川村清雄筆失題、二月」、「無記菴雑文」収載
128	読売新聞	—	明治31年5月5日	局外生,鳥有生	明治美術会評判(二)	「小坂象堂筆晩帰、浜辺の松原」、「無記菴雑文」収載
129	読売新聞	—	明治31年5月6日	局外生,鳥有生	明治美術会評判(三)	「満谷国四郎筆林大尉戦死、妙義山、真間の入江の秋」、「渡辺審也筆狙公」、「無記菴雑文」収載

130	読売新聞	—	明治31年5月8日	局外生,鳥有生	明治美術会評判(四)	「石川寅治筆浜辺の遊、農家、湯浅五助」「河合新造筆秋郊、竹林」、「無記菴雑文」収載
131	読売新聞	—	明治31年5月30日	無記菴	芸苑饒舌(十二)	「無記菴雑文」収載
132	読売新聞	—	明治31年5月30日	無記菴	芸苑饒舌(十三)	「無記菴雑文」収載
133	読売新聞	—	明治31年6月18日	局外生	日本画会戊戌展覧会評判(一)	「無記菴雑文」収載
134	読売新聞	—	明治31年6月19日	局外生	日本画会戊戌展覧会評判(二)	「無記菴雑文」収載
135	読売新聞	—	明治31年6月21日	局外生	日本画会戊戌展覧会評判(三)	「無記菴雑文」収載
136	読売新聞	—	明治31年6月22日	局外生	日本画会戊戌展覧会評判(四)	「無記菴雑文」収載
137	読売新聞	—	明治31年6月25日	局外生	日本画会戊戌展覧会評判(五)	「無記菴雑文」収載
138	読売新聞	—	明治31年6月27日	局外生	日本画会戊戌展覧会評判(六)	「無記菴雑文」収載
139	読売新聞	—	明治31年6月29日	局外生	日本画会戊戌展覧会評判(六〔七〕)	「無記菴雑文」収載
140	読売新聞	—	明治31年9月7日	無記庵	芸苑饒舌(十四)	「金杉歎男[塩田力藏]氏の「美術工芸と形式美」(一)」、「無記菴雑文」収載
141	読売新聞	—	明治31年9月15日	無記庵	芸苑饒舌(十五)	「金杉歎男氏の「美術工芸と形式美」(二)」、「無記菴雑文」収載
142	美術評論	16	明治31年11月	無記庵	芸苑饒舌(十六)	「無色斎主人の美術論」、※無色斎は林田源太郎(春潮)の筆名。『美術月報』第三卷第十一号(大正11年8月)所載閑如來筆「故林田春潮君追憶」参照。
143	時事新報	—	明治32年2月14日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
144	時事新報	—	明治32年2月16日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
145	時事新報	—	明治32年2月19日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
146	時事新報	—	明治32年2月21日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
147	時事新報	—	明治32年2月22日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
148	時事新報	—	明治32年2月23日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
149	時事新報	—	明治32年2月24日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
150	時事新報	—	明治32年2月28日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
151	時事新報	—	明治32年3月1日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
152	時事新報	—	明治32年3月3日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
153	時事新報	—	明治32年3月4日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
154	時事新報	—	明治32年3月5日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
155	時事新報	—	明治32年3月6日	△△生	河村清雄氏の作品展覧会を観て	「無記菴雑文」収載
156	時事新報	—	明治32年3月7日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
157	時事新報	—	明治32年3月8日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
158	時事新報	—	明治32年3月10日	△△生	再び河村清雄氏の作品展覧会を観て	「無記菴雑文」収載
159	時事新報	—	明治32年3月11日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
160	時事新報	—	明治32年3月12日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
161	時事新報	—	明治32年3月13日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
162	時事新報	—	明治32年3月16日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
163	時事新報	—	明治32年3月19日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載

164	時事新報	—	明治32年3月21日	△△生(星川)	三たび河村清雄氏の作品展覧会を観て	「無記菴雑文」収載
165	時事新報	—	明治32年3月22日	△△生(星川)	美術通信	「日本画改良法に就て」、「無記菴雑文」収載
166	時事新報	—	明治32年3月25日	△△生	三たび河村清雄氏の作品展覧会を観て(後)	「無記菴雑文」収載
167	時事新報	—	明治32年3月26日	△△生(星川)	美術通信	「無記菴雑文」収載
168	時事新報	—	明治32年4月1日	△△生	美術通信	「諸家の日本画改良談片」、「無記菴雑文」収載
169	時事新報	—	明治32年4月3日	△△生	美術通信	「『画界罵倒録を読む』を読む」、「無記菴雑文」収載
170	時事新報	—	明治32年4月12日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
171	時事新報	—	明治32年4月19日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
172	時事新報	—	明治32年4月20日	[記名なし]	美術信通 [ママ]	「無記菴雑文」収載
173	時事新報	—	明治32年4月24日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」中に無いもの。西崖か星川か不明。
174	時事新報	—	明治32年4月25日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」中に無いもの。西崖か星川か不明。
175	時事新報	—	明治32年4月26日	△△生	美術通信	「更に『画界罵倒録』を読む」、「無記菴雑文」収載 ※時事新報5月7日・11日・12日付けに「画界罵倒録」をさらに詳しく批判した△○生の「日本画は応用美術なるか」が連載されている。論旨、語句からみて、これも西崖執筆か。ただし「無記菴雑文」には含まれていない。
176	時事新報	—	明治32年4月27日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
177	時事新報	—	明治32年5月5日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
178	時事新報	—	明治32年5月9日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
179	時事新報	—	明治32年5月7日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
180	時事新報	—	明治32年5月16日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
181	時事新報	—	明治32年5月17日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
182	時事新報	—	明治32年5月24日	△△生	美術通信	「無記菴雑文」収載
183	時事新報	—	明治32年5月26日	△△生	みみなぐさ	
184	時事新報	—	明治32年7月2日	△△生	美術通信	
185	時事新報	—	明治32年7月14日	△△生	美術通信	「新海氏の北白川宮殿下銅像元型」、「無記菴雑文」収載
186	時事新報	—	明治32年7月16日	△△生	美術通信	
187	時事新報	—	明治32年7月27日	△△生	美術通信	
188	時事新報	—	明治32年7月31日	△△生	美術通信	
189	時事新報	—	明治32年8月1日	△△生	美術通信	
190	時事新報	—	明治32年8月7日	△△生	美術通信	
191	時事新報	—	明治32年8月8日	△△生	美術通信	「美術作品審査会」
192	時事新報	—	明治32年8月9日	△△生	美術通信	「再び美術作品審査会」
193	時事新報	—	明治32年8月11日	△△生	美術通信	

d. 明治32.9.1～明治33.7.28(うち3篇のみ5.7/5.11/5.12)

番号	出典誌名	号数	年月日	ペンネーム	タイトル	備考
194	時事新報	—	明治32年5月7日	△○生	日本画は応用美術なるか	[内容・用語から西崖執筆と思われる]
195	時事新報	—	明治32年5月11日	△○生	日本画は応用美術なるか(続)	[内容・用語から西崖執筆と思われる]

196	時事新報	—	明治32年5月12日	△○生	日本画は応用美術なるか(続)	[内容・用語から西崖執筆と思われる]
197	時事新報	—	明治32年9月1日	△△生	美術通信	
198	読売新聞	—	明治32年9月1日	—	審美綱領の批評に対する森鷗外氏の書翰	[参考資料]
199	読売新聞	—	明治32年9月2日	—	審美綱領の批評に対する森鷗外氏の書翰(承前)	
200	読売新聞	—	明治32年9月10日	—	審美綱領の批評に対する森鷗外氏の第二書	
201	時事新報	—	明治32年9月5日	△△生	美術通信	「△美術品鑑査会彫塑部評判(一)」⇒「(牙彫)藤原通成 石川光明作」「(同)婦人納涼 朝日光堂作」「(同)雨中の小児 平坂芳文作」「(同)老人子供 宇田川捨次郎」
202	時事新報	—	明治32年9月6日	△△生	美術通信	「△美術品鑑査会彫塑部評判(二)」⇒「(牙彫)鷹狩 石川光明作」「(木彫)老人 荒川嶺雲作」「(同)小女猫を抱く 山崎朝雲作」「(同)肩車 竹内久一作」
203	時事新報	—	明治32年9月8日	△△生	美術通信	「△美術品鑑査会彫塑部評判(三)」⇒「(木彫)人物 山崎朝雲作」「(同)小児戯犬 米原雲海作」「(同)小児弄雛 米原雲海作」「(同)馬の遠足 後藤貞行筆」
204	時事新報	—	明治32年9月9日	△△生	美術通信	「△美術品鑑査会彫塑部評判(四)」⇒「(木彫)山靈訶護 高村光雲作」「(同)盲人 高村光雲作」「(同)農夫 山田鬼斎作」「(同)釈迦 山田鬼斎作」
205	時事新報	—	明治32年9月10日	△△生	美術通信	「△美術品鑑査会彫塑部評判(五)」⇒「(金属彫)新羅三郎 沼田一雅作」「(同)拾い子 大塚秀之丞作」
206	時事新報	—	明治32年9月12日	△△生	美術通信	「△美術品鑑査会彫塑部評判(六)」⇒「(金属彫)婦人乗馬 海野美盛作」「(同)傀儡師 海野美盛作」
207	時事新報	—	明治32年9月13日	△△生	美術通信	
208	時事新報	—	明治32年9月15日	△△生	彫刻競技会批評(一)	「金属彫 乳牛 卷野外次郎作」「木彫 姫慈孫擁護 古沢俊助作」「金属彫 虎 沼田一雅作」
209	時事新報	—	明治32年9月16日	△△生	彫刻競技会批評(二)	「牙彫 元禄若衆 嶋村其明作」「牙彫 老人若水汲 浜田正明作」「牙彫 農夫 吉田宗寿作」「牙彫 小供蟲取 森野光林作」
210	時事新報	—	明治32年9月17日	△△生	彫刻競技会批評	「鋳造製 小供 蟹谷国清作」「木彫 農夫 加藤景雲作」
211	時事新報	—	明治32年9月19日	△△生	彫刻競技会批評(四)	「大理石彫 少女愛猫 山田鬼斎作」「木彫 老翁 平櫛倬太郎作」「石膏製 子守 黒岩淡斎作」
212	時事新報	—	明治32年9月20日	△△生	彫刻競技会批評(五)	「牙彫 狼 岡田知一作」「大理石彫 兎 大塚正一作」
213	時事新報	—	明治32年9月22日	△△生	彫刻競技会批評(六)	「木彫 大原女 森鳳声作」「石膏製 婦人納涼 山田鬼斎作」「銅製 驢馬に猿 古川清衛門作」「木彫 木賊刈 林美雲作」「木彫 婦人 渡辺長男作」
214	時事新報	—	明治32年11月4日	△△生	美術通信	「△秋季美術展覧会批評(一)」
215	時事新報	—	明治32年11月5日	△△生	美術通信	「△秋季美術展覧会批評(二)」
216	時事新報	—	明治32年11月6日	△△生	美術通信	「△秋季美術展覧会批評(三)」
217	時事新報	—	明治32年11月8日	△△生	美術通信	「△秋季美術展覧会批評(四)」
218	時事新報	—	明治32年11月19日	△△生	美術通信	「△白馬会展覧会批評(一)」

219	時事新報	—	明治32年11月20日	△△生	美術通信	「△白馬会展覧会批評(二)」、「未コピート」とあり
220	時事新報	—	明治32年11月22日	△△生	美術通信	「△白馬会展覧会批評(二)」
221	時事新報	—	明治32年11月26日	△△生	美術通信	「△白馬会批評(三)」
222	時事新報	—	明治33年4月1日	△△生	美術通信	
223	時事新報	—	明治33年4月4日	△△生	美術通信	
224	東京日日新聞	—	明治33年4月10日	無名子	美術展覧会を評す	
225	東京日日新聞	—	明治33年4月11日	無名子	美術展覧会を評す(つづき)	
226	東京日日新聞	—	明治33年4月12日	無名子	美術展覧会を評す(つづき)	
227	米沢新聞	—	明治33年4月12日	無名子	寄書 美術の本義	[筆名・内容から西崖執筆と思われる][続編の有無は未調査]
228	東京日日新聞	—	明治33年4月13日	無名子	美術展覧会を評す(つづき)	
229	東京日日新聞	—	明治33年4月15日	無名子	美術展覧会を評す(つづき)	
230	東京日日新聞	—	明治33年4月18日	無名子	美術展覧会を評す(つづき)	
231	東京日日新聞	—	明治33年4月20日	無名子	美術展覧会を評す(つづき)	
232	東京日日新聞	—	明治33年4月21日	無名子	美術展覧会を評す(二)	
233	東京日日新聞	—	明治33年4月24日	無名子	美術展覧会を評す(三)	
234	東京日日新聞	—	明治33年4月24日	無名子	美術展覧会を評す(四)	
235	東京日日新聞	—	明治33年4月26日	無名子	美術展覧会を評す(五)	
236	東京日日新聞	—	明治33年4月27日	無名子	美術展覧会を評す(六)	
237	東京日日新聞	—	明治33年4月28日	無名子	美術断片(一)	
238	東京日日新聞	—	明治33年4月29日	無名子	美術断片(二)	
239	東京日日新聞	—	明治33年5月3日	無名子	美術断片(三)	
240	東京日日新聞	—	明治33年5月4日	無名子	美術断片(四)	
241	東京日日新聞	—	明治33年5月9日	無名子	美術断片(五)	
242	東京日日新聞	—	明治33年5月11日	無名子	美術断片(六)	
243	東京日日新聞	—	明治33年5月12日	無名子	美術断片(七)	
244	東京日日新聞	—	明治33年5月13日	無名子	美術断片(八)	
245	東京日日新聞	—	明治33年5月15日	無名子	美術断片(九)	
246	東京日日新聞	—	明治33年5月16日	無名子	美術断片(十)	
247	東京日日新聞	—	明治33年5月17日	無名子	美術断片(十一)	
248	東京日日新聞	—	明治33年5月18日	無名子	美術断片(十二)	
249	東京日日新聞	—	明治33年5月19日	無名子	展覧会評判(一)	
250	東京日日新聞	—	明治33年5月20日	無名子	展覧会評判(二)	
251	東京日日新聞	—	明治33年5月22日	無名子	展覧会評判(三)	
252	東京日日新聞	—	明治33年5月23日	無名子	展覧会評判(四)	
253	東京日日新聞	—	明治33年5月24日	無名子	展覧会評判(五)	
254	東京日日新聞	—	明治33年5月25日	無名子	展覧会評判(六)	
255	東京日日新聞	—	明治33年5月26日	無名子	展覧会評判(七)	
256	東京日日新聞	—	明治33年5月27日	無名子	展覧会評判(八)	
257	東京日日新聞	—	明治33年5月29日	無名子	展覧会評判(九)	
258	東京日日新聞	—	明治33年5月30日	無名子	展覧会評判(十)	
259	東京日日新聞	—	明治33年6月7日	無名子	美術雑観(一)	

260	東京日日新聞	—	明治33年6月8日	無名子	美術雑観(二)	
261	東京日日新聞	—	明治33年6月10日	無名子	美術雑観(三)	
262	東京日日新聞	—	明治33年6月12日	無名子	美術雑観(四)	
263	東京日日新聞	—	明治33年6月13日	無名子	美術雑観(五)	
264	東京日日新聞	—	明治33年6月14日	無名子	美術雑観(六)	
265	東京日日新聞	—	明治33年6月16日	無名子	美術雑観(七)	
266	東京日日新聞	—	明治33年6月17日	無名子	美術雑観(八)	
267	東京日日新聞	—	明治33年6月19日	無名子	美術雑観(九)	
268	東京日日新聞	—	明治33年6月20日	無名子	美術雑観(十)	
269	東京日日新聞	—	明治33年6月23日	無名子	美術雑観(十一)	
270	東京日日新聞	—	明治33年6月24日	無名子	美術雑観(十二)	
271	東京日日新聞	—	明治33年6月26日	無名子	美術雑観(十三)	
272	東京日日新聞	—	明治33年6月28日	無名子	美術雑観(十四)	
273	東京日日新聞	—	明治33年6月29日	無名子	美術雑観(十五)	
274	東京日日新聞	—	明治33年6月30日	無名子	美術雑観(十六)	
275	東京日日新聞	—	明治33年7月1日	無名子	美術雑観(十七)	
276	東京日日新聞	—	明治33年7月3日	無名子	美術雑観(十八)	
277	東京日日新聞	—	明治33年7月4日	無名子	美術雑観(十九)	
278	東京日日新聞	—	明治33年7月6日	無名子	美術雑観(二十)	
279	東京日日新聞	—	明治33年7月7日	無名子	美術雑観(廿一)	
280	東京日日新聞	—	明治33年7月8日	無名子	美術雑観(廿二)	
281	東京日日新聞	—	明治33年7月10日	無名子	美術雑観(廿三)	
282	東京日日新聞	—	明治33年7月11日	無名子	美術雑観(廿四)	
283	東京日日新聞	—	明治33年7月13日	無名子	美術雑観(廿五)	
284	東京日日新聞	—	明治33年7月15日	無名子	美術雑観(廿六)	
285	東京日日新聞	—	明治33年7月19日	無名子	美術雑観(廿七)	
286	東京日日新聞	—	明治33年7月22日	無名子	美術雑観(廿八)	
287	東京日日新聞	—	明治33年7月26日	無名子	美術雑観(廿九)	
288	東京日日新聞	—	明治33年7月27日	無名子	美術雑観(三十)	
289	東京日日新聞	—	明治33年7月28日	無名子	美術雑観(三十一)	

e. 明治33.7.29～明治34.3.10

番号	出典誌名	号数	年月日	ペンネーム	タイトル	備考
290	東京日日新聞	—	明治33年7月29日	無名子	美術雑観(三十二)	
291	東京日日新聞	—	明治33年8月1日	無名子	美術雑観(三十三)	
292	東京日日新聞	—	明治33年8月3日	無名子	美術雑観(三十四)	
293	東京日日新聞	—	明治33年8月5日	無名子	美術雑観(三十五)	
294	東京日日新聞	—	明治33年8月(7)日	無名子	美術雑観(三十六)	
295	東京日日新聞	—	明治33年8月11日	無名子	美術雑観(三十七)	
296	東京日日新聞	—	明治33年8月12日	無名子	美術雑観(三十八)	
297	東京日日新聞	—	明治33年8月17日	無名子	美術雑観(三十九)	

298	東京日日新聞	—	明治33年8月18日	無名子	美術雑観(四十)	
299	東京日日新聞	—	明治33年8月22日	無名子	美術雑観(四十一)	
300	東京日日新聞	—	明治33年8月23日	無名子	美術雑観(四十二)	
301	東京日日新聞	—	明治33年8月24日	無名子	美術雑観(四十三)	
302	東京日日新聞	—	明治33年8月25日	無名子	美術雑観(四十四)	
303	東京日日新聞	—	明治33年8月26日	無名子	美術雑観(四十五)	
304	東京日日新聞	—	明治33年8月28日	無名子	美術雑観(四十六)	
305	東京日日新聞	—	明治33年8月29日	無名子	美術雑観(四十七)	
306	東京日日新聞	—	明治33年8月31日	無名子	美術雑観(四十八)	
307	東京日日新聞	—	明治33年9月1日	無名子	美術雑観(四十九)	
308	東京日日新聞	—	明治33年9月5日	無名子	美術雑観(五十)	
309	東京日日新聞	—	明治33年9月6日	無名子	美術雑観	
310	東京日日新聞	—	明治33年9月7日	無名子	美術雑観	
311	東京日日新聞	—	明治33年9月8日	無名子	美術雑観(五十三)	
312	東京日日新聞	—	明治33年9月9日	無名子	美術雑観(五十四)	「巴里博覧会の擬賞」
313	東京日日新聞	—	明治33年9月9日	無名子	美術雑観(五十四)	「巴里博覧会の擬賞」
314	東京日日新聞	—	明治33年9月11日	無名子	美術雑観(五十五)	「鳥海□香の美学」
315	東京日日新聞	—	明治33年9月12日	無名子	美術雑観(五十六)	「正倉院」
316	東京日日新聞	—	明治33年9月13日	無名子	美術雑観(五十七)	「芋洗仙人[岩村透]の道楽」
317	二六新報	—	明治33年9月7日	芋洗仙人	美界雑感	[参考]
318	東京日日新聞	—	明治33年9月15日	無名子	美術雑観(五十八)	「無名子の名」
319	東京日日新聞	—	明治33年9月16日	無名子	美術雑観(五十九)	「小説の中の美術家」
320	東京日日新聞	—	明治33年9月18日	無名子	美術雑観(六十)	「彫工会の競技会 其一」
321	東京日日新聞	—	明治33年9月19日	無名子	美術雑観(六十一)	「彫工会の競技会 其二」
322	東京日日新聞	—	明治33年9月21日	無名子	美術雑観(六十二)	「彫工会の競技会 其三」
323	東京日日新聞	—	明治33年9月22日	無名子	美術雑観(六十三)	「彫工会の競技会 其四」
324	東京日日新聞	—	明治33年9月23日	無名子	美術雑観(六十四)	「彫工会の競技会 其五」
325	東京日日新聞	—	明治33年9月25日	無名子	美術雑観(六十五)	「無声会」
326	東京日日新聞	—	明治33年9月26日	無名子	美術雑観(六十六)	「肖像の流行」
327	東京日日新聞	—	明治33年9月28日	無名子	美術雑観(六十八[ママ])	「巴里博覧会の擬賞」
328	東京日日新聞	—	明治33年9月29日	無名子	美術雑観(六十七[ママ])	「肖像の評鑑」
329	東京日日新聞	—	明治33年9月30日	無名子	美術雑観(六十九)	「無声会の第二回展覧会 其一」
330	東京日日新聞	—	明治33年10月3日	無名子	美術雑観(七十)	「無声会の第二回展覧会(其二)」
331	東京日日新聞	—	明治33年10月4日	無名子	美術雑観(七十一)	「無声会の第二回展覧会(其三)」
332	東京日日新聞	—	明治33年10月5日	無名子	美術雑観(七十二)	「無声会の第二回展覧会(其四)」
333	東京日日新聞	—	明治33年10月7日	無名子	美術雑観(七十三)	「無声会の第二回展覧会 其五」
334	東京日日新聞	—	明治33年10月10日	無名子	美術雑観(七十四)	「無声会の第二回展覧会 [其六]」
335	東京日日新聞	—	明治33年10月11日	無名子	美術雑観(七十五)	「無声会の第二回展覧会 其七」
336	東京日日新聞	—	明治33年10月12日	無名子	美術雑観(七十六)	「無声会の第二回展覧会 其八」
337	東京日日新聞	—	明治33年10月16日	無名子	美術雑観(七十七)	「白馬会の第五回展覧会 其一」
338	東京日日新聞	—	明治33年10月21日	無名子	美術雑観(七十八)	「白馬会の第五回展覧会 其二」
339	東京日日新聞	—	明治33年10月25日	無名子	美術雑観(七十九)	「批評の批評」

340	東京日日新聞	—	明治33年10月26日	無名子	美術雑観(八十)	「美術協会の展覧会 其一」
341	東京日日新聞	—	明治33年10月27日	無名子	美術雑観(八十一)	「美術協会の展覧会 其二」
342	東京日日新聞	—	明治33年10月28日	無名子	美術雑観(八十二)	「美術協会の展覧会 其三」
343	東京日日新聞	—	明治33年10月29日	無名子	美術雑観(八十三)	「美術院と絵画協会との展覧会 其一」
344	東京日日新聞	—	明治33年10月30日	無名子	美術雑観(八十四)	「美術院と絵画協会との展覧会」
345	東京日日新聞	—	明治33年11月1日	無名子	美術雑観(八十五)	「美術院と絵画協会との展覧会(其三)」
346	東京日日新聞	—	明治33年11月2日	無名子	美術雑観(八十六)	「美術院と絵画協会との展覧会(其四)」
347	東京日日新聞	—	明治33年11月3日	無名子	美術雑観(八十七)	「美術院と絵画協会との展覧会(其五)」
348	東京日日新聞	—	明治33年11月8日	無名子	美術雑観(八十八)	「丹青会の展覧会」
349	東京日日新聞	—	明治33年11月9日	無名子	美術雑観(八十九)	「一ツ物と数物と」
350	東京日日新聞	—	明治33年11月12日	無名子	美術雑観(九十)	「美術同志会」
351	東京日日新聞	—	明治33年11月13日	無名子	美術雑観(九十一)	「東京市教育時報の「校堂に於ける美術品」」
352	東京日日新聞	—	明治33年11月14日	無名子	美術雑観(九十二)	「猥亵画」
353	東京日日新聞	—	明治33年11月15日	無名子	美術雑観(九十三)	「汎称美術」
354	東京日日新聞	—	明治33年11月16日	無名子	美術雑観(九十四)	「人形」
355	東京日日新聞	—	明治33年11月18日	無名子	美術雑観(九十五)	「新刊の「カタログ」」
356	東京日日新聞	—	明治33年11月21日	無名子	美術雑観(九十六)	「彫刻と絵画との限界」
357	東京日日新聞	—	明治33年11月27日	無名子	美術雑観(九十七)	「共進会と展覧会との相違」
358	東京日日新聞	—	明治33年11月29日	無名子	美術雑観(九十八)	「京都の論客」
359	東京日日新聞	—	明治33年11月30日	無名子	美術雑観(九十九)	「大作か佳作か」
360	東京日日新聞	—	明治33年12月6日	無名子	美術雑観(百)	「画人の狂態」
361	東京日日新聞	—	明治34年1月1日	無名子	春の挂幅[かけもの]の賦	
362	東京日日新聞	—	明治34年2月16日	無名子	美術雑観(百一)	「不朽質絵画」
363	東京日日新聞	—	明治34年2月17日	無名子	美術雑観(百二)	「絵画の表現法」
364	東京日日新聞	—	明治34年2月19日	無名子	美術雑観(百三)	「美術同志会の運動」
365	東京日日新聞	—	明治34年2月20日	無名子	美術雑観(百四)	「美術同志大会の演説」
366	東京日日新聞	—	明治34年2月21日	無名子	美術雑観(百五)	「美術の教育(其一)」
367	東京日日新聞	—	明治34年2月22日	無名子	美術雑観(百六)	「美術の教育(其二)」
368	東京日日新聞	—	明治34年2月23日	無名子	美術雑観(百七)	「美術の教育(其三)」
369	東京日日新聞	—	明治34年2月26日	無名子	美術雑観(百八)	「園芸の美術(其一)」
370	東京日日新聞	—	明治34年2月27日	無名子	美術雑観(百九)	「園芸の美術(其二)」
371	東京日日新聞	—	明治34年2月28日	無名子	美術雑観(百十)	「美術の真行草」
372	東京日日新聞	—	明治34年3月1日	無名子	美術雑観(百十〔百十一〕)	「写生と写意」
373	東京日日新聞	—	明治34年3月6日	無名子	美術雑観(百十二)	「美術社会の寄生蟲」
374	東京日日新聞	—	明治34年3月7日	無名子	美術雑観(百十三)	「天皇陛下御事歴の絵巻物 其一」
375	東京日日新聞	—	明治34年3月10日	無名子	美術雑観(百十四)	「天皇陛下御事歴の絵巻物 其二」

f. 明治34.6.12～明治35.1.14

番号	出典誌名	号数	年月日	ペンネーム	タイトル	備考
376	東京日日新聞	—	明治34年6月12日	無記載	藝苑饒舌(一)	「米僕画譚を読みて(其一)」
377	東京日日新聞	—	明治34年6月13日	無記載	藝苑饒舌(二)	「米僕画譚を読みて(其二)」

378	東京日日新聞	—	明治34年6月14日	無記載	藝苑饒舌(三)	「米僕画譚を読んで(其三)」
379	東京日日新聞	—	明治34年6月15日	無記載	藝苑饒舌(四)	「巴里大博覽会の影響」
380	東京日日新聞	—	明治34年6月16日	無記載	帝室博物館の特別展覧会	
381	東京日日新聞	—	明治34年6月18日	無記載	帝室博物館の特別展覧会(承前)	
382	東京日日新聞	—	明治34年6月19日	無記載	帝室博物館の特別展覧会(承前)	
383	東京日日新聞	—	明治34年6月20日	無記載	帝室博物館の特別展覧会(承前)	
384	東京日日新聞	—	明治34年6月26日	無記載	藝苑饒舌(五)	「展覧会の課税」
385	東京日日新聞	—	明治34年6月28日	無記載	藝苑饒舌(六)	「玉山氏の大作」
386	東京日日新聞	—	明治34年6月29日	無記載	藝苑饒舌(七)	「金属の鎧工」
387	東京日日新聞	—	明治34年6月30日	無記載	藝苑饒舌	「九 墨汁一滴」「十七宝家の氣焰」「十一 色彩説」「十二 塩田力藏氏の音樂論」[八は原本になし]
388	東京日日新聞	—	明治34年7月3日	無記載	藝苑饒舌	「十三 天渓子の所見」
389	東京日日新聞	—	明治34年7月5日	無記載	藝苑饒舌	「十四 仏文日本美術史」
390	東京日日新聞	—	明治34年7月7日	無記載	藝苑饒舌	「十五 古画備考の発行」
391	東京日日新聞	—	明治34年7月9日	無記載	藝苑饒舌	「十六 伯林の近信」
392	東京日日新聞	—	明治34年7月11日	無記載	藝苑饒舌	「十六 伯林近信(つづき)」
393	東京日日新聞	—	明治34年7月13日	無記載	藝苑饒舌	「十六 伯林近信(つづき)」
394	東京日日新聞	—	明治34年7月17日	無記載	藝苑饒舌	「十七 支那古代の彫塑(其一)」
395	東京日日新聞	—	明治34年7月18日	無記載	藝苑饒舌	「十八 支那古代の彫塑 其二」
396	東京日日新聞	—	明治34年7月27日	無記載	藝苑饒舌	「十七 支那古代の彫塑 其五」
397	東京日日新聞	—	明治34年7月28日	無記載	藝苑饒舌	「十七 支那古代の彫塑 其六」
398	東京日日新聞	—	明治34年9月4日	無記載	藝苑饒舌	「十八 井上哲次郎氏の色彩論 其一」
399	東京日日新聞	—	明治34年9月5日	無記載	藝苑饒舌	「十八 井上哲次郎氏の色彩論 其二」
400	東京日日新聞	—	明治34年9月11日	無記載	藝苑饒舌	「十九 古人の像容 其一」
401	東京日日新聞	—	明治34年9月12日	無記載	藝苑饒舌	「十九 古人の像容 其二」
402	東京日日新聞	—	明治34年9月13日	無記載	藝苑饒舌	「二十 窯業協会の物品分類」
403	東京日日新聞	—	明治34年9月15日	無記載	藝苑饒舌	「二十一 洋風の模倣」
404	東京日日新聞	—	明治34年9月21日	青外	藍田翁一夕談	[参考]
405	東京日日新聞	—	明治34年9月26日	無記載	藝苑饒舌	「二十三 日本画の屋外写生 其一」
406	東京日日新聞	—	明治34年9月29日	無記載	藝苑饒舌	「[ママ] 日本画の屋外写生 其二」
407	東京日日新聞	—	明治34年10月6日	無記載	藝苑饒舌	「廿四 畑[耕]香院积薰和亭居士」
408	東京日日新聞	—	明治34年10月10日	無記載	藝苑饒舌	「廿四 畑[耕]香院积薰和亭居士 其二」
409	東京日日新聞	—	明治34年10月12日	無記載	藝苑饒舌	「二十五 美術品の展覧会 其一」
410	東京日日新聞	—	明治34年10月15日	無記載	藝苑饒舌	「二十五 美術品の展覧会 其二」
411	東京日日新聞	—	明治34年10月19日	無記載	藝苑饒舌	「二十六 美術と道義(其二)」
412	東京日日新聞	—	明治34年10月23日	無記載	藝苑饒舌	「二十六[二十七] 美術と道義(其三)」
413	東京日日新聞	—	明治34年10月20日	—	彫工会第十六回競技会	
414	東京日日新聞	—	明治34年10月23日	—	東京彫工会競技会(承前)	
415	東京日日新聞	—	明治34年10月26日	—	東京彫工会競技会(承前)	
416	東京日日新聞	—	明治34年10月29日	—	日月会展覧会	

417	東京日日新聞	—	明治34年10月31日	—	日月会展覽会(承前)	
418	東京日日新聞	—	明治34年11月2日	—	日月会展覽会(承前)	
419	東京日日新聞	—	明治34年11月3日	—	美術院展覽会	
420	東京日日新聞	—	明治34年11月6日	—	美術院展覽会(承前)	
421	東京日日新聞	—	明治34年11月10日	—	美術院展覽会(承前)	
422	東京日日新聞	—	明治34年11月13日	—	美術院展覽会(承前)	
423	東京日日新聞	—	明治34年11月14日	—	美術院展覽会(承前)	
424	東京日日新聞	—	明治34年11月21日	—	美術院展覽会(承前)	
425	東京日日新聞	—	明治34年11月22日	—	日本美術協會繪畫研究会	
426	東京日日新聞	—	明治34年11月23日	—	日本美術協會繪畫研究会(承前)	
427	東京日日新聞	—	明治34年11月28日	—	女子美術協会展覽会	
428	東京日日新聞	—	明治34年11月29日	—	無声会繪畫展覽会	
429	東京日日新聞	—	明治34年12月3日	—	無声会繪畫展覽会(承前)	
430	東京日日新聞	—	明治34年12月7日	—	無声会繪畫展覽会(承前)	
431	東京日日新聞	—	明治34年12月8日	—	無声会繪畫展覽会(承前)	
432	東京日日新聞	—	明治34年12月11日	無記菴	藝苑饒舌	「女子の手芸」
433	東京日日新聞	—	明治34年12月14日	無記菴	藝苑饒舌	「展覽会場」
434	東京日日新聞	—	明治34年12月15日	無記菴	藝苑饒舌	「古美術品の複製」
435	東京日日新聞	—	明治34年12月19日	無記菴	藝苑饒舌	「美術史の普及」
436	東京日日新聞	—	明治34年12月21日	無記菴	藝苑饒舌	「美術品の財体」
437	東京日日新聞	—	明治34年12月24日	無記菴	藝苑饒舌	「美術の実益(其一)」
438	東京日日新聞	—	明治34年12月26日	無記菴	藝苑饒舌	「美術の実益(其二)」
439	東京日日新聞	—	明治34年12月27日	無記菴	藝苑饒舌	「美術の実益(其三)」
440	東京日日新聞	—	明治34年12月28日	無記菴	藝苑饒舌	「美術の実益(其四)」
441	東京日日新聞	—	明治35年1月5日	無記菴	藝苑饒舌	「美術の実益(其五)」
442	東京日日新聞	—	明治35年1月7日	無記菴	藝苑饒舌	「美術の実益(其六)」
443	東京日日新聞	—	明治35年1月9日	無記菴	藝苑饒舌	「美術の実益(其七)」
444	東京日日新聞	—	明治35年1月11日	無記菴	藝苑饒舌	「図案の推運」
445	東京日日新聞	—	明治35年1月12日	無記菴	藝苑饒舌	「図案の推運(其二)」
446	東京日日新聞	—	明治35年1月14日	無記菴	藝苑饒舌	「自然の研究」

g. 明治35.1.16～明治35.12.12

番号	出典誌名	号数	年月日	ペンネーム	タイトル	備考
447	東京日日新聞	—	明治35年1月16日	無記菴	藝苑饒舌	「金属貿易雑貨の共進会」
448	東京日日新聞	—	明治35年1月21日	無記菴	藝苑饒舌	「明治美術会の改革」
449	東京日日新聞	—	明治35年1月23日	無記菴	藝苑饒舌	「玉章画伯の還暦」
450	東京日日新聞	—	明治35年2月1日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其一」
451	東京日日新聞	—	明治35年2月6日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其二」
452	東京日日新聞	—	明治35年2月13日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其三」
453	東京日日新聞	—	明治35年2月15日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其四」
454	東京日日新聞	—	明治35年2月23日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其五」

455	東京日日新聞	—	明治35年3月2日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其六」
456	東京日日新聞	—	明治35年3月6日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其七」
457	東京日日新聞	—	明治35年3月9日	—	川端玉章翁還暦祝賀展覧会	
458	東京日日新聞	—	明治35年3月9日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其八」
459	東京日日新聞	—	明治35年3月13日	—	川端玉章翁還暦祝賀展覧会(承前)	
460	東京日日新聞	—	明治35年3月20日	—	輸出金属器共進会	
461	東京日日新聞	—	明治35年3月21日	—	輸出金属器共進会(承前)	
462	東京日日新聞	—	明治35年3月23日	—	輸出金属器共進会(承前)	
463	東京日日新聞	—	明治35年3月25日	—	輸出金属器共進会(承前)	
464	東京日日新聞	—	明治35年3月26日	—	美術院絵画展覧会	
465	東京日日新聞	—	明治35年3月27日	—	美術院展覧会(承前)	
466	東京日日新聞	—	明治35年3月28日	—	美術院絵画展覧会(承前)	
467	東京日日新聞	—	明治35年4月3日	無記菴	藝苑饒舌	「大阪の美術界 其九」
468	東京日日新聞	—	明治35年4月6日	—	太平洋画会展覧会(一)	
469	東京日日新聞	—	明治35年4月9日	—	太平洋画会展覧会(二)	
470	東京日日新聞	—	明治35年4月10日	—	太平洋画会展覧会(三)	
471	東京日日新聞	—	明治35年4月12日	—	太平洋画会展覧会(四)	
472	東京日日新聞	—	明治35年4月12日	—	帝室博物館の特別陳列	
473	東京日日新聞	—	明治35年4月17日	—	无声会絵画展覧会(一)	
474	東京日日新聞	—	明治35年4月20日	—	无声会絵画展覧会(二)	
475	東京日日新聞	—	明治35年4月26日	—	无声会絵画展覧会(三)	
476	東京日日新聞	—	明治35年4月27日	—	无声会絵画展覧会(四)	
477	東京日日新聞	—	明治35年4月29日	—	女子美術協会展覧会	
478	東京日日新聞	—	明治35年5月7日	—	日本画会展覧会(一)	
479	東京日日新聞	—	明治35年5月8日	—	日本画会展覧会(二)	
480	東京日日新聞	—	明治35年5月10日	—	日本画会展覧会(三)	
481	東京日日新聞	—	明治35年5月11日	—	美術研精会展覧会(一)	
482	東京日日新聞	—	明治35年5月25日	—	研精会絵画展覧会(二)	
483	東京日日新聞	—	明治35年5月29日	—	日本図案会展覧会(一)	
484	東京日日新聞	—	明治35年5月30日	—	日本図案会展覧会(二)	
485	読売新聞		明治35年5月24日-25日-26日-27日-29日	小山正太郎・渡辺金秋・福地天香・飛入先生	図案展覧会合評	[参考]
486	東京日日新聞	—	明治35年10月12日	無記菴主	美術協会展覧会	
487	大坂毎日新聞	—	明治35年12月8日	無記菴	藝苑饒舌(一)	大阪天岡均一氏の豊太閤塑像
488	大坂毎日新聞	—	明治35年12月12日	無記菴	藝苑饒舌(二)	席上揮毫について

大村西崖資料目録 VII.補遺

※追加 I

番号	枝番	分類	タイトル	年月	内容	備考
1		賞状	静岡県賞状	明治9年8月	学業優秀につき『小学読本』巻51冊を授与される。「静岡県管下駿河国富士郡稻中舎下等五級生 塩沢峯吉」	●封筒にあり
2		賞状	静岡県賞状	明治11年8月23日	学業優秀につき『民法大意』2冊、『物理階梯』3冊を授与される。「加島学校下等小学第一級卒業生 塩沢峯吉」	●封筒にあり
3		賞状	静岡県賞状	明治14年1月13日	学業優秀につき『輿地誌累』3冊、『地図』1冊を授与される。「加島小学全科卒業生 塩沢峯吉」	●封筒にあり
4	1	直筆資料	蘭契簿		住所録と見られる。中に封書1部、葉書1部、請取書1部が挟み込まれている。	
	2	書簡	西崖宛書簡(平柳太郎)	消印「2月4日」年度不明。	地方巡回中、旅費に困窮していることを訴える内容。便箋2枚。「東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖殿」	形状：封書
	3	書簡	西崖宛書簡(牛丸銀次郎)	消印判読不能	「牛込区矢来町三番地 大村西崖様」	形状：葉書
	4	領収書	請取書(本橋貞次郎)	大正14年7月28日	「五言巻千式百七十円ヨリ内金千百七十五円請取」	
5		雑	小冊子	西崖没後	『大村西崖全集 二十巻』『大村西崖選集 十巻』の目次と共に西崖小伝が書き記されている	
9		雑	大村西崖画博将来 支那宝絵影片目録	不明	西崖の同題目録(→「中国旅行関係」参照)を筆写したものか	
10		雑	大村西崖著述校輯目録	不明	原稿用紙7枚	
11		雑	元朝書画名蹟展覧会出陳品目録	大正15年5月	「会場 東京美術学校内」「大正十五年五月」「大東美術振興会」	
12		雑	美術奨励ノ建議ニ關スル実行方法案(専任委員總會議事原案)	明治33年頃?	「美術館ヲ設置スル件」「美術調査会ヲ設置スル件」「美術家ヲ海外ニ派遣スル件」「美術ニ關スル有益ノ団体ヲ補助スル件」	
13		雑	依嘱製作品説明書案	大正5年頃	「御書棚」「御料紙箱」「御硯箱」の説明書。東京美術学校原稿用紙3枚。	
14		直筆資料	即位式賀表案	大正4年11月3日	原稿用紙1枚。「大正四年十一月十日 東京美術学校職員生徒総代東京美術学校長從四位勲三等臣 正木直彦 大正四年十一月三日 大村西崖拝草」	
15		著作和書	阿育王事蹟 全	不明	明治42年1月春陽堂刊の校本。原稿用紙1枚挟み込み。付箋多數。	
16		著作和書	ASOKA INSCRIPTIONS	不明	「阿育王事蹟附録 原文」	
17		著作和書	經軌章疏一覽 密教發達志附録	不明	『密教發達志』は大正7年11月	
18		著作和書	羅漢図像考	不明	掲載誌不明。著述目録には42年4月とのみあり。	

19	著作和書	仏像新集 軋	不明	大正7年9月丙午出版社刊、乾坤2冊のうちの校本。	
20	著作和書	密教發達流伝年表	不明	大正元年12月印施本の校本。	
21	著作和書	胎藏曼茶羅の研究	不明	講演録、掲載誌不明。著述目録に「明治四二・七 加持世界」とありその転載か	
22	小冊子・資料類	東京美術学校一覽 従大正十二年至大正十四年	大正14年11月30日	-	別本あり。ダブル
23	小冊子・資料類	東京美術学校規則 明治廿五年十一月改正	明治25年11月24日	-	
24	小冊子・資料類	東京美術学校卒業生名簿	大正9年3月15日	東京美術学校校友会編	
25	小冊子・資料類	小学普通画学本 乙之部第九	明治12年6月	宮本三平編。文部省印行。	
26	写本	通俗漢楚軍談卷之二	不明	筆写本。表題は無し。	同仕様の筆写本がもう1点あり、2冊組と見られる。
27	小冊子・資料類	故宮叢刊之三 故宮攝影集 第一編 第一冊 乾清宮	民国14年10月10日	清室善後委員会刊行	
28	小冊子・資料類	故宮叢刊之三 故宮攝影集 第一編 第二冊 交泰殿坤寧宮	民国14年11月5日	清室善後委員会刊行	
29	小冊子・資料類	大日本帝国第五回内国勧業博覧会 赴会須知	不明	漢文で記されている	
30	雑	フェノロサ先生碑縮写墨本	不明	現在、芸大構内にあるフェノロサ碑の縮小像	
40	雑	庚申仲冬 三体詩	不明	和綴じ本。大村作次郎筆。	

※追加Ⅱ

番号	枝番	分類	タイトル	年月	内容	備考
1		肉筆資料	渡辺華山先生伝記参考資料	不明	表紙に「東洋美術論叢（一部分）」「向阿 元曉 義湘」「默照禪室 大邸西淵錄」とあり。	—
2		肉筆資料	巖有院殿四代將軍家綱実記	不明	審美書院原稿用紙	—
3		美校在職時資料	東京美術学校特別科外講義 告知	大正7年12月	「密教美術史」と題した西崖の講義についての告知文。東京美術学校教務掛。	—
4		美校在職時資料	文部省図書講習会講習日制	大正8年頃	大正8年10月27日から同年11月8日迄の講習日程を記したもの。西崖は「考古雑説」を担当。東京美術学校原稿用紙。	—
5		美校在職時資料	紺紙金銀泥一切経送達目録	明治30年8月5日	巻末に「美術学校御中」とある。中尊寺原稿用紙。	依嘱製作、中尊寺金色堂修繕関連

6	和書	平安史 五	不明	「美術及工芸部 音楽 絵画 書法 陶器 織繡染彩」皇典講究所	—
7	新聞	印心 第二年第三号	大正13年4月10日	名古屋の美術新聞。西崖を特集した号。	—
8	葬儀以降資料	西崖墓誌	(昭和8年3月8日)	写真と原稿。「昭和八年歲次癸酉三月八日 不肖男文夫識並書」(※資料番号126,130に関連資料)	—
9	葬儀以降資料	西崖墓誌墨本	不明	羅振玉(1866-1940)筆の墓誌拓本	—
10	雑	西崖筆觀世音菩薩図申込書	大正13年1月3日	計7通 (※資料番号77,123に関連資料)	—
11	雑	絵葉書	不明	建物を写した絵葉書。2通	—
12	小冊子・資料	日蓮大士二十八宿日割鑑	大正13年1月15日	発行者「身延山土産品一式問屋 熊王富太郎」	—
13	書簡	大村芳樹宛書状	?年1月17日	新年の挨拶状	※「塩沢家(健・觀山)」封筒
14	雑	歴代名公画譜	不明	「扇林雙桂堂藏板」。表題部分のみ2枚残。	※「塩沢家(健・觀山)」封筒
15	和書	日本精神 隨感隨詠 附 国体の淵源	昭和14年5月9日	塩沢健著	※「塩沢家(健・觀山)」封筒
16	肉筆資料	画乘要略	昭和11年8月31日	筆写は塩沢健による。	※「塩沢家(健・觀山)」封筒
17	肉筆資料	釈迦如来成道記	明治24年夏	筆写は塩沢觀山による。	※「塩沢家(健・觀山)」封筒
18	1	肉筆資料	学術総攬 壱	明治26年	塩沢觀山著
	2	肉筆資料	学術総攬 二	明治26年	塩沢觀山著
19	新聞記事	新聞スクラップA	昭和8年11月13日	真福寺という荒寺から兆殿司の仏画と運慶の彫刻が発見されたことを伝える内容。東京日日新聞掲載。	※「雑」封筒
20	新聞記事	新聞スクラップB	不明	小田野直武に関する平福百穂寄稿の記事「洋画の先駆者...」	※「雑」封筒
21	新聞記事	新聞スクラップC	不明	小田野直武に関する平福百穂寄稿の記事「日本の洋画と...」	※「雑」封筒
22	刊行物関連資料	『東洋美術史 全』案内広告	不明	3枚(※資料番号75と同資料)	※「雑」封筒
23	名刺	東京美術学校 大村西崖	不明	8枚	※「雑」封筒
24	小冊子・資料	近世いぬ年の譜	不明(明治43年)	近世の戊年に於ける文化的な出来事を列挙した年譜。「日本美術社印行」	※「雑」封筒
25	小冊子・資料	法華經寿量品の歌	昭和丁丑(1937)年3月8日	「大邸橋堂(=文夫)訳」	※「雑」封筒
26	小冊子・資料	鉄硯居士書画共賞会	大正丁巳(1917)年8月	会規や鉄硯居士(=榎原浩逸)の略歴などが記されている	※「雑」封筒

27	小冊子・資料	十指異名	不明	5部。「大村西崖御施」	※「雑」封筒
28	金銭関係	見積書	大正4年2月6日	『支那美術史彫塑篇』の印刷代金請求書。東京印刷株式会社	※「雑」封筒
29	肉筆資料	跋文原稿	大正丙寅(1926)年	無記庵原稿用紙5枚	※「雑」封筒
30	著作和書	五部心觀	大正11年頃	『仏教学雑誌』第三卷第八号に掲載の論文校本。	※「雑」封筒
31	葬儀以降資料	西崖葬儀の案内状(封入)	昭和2年3月8日	「東京美術学校教授正四位勲四等大村西崖儀予而病氣之処三月八日午後七時卒去候間此段御通知申上候」	※「雑」封筒
32	写真	凡欲読經先念淨口業真言...	不明	「祇樹給孤独図」部分を撮影した写真	※「雑」封筒
33	雑	THE SIXTEEN ARHATS	不明	高橋是清蔵の中国書画に関する英文解説	※「雑」封筒
34	雑	礼状(会葬のお礼)	大正13年11月17日	3部。母の葬儀に関する礼状。微品奉呈の旨、記されている。	※「雑」封筒
35	雑	西崖画の印刷物	不明	西崖の山水画を印刷した栄大の資料。青一色刷。	※「雑」封筒
36	雑	献華之辞	大正庚申(1920)年	「大正庚申歳旦書懷印写以換獻華之辭 帰堂学人大村西崖頓首(印)」	※「雑」封筒
37	書簡	南條文夫来翰	-	封書6点。うち文夫宛書簡が1点。	※仏書刊行会箱にあり
1	書簡	西崖宛書簡(封書)	明治45年7月21日消印	旅行に立つこと、明治天皇危篤云々	※仏書刊行会箱にあり
2	書簡	西崖宛書簡(封書)	大正2年10月14日消印	十三日付に送りし小切手正に受取云々	※仏書刊行会箱にあり
3	書簡	西崖宛書簡(封書)	大正2年12月6日消印	満鮮より帰京の上書状確認。資金償却の配当金云々	※仏書刊行会箱にあり
4	書簡	西崖宛書簡(封書)	大正9年6月2日消印	帝国学士院賞の祝辞、大谷大学封筒	※仏書刊行会箱にあり
5	書簡	西崖宛書簡(封書)	8月29日	曼荼羅を拝受云々	※仏書刊行会箱にあり
6	書簡	文夫宛書簡(封書)	昭和2年3月10日消印	西崖死去に関して云々	※仏書刊行会箱にあり
38	書簡	高楠順次郎来翰	-	葉書、封書含めて13点組	※仏書刊行会箱にあり
1	書簡	西崖宛書簡(封書)	明治40年9月26日消印	【内容不明】	※仏書刊行会箱にあり
2	書簡	西崖宛書簡(封書)	明治40年10月25日消印	興福寺仏像中の梵字について云々	※仏書刊行会箱にあり
3	書簡	西崖宛書簡(封書)	明治44年9月8日消印	仏書刊行会設立趣意書原稿	※仏書刊行会箱にあり
4	書簡	西崖宛書簡(封書)	大正元年8月?	旅行の経過報告(ロンドンより差出)	※仏書刊行会箱にあり
5	書簡	西崖宛書簡(封書)	大正6年4月9日消印	七月より当地に滞在云々	※仏書刊行会箱にあり
6	書簡	西崖宛書簡(封書)	消印なし	金剛藏調査の折写真が必要云々、東京帝国大学封筒	※仏書刊行会箱にあり
7	書簡	西崖宛書簡(封書)	消印なし	【内容不明】※鼠色封筒	※仏書刊行会箱にあり
8	書簡	西崖宛書簡(封書)	消印なし	礼状。白封筒	※仏書刊行会箱にあり
9	書簡	西崖宛書簡(封書中身のみ)	消印なし	御子息の逝去に驚嘆云々	※仏書刊行会箱にあり
10	書簡	西崖宛書簡(葉書)	明治40年4月30日消印	五月二日午後六時頃拙宅に来たれし云々	※仏書刊行会箱にあり
11	書簡	西崖宛書簡(葉書)	大正4年9月26日消印	北白川宮家蔵写真の一覧を返送云々	※仏書刊行会箱にあり
12	書簡	西崖宛書簡(葉書)	大正5年8月23日消印	古書百八十函を調査云々「高野山歴代仙陵」絵葉書。高野山引摂院より送付。	※仏書刊行会箱にあり
13	書簡	西崖宛書簡(葉書)	大正12年10月21日消印	【内容不明】	※仏書刊行会箱にあり
39	書簡	西崖宛書簡(宮本隆範差出)	大正4年11月8日	紹介書二百五十通派内発送云々、封筒無、原稿用紙1枚。	※仏書刊行会箱にあり

40	仏書刊行会資料	仏書刊行会名簿	明治44年8月	出資者に関する情報。設立趣意書などが挟み込まれている	※仏書刊行会箱にあり
41	仏書刊行会資料	出資金領収書	明治44年	「富田教純殿」「野澤俊岡殿」「加藤熊一郎殿」「小林正盛殿」「(無記名)」の計6部 (※資料番号60の印使用例)	※仏書刊行会箱にあり
42	仏書刊行会資料	領収証(出資金・配賦金)	大正2年10月16日	「佐伯隆運」大師河原平間寺便箋	※仏書刊行会箱にあり
43	仏書刊行会資料	佛書刊行会宛書簡	不明	OSTASIATICHE ZEITSCHRIFTからの書簡。封筒内に『大日本佛教全書』の紹介記事らしき切り抜きが入っている。	※仏書刊行会箱にあり
44	仏書刊行会資料	領収証(出資金・配賦金)	大正2年10月16日	「弘津説三」「織田雪巖」曹洞宗務院便箋2枚組	※仏書刊行会箱にあり
45	仏書刊行会資料	領収証(出資金・配賦金)	大正2年10月14日	「本多淨巖」	※仏書刊行会箱にあり
46	仏書刊行会資料	領収証(出資金・配賦金)	大正2年10月14日	「松濤松巖」	※仏書刊行会箱にあり
47	仏書刊行会資料	領収証(出資金・配賦金)	大正2年10月17日	「巖谷愍隨」	※仏書刊行会箱にあり
48	仏書刊行会資料	領収証(出資金・配賦金)	大正2年10月17日	「佐野正道」	※仏書刊行会箱にあり
49	仏書刊行会資料	仏教大辞典案内広告	明治45年6月	「望月信亨謹誌」	※仏書刊行会箱にあり
50	仏書刊行会資料	大日本佛教全書案内広告	昭和5年10月	『大日本佛教全書』の案内用リーフレット	※仏書刊行会箱にあり
51	仏書刊行会資料	封筒	不明	佛書刊行会封筒	※仏書刊行会箱にあり
52	仏書刊行会資料	会計報告書	大正2年9月10日	大正元年11月より大正2年8月迄の会計報告書。筆は岡田治衛武によるものか。原稿用紙4枚。	※仏書刊行会箱にあり
53	仏書刊行会資料	会計報告書	明治45年5月18日	明治44年10月1日より同45年5月17日迄の会計報告書。賃貸対照表と收支予算について記載。原稿用紙12枚。	※仏書刊行会箱にあり
54	仏書刊行会資料	会計報告書(△印)	大正元年10月31日	明治44年10月1日より大正元年10月31日迄の会計報告書。損益計算、貸借対照表について記載。原稿用紙3枚。	※仏書刊行会箱にあり
55	仏書刊行会資料	会計報告書	(大正2年8月31日?)	大正元年11月より大正2年8月迄の会計報告書。収支計算と損益計算について記載。(※資料番号56へと続く報告書)	※仏書刊行会箱にあり
56	仏書刊行会資料	会計報告書(○印)	大正2年8月31日	貸借対照表、資産譲渡案について記載。原稿用紙4枚。(※資料番号55より続く報告書)	※仏書刊行会箱にあり
57	仏書刊行会資料	主事会	大正2年8月3日	内規について記されている。原稿用紙3枚。	※仏書刊行会箱にあり

58	仏書刊行会資料	会務報告	不明	原稿用紙3枚	※仏書刊行会箱にあり
59	仏書刊行会資料	剰余金...	大正元年11月2日	原稿用紙2枚	※仏書刊行会箱にあり
60	仏書刊行会資料	丸印	不明	「佛書刊行会主事之印」(※資料番号41に押印例)	※仏書刊行会箱にあり
61	雑	文玩社発売図書目録	不明	西崖『支那美術史彫塑篇』『密教発達志』『仏教図像集古』『文人画の復興』を紹介(※資料番号72と同資料)	※仏書刊行会箱にあり
62	雑	特別保護建造物及国宝帖 三帙中不足図	不明	原稿用紙にペン書	※仏書刊行会箱にあり
63	雑	大村西崖先生筆 六扇画屏図絵葉書	不明	帰堂会からの刊行。2枚残	※仏書刊行会箱にあり
64	審美書院資料	『東洋美術小史』案内広告	(明治39年頃)	「明治三十九年四月十五日発刊」「発行所 審美書院」	※審美書院封筒にあり
65	審美書院資料	審美書院 第拾四期営業報告	大正8年12月25日	巻末に貸借対照表と損益計算書付。	※審美書院封筒にあり
66	審美書院資料	審美書院 第十七期営業報告	大正11年12月24日	巻末に貸借対照表と損益計算書付。	※審美書院封筒にあり
67	審美書院資料	審美書院 明治四十年度事業報告	明治40年12月15日	—	※審美書院封筒にあり
68	審美書院資料	審美書院 会計書類	明治39年11月30日	貸借貸借表 損益計算書	※審美書院封筒にあり
69	刊行物関連資料	図本叢刊 発行主旨頒布章程(校訂本)	不明	刊行報告等が多く挟み込まれている「図本叢刊会」	※図本叢刊封筒にあり
70	刊行物関連資料	図本叢刊 追加頒布会員募集	不明	「図本叢刊会」	※図本叢刊封筒にあり
71	刊行物関連資料	『支那名画選』案内広告	不明	「発行所 文玩社」	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
72	刊行物関連資料	文玩社発売図書目録	不明	西崖『支那美術史彫塑篇』『密教発達志』『仏教図像集古』『文人画の復興』を紹介(※資料番号61と同資料)	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
73	刊行物関連資料	『図本叢刊』案内広告	大正11年12月	「...御申込被下度候敬具」	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
74	刊行物関連資料	『釈迦宗』案内広告	不明	「主筆釈迦山」「発行所 東京市四ツ谷区坂町百廿二番地弘法窟」	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
75	刊行物関連資料	『東洋美術史 全』案内広告	不明	(※資料番号22と同資料)	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
76	刊行物関連資料	『密教発達志』案内広告	不明(戦後?)	「株式会社 国書刊行会」(※資料番号120と同資料)	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり

77	雑	観音画会について	大正12年12月	画会の案内、出品規定等 (※資料番号10,123に関連資料)	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
78	雑	大倉男爵寄贈 新収 支那古美術品目録	大正8年3月	「財団法人 大倉集古館」	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
79	雑	拝年之辞	大正己未(1919)年	原稿用紙に印刷「青龍司氣轉洪鈞五十二.....大村西崖頓首」	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
80	雑	各種刊行物について	不明	錦雲堂監製の用紙に墨書 「文人画選二輯二十四冊...」	※文玩社ほか諸刊行封筒にあり
81	新聞	静岡新聞	昭和25年3月15日	B面「春は観音様から」に関連記事。西崖筆の観音図について	※「西崖関連新聞にて」封筒にあり
82	新聞	東京日日新聞	昭和8年9月2日	12面「町の横断面」に関連記事。西崖胸像と経歴について	※「西崖関連新聞にて」封筒にあり
83	写真	大村西崖胸像写真	昭和18年6月22日	「大村西崖先生胸像応徵記念 富士川町」とあり	※「大村西崖胸像」封筒にあり
84	写真	大村西崖胸像写真	昭和3年3月8日	美校の銅像か。「銅像除幕紀念」とあり。同資料3点	※「大村西崖胸像」封筒にあり
85	小冊子・資料	『古美術』S23.6号	昭和23年6月1日	『古美術』S23.6号に掲載された文章。p.58~p.60 (※資料番号131の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
86	小冊子・資料	『古美術』S23.9号	昭和23年9月1日	『古美術』S23.9号に掲載された文章。文末に「(西宮市 山西亀三郎)」とあり (※資料番号132の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
87	雑	文人画推奨の絵画展覧会趣旨	不明	三越での展覧会案内 (※資料番号133の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
88	肉筆資料	中国名画集 序	不明	大村文夫による序文原稿 (※資料番号134の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
89	肉筆資料	祝辞(西崖銅像除幕)	昭和3年5月13日(6月10日)	「東京美術学校長 正木直彦」 (※資料番号135の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
90	雑	聖觀世音菩薩御像縮影	不明	「東京美術学校教授大村西崖筆 縹布百八十反 身高百二十尺」「岩淵新豊院觀音神社」(※資料番号136の元資料) (※資料番号124と同資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
91	新聞記事	新聞スクラップD	-	「風雲録」大11年3月24日、関西日報 (※中国漫遊について) (※資料番号137の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
92	新聞記事	新聞スクラップE	-	①「陳衡恪氏と支那大美術史を共編する大村西崖氏」大11年3月21日、大阪時事新報 ②「東西呼応して南画復興の運動」大11年1月8日、上海經濟日報 ③「我が国南宗画の眞の木鐸なりし雲泉蘇る」大9.12.27、中外商業新報 ④「大村西崖氏」大11年3月22日、大阪毎日新聞 (※資料番号138の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり

93		新聞記事	新聞スクラップF	-	①「我が美術界を驚かすべき「宅磨為遠」の真蹟発見」大10年5月10日, 中外商業新報 ②「支那の現代画」大11年3月28日, 関西日報 (※資料番号139の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
94		小冊子・資料	大村文夫『浮世絵史1~3』	不明	岩波書店「図書」封筒にあり。 (※資料番号141の元資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
95		小冊子・資料	『鴎外研究』第21号	昭和13年5月	大村文夫「鴎外先生と父西崖との関係」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
96		小冊子・資料	美術書発行目録	昭和5年5月	「株式会社審美書院」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
97		名刺	東京美術学校教授 大村西崖	不明	「第五回内国勧業博覧会事務官」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
98		名刺	東京美術学校教授 大村西崖	不明	「帰堂」「東京都牛込区矢来町三番地 電話牛込二五四三番」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
99		新聞記事	新聞スクラップG	-	① 「談書会水墨会書画展覧会出品 大村西崖筆」大12.3.21, 中国民報 ② 「(熊本八代の願生寺で金胎仏画帳を発見)」大10.5.12, 大阪毎日新聞夕刊 ③ 「山雲欲曉 大村西崖筆」出典不明 ④ 「大村君が持って帰った支那名画写真と現代画」大11.3.24, 大阪新日報 ⑤ 「支那名画写真」大11.3.24, 大阪毎日新聞 ⑥ 「支那の古名画」大11.3.22, 関西日報 ⑦ 「塵外境(4)非画人の面目」大9.8.22, 中外高業新報 ⑧ 「大隈候容体小康」出典不明 ⑨ 「大村西崖氏を...」大11.3.24, 大阪時事日報 ⑩ 「春風樓漫筆」大11.3.24, 大阪日日新聞 ⑪ 「(雲泉碑除幕式のため又玄画社同人の来雲)」大10.6.6, 中越新報 ←	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
100		新聞記事	新聞スクラップH	明治43年9月14日	国民新聞より切り取り。「東京たより 九月十三日午後三時 門外漢 書は果して美術なる乎。此を断定するには...」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
101		新聞記事	新聞スクラップI	不明	出典不明。横山大觀の雅号に纏わる話を紹介。下半分破れ。	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
102		新聞	十二月の三越	大正9年12月	「芸術の彩華(六日より十一日まで)大村西崖氏作画展覧会」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
103		新聞	時事新報	昭和4年6月13日	7面に西崖筆の聖観音菩薩像についての記事「四里先から見える観音像 大村画伯が四日半掛って描いた百五十尺の大幃」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
104		新聞	静岡新聞	昭和51年3月18日	16面に西崖筆の聖観音菩薩像についての記事「年一回の御開帳 参拝客にぎわう」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
105		肉筆資料	帝国学士院賞の祝辞(児島白峰)	大正9年3月	大9.3.13付の報知新聞記事も貼り付け	※「大村西崖伝記資料」箱にあり

106		肉筆資料	帰堂文字塵	昭和癸亥(1937)年6月	無記庵原稿用紙	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
107		肉筆資料	送 帰堂大村教授遊禹城序	不明	「芹澤閑刀川拝」原稿用紙2枚	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
108		肉筆資料	九華印室鑑藏画録序	不明	東京美術学校校友会月報原稿用紙1枚	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
109		肉筆資料	金蘭簿	不明	「無記庵韻存贈呈名簿」と表紙にあり。裏に文夫氏印多数。	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
110		肉筆資料	メモ帳	不明	メモ帳に西崖名刺。「第三銀行大阪支店」「草谷昇」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
111		肉筆資料	大村西崖伝	不明	原稿用紙半枚にペン書。	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
112		写真	聖観音菩薩写真	不明	台紙貼り付け。西崖筆の聖観音菩薩像を写した写真。	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
113		写真	大村西崖筆 梵字影本	不明	写真9点	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
114		写真	子供二人と聖観音図	昭和49年5月	写真11枚。写真裏には「49年5月」とあるが、同箱中に昭和49年5月付の現像申込書があり、昭和49年の写真と判断。	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
115		ネガ	西崖筆聖観音図関連	不明	ネガ2点	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
116		雑	別所半五郎君並配友子之碣	不明	「大正十五年歳次二月九日 従三位勲二等正木直彦題額 正三位勲四等大村西崖識並書」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
117		雑	『支那墨宝集』案内広告	不明	「審美書院」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
118		雑	河口慧海略歴	不明	和紙に印刷 (※資料番号183と同資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
119		雑	溝口宗文略歴	不明	和紙に印刷。17枚 (※資料番号184と同資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
120		雑	『密教発達志』案内広告	不明(戦後?)	「株式会社 国書刊行会」 (※資料番号76と同資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
121		雑	御開帳広告	不明	「三月十七日 新豊院例祭 大觀音」赤字による校正の跡あり	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
122		雑	聖観音像	不明	西崖筆の聖観音像縮図。「大正甲子首春...知心阿遮黎西崖」	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
123		雑	玩賞形式信仰宣伝 大村西崖先生罹災後援觀世音画会	大正12年	(※資料番号10,77に関連資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり

124	雑	聖観世音菩薩御像縮影	不明	封紙と縮影図セット。3点(※資料番号90と同資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
125	雑	梵字に関するメモ書	不明	「聖観自在菩提薩理」など。4点	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
126	雑	大村西崖先生墓誌	昭和8年3月8日	原稿用紙1枚。「昭和八年歳次癸酉三月八日 不肖男文夫謹識」(※資料番号130の元資料)(※資料番号8に関連資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
127	雑	西崖資料に関するメモ	不明	『密教発達史』に関する年譜や佛書刊行会について。11枚	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
128	コピー	西崖曾祖父、圭堂について	大正8年	「予嘗從父聞曾祖圭堂翁...」「曾孫大村西崖敬識」。4枚	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
129	コピー	掲載許可証	明治30年10月23日	「美術評論ト題セル雑誌発行ニ付当館常備品中差支無之分記載方願出ノ件...」「匡報社主筆 大村西崖」帝国博物館便箋。	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
130	コピー	西崖墓誌	不明	(※資料番号126の複写本)(※資料番号8に関連資料)	※「大村西崖伝記資料」箱にあり
131	コピー	谷信一「偉大な美術史家大村西崖」	昭和23年6月1日	『古美術』S23.6号に掲載された文章。p.58~p.60 (※資料番号85の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
132	コピー	「偉大なる美術史家大村西崖」(六月号)を読んで	昭和23年9月1日	『古美術』S23.9号に掲載された文章。文末に「(西宮市 山西龜三郎)」とあり (※資料番号86の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
133	コピー	文人画推奨の絵画展覧会趣旨	不明	三越での展覧会案内 (※資料番号87の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
134	コピー	中国名画集 序	不明	大村文夫による序文原稿 (※資料番号88の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
135	コピー	祝辞(西崖銅像除幕)	昭和3年5月13日(6月10日)	「東京美術学校長 正木直彦」 (※資料番号89の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
136	コピー	聖観世音菩薩御像縮影	不明	「東京美術学校教授大村西崖筆 縹布百八十反 身高百二十尺」「岩淵新農院觀音神社」 (※資料番号90の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
137	コピー	新聞スクラップD-複写	—	(※資料番号91の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
138	コピー	新聞スクラップE-複写	—	(※資料番号92の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
139	コピー	新聞スクラップF-複写	—	(※資料番号93の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
140	コピー	『浮世絵派画集』広告	不明	—	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり
141	コピー	大村文夫「浮世絵史一 浮世絵の濫觴」	不明	出典不明。西崖の旧稿として紹介されている。 (※資料番号94の複写本)	※「大村西崖伝記資料 Copy」封筒にあり

142		招待状	叙位参内の知らせ	明治45年1月27日	「来ル廿一日午前十時叙位相成候條時刻二十分前参内可有之候也 明治四十五年一月廿七日 宮内省 正七位大村西崖殿」。「参内心得」と題された注意書も付	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
143		招待状	叙位参内の知らせ	大正2年11月19日	「来ル二十一日午前十時叙位相成候條時刻二十分前参内可有之候也 大正二年十一月十九日 宮内省 従六位大村西崖殿」。「参内心得」と題された注意書も付	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
144		招待状	西崖支那出張の件	大正15年4月21日	「四月七日美第二八号ヲ以テ上申貴校大村教授支那古代美術研究ノ為支那へ出張方ニ関シ了承御申出ノ通り外務省ヨリ金一千五百円支出スルコトニ相成リタルニ付御了承相成度 追テ出発居及旅行日程提出方御取計相煩度」 東京美術学校便箋1枚	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
145		招待状	帝国学士院賞の賞目録	大正9年頃	「一帝国学士院賞賞牌 壱個 一帝国学士院賞賞金 壱千円」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
146		招待状	桓武天皇紀念法会参加の案内	明治28年4月14日	「南禅寺住職 松山舜應」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
147		案内	『平安通志』進呈案内	明治28年11月5日	「京都市参事会 京都府知事山田信道」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
148		招待状	平安遷都千百年紀念祭への招待	明治28年11月5日	「平安遷都千百年紀年祭協賛会々長 公爵 近衛篤磨」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
149		招待状	打合会の通知	大正3年7月10日	「宗教大学校長望月信享」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
150		証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	明治43年6月13日	「正倉院志 大村西崖著 和装 壱冊」「帝室博物館総長 股野琢」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
151		証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	明治45年6月22日	「希臘羅馬諸神傳 大村西崖著 四冊」「帝室博物館総長 股野琢」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
152		証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	大正元年12月25日	「密教発達流傳年表 大村西崖編 壱冊」「帝室博物館総長 股野琢」「從六位大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
153		証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	大正4年7月9日	「不動明王像 木版摺 御室版 原本智証大師筆 壱枚」「帝室博物館総長 股野琢」「正六位大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
154		証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	大正5年6月5日	「阿蜜哩多軍荼利法 大村西崖校 大正五年出版 壱冊」「帝室博物館総長 股野琢」「正六位大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
155		証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	大正8年2月19日	「仏像新集 権田雷斧 大村西崖共著 大正八年出版 売冊」「帝室博物館総長 医学博士 文学博士 森林太郎」「從五位大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
156		証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	大正9年4月2日	「支那美術史 彫塑篇原稿 大村西崖著 大正三年稿 四冊」「東洋美術大観挿画説明 広日本絵画史原稿 大村西崖著 明治四十二年稿 貳冊」「帝室博物館総長 医学博士 文学博士 森林太郎」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり

157	証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	大正10年5月9日	「雲泉山人墓銘竝陰 貳枚」「帝室博物館総長 森林太郎」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
158	証書類	寄贈領収証(帝室博物館)	大正11年7月4日	「禹域今画録 壱冊」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
159	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	明治31年12月15日	「洋画手引草 壱部」「釋教諸宗録 壱部」「東京美術学校長 高嶺秀夫」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
160	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	明治32年1月26日	「審美綱領 弐冊」「象堂遺芳 壱冊」「東京美術学校長 久保田鼎」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
161	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	明治43年8月2日	「支那絵画小史 壱冊」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
162	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	明治43年8月2日	「日本絵画小史 壱冊」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
163	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	大正2年1月20日	「密教発達流傳年表 壱冊」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
164	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	大正2年5月5日	「智証大師筆 不動明王像 御室版 壱葉」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
165	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	大正10年2月8日	「文人画の復興 壱冊」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
166	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	大正11年4月14日	「禹域今画録 壱冊」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
167	証書類	寄贈領収証(東京美術学校)	大正2年1月20日	「阿婆縛抄 第二 壱冊」「大村秀雄殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
168	証書類	寄贈領収証(宗教大学)	大正5年5月30日	「阿蜜哩多軍茶利法 壱冊」「私立宗教大学校長 望月信享」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
169	証書類	寄贈領収書(真言宗聯合京都大中学)	大正2年6月10日	「三本両部曼荼羅集 御室版高雄曼荼羅 桐函入 壱部」「真言宗聯合京都大中学長 大僧正 泉智等」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
170	証書類	寄贈領収書(真言宗聯合京都大中学)	大正5年5月29日	「阿密哩多軍茶利法 比丘海○記 壱冊」「真言宗聯合京都大中学長 泉智等 岡本慈航」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
171	証書類	撮影及登載許可(東京帝室博物館)	大正10年9月16日	「智証大師請來五部心觀模本 一冊」「智泉本四種護摩爐形本尊眷属図像模本 一卷」「東京市牛込区矢来町三番地 大村西崖」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
172	招待状	大礼饗饌	大正4年11月1日	「来ル十六日大饗第一日ノ儀行ハルルニ付当日正午十二時東京帝国大学内ニ於テ饗饌ヲ賜リ候條此段申入候也」「宮内大臣男爵波多野敬直」「東京美術学校教授大村西崖殿 参入券が同封」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
173	招待状	観菊会	大正9年11月13日	「天皇皇后両陛下ノ命ヲ奉シ来ル二十日午後二時赤坂離宮御苑ニ於テ催サルル観菊会ニ招待ス」「宮内大臣男爵中村雄次郎」「東京美術学校教授大村西崖殿 同 令夫人」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり

174		招待状	観桜会	大正10年4月14日	「天皇皇后両陛下ノ命ヲ奉シ来二十日午後二時三十分新宿御苑ニ於テ催サル観桜会ニ招待ス」「宮内大臣子爵牧野伸顕」「東京美術学校教授大村西崖殿 同 令夫人」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
175		招待状	観桜会	大正11年4月8日	「天皇皇后両陛下ノ命ヲ奉シ来十六日午後二時三十分新宿御苑ニ於テ催サル観桜会ニ招待ス」「宮内大臣子爵牧野伸顕」「東京美術学校教授大村西崖殿 同 令夫人」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
176		招待状	天長節宴会	大正13年10月23日	「天皇陛下ノ命ヲ奉シ来ル三十一日宮中ニ於テ催サル天長節宴会ニ招待ス」「宮内大臣子爵牧野伸顕」「東京美術学校教授 大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
177		招待状	故依仁親王妃周子殿下の御謁見	大正15年5月23日	「謹啓陳者 故依仁親王妃周子殿下来六月一日午後三時御対面被遊度ニ付同日時御入来相成候様御案内可致首命ニ依リ此段申進候 敬具」「東伏見宮附宮内事務官 高橋皞」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
178		招待状	内国勧業博覽会附属水族館に関する祝賀会	明治36年4月	「拝啓陳者第五回内国勧業博覽会附属水族館ヲ弊地ニ開設セラレ空前ノ盛況ヲ觀ルハ本市ノ光榮此事ニ候依テ其祝意ヲ表スル為メ水族館ニ行幸啓被為済候当日午後正三時大濱通旭館ニ於テ祝賀会相催シ候間御來駕被成下度此段御案内迄得貴意候敬白」「堺市長 大西五一郎」「博覽会事務官 大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
179		招待状	内国勧業博覽に関する祝賀会	明治36年4月1日	「謹啓第五回内国勧業博覽会ハ空前の盛舉ニシテ開催地タル本市ノ面目不過之候依テ開会式御挙行ノ当日午後正四時博覽会場内ニ於テ祝賀会相開候間御貴臨被成下度此段御案内申上候敬具」「大阪市長鶴原定吉」「大村西崖殿」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
180		案内	内国勧業博覽会案内	明治36年頃	「啓者明治三十六年三月初一日起至七月三十一日止五箇月間 在大阪市天王寺今宮開設第五回内国勧業博覽会務祈屆時 来觀為盼此具」「大日本帝国 第五回内国勧業博覽会副総裁 農商務大臣 男爵平田東助」	※招待状及寄贈領収書類を纏めた束にあり
181		写真	古美術写真類	—	絵葉書、写真、西崖画など雑多。剥き出し27枚+「古美術写真」封内114枚+「銅器」封内37枚。計178枚。	
182		又玄画社資料	釧雲泉碑(写真)	大正10年頃	「大正十年六月又玄画社所建 釧雲泉碑 越後出雲崎」	※「又玄画社」封筒にあり
183		又玄画社資料	河口慧海略歴	不明	和紙に印刷。(※資料番号118と同資料)	※「又玄画社」封筒にあり
184		又玄画社資料	溝口宗文略歴	不明	和紙に印刷。(※資料番号119と同資料)	※「又玄画社」封筒にあり
185		又玄画社資料	白濱徵略歴	不明	和紙に印刷。	※「又玄画社」封筒にあり

186	又玄画社資料	又玄画社内覧会案内	不明	「拝啓 秋冷之候益々御安祥奉賀候陳者下名等聊文墨を樂む者相会して一社を結び現代画苑の方外に於て一種清淡の趣味を鼓吹致度社員の所作を集め本月十五、十六の両日上野公園内東京美術学校俱楽部に於て展覧会相催し候に付ては開会前緩々御清鑑相頤度候間来る十一日午前十時より午後四時迄に同俱楽部へ御来観被下度此段御案内申上候 敬具」	※「又玄画社」封筒にあり
187	又玄画社資料	略歴原稿類	不明	大村西崖、白井雨山、東正堂、黒木安雄、杉溪言長の略歴を綴った原稿。其々原稿用紙や和紙に墨書。計5点	※「又玄画社」封筒にあり
188	又玄画社資料	第三回又玄画社展覧会の案内	不明	「碧堂田邊仁兄梧下維辰春氣已...」「同社弟大村西崖手稟」	※「又玄画社」封筒にあり
189	又玄画社資料	又玄画社会計資料	大正9,10年頃	原稿用紙19枚	※「又玄画社」封筒にあり
190	又玄画社資料	又玄画社記録	大正8~10年	冊子装丁。東京美術学校原稿用紙。中に「水族館庭園」と記された絵葉書一枚、会規等について記した紙が一枚。	※「又玄画社」封筒にあり
191	又玄画社資料	案内状封筒	大正8年11月	「又玄画社文人画展覧会案内状 二千五百通発送 幹事本山豊実取扱」	※「又玄画社」封筒にあり
192	又玄画社資料	出品作購入案内	不明	「別紙諸先生展覧会出品作画御希望に候はゞ小生当日出張致居候間御申聞け被下度此段御願ひ申上候 敬白」「幹事 本山豊実」(※資料番号191の封筒に入っていたもの)	※「又玄画社」封筒にあり
193	又玄画社資料	又玄画社展覧会案内	不明	「拝啓 秋冷之候益々御安祥奉賀候陳者下名等聊文墨を樂む者相会して一社を結び現代画苑の方外に於て一種清淡の趣味を鼓吹致度社員の所作を集め本月十五、十六の両日上野公園内東京美術学校俱楽部に於て展覧会相催し候間御来観被下度此段御案内申上候 敬具」(※資料番号191の封筒に入っていたもの)	※「又玄画社」封筒にあり
194	又玄画社資料	亀井武十郎	受領が大正8年11月24日付	「風俗絵巻図書刊行会 合資会社吉川弘文館 写真版部 主任」裏に大村宛の受領証	※「又玄画社」封筒にあり
195	又玄画社資料	又玄画社展覧会出品画件	不明	中国人画家の画料について記されている。「王一亭氏 金六十五円 各一枚 山水一件 人物一件...」	※「又玄画社」封筒にあり
196	又玄画社関係	田邊為三郎(碧堂)差出書簡	大正10年7月17日消印	西崖宛。決算善後方策について云々	※「又玄画社」封筒にあり
197	肉筆資料	弔電一覧	昭和2年頃	「電文 天外千里遙ニ御送儀ヲ見送ルユウメイ永ク所コトニシテヌ逢ヒ逢フアタハズ悌涙サンゼンタリ 塩沢健」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
198	請求書	灯明取付費領収書	昭和2年3月17日	8円50銭「東京電力株式会社」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
199	請求書	雑記帳領収書	昭和2年3月18日	8円「望月や」	※「西崖葬儀」と題した束にあり

200	請求書	がんも代領収書?	昭和2年3月18日	6円「サトーや」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
201	請求書	タクシ一代領収書	昭和2年3月18日	3円80銭「岩淵タクシー」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
202	請求書	仕出し請求書(刺身・寿司)	昭和2年3月19日	4円65銭「新勢樓支店」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
203	請求書	豆腐代領収書	昭和2年3月19日	1円20銭「岩渕豆腐屋」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
204	請求書	醤油請求書	昭和2年3月28?日	5円80銭「鱗醤油釀造店」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
205	請求書	仏事用引物の請求書	昭和2年4月8日	25円「御菓子司 藤埜」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
206	請求書	食材費領収書	昭和2年4月3日	3円73銭「塩市本店」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
207	請求書	食材費領収書	昭和2年4月11日	7円50銭「塩市本店」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
208	弔辞	静岡県人会	昭和2年3月11日	「会友大村西崖君の訃報に接し洵に驚き入りました...」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
209	弔辞	光榮寺檀家総代(斎藤五郎左衛門)	昭和2年3月13日	「故知心大居士大村西崖先生ノ英靈ニ告グ...」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
210	弔辞	内矢来町会(前川遜)	昭和2年3月11日	「会員大村西崖君之訃報ニ接シ誠ニ哀悼之至...」	※「西崖葬儀」と題した束にあり
211	香典関係	總本山知恩院	不明	「御香木料 金二千匹」 厚紙に墨書。	※「西崖葬儀」と題した束にあり
212	香典関係	東京美術学校	不明	「金一千円」 厚紙に墨書。	※「西崖葬儀」と題した束にあり
213	香典関係	浄土宗務所	不明	「香資 金拾円」 厚紙に墨書。	※「西崖葬儀」と題した束にあり
214	香典関係	東伏見宮	不明	「御香料 金三千足」 厚紙に墨書。小封筒が附属。	※「西崖葬儀」と題した束にあり
215	香典関係	高島屋呉服店	不明	「御靈前」 厚紙に墨書。	※「西崖葬儀」と題した束にあり
216	香典関係	浅草寺	不明	「御香資 一金二千足」 厚紙に墨書。「御靈前 金龍山浅草寺」と記された札が附属。	※「西崖葬儀」と題した束にあり
217	香典関係	渡邊海旭	不明	「御靈前 御生華料」 厚紙に墨書。	※「西崖葬儀」と題した束にあり
218	札類	皇室からの下賜品札	不明	「御下賜」と「聖上御下賜」の2種あり	※「西崖葬儀」と題した束にあり

219		電報	電報(弔電)類	昭和2年3月8日-12日 消印	上から順に、山本竹龍斎、別所彰善、関山氏、村山氏、稀代高次、鎧田氏、小沼氏、松永安彦、鶴岡一三、斎藤岸平、小林正盛、安岡信義、山本久治郎?、田辺為三郎、古宇田實、大阪三越三彩会、小室翠雲、金山従華、龍村氏、松居甚一郎、長谷部隆諦、横山萬次郎、木村杏園、山本義遷、宮崎穀造、中村(卯+段)、斎藤義彦、松岡友吉、塩澤きん、塩澤健、石川省吾、大村芳樹、身延清水房、身延山小松○淨、身延山丸山海昇、身延山内野海潮、身延山久遠寺	※「西崖葬儀」と題した束にあり
220		電報	東京美術学校	昭和2年3月12日消印	代表として田辺先生が参列云々	※「西崖葬儀」と題した束にあり
221		電報	電報(弔電)類 ※13日以降到着	一	渡邊湛慶、キノシタ、ナガハシ、イナバ、ケン等。計9枚	※「西崖葬儀」と題した束にあり
222		雑	大村文夫宛運送状	不明	古屋勘蔵より里芋を運送	※「西崖葬儀」と題した束にあり

	写真	大村西崖 正装写真			
	書簡	廉泉写真絵葉書	大正4年8月22日	「東京市牛込区矢来町三番地旧殿第五十号」	
	証書類	京都府	明治27年3月17日	「職務勉励ニ付、慰労金四円給与」	
	証書類	東京美術学校	明治33年12月23日	「職務(格別)勉励に付、其賞金四拾円」	
	証書類	東京彫工会会頭 榎本武揚	明治32年7月	理事依嘱	
	証書類	東京美術学校	明治30年1月25日	「庶務掛兼務ヲ命ス」	
	証書類	京都美術協会	明治27年1月	会員証明	
	証書類	明治美術会	明治32年4月7日	賛助会員 会員証状	
	証書類	京都美術協会	明治29年12月3日	御礼状 京都美術協会原稿用紙使用	
	洋書	Führer durch die GLYPTOTHEK König Ludwig's I			
	直筆資料				